

第9期阪南市高齢者保健福祉計画  
及び介護保険事業計画  
策定のためのアンケート調査  
【結果報告書】

令和6年3月  
阪南市



# 目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計・回収結果	1
3. 報告書の見方	2
II 調査結果	3
<b>1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査</b>	<b>3</b>
1. 家族や生活状況について	3
2. からだを動かすことについて	12
3. 食べることについて	25
4. 毎日の生活について	29
5. 地域での活動について	35
6. 助けあいについて	41
7. 健康について	45
8. 認知症にかかる相談窓口の把握について	49
9. 地域や暮らしについて	53
10. 介護予防について	63
11. 在宅生活の継続について	75
12. 成年後見制度について	78
13. 介護保険制度・サービスについて	80
14. その他	82
15. 生活機能評価等に関する分析	87
<b>2 在宅介護実態調査</b>	<b>108</b>
1. 回答者属性	108
2. 調査対象者本人について	109
3. 主な介護者について	110
4. 支援・サービスの利用について	114
5. 介護者の就労について	123
6. 介護者が不安に感じる介護	127
7. 生活感や介護への考え（追加調査項目）	129
8. 認知症対策（追加調査項目）	130
9. 情報・相談（追加調査項目）	132

<b>3 サービス提供事業者アンケート調査</b> .....	<b>134</b>
1. 事業所の概要及びサービスの実施状況について.....	134
2. 事業所の人材の現状について.....	143
3. サービスの質の向上に向けた取り組み状況等について.....	147
4. 事業所の今後の運営方針について.....	153
5. 地域包括支援センターについて.....	157
6. 関係機関との連携状況について.....	158
7. 認知症の方へのケアについて.....	161
8. 地域包括ケア体制について.....	163
9. その他.....	165
<b>4 ケアマネジャーアンケート調査</b> .....	<b>169</b>
1. ケアマネジャーとしてのあなたについて.....	169
2. 担当している利用者について（阪南市で介護認定を受けている利用者について）.....	173
3. 要支援の方のサービス利用について.....	174
4. 要介護の方のサービス利用について.....	177
5. 総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）のサービス利用について.....	181
6. 利用者の在宅生活の状況について.....	186
7. 認知症の方へのケアについて.....	187
8. 医療連携・退院支援について.....	191
9. 関係機関等との連携状況について.....	198
10. 地域包括支援センターについて.....	199
11. 地域包括ケア体制の構築について.....	200
12. その他.....	204
<b>調査票</b> .....	<b>207</b>

## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、「第9期阪南市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の策定に向けて、65歳以上の市民を対象に、生活状況や健康状態、地域における活動等の状況、普段感じていることなど、また、サービス提供事業所やケアマネジャーを対象に、サービスの利用状況や関係機関等との連携状況、高齢者施策への意見・要望等をおうかがいし、市の高齢者福祉施策の検討や、介護予防の充実にに向けた基礎資料とすることを目的に実施しました。

### 2. 調査設計・回収結果

#### <介護予防・日常生活圏域ニーズ調査>

調査対象	要介護1～5の方を除く、65歳以上の市内居住者 1,800人（無作為抽出）
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和5年5月17日～6月8日
回収状況	有効回答数1,044件（有効回収率58.0%） ※前回調査（令和2年）67.6%

#### <在宅介護実態調査>

調査対象	在宅で生活している、市内居住の要支援または要介護認定者
調査方法	認定調査員による聞き取り調査
調査期間	令和5年4月～8月
回収状況	有効回答数271件 ※前回調査（令和2年）267件

#### <サービス提供事業者アンケート調査>

調査対象	市内の介護保険サービス提供事業所 74事業所
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和5年5月30日～6月19日
回収状況	有効回答数50件（有効回収率67.6%） ※前回調査（令和2年）69.4%

#### <ケアマネジャーアンケート調査>

調査対象	市内の居宅介護支援事業所に所属しているケアマネジャー 81人
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和5年5月30日～6月19日
回収状況	有効回答数53件（有効回収率65.4%） ※前回調査（令和2年）72.0%

### 3. 報告書の見方

---

- (1) 図表中の「n (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) 図表中に次のような表示などがある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。
  - ・ M A % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
  - ・ 3 L A % (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合上記以外の場合は、特に断りがない限り、単数回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問です。
- (5) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

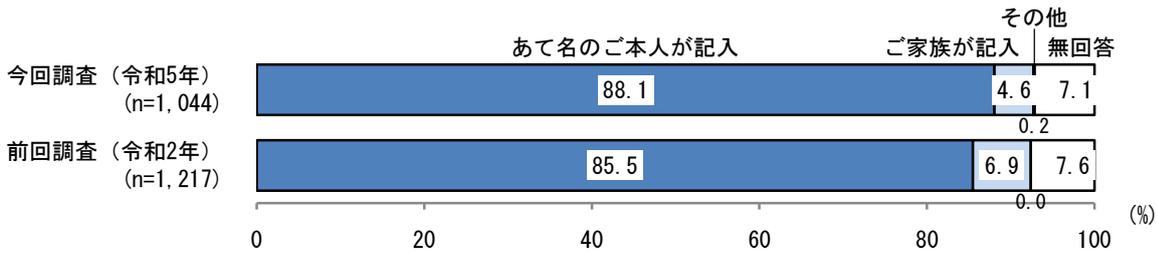
## Ⅱ 調査結果

### 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

#### ■ 記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」が88.1%となっています。

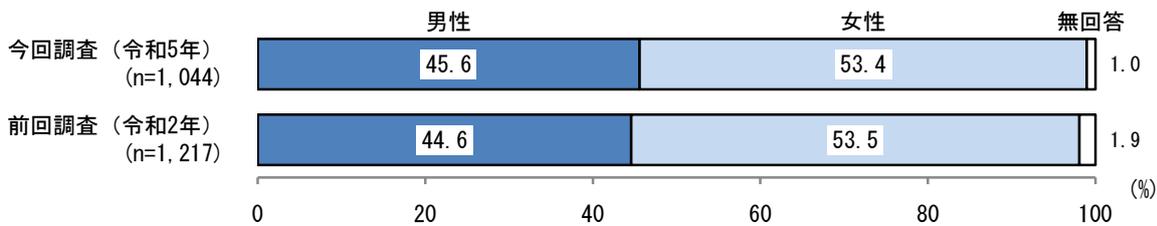


## 1. 家族や生活状況について

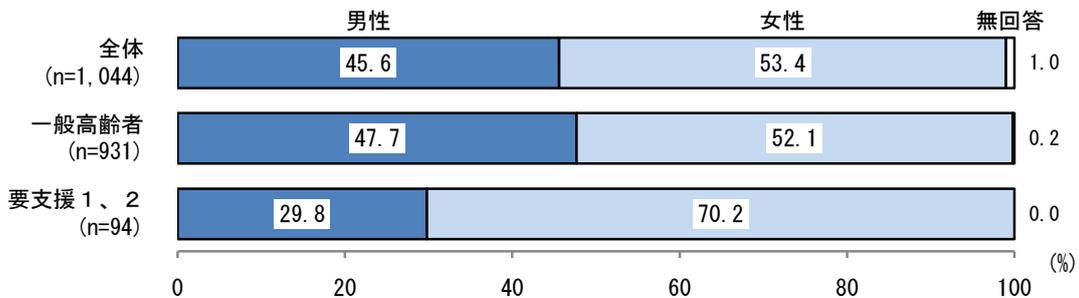
### 〔1〕性別

問1(1) あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が45.6%、「女性」が53.4%となっています。



#### 【性別 認定状況別】

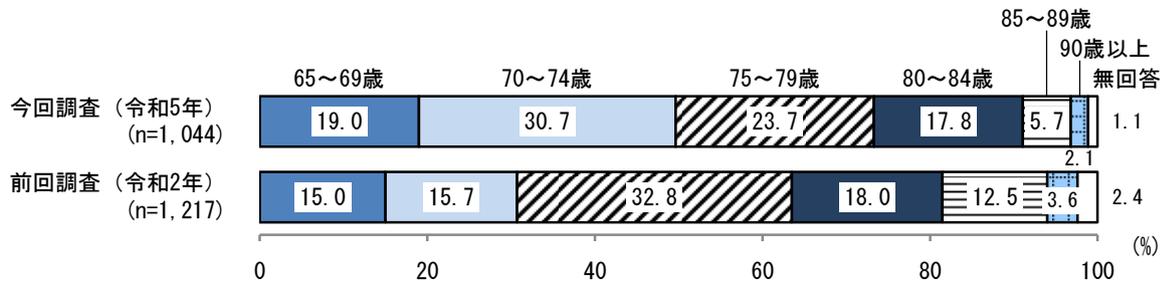


## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

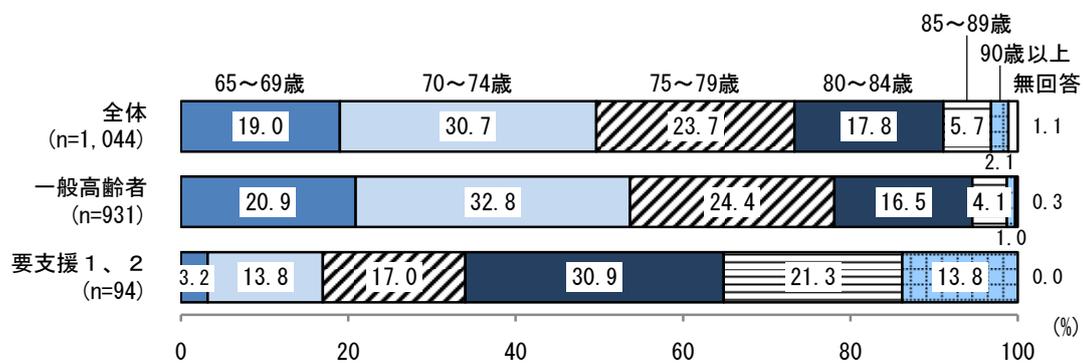
### 〔2〕年齢

問1(2) あなたの年齢をご記入ください。(数字を記入)

年齢は、「70～74歳」が30.7%と最も多く、65～74歳の前期高齢者は49.7%、75歳以上の後期高齢者は49.3%となっており、前回調査に比べて前期高齢者の割合が19.0ポイント増加しています。



#### 【年齢 認定状況別】

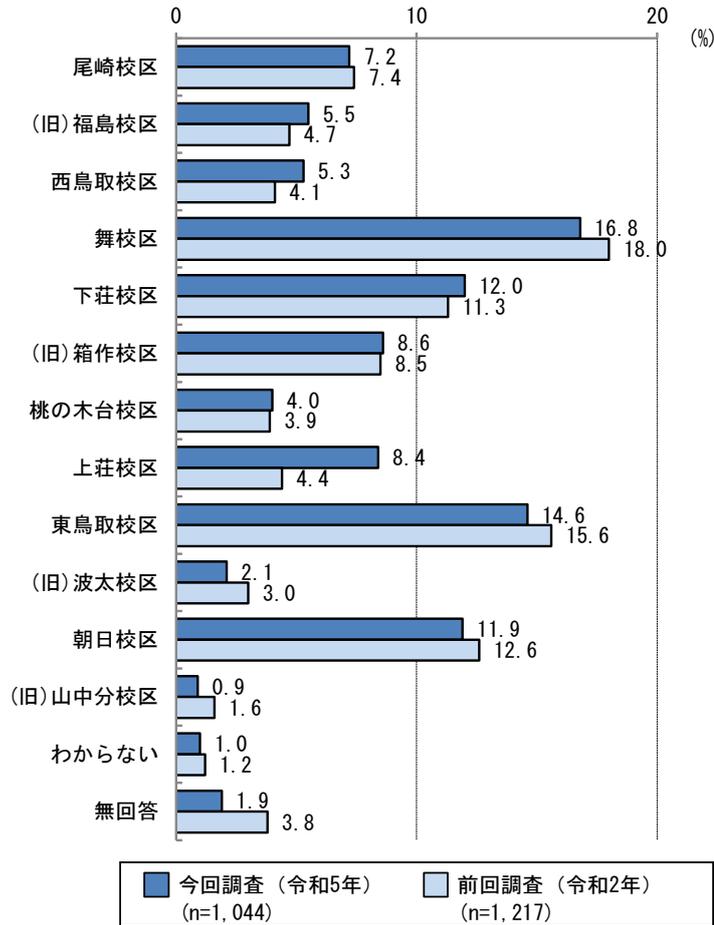


〔3〕居住している小学校区

問1(3) お住まいの小学校区(または地区)をお答えください。わからない場合は地区名をお答えください。(○は1つ)

居住している小学校区は、「舞校区」が16.8%と最も多く、次いで、「東鳥取校区」が14.6%となっています。

年齢別にみると、下荘校区、(旧)波太校区では、後期高齢者の割合が多くなっています。



【居住している小学校区 年齢別】

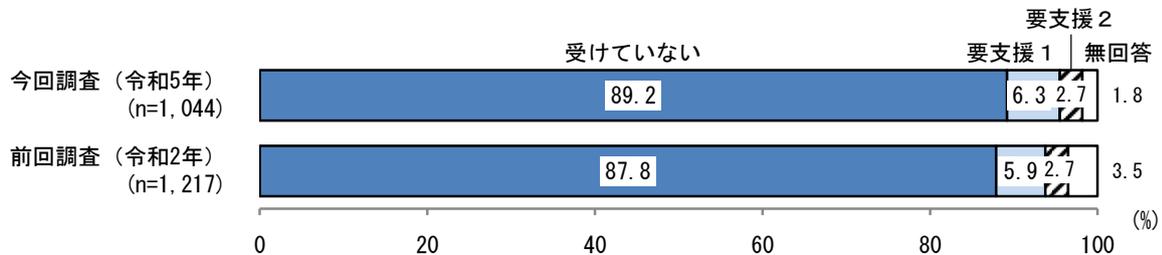
		n	65歳以上	75歳以上	85歳以上	無回答
全体		1,044	51.8	41.5	7.9	1.1
尾崎地区	尾崎校区	75	38	31	6	0
	(旧)福島校区	100	50.7	41.3	8.0	0
西鳥取地区	西鳥取校区	55	32	18	5	0
	舞校区	100	58.2	32.7	9.1	0
下荘地区	下荘校区	125	55	57	13	0
	(旧)箱作校区	100	44.0	45.6	10.4	0
桃の木台地区	(旧)箱作校区	90	41	38	9	2
	桃の木台校区	100	45.6	42.2	10.0	2.2
東鳥取地区	上荘校区	88	50	36	2	0
	東鳥取校区	100	56.8	40.9	2.3	0
	(旧)波太校区	152	81	61	10	0
	朝日校区	100	53.3	40.1	6.6	0
(旧)山中分校区	(旧)波太校区	22	6	13	3	0
	朝日校区	100	27.3	59.1	13.6	0
(旧)山中分校区	朝日校区	124	62	56	6	0
	(旧)山中分校区	100	50.0	45.2	4.8	0
(旧)山中分校区	(旧)山中分校区	9	7	2	0	0
	(旧)山中分校区	100	77.8	22.2	0	0

## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

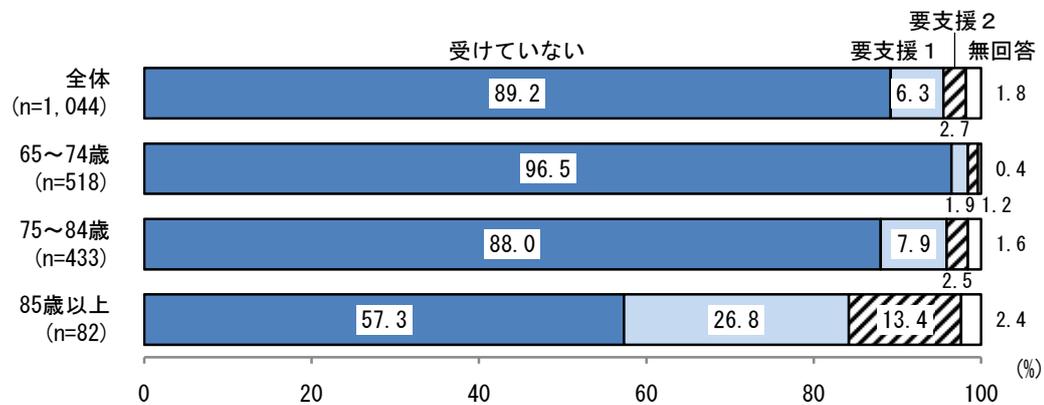
### [4] 要支援認定の有無

問1(4) あなたは介護保険における要支援認定を受けていますか。受けている方は認定の区分についてもお答えください。(○は1つ)

要介護認定の有無については、「受けていない」が89.2%、「要支援1」が6.3%、「要支援2」が2.7%となっています。



#### 【要支援認定の有無 年齢別】

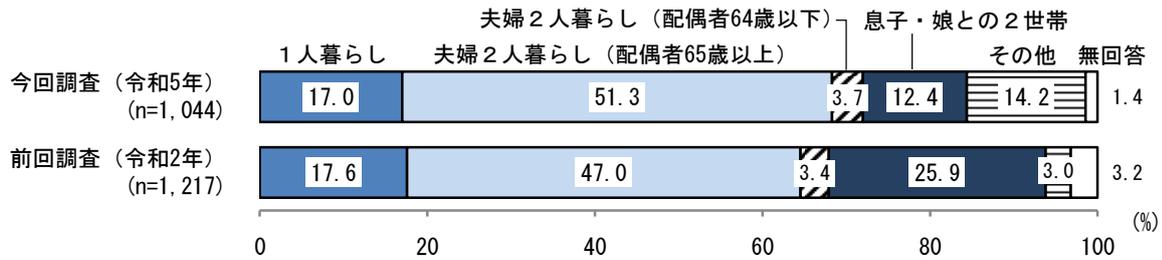


〔5〕家族構成

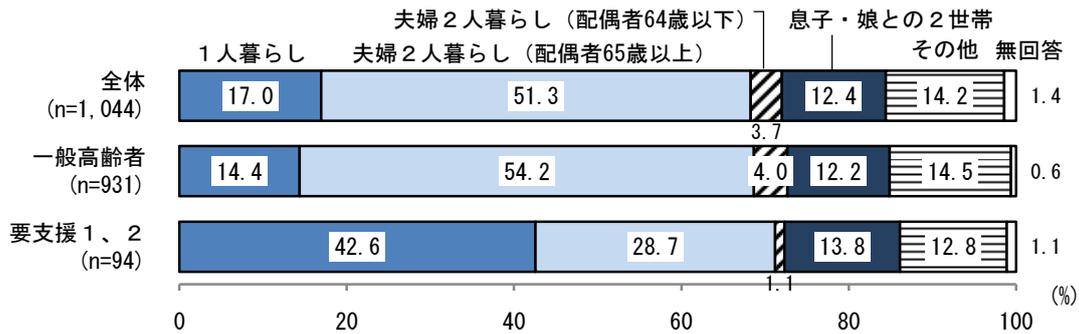
問1(5) 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が51.3%と最も多く、次いで、「1人暮らし」が17.0%、「息子・娘との2世帯」が12.4%となっています。前回調査に比べて、「息子・娘との2世帯」が13.5ポイント減少しています。

認定状況別にみると、要支援1、2の方の「1人暮らし」が4割強と多くなっています。



【家族構成 認定状況別】



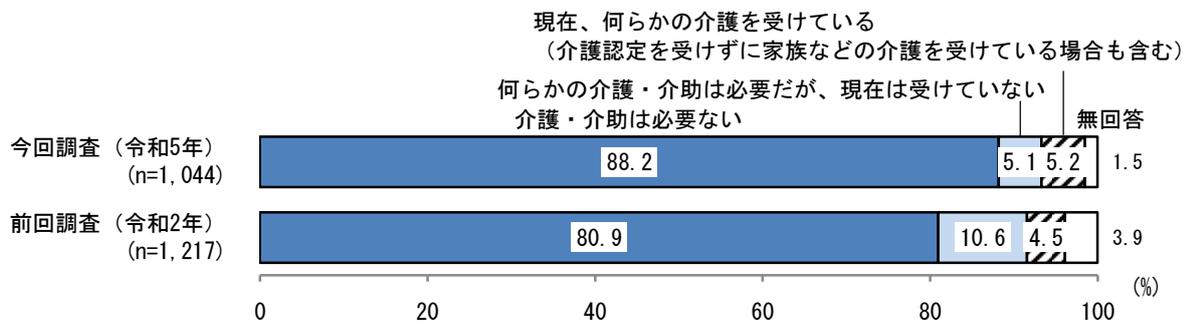
## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### [6] 介護・介助の必要性

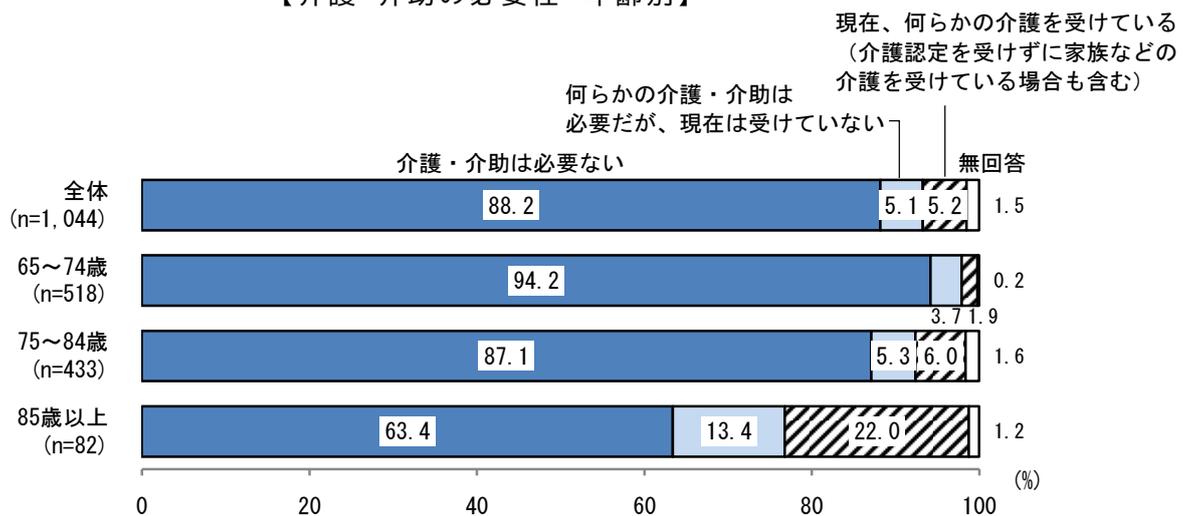
問1(6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

介護・介助の必要性は、「介護・介助の必要はない」が88.2%で、介護・介助の必要な人は合計10.3%となっています。

年齢別にみると、85歳以上では介護・介助の必要な人が合計35.4%となっています。



#### 【介護・介助の必要性 年齢別】

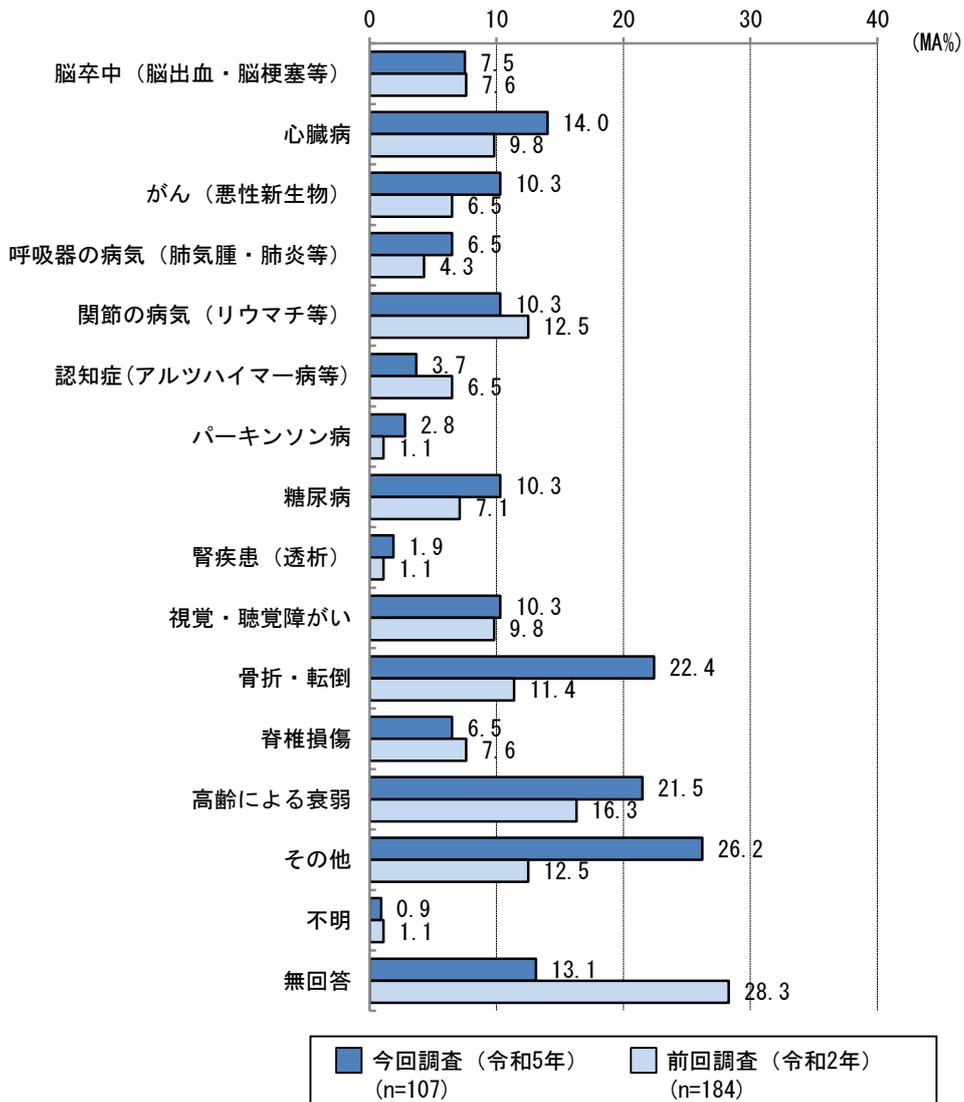


〔7〕介護・介助が必要になった主な原因

【問1(6)で「1. 介護・介助は必要ない」以外を回答した方のみ】

問1(6)① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因は、「骨折・転倒」が22.4%と最も多く、次いで、「高齢による衰弱」が21.5%、「心臓病」が14.0%となっています。前回調査に比べて、「骨折・転倒」が11.0ポイント増加しています。



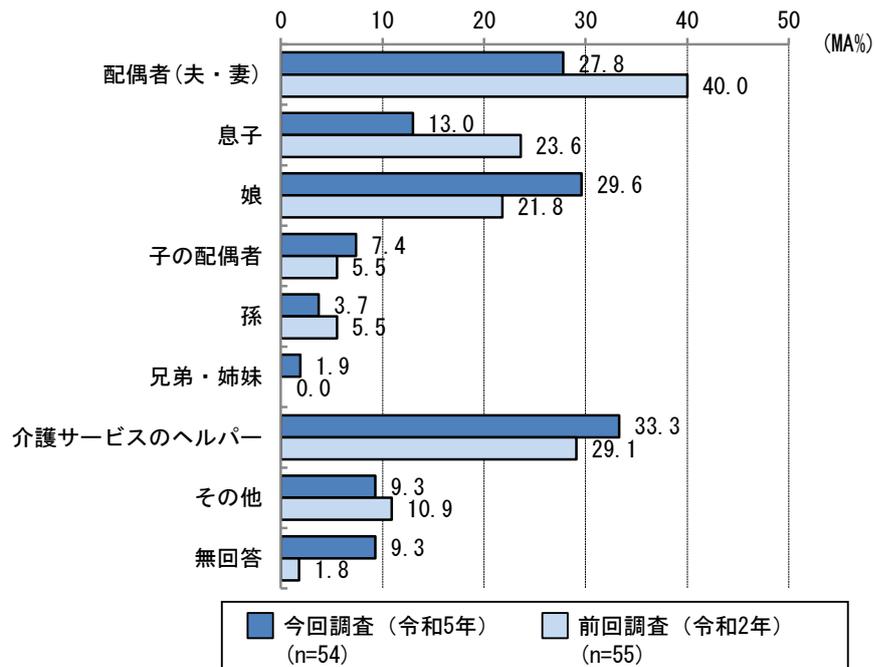
## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 〔8〕主な介護・介助者

【問1(6)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方のみ】

問1(6) ②主にどなたの介護・介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

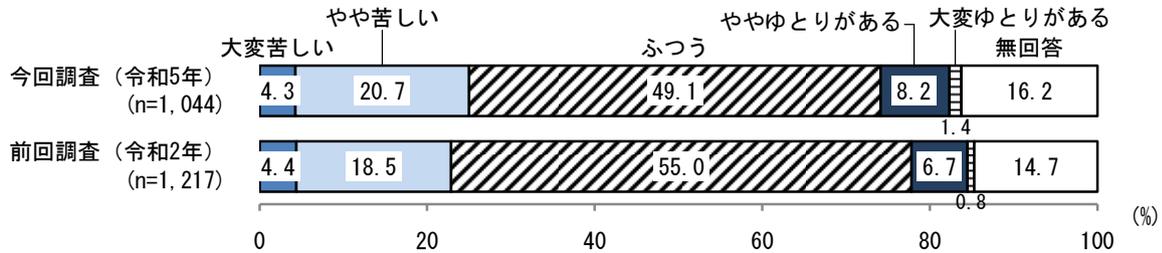
主な介護・介助者は、「介護サービスのヘルパー」が33.3%と最も多く、次いで、「娘」が29.6%、「配偶者(夫・妻)」が27.8%となっています。前回調査に比べて、「娘」が7.8ポイント増加し、「配偶者(夫・妻)」が12.2ポイント、「息子」が10.6ポイント減少しています。



〔9〕現在の暮らしの状況

問1(7) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

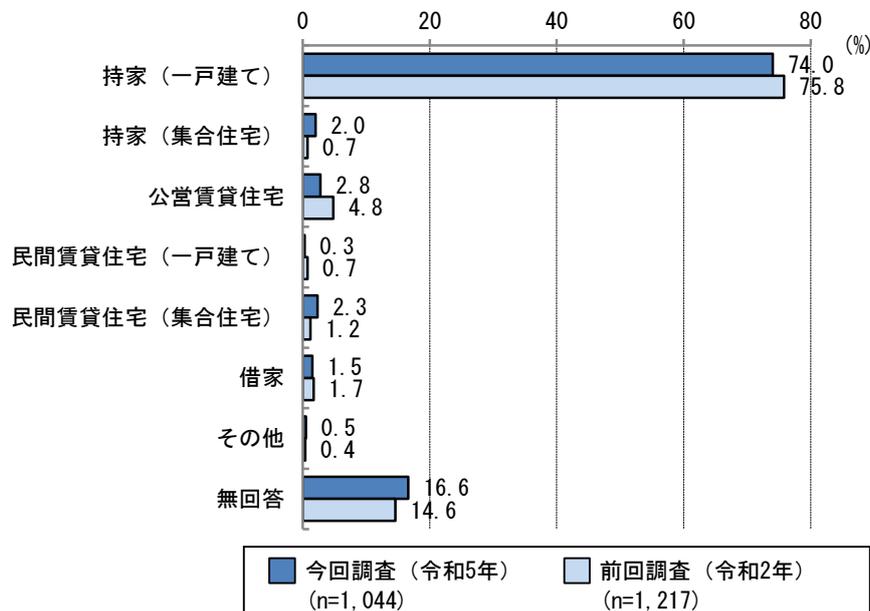
経済状況は、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』が25.0%、「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』が9.6%となっています。



〔10〕住居形態

問1(8) お住まいは一人暮らし、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

住まいの形態は、「持家（一人暮らし）」が74.0%と最も多くなっています。

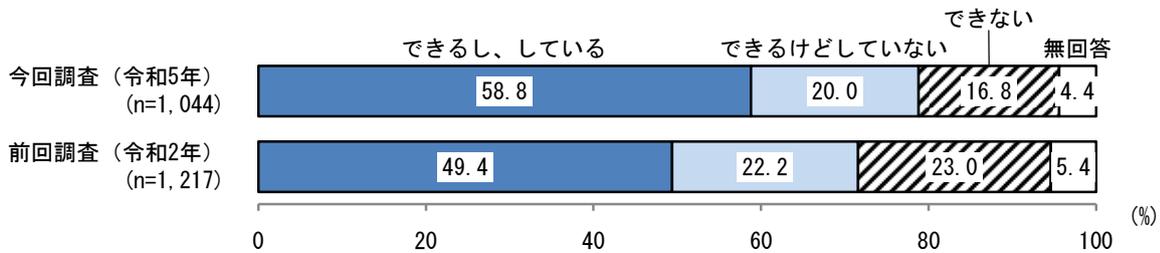


## 2. からだを動かすことについて

### 〔1〕運動機能の状況

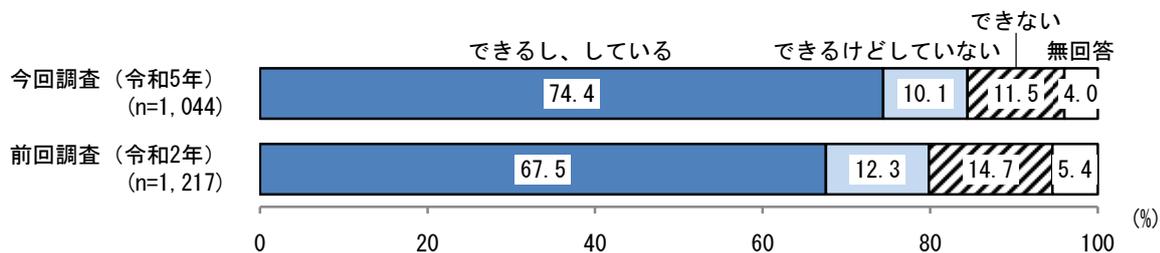
問2(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

階段を手すりや壁をつたわず昇っているかについては、「できるし、している」が58.8%と多くなっています。



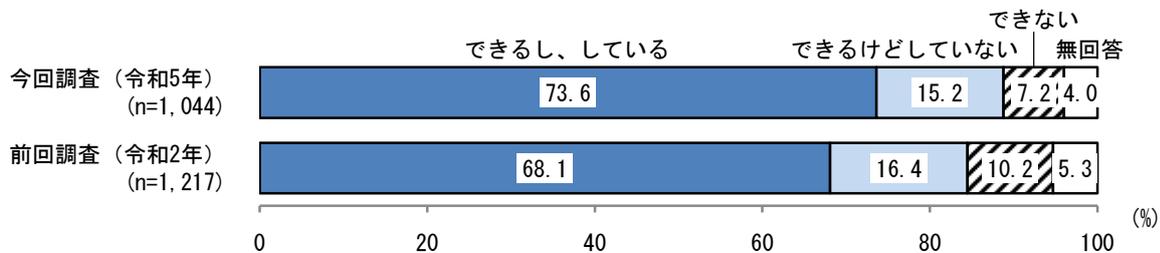
問2(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が74.4%と多くなっています。



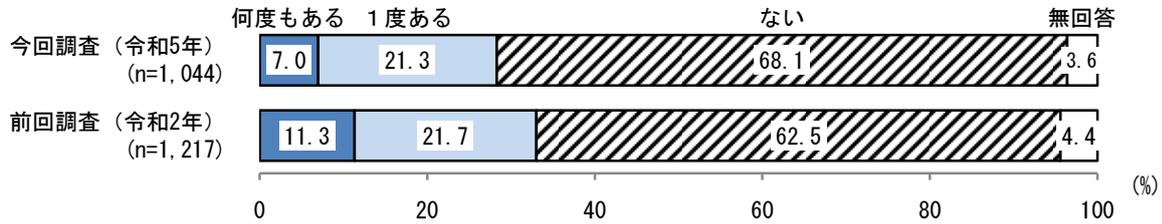
問2(3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が73.6%と多くなっています。



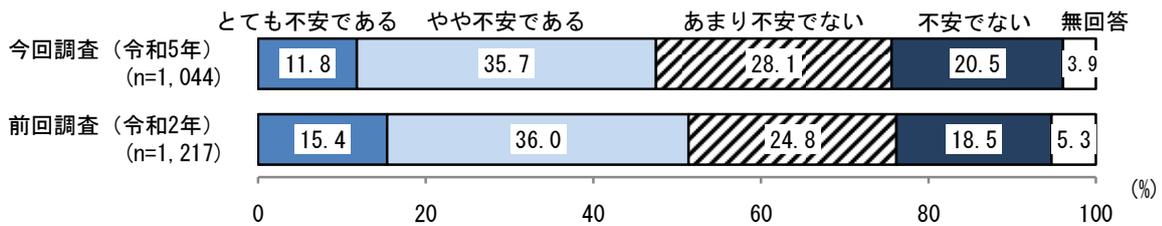
問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が68.1%と多く、「何度もある」と「1度ある」は合計28.3%となっています。



問2(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

転倒に対する不安は、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』が47.5%となっています。



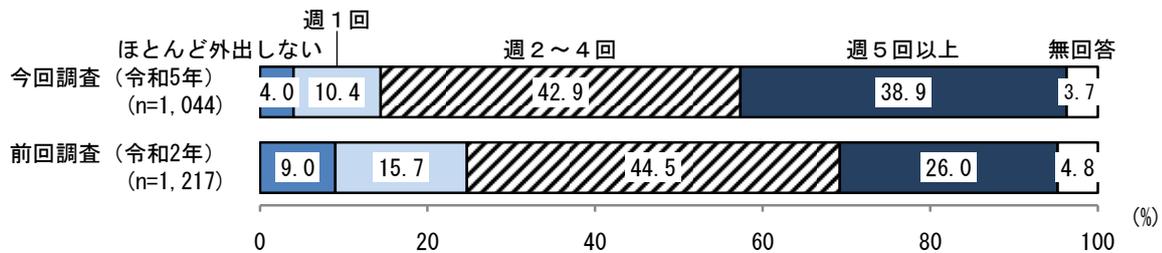
## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 〔2〕1週間の外出回数

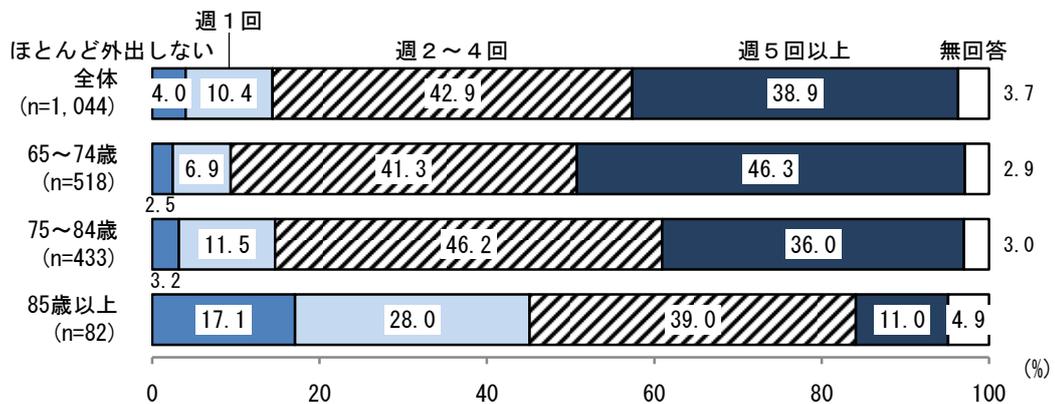
問2(6) 週に1回以上は外出していますか(○は1つ)

外出の頻度は、「週2～4回」が42.9%と最も多くなっています。

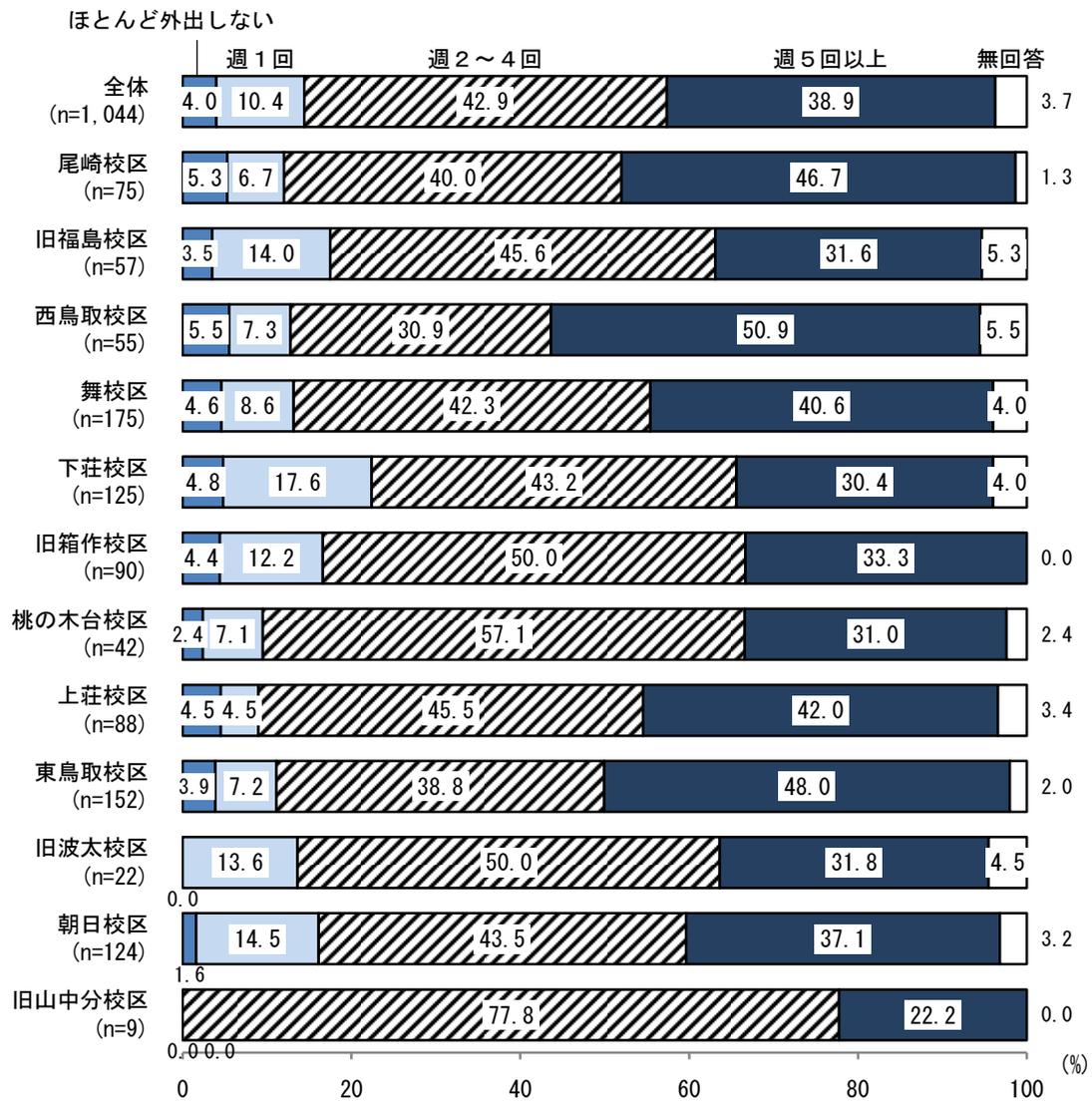
年齢別にみると、85歳以上では、『週1回以下』（「週1回」と「ほとんど外出しない」の合計）が45.1%となっており、小学校区別にみると、下荘校区では『週1回以下』が22.4%と、他の地区に比べて多くなっています。



【1週間の外出回数 年齢別】



【1週間の外出回数 小学校区別】



※旧波太校区、旧山中分校区は回答者数が少ないため、他の地区より割合が高くなっている場合があります。(以下同様)

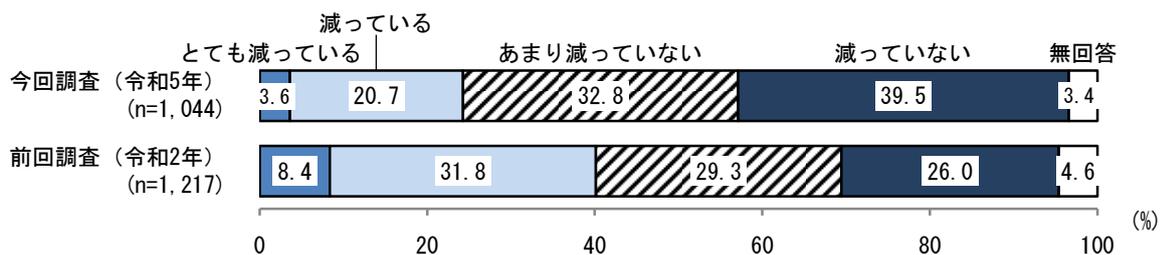
## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 〔3〕外出回数の増減

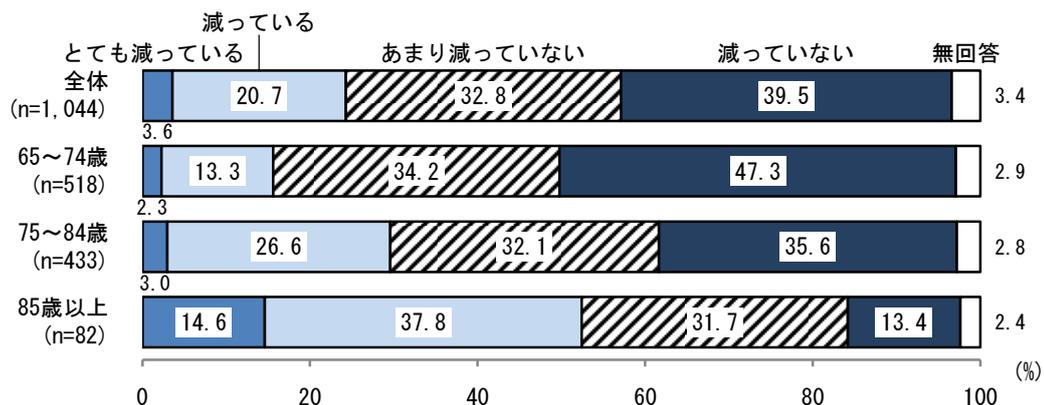
問2(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(○は1つ)

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』が24.3%、「減っていない」と「あまり減っていない」を合わせた『減っていない』が72.3%となっています。前回調査に比べて、『減っていない』が17.0ポイント増加しています。

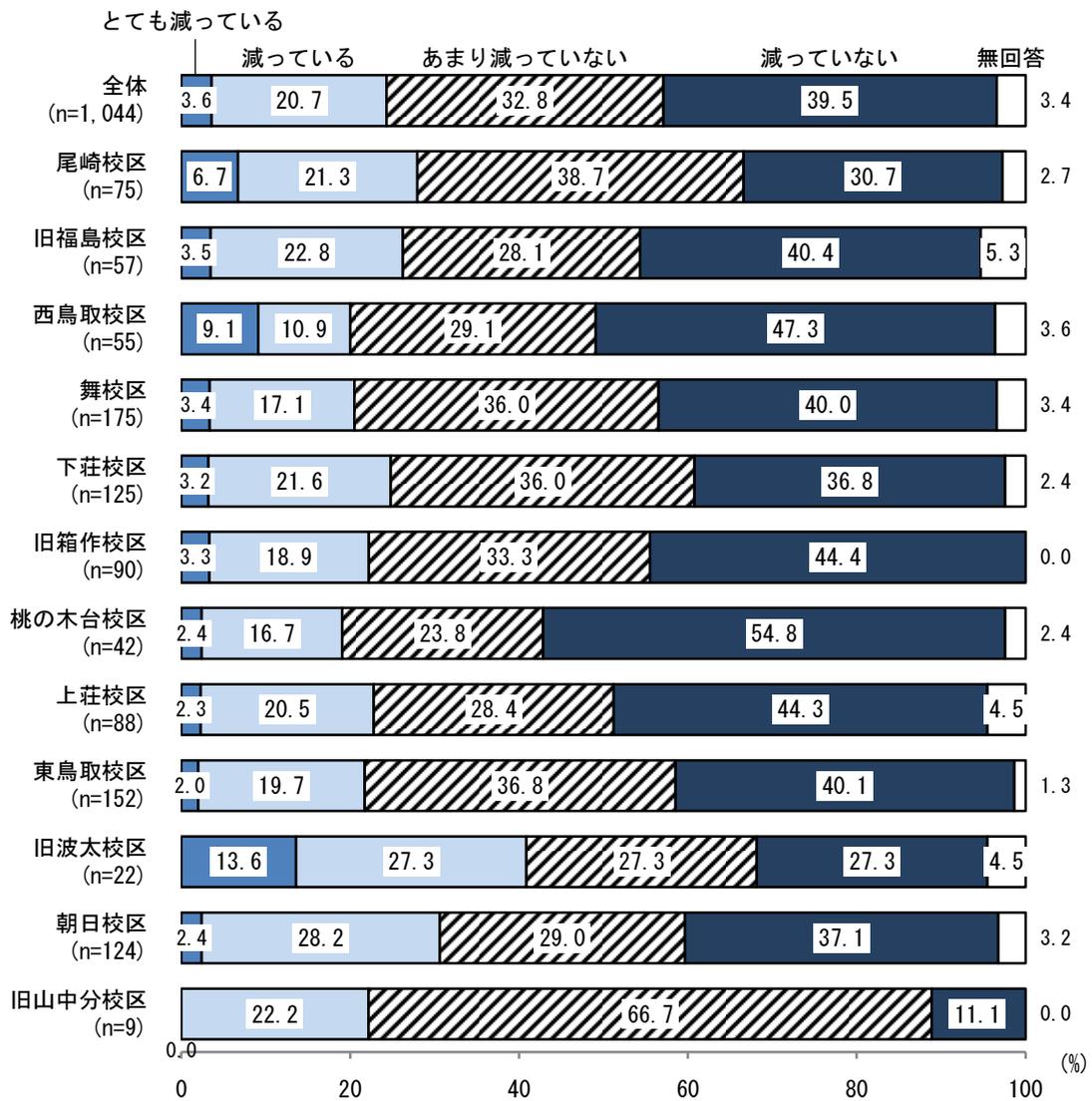
年齢別にみると、85歳以上では、『減っている』が52.4%と半数を占めています。小学校区別にみると、『減っている』は旧波太校区で40.9%と他の地区に比べて多く、西鳥取校区では「かなり減っている」が1割ほどみられます。



【外出回数の増減 年齢別】



【外出回数の増減 小学校区別】



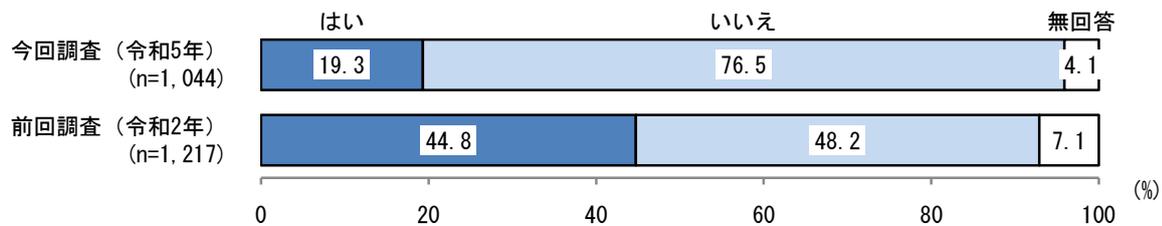
## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### [4]外出控えの状況

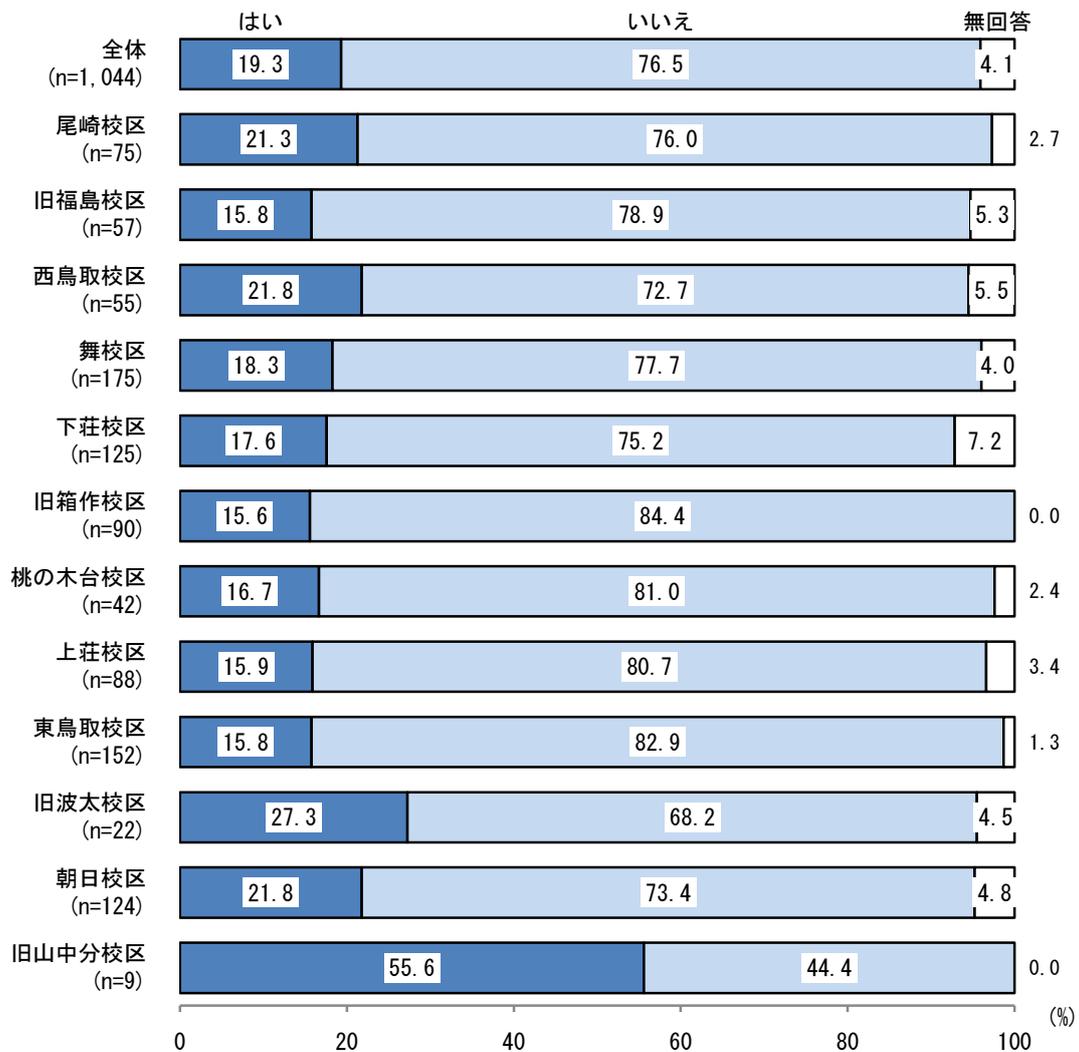
問2(8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

外出を控えているかについては、「控えている（はい）」が19.3%、「いいえ」が76.5%となっています。前回調査に比べて、「はい」が25.5ポイント減少しています。

小学校区別にみると、「控えている（はい）」は旧波太校区で27.3%、旧山中分校区で55.6%と他の地区より多くなっています。



#### 【外出控えの状況 小学校区別】



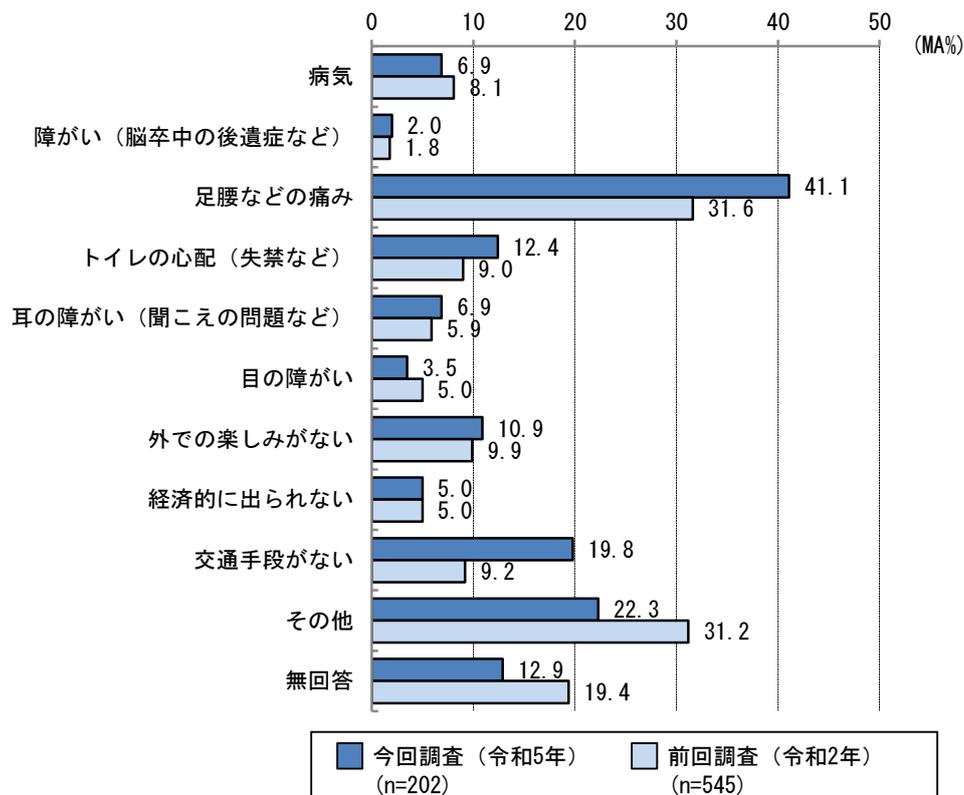
〔5〕外出を控えている理由

【問2(8)で「1. はい(外出を控えている)」と回答した方のみ】

問2(8) ①外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が41.1%と最も多く、次いで、「交通手段がない」が19.8%、「トイレの心配(失禁など)」が12.4%となっています。前回調査に比べて、「交通手段がない」が10.6ポイント増加しています。

年齢別にみると、「交通手段がない」は85歳以上で32.6%となっており、認定状況別にみると、要支援1、2で28.8%となっています。また、小学校区別にみると、朝日校区で33.3%、舞校区で28.1%と多くなっています。



Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【外出を控えている理由 年齢別・認定状況別・小学校区別】

(MA%)

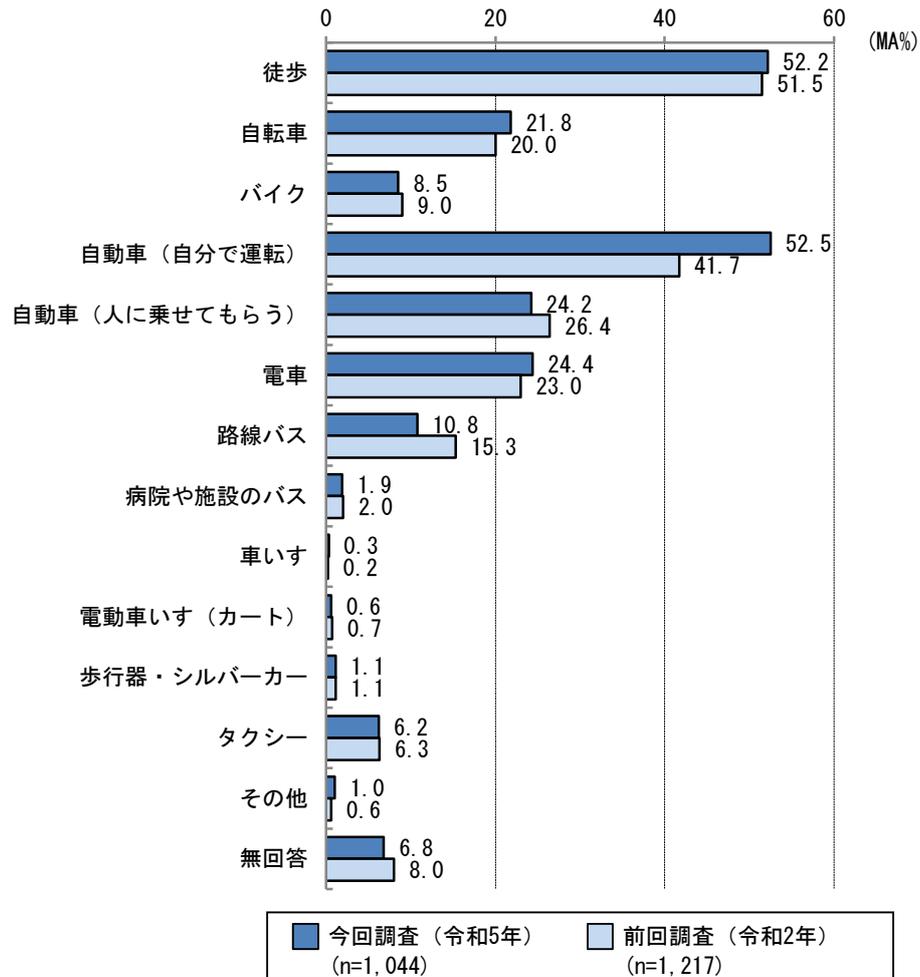
		n	病 気	後 遺 症 な ど ( 脳 卒 中 の )	足 腰 な ど の 痛 み	禁 ト イ レ の 心 配 ( 失 禁 な ど )	え 耳 の 問 題 な ど ( 聞 こ え の 問 題 な ど )	目 の 障 が い	い 外 で の 楽 し み が な い	い 経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答
全体		202	14	4	<b>83</b>	25	14	7	22	10	40	45	26
		100	6.9	2.0	<b>41.1</b>	12.4	6.9	3.5	10.9	5.0	19.8	22.3	12.9
年 齢 別	65～74歳	62	4	2	<b>22</b>	4	0	0	9	6	6	18	9
		100	6.5	3.2	<b>35.5</b>	6.5	0	0	14.5	9.7	9.7	29.0	14.5
	75～84歳	91	7	1	<b>38</b>	15	11	4	10	4	19	21	10
	100	7.7	1.1	<b>41.8</b>	16.5	12.1	4.4	11.0	4.4	20.9	23.1	11.0	
	85歳以上	43	3	1	<b>18</b>	6	2	2	3	0	14	6	7
	100	7.0	2.3	<b>41.9</b>	14.0	4.7	4.7	7.0	0	32.6	14.0	16.3	
状 況 別	一般高齢者	142	11	2	<b>47</b>	12	9	2	16	8	23	38	24
	100	7.7	1.4	<b>33.1</b>	8.5	6.3	1.4	11.3	5.6	16.2	26.8	16.9	
	要支援1、2	52	3	2	<b>31</b>	13	4	4	5	2	15	7	2
	100	5.8	3.8	<b>59.6</b>	25.0	7.7	7.7	9.6	3.8	28.8	13.5	3.8	
尾 崎 地 区	尾崎校区	16	0	0	<b>4</b>	1	0	0	0	2	3	2	5
	100	0	0	<b>25.0</b>	6.3	0	0	0	12.5	18.8	12.5	31.3	
	(旧)福島校区	9	0	0	<b>5</b>	0	0	1	1	0	1	2	0
	100	0	0	<b>55.6</b>	0	0	11.1	11.1	0	11.1	22.2	0	
西 鳥 取 地 区	西鳥取校区	12	2	0	<b>7</b>	0	0	0	1	1	1	0	2
	100	16.7	0	<b>58.3</b>	0	0	0	8.3	8.3	8.3	0	16.7	
	舞校区	32	2	0	<b>10</b>	8	3	1	4	1	9	12	2
	100	6.3	0	<b>31.3</b>	25.0	9.4	3.1	12.5	3.1	28.1	37.5	6.3	
下 荘 地 区	下荘校区	22	2	0	<b>6</b>	1	3	1	3	0	4	5	5
	100	9.1	0	<b>27.3</b>	4.5	13.6	4.5	13.6	0	18.2	22.7	22.7	
	(旧)箱作校区	14	1	1	<b>7</b>	2	1	0	2	0	2	2	2
	100	7.1	7.1	<b>50.0</b>	14.3	7.1	0	14.3	0	14.3	14.3	14.3	
	桃の木台校区	7	1	0	<b>2</b>	0	0	0	1	0	1	1	2
	100	14.3	0	<b>28.6</b>	0	0	0	14.3	0	14.3	14.3	28.6	
東 鳥 取 地 区	上荘校区	14	1	0	<b>7</b>	3	0	0	3	1	3	3	2
	100	7.1	0	<b>50.0</b>	21.4	0	0	21.4	7.1	21.4	21.4	14.3	
	東鳥取校区	24	2	1	<b>15</b>	4	4	2	4	2	4	5	0
	100	8.3	4.2	<b>62.5</b>	16.7	16.7	8.3	16.7	8.3	16.7	20.8	0	
	(旧)波太校区	6	1	0	<b>2</b>	<b>2</b>	0	0	1	1	1	0	1
	100	16.7	0	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	0	0	16.7	16.7	16.7	0	16.7	
朝日校区	27	2	1	<b>12</b>	3	2	0	2	1	9	5	5	
100	7.4	3.7	<b>44.4</b>	11.1	7.4	0	7.4	3.7	33.3	18.5	18.5		
	(旧)山中分校	5	0	0	<b>0</b>	0	0	0	0	<b>1</b>	<b>1</b>	3	0
	100	0	0	<b>0</b>	0	0	0	0	<b>20.0</b>	<b>20.0</b>	60.0	0	

[6]外出する際の移動手段

問2(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が52.5%と最も多く、次いで、「徒歩」が52.2%となっています。

年齢別では85歳以上で、認定状況別では要支援1、2の方で、「徒歩」、「自動車（人に乗せてもらう）」、「タクシー」が多くなっています。小学校区別にみると、尾崎校区や上荘校区では「自転車」、西鳥取校区では「自動車（人に乗せてもらう）」、(旧)波太地区では「タクシー」が、他の地区に比べて多くなっています。



Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

【外出する際の移動手段 年齢別・認定状況別・小学校区別】

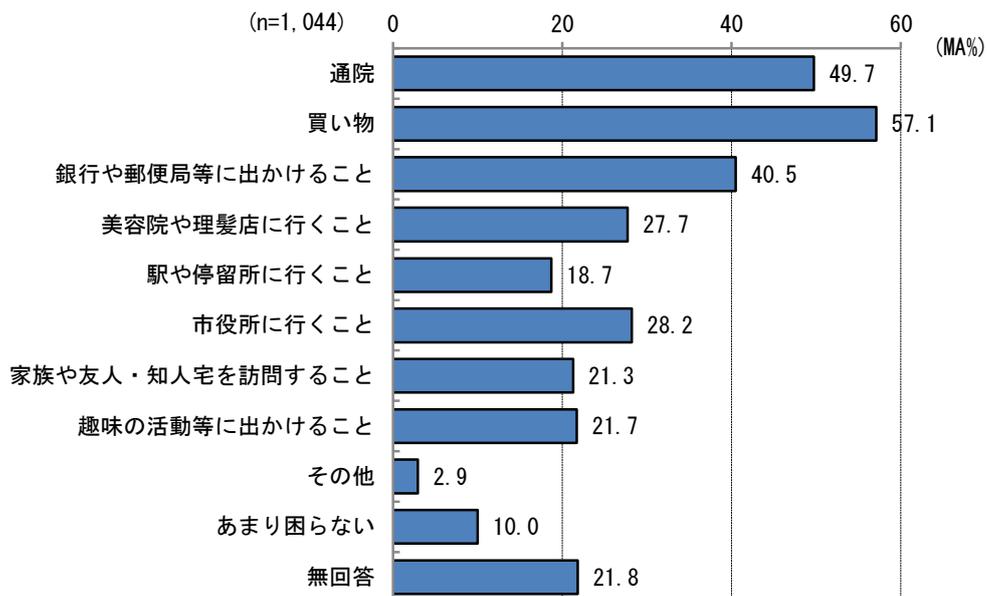
		(MA%)														
		n	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		1,044	545	228	89	<b>548</b>	253	255	113	20	3	6	11	65	10	71
		100	52.2	21.8	8.5	<b>52.5</b>	24.2	24.4	10.8	1.9	0.3	0.6	1.1	6.2	1.0	6.8
年齢別	65～74歳	518	292	112	59	<b>331</b>	111	136	41	2	1	2	1	14	1	37
		100	56.4	21.6	11.4	<b>63.9</b>	21.4	26.3	7.9	0.4	0.2	0.4	0.2	2.7	0.2	7.1
	75～84歳	433	<b>214</b>	104	28	204	111	103	55	16	1	1	5	27	4	28
	100	<b>49.4</b>	24.0	6.5	47.1	25.6	23.8	12.7	3.7	0.2	0.2	1.2	6.2	0.9	6.5	
	85歳以上	82	<b>36</b>	11	1	9	30	15	15	2	1	3	5	22	5	5
	100	<b>43.9</b>	13.4	1.2	11.0	36.6	18.3	18.3	2.4	1.2	3.7	6.1	26.8	6.1	6.1	
認定状況別	一般高齢者	931	502	217	85	<b>525</b>	215	240	89	12	0	2	1	42	7	65
		100	53.9	23.3	9.1	<b>56.4</b>	23.1	25.8	9.6	1.3	0	0.2	0.1	4.5	0.8	7.0
	要支援1、2	94	<b>36</b>	9	2	17	35	12	17	7	3	4	10	19	3	5
	100	<b>38.3</b>	9.6	2.1	18.1	37.2	12.8	18.1	7.4	3.2	4.3	10.6	20.2	3.2	5.3	
尾崎地区	尾崎校区	75	<b>45</b>	38	4	27	18	24	6	0	0	0	2	3	0	2
		100	<b>60.0</b>	50.7	5.3	36.0	24.0	32.0	8.0	0	0	0	2.7	4.0	0	2.7
	(旧)福島校区	57	<b>33</b>	21	2	21	16	11	4	1	0	0	0	7	1	10
	100	<b>57.9</b>	36.8	3.5	36.8	28.1	19.3	7.0	1.8	0	0	0	12.3	1.8	17.5	
西鳥取地区	西鳥取校区	55	<b>29</b>	15	6	24	20	17	1	0	1	0	1	4	0	5
		100	<b>52.7</b>	27.3	10.9	43.6	36.4	30.9	1.8	0	1.8	0	1.8	7.3	0	9.1
	舞校区	175	<b>97</b>	10	21	92	48	39	22	5	0	1	0	14	3	12
	100	<b>55.4</b>	5.7	12.0	52.6	27.4	22.3	12.6	2.9	0	0.6	0	8.0	1.7	6.9	
下荘地区	下荘校区	125	68	27	8	<b>71</b>	30	34	16	6	0	1	2	3	0	8
		100	54.4	21.6	6.4	<b>56.8</b>	24.0	27.2	12.8	4.8	0	0.8	1.6	2.4	0	6.4
	(旧)箱作校区	90	42	9	6	<b>52</b>	26	27	14	3	0	3	1	7	0	4
	100	46.7	10.0	6.7	<b>57.8</b>	28.9	30.0	15.6	3.3	0	3.3	1.1	7.8	0	4.4	
	桃の木台校区	42	22	4	0	<b>26</b>	9	10	9	0	0	0	0	1	2	1
	100	52.4	9.5	0	<b>61.9</b>	21.4	23.8	21.4	0	0	0	0	2.4	4.8	2.4	
東鳥取地区	上荘校区	88	<b>56</b>	43	2	42	19	26	2	0	1	1	1	4	0	7
		100	<b>63.6</b>	48.9	2.3	47.7	21.6	29.5	2.3	0	1.1	1.1	1.1	4.5	0	8.0
	東鳥取校区	152	75	31	25	<b>95</b>	36	26	17	1	0	0	2	9	1	6
		100	49.3	20.4	16.4	<b>62.5</b>	23.7	17.1	11.2	0.7	0	0	1.3	5.9	0.7	3.9
	(旧)波太校区	22	<b>11</b>	8	1	5	1	3	5	1	0	0	1	4	0	3
	100	<b>50.0</b>	36.4	4.5	22.7	4.5	13.6	22.7	4.5	0	0	4.5	18.2	0	13.6	
	朝日校区	124	51	12	11	<b>75</b>	25	31	13	3	0	0	0	6	3	11
	100	41.1	9.7	8.9	<b>60.5</b>	20.2	25.0	10.5	2.4	0	0	0	4.8	2.4	8.9	
	(旧)山中分校	9	4	2	0	<b>9</b>	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0
	100	44.4	22.2	0	<b>100.0</b>	0	44.4	11.1	0	0	0	0	0	0	0	0

〔7〕移動手段が利用できない場合に困ること

問2(10) (9)でお答えいただいたような移動手段が利用できない場合、どのようなことに困りますか。(○はいくつでも)

移動手段が利用できない場合に困ることは、「買い物」が57.1%と最も多く、次いで、「通院」が49.7%、「銀行や郵便局等に出かけること」が40.5%となっています。

小学校区別にみると、「美容院や理髪店に行くこと」は(旧)箱作校区、(旧)山中分校区が、「駅や停留所に行くこと」は舞校区、(旧)箱作校区、朝日校区が、「市役所に行くこと」は舞校区、桃の木台校区、朝日校区、(旧)山中分校区が、「趣味の活動等に出かけること」は朝日校区、(旧)山中分校区が他の地区に比べて多くなっています。



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【移動手段が利用できない場合に困ること 年齢別・認定状況別・小学校区別】

		n	通院	買い物	出銀行や郵便局等に	行く美容院や理髪店に	駅や停留所に行く	市役所に行くこと	家族や友人・知人を訪問すること	趣味の活動等に出	その他	あまり困らない	無回答
全体		1,044	519 49.7	<b>596</b> <b>57.1</b>	423 40.5	289 27.7	195 18.7	294 28.2	222 21.3	227 21.7	30 2.9	104 10.0	228 21.8
年齢別	65～74歳	518	238 45.9	<b>314</b> <b>60.6</b>	225 43.4	145 28.0	103 19.9	148 28.6	119 23.0	121 23.4	17 3.3	53 10.2	112 21.6
	75～84歳	433	228 52.7	<b>237</b> <b>54.7</b>	165 38.1	122 28.2	79 18.2	128 29.6	92 21.2	99 22.9	10 2.3	40 9.2	96 22.2
	85歳以上	82	<b>49</b> <b>59.8</b>	40 48.8	31 37.8	20 24.4	13 15.9	15 18.3	11 13.4	6 7.3	3 3.7	11 13.4	15 18.3
認定状況別	一般高齢者	931	447 48.0	<b>537</b> <b>57.7</b>	376 40.4	256 27.5	172 18.5	256 27.5	201 21.6	213 22.9	28 3.0	95 10.2	208 22.3
	要支援1、2	94	<b>64</b> <b>68.1</b>	49 52.1	43 45.7	30 31.9	22 23.4	32 34.0	19 20.2	12 12.8	2 2.1	6 6.4	15 16.0
尾崎地区	尾崎校区	75	33 44.0	<b>40</b> <b>53.3</b>	27 36.0	19 25.3	11 14.7	17 22.7	14 18.7	13 17.3	2 2.7	11 14.7	14 18.7
	(旧)福島校区	57	27 47.4	<b>31</b> <b>54.4</b>	17 29.8	11 19.3	11 19.3	9 15.8	12 21.1	10 17.5	1 1.8	3 5.3	16 28.1
西鳥取地区	西鳥取校区	55	28 50.9	<b>32</b> <b>58.2</b>	22 40.0	16 29.1	9 16.4	15 27.3	13 23.6	10 18.2	1 1.8	6 10.9	11 20.0
	舞校区	175	94 53.7	<b>109</b> <b>62.3</b>	80 45.7	52 29.7	42 24.0	61 34.9	34 19.4	39 22.3	4 2.3	14 8.0	35 20.0
下荘地区	下荘校区	125	50 40.0	<b>67</b> <b>53.6</b>	51 40.8	31 24.8	19 15.2	34 27.2	25 20.0	26 20.8	3 2.4	16 12.8	33 26.4
	(旧)箱作校区	90	47 52.2	<b>56</b> <b>62.2</b>	42 46.7	34 37.8	21 23.3	27 30.0	13 14.4	23 25.6	2 2.2	8 8.9	17 18.9
	桃の木台校区	42	22 52.4	<b>25</b> <b>59.5</b>	22 52.4	14 33.3	8 19.0	17 40.5	12 28.6	11 26.2	2 4.8	5 11.9	5 11.9
東鳥取地区	上荘校区	88	36 40.9	<b>41</b> <b>46.6</b>	24 27.3	17 19.3	14 15.9	14 15.9	22 25.0	13 14.8	5 5.7	13 14.8	20 22.7
	東鳥取校区	152	79 52.0	<b>86</b> <b>56.6</b>	64 42.1	39 25.7	27 17.8	39 25.7	35 23.0	32 21.1	6 3.9	13 8.6	34 22.4
	(旧)波太校区	22	9 40.9	<b>12</b> <b>54.5</b>	7 31.8	3 13.6	3 13.6	4 18.2	3 13.6	2 9.1	0 0	3 13.6	5 22.7
	朝日校区	124	75 60.5	<b>76</b> <b>61.3</b>	53 42.7	42 33.9	28 22.6	44 35.5	31 25.0	40 32.3	3 2.4	7 5.6	27 21.8
	(旧)山中分校	9	8 88.9	<b>9</b> <b>100.0</b>	8 88.9	7 77.8	1 11.1	8 88.9	6 66.7	5 55.6	0 0	0 0	0 0

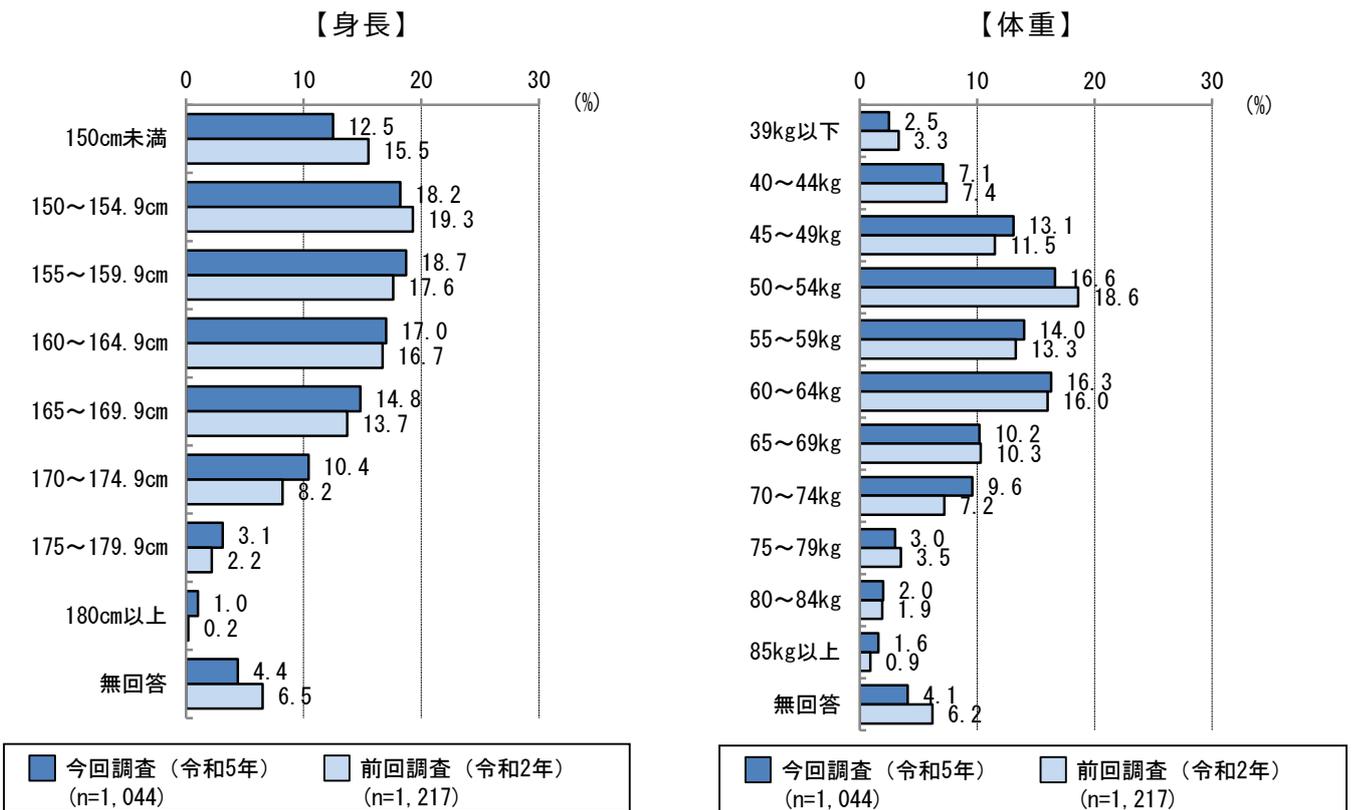
### 3. 食べることについて

#### 〔1〕BMI

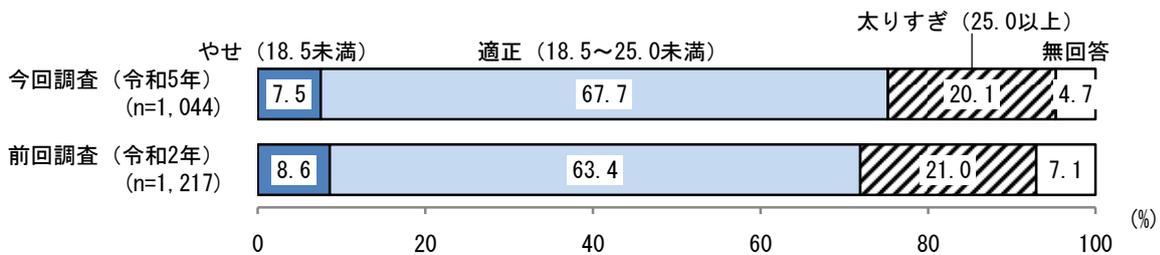
問3(1) 身長・体重(数字を記入)

身長は、「155～159.9cm」が18.7%と多くなっています。体重は、「50～54kg」が16.6%と多くなっています。

BMIは、「やせ(18.5未満)」が7.5%、「適正(18.5～25.0未満)」が67.7%、「太りすぎ(25.0以上)」が20.1%となっています。



#### 【BMI】



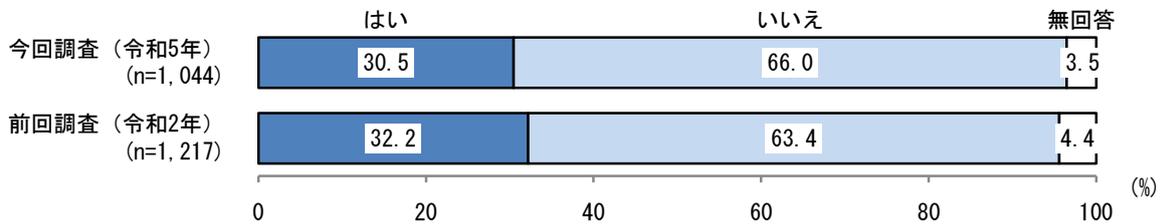
※BMIとは、Body Mass Indexの略で、肥満度を表す指標のことです。

## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 〔2〕口腔機能の状況

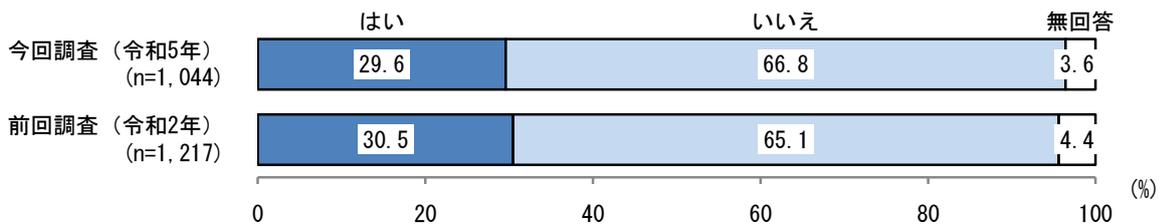
問3(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が30.5%、「いいえ」が66.0%となっています。



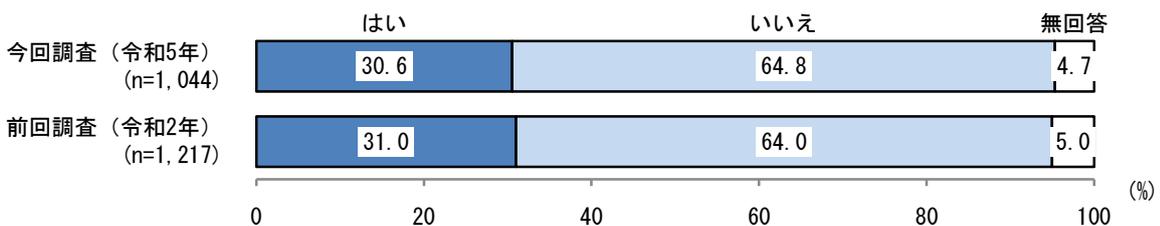
問3(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が29.6%、「いいえ」が66.8%となっています。



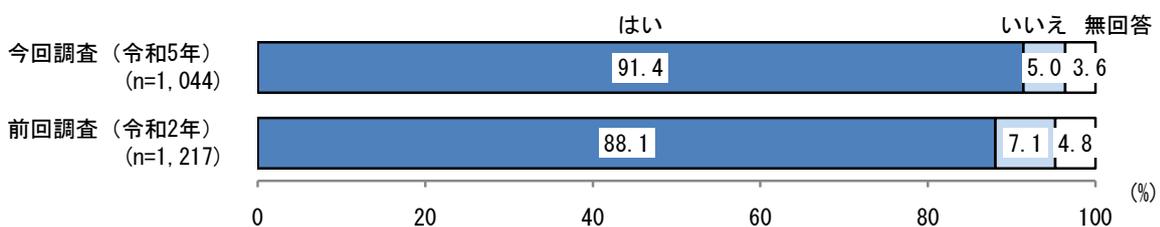
問3(4) 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

口の渇きが気になるかについては、「はい」が30.6%、「いいえ」が64.8%となっています。



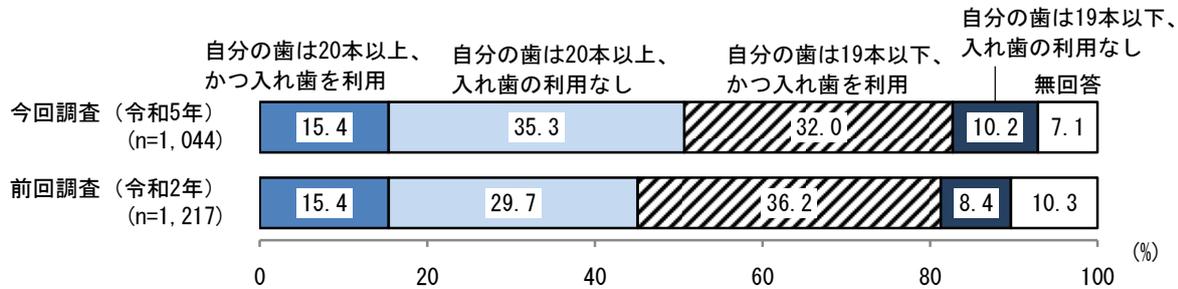
問3(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(○は1つ)

歯磨きを毎日しているかについては、「はい」が91.4%、「いいえ」が5.0%となっています。



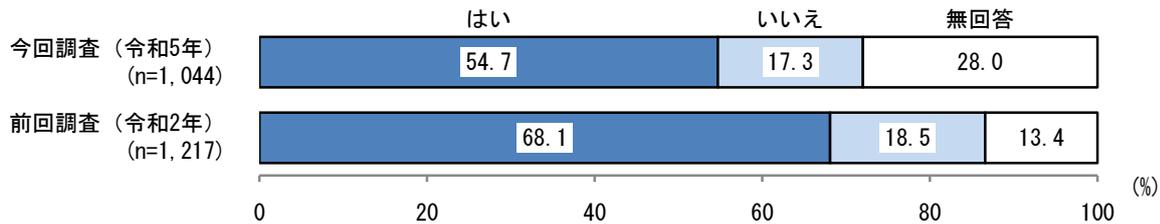
問3(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(○は1つ)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が35.3%と最も多く、次いで、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が32.0%となっています。『自分の歯は20本以上』は合計50.7%、『入れ歯を利用』は合計47.4%となっています。



問3(6) ①噛み合わせは良いですか(○は1つ)

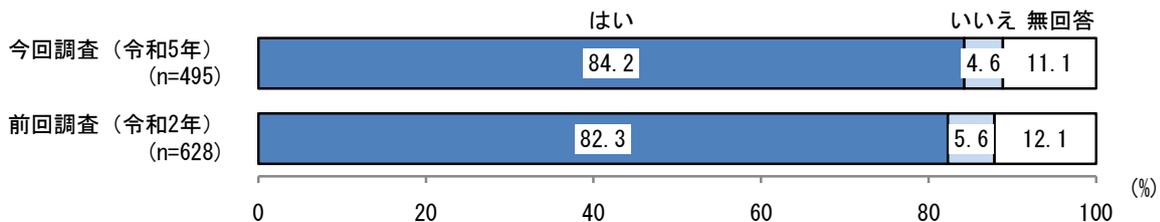
噛み合わせは良いかについては、「はい」が54.7%、「いいえ」が17.3%となっています。



【問3(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方のみ】

問3(6)② 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

毎日入れ歯の手入れをしているかについては、「はい」が84.2%、「いいえ」が4.6%となっています。

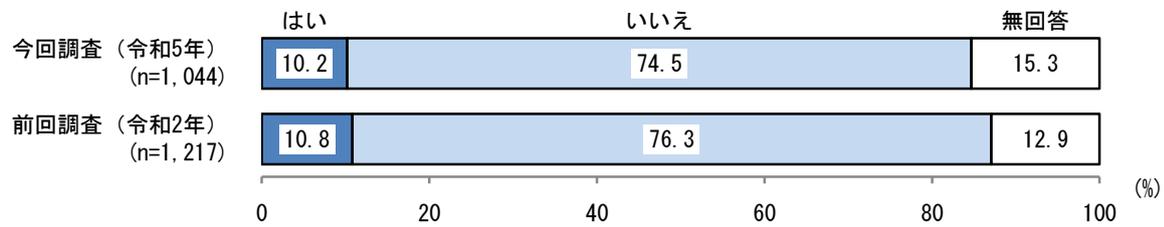


## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 〔3〕体重減少の有無

問3(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

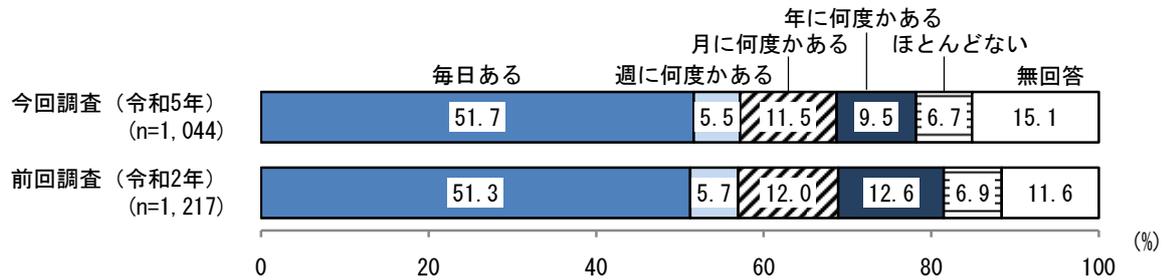
6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「はい」が10.2%、「いいえ」が74.5%となっています。



### 〔4〕共食の状況

問3(8) どなたかと食事をともにする機会がありますか。(○は1つ)

共食の状況は、「毎日ある」が51.7%と最も多く、「週に何度かある」の5.5%、「月に何度かある」の11.5%と合わせて7割近く（68.7%）の人が、月に数回以上誰かと食事をともにしています。

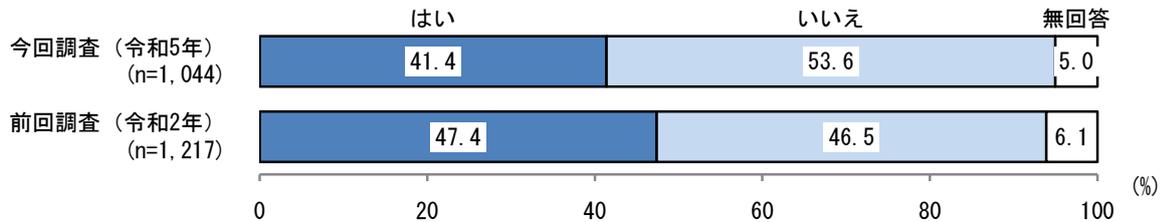


## 4. 毎日の生活について

### 〔1〕認知機能の状況

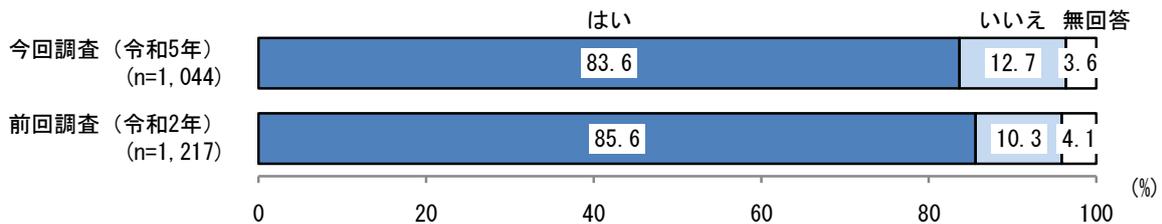
問4(1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が41.4%、「いいえ」が53.6%となっています。



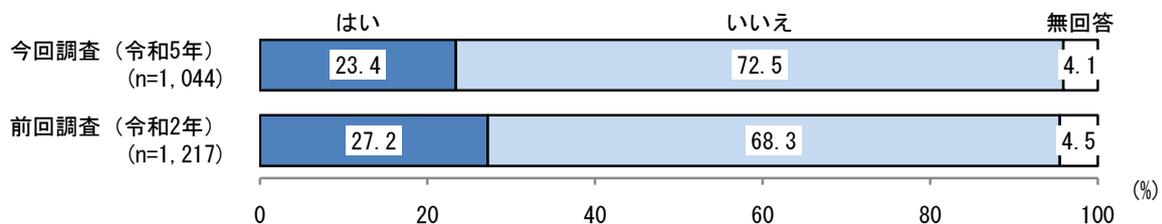
問4(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、「はい」が83.6%、「いいえ」が12.7%となっています。



問4(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

今日が何月何日かわからない時があるかについては、「はい」が23.4%、「いいえ」が72.5%となっています。

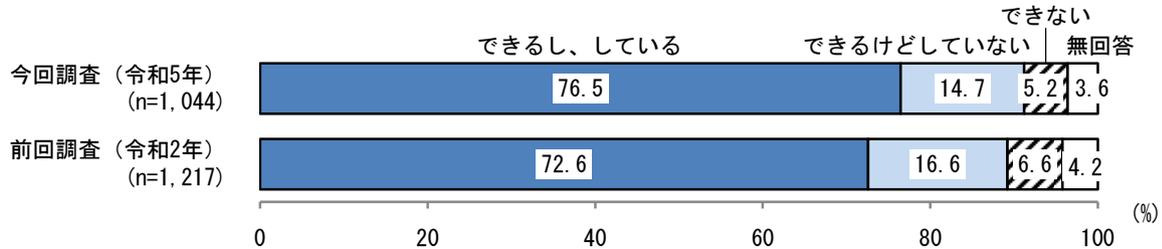


## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 〔2〕手段的日常生活動作の状況

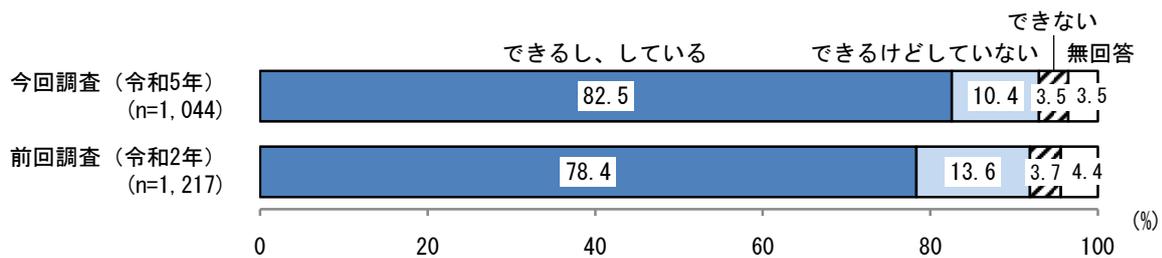
問4(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)  
(○は1つ)

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が76.5%、「できるけどしていない」が14.7%、「できない」が5.2%となっています。



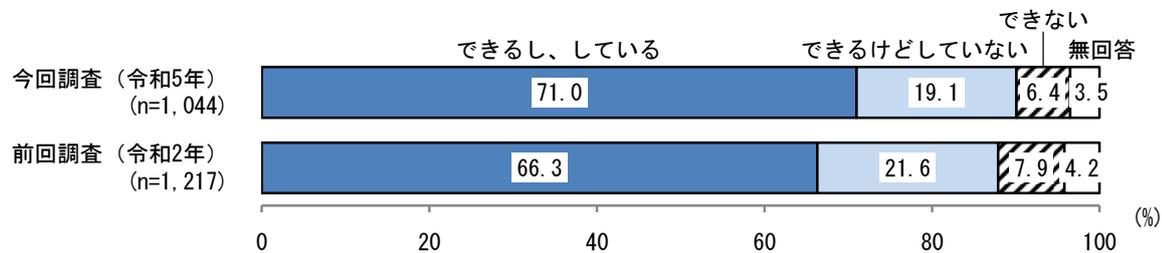
問4(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が82.5%、「できるけどしていない」が10.4%、「できない」が3.5%となっています。



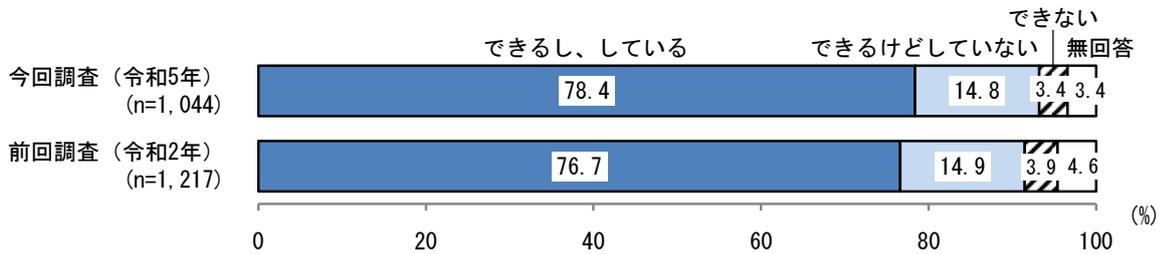
問4(6) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が71.0%、「できるけどしていない」が19.1%、「できない」が6.4%となっています。



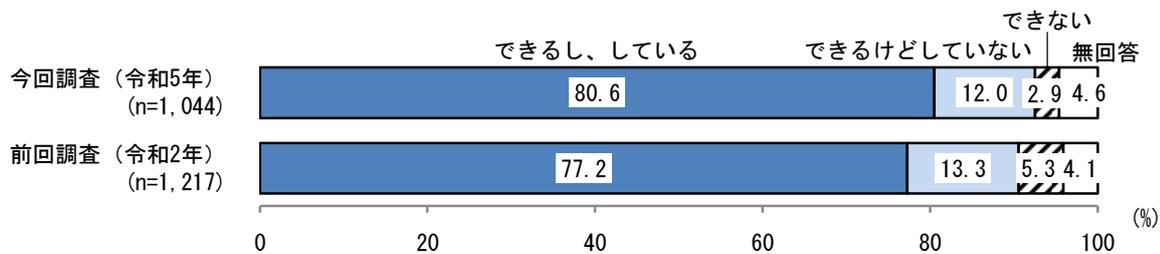
問4(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が78.4%、「できるけどしていない」が14.8%、「できない」が3.4%となっています。



問4(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が80.6%、「できるけどしていない」が12.0%、「できない」が2.9%となっています。

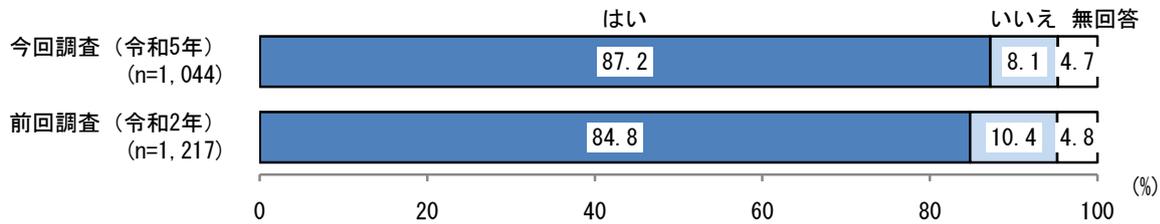


## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 〔3〕知的能動性の状況

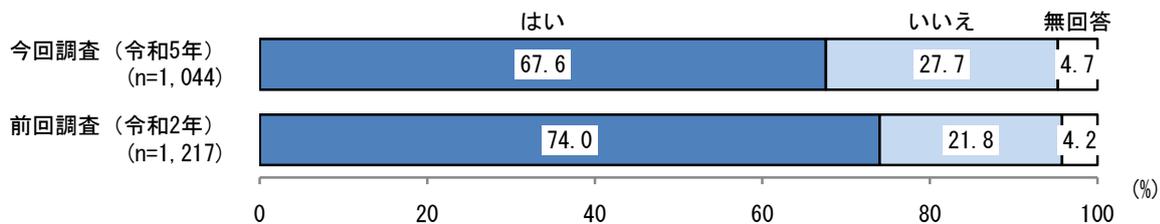
問4(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)

年金などの書類が書けるかについてみると、「はい」が87.2%、「いいえ」が8.1%となっています。



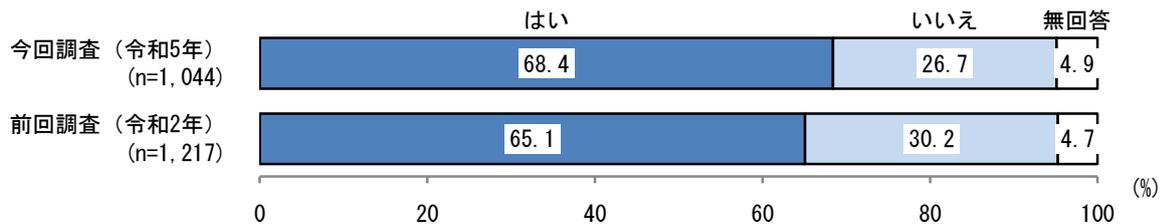
問4(10) 新聞を読んでいますか。(○は1つ)

新聞を読んでいるかについては、「はい」が67.6%、「いいえ」が27.7%となっています。



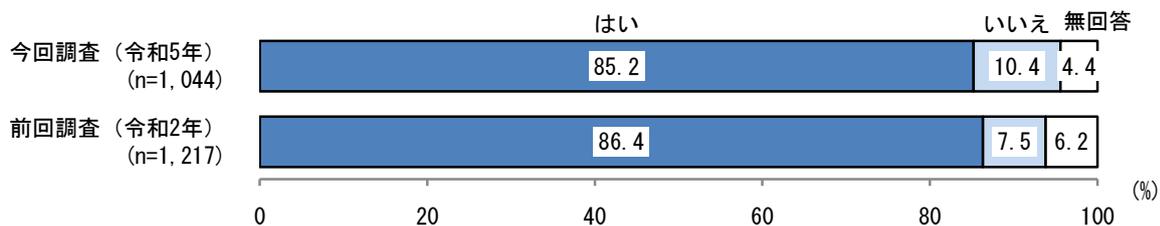
問4(11) 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が68.4%、「いいえ」が26.7%となっています。



問4(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

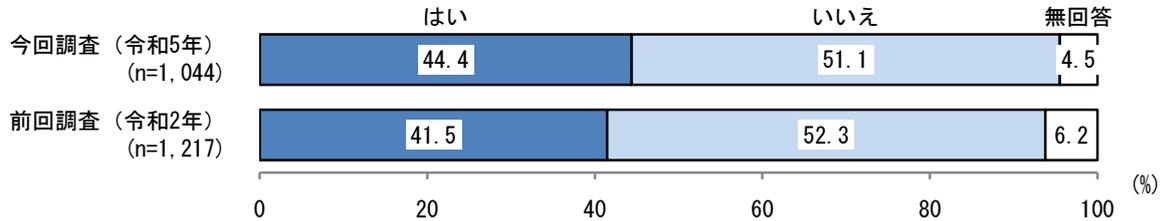
健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が85.2%、「いいえ」が10.4%となっています。



[4] 他者との関わりの状況

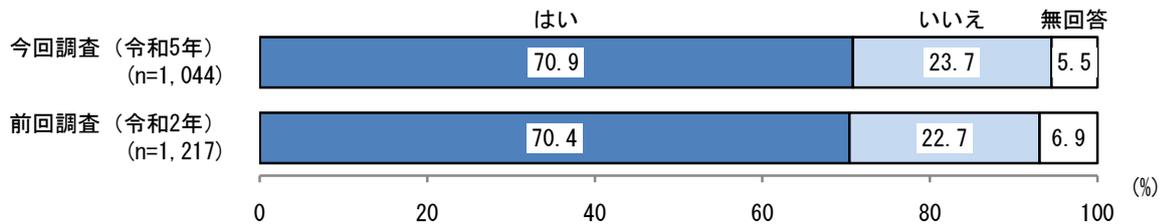
問4(13) 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

友人の家を訪ねているかについては、「はい」が44.4%、「いいえ」が51.1%となっています。



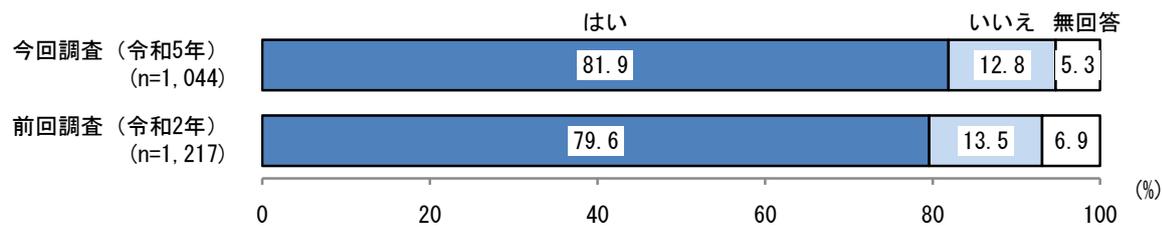
問4(14) 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が70.9%、「いいえ」が23.7%となっています。



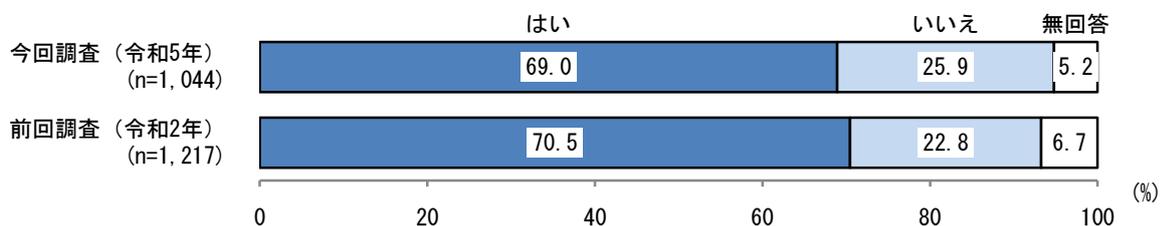
問4(15) 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が81.9%、「いいえ」が12.8%となっています。



問4(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が69.0%、「いいえ」が25.9%となっています。

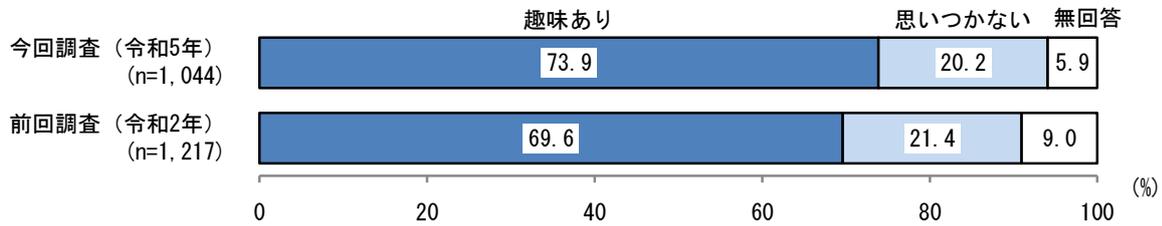


## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### [5] 趣味や生きがいの有無

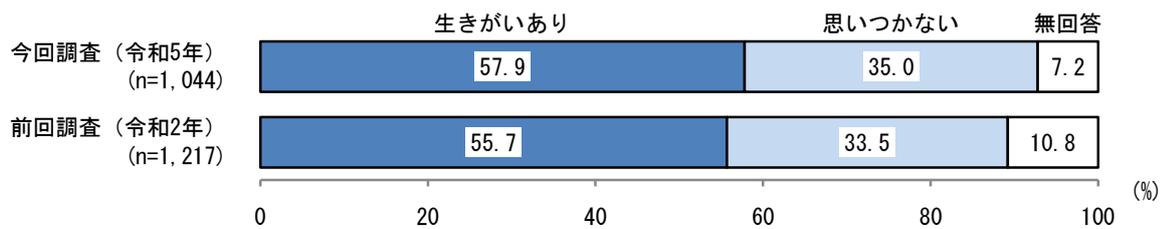
問4(17) 趣味はありますか。(○は1つ)

趣味はあるかについては、「趣味あり」が73.9%、「思いつかない」が20.2%となっています。



問4(18) 生きがいはありますか。(○は1つ)

生きがいはあるかについては、「生きがいあり」が57.9%、「思いつかない」が35.0%となっています。

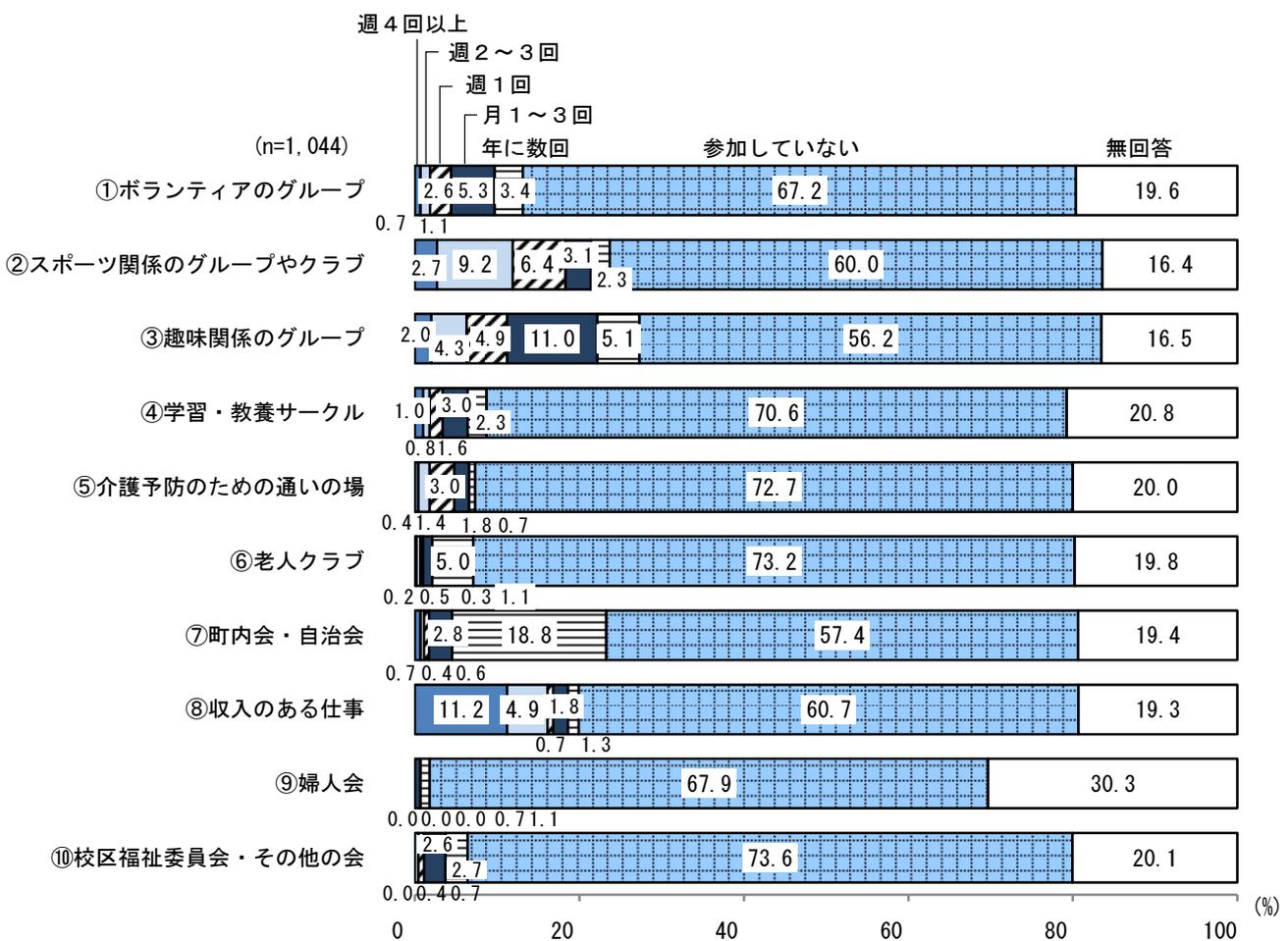


## 5. 地域での活動について

### 〔1〕地域の会・グループへの参加状況

問5(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。  
(① - ⑩それぞれに○は1つ)

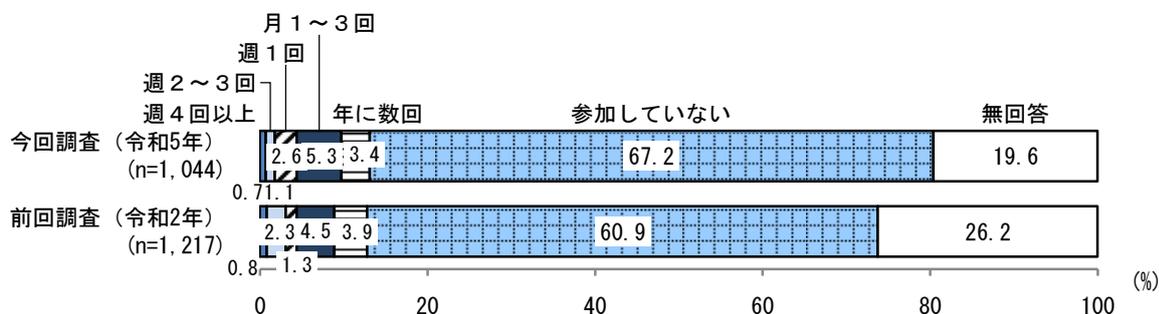
会・グループ等に『参加している』（「週4回以上」から「年に数回」までの合計）人の割合は、「③趣味関係のグループ」が27.3%と最も多く、次いで、「②スポーツ関係のグループやクラブ」が23.7%、「⑦町内会・自治会」が23.3%となっています。



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

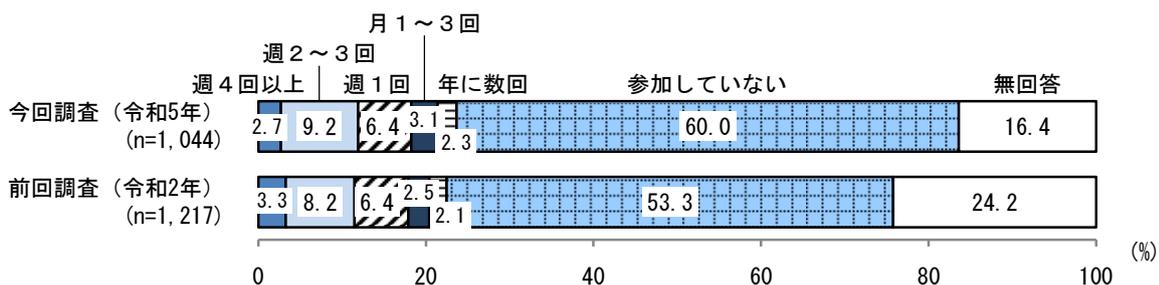
### ① ボランティアのグループ

ボランティアのグループに『参加している』人の割合は、合計13.1%で、前回調査（12.8%）に比べて大きな変化はみられません。参加頻度は「月1～3回」が5.3%と最も多く、次いで、「年に数回」が3.4%となっています。



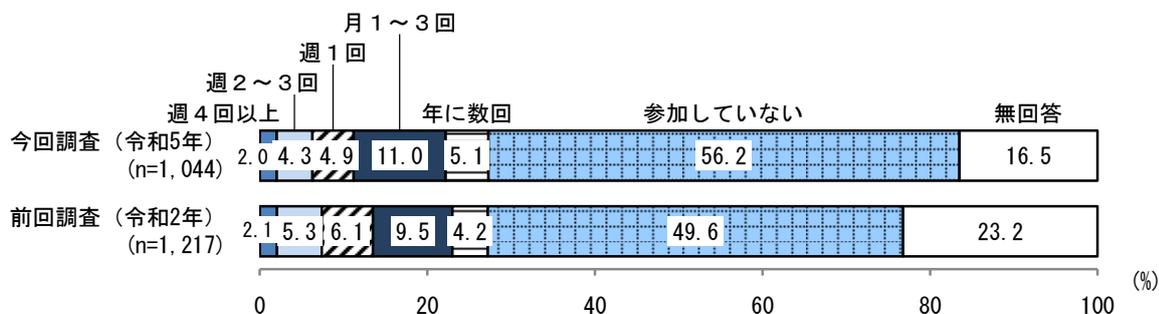
### ② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブに『参加している』人の割合は、合計23.7%で、前回調査（22.5%）に比べて1.2ポイント増加しています。参加頻度は「週2～3回」が9.2%と最も多く、次いで、「週1回」が6.4%となっています。



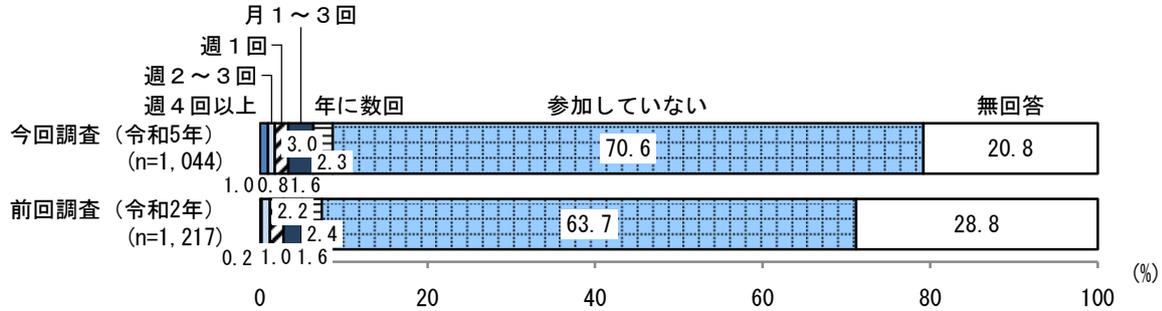
### ③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループに『参加している』人の割合は、合計27.3%で、前回調査（27.2%）に比べて大きな変化はみられません。参加頻度は「月1～3回」が11.0%と最も多く、次いで、「年に数回」が5.1%、「週1回」が4.9%となっています。



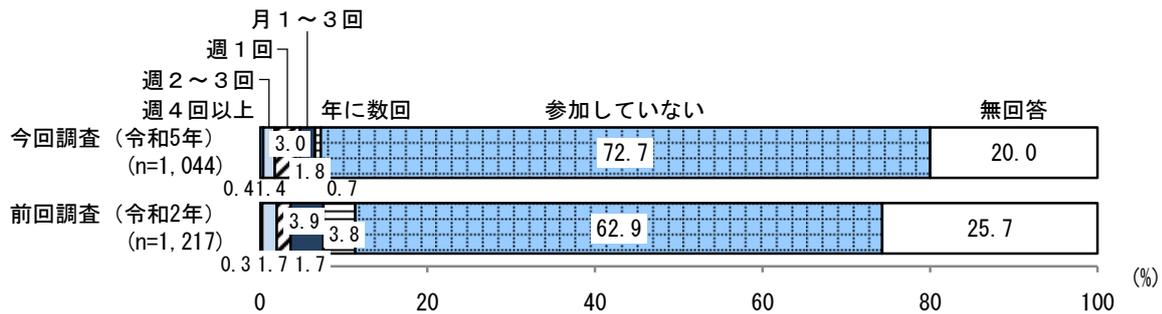
④学習・教養サークル

学習・教養サークルに『参加している』人の割合は、合計8.7%で、前回調査（7.4%）に比べて1.3ポイント増加しています。参加頻度は「月1～3回」が3.0%、「年に数回」が2.3%となっています。



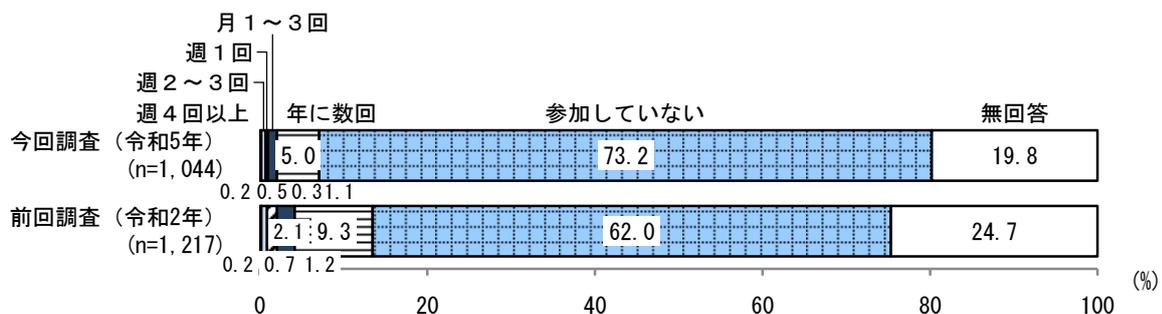
⑤介護予防のための通いの場

介護予防のための通いの場に『参加している』人の割合は、合計7.3%で、前回調査（11.4%）に比べて4.1ポイント減少しています。参加頻度は「週1回」が3.0%、「月1～3回」が1.8%となっています。



⑥老人クラブ

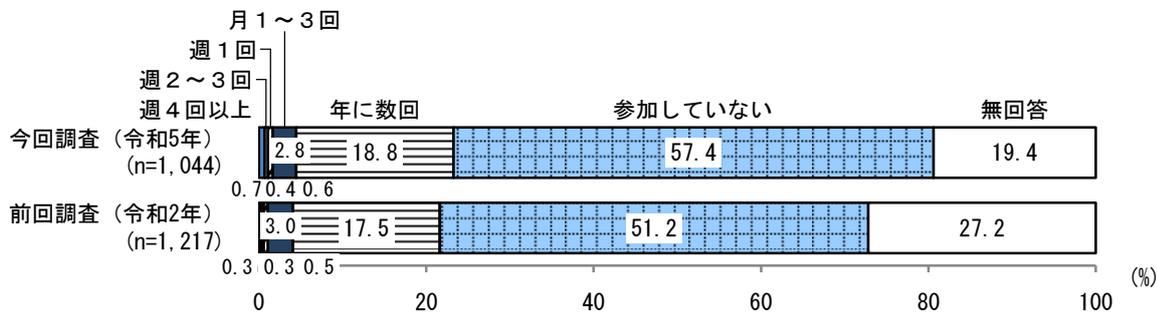
老人クラブに『参加している』人の割合は、合計7.1%で、前回調査（13.5%）に比べて6.4ポイント減少しています。参加頻度は「年に数回」が5.0%と最も多く、次いで、「月1～3回」が1.1%となっています。



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

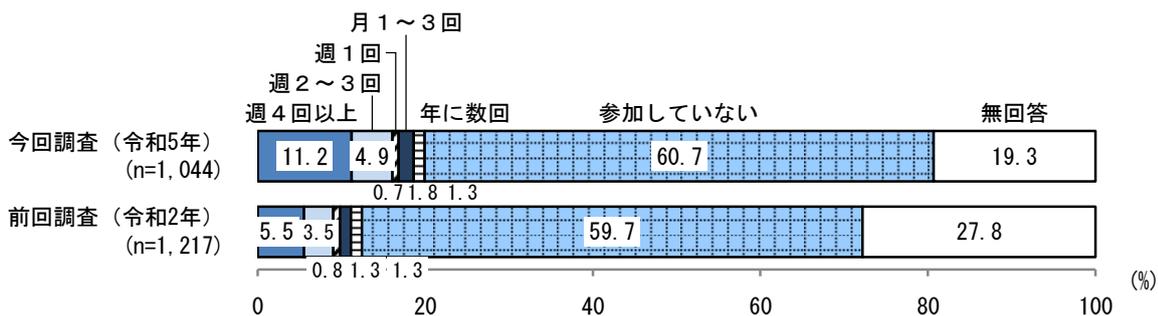
### ⑦町内会・自治会

町内会・自治会に『参加している』人の割合は、合計23.3%で、前回調査（21.6%）に比べて1.7ポイント増加しています。参加頻度は「年に数回」が18.8%と最も多く、次いで、「月1～3回」が2.8%となっています。



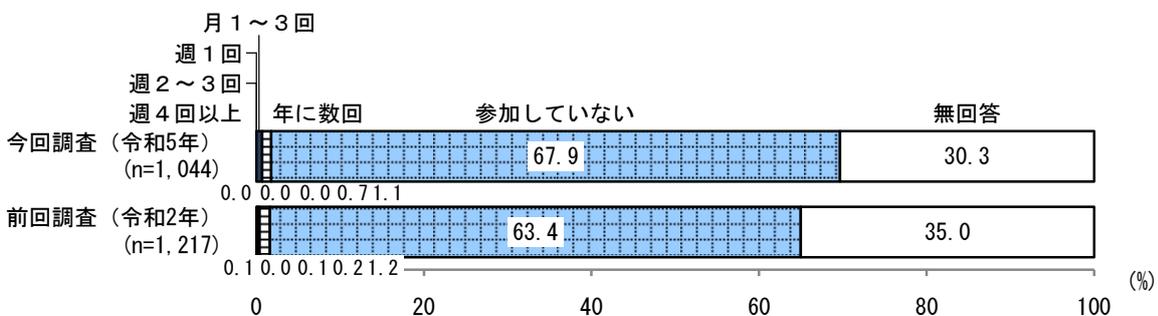
### ⑧収入のある仕事

収入のある仕事を『している』人の割合は、合計19.9%で、前回調査（12.4%）に比べて7.5ポイント増加しています。仕事をしている頻度は「週4回以上」が11.2%と最も多く、次いで、「週2～3回」が4.9%、「月1～3回」が1.8%となっています。



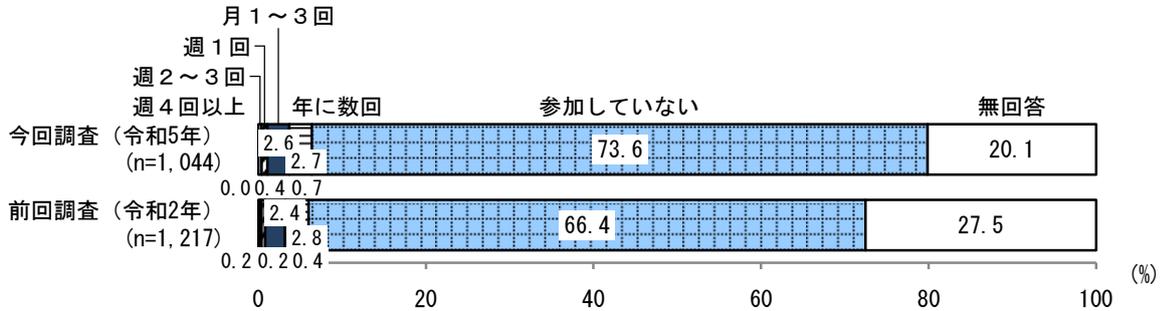
### ⑨婦人会

婦人会に『参加している』人の割合は、合計1.8%で、前回調査（1.6%）に比べて大きな変化はみられません。参加頻度は「年に数回」が1.1%、「月1～3回」が0.7%となっています。



⑩校区福祉委員会・その他の会

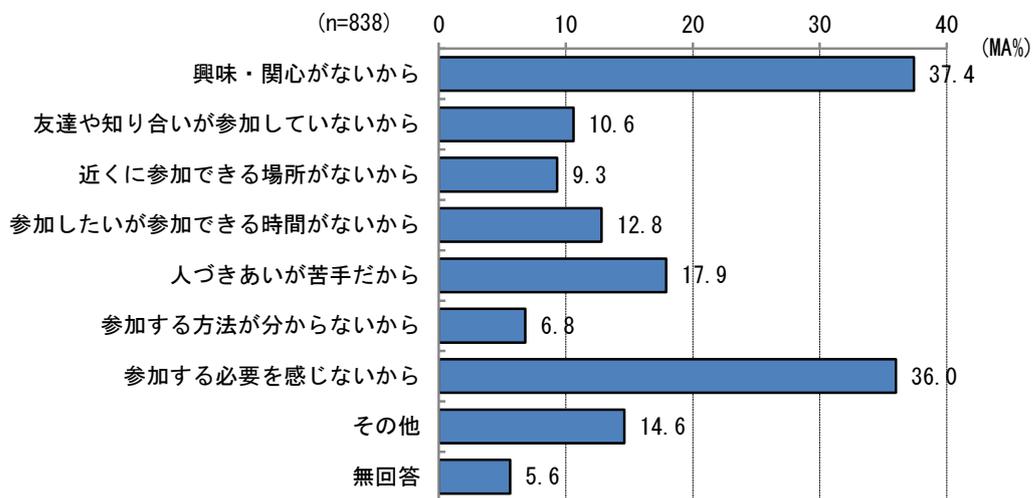
校区福祉委員会・その他の会に『参加している』人の割合は、合計6.4%で、前回調査(6.0%)に比べて大きな変化は見られません。参加頻度は「年に数回」が2.7%、「月1～3回」が2.6%となっています。



[2]地域の会・グループに参加しない理由

【(1)において、①～⑩のいずれかで「6」(参加していない)と回答した方のみ】  
 問5(2) (1)のような活動に参加しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

活動に参加しない理由については、「興味・関心がないから」が37.4%と最も多く、次いで、「参加するのを感じないから」が36.0%、「人づきあいが苦手だから」が17.9%となっています。

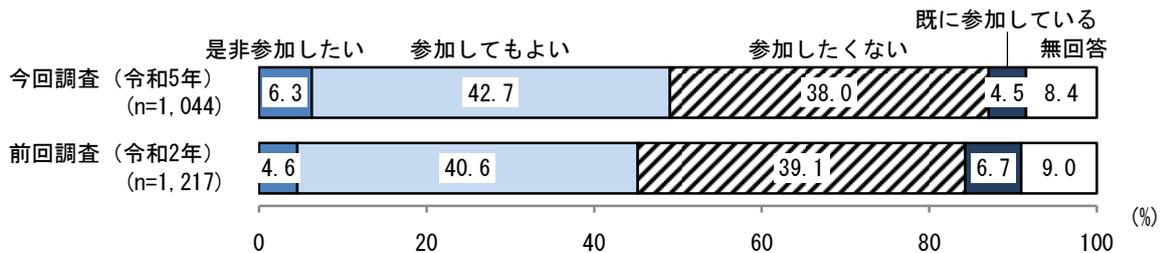


## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### [3]地域の会・グループへの参加意向

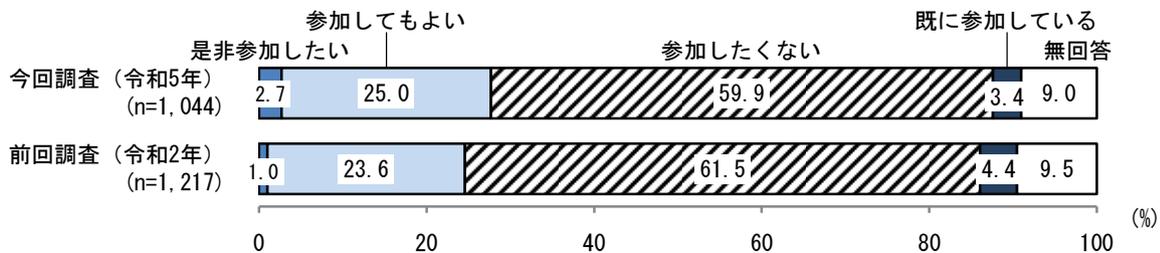
問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

地域の会・グループ活動等への参加者としての参加意向については、「是非参加したい」の6.3%、「参加してもよい」の42.7%、「既に参加している」の4.5%を合わせた『参加意向あり』は53.5%となっています。



問5(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

地域の会・グループ活動等への企画・運営(お世話役)としての参加意向は、「是非参加したい」の2.7%、「参加してもよい」の25.0%、「既に参加している」の3.4%を合わせた『参加意向あり』は合計31.1%となっています。



## 6. 助けあいについて

### 〔1〕心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人

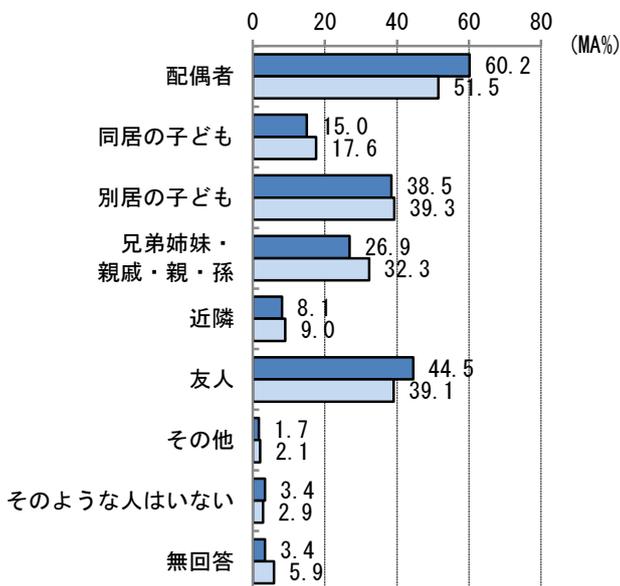
問6(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(○はいくつでも)

問6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(○はいくつでも)

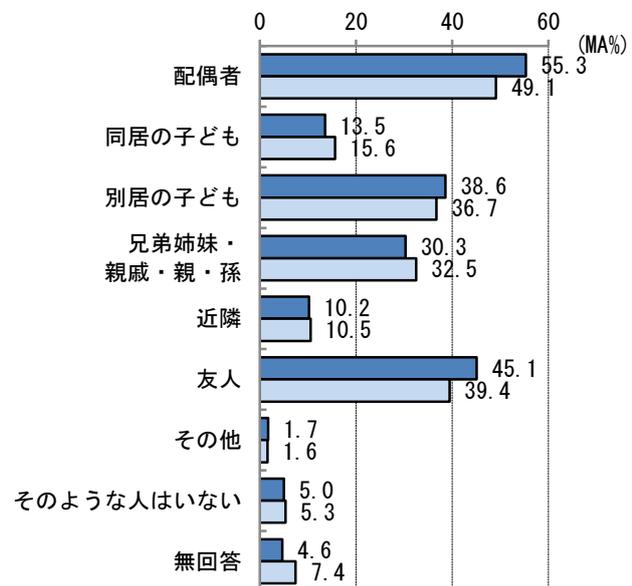
心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」が60.2%と最も多く、次いで、「友人」が44.5%、「別居の子ども」が38.5%となっています。

心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「配偶者」が55.3%と最も多く、次いで、「友人」が45.1%、「別居の子ども」が38.6%となっています。

【心配事や愚痴を聞いてくれる人】



【心配事や愚痴を聞いてあげる人】



■ 今回調査 (令和5年) (n=1,044)    □ 前回調査 (令和2年) (n=1,217)

■ 今回調査 (令和5年) (n=1,044)    □ 前回調査 (令和2年) (n=1,217)

## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### [2] 看病や世話をしてくれる人、してあげる人

問6(3) あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人  
(○はいくつでも)

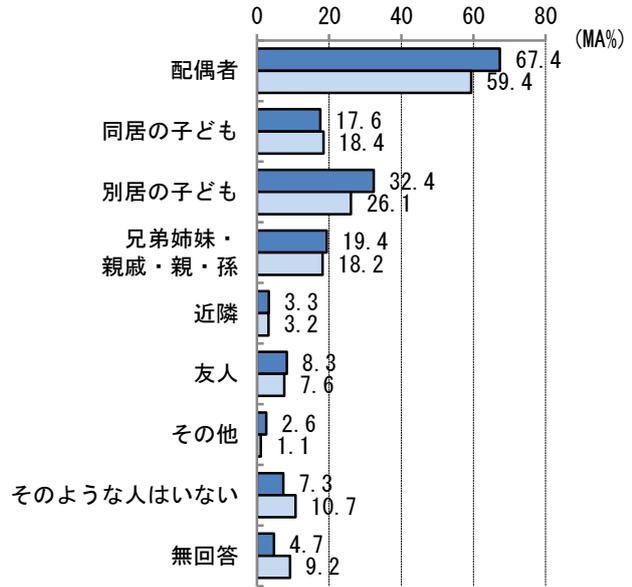
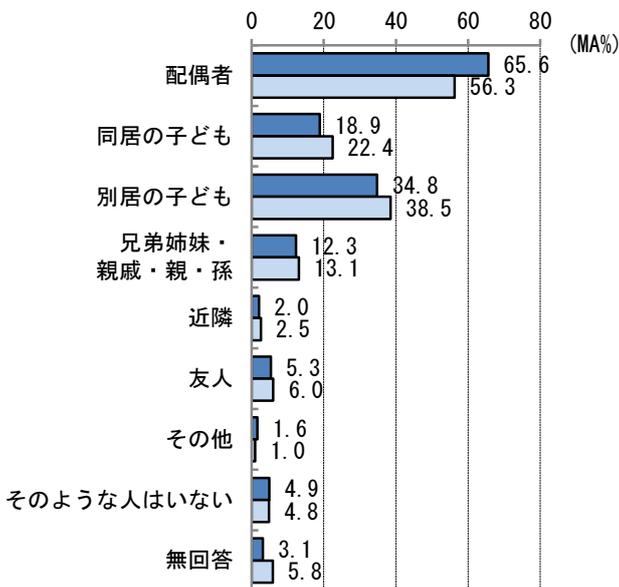
問6(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(○はいくつでも)

看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が65.6%と最も多く、次いで、「別居の子ども」が34.8%、「同居の子ども」が18.9%となっています。

看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」が67.4%と最も多く、次いで、「別居の子ども」が32.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が19.4%となっています。

【看病や世話をしてくれる人】

【看病や世話をしてあげる人】



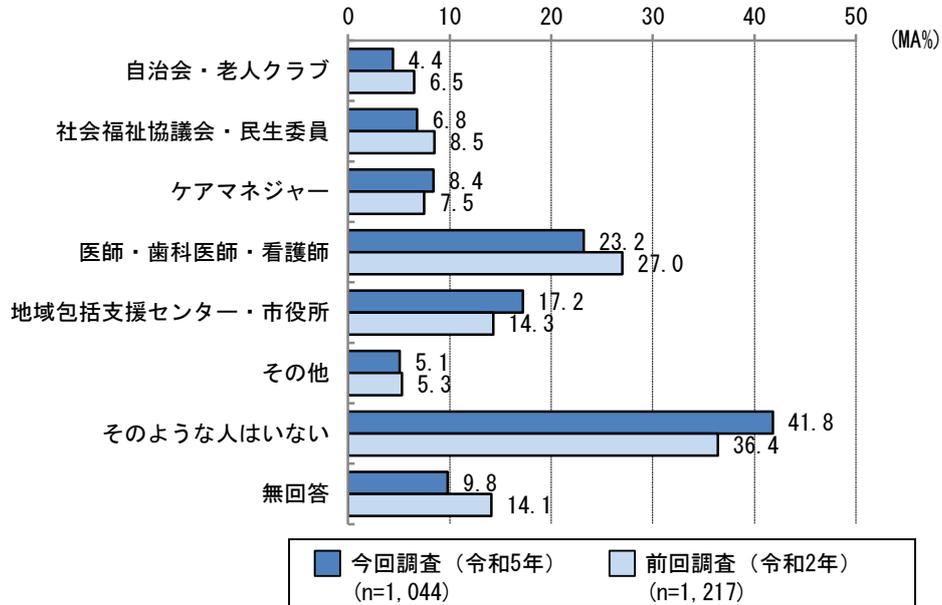
■ 今回調査 (令和5年) (n=1,044)    □ 前回調査 (令和2年) (n=1,217)

■ 今回調査 (令和5年) (n=1,044)    □ 前回調査 (令和2年) (n=1,217)

〔3〕相談相手

問6(5) 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください。  
(〇はいくつでも)

家族や友人・知人以外の相談相手は、「医師・歯科医師・看護師」が23.2%と最も多く、次いで、「地域包括支援センター・市役所」が17.2%、「ケアマネジャー」が8.4%となっています。

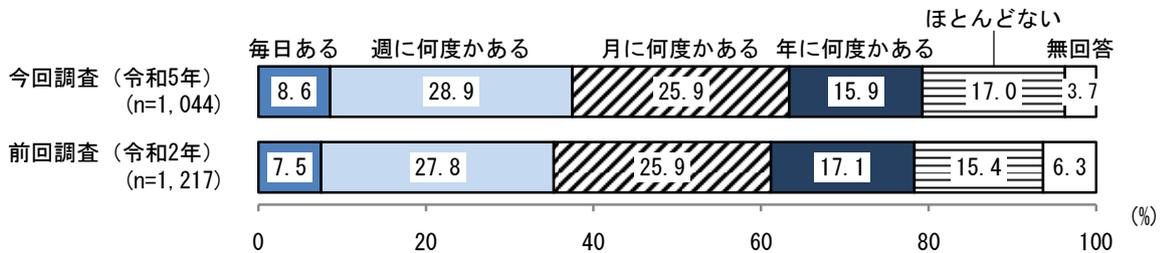


## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### [4] 友人・知人との交流

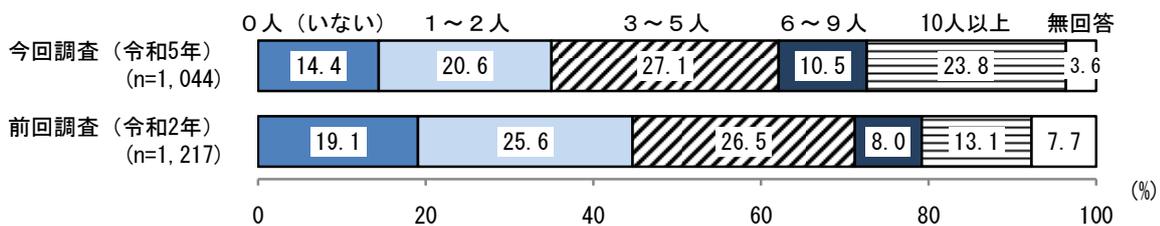
問6(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

友人・知人と会う頻度は、「週に何度かある」が28.9%と最も多く、「毎日ある」、「週に何度かある」、「月に何度かある」を合わせた『月に数回以上』が63.4%、「年に何度かある」と「ほとんどない」を合わせた『年に数回以下』は32.9%となっています。



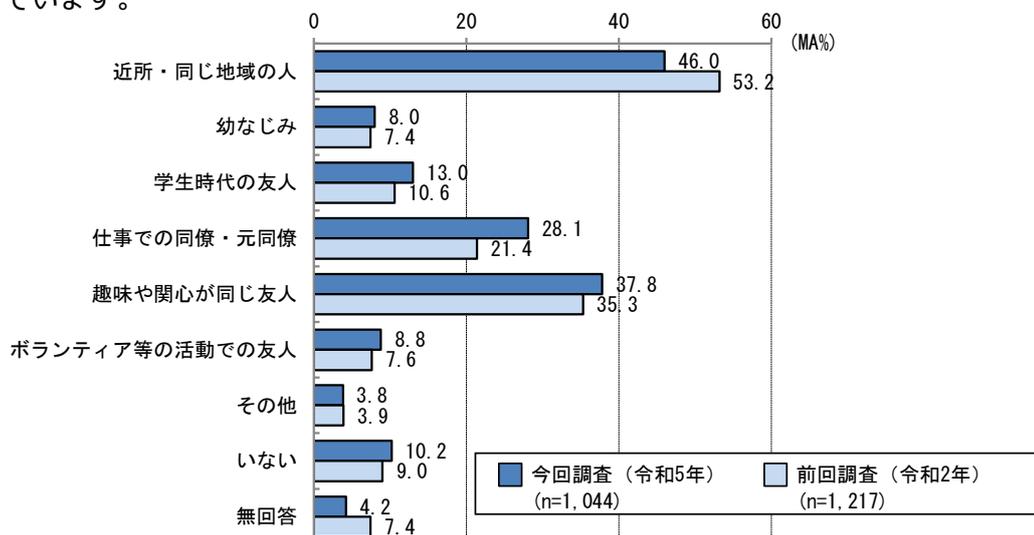
問6(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

1か月間に会う友人・知人の人数は、「3～5人」が27.1%と最も多く、次いで、「10人以上」が23.8%、「1～2人」が20.6%となっています。前回調査に比べて「10人以上」が10.7ポイント増加しています。



問6(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)

よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が46.0%と最も多く、次いで、「趣味や関心が同じ友人」が37.8%、「仕事での同僚・元同僚」が28.1%となっています。前回調査に比べて「仕事での同僚・元同僚」が6.7ポイント増加し、「近所・同じ地域の人」が7.2ポイント減少しています。

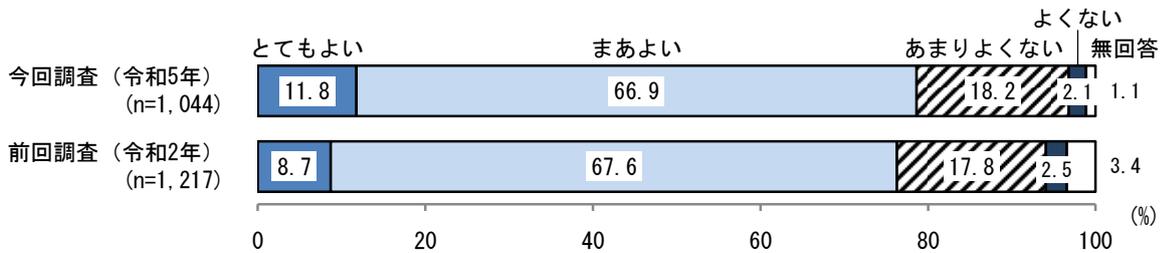


## 7. 健康について

### 〔1〕現在の健康状態

問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

現在の健康状態は、「まあよい」が66.9%と最も多く、次いで、「あまりよくない」が18.2%、「とてもよい」が11.8%となっています。

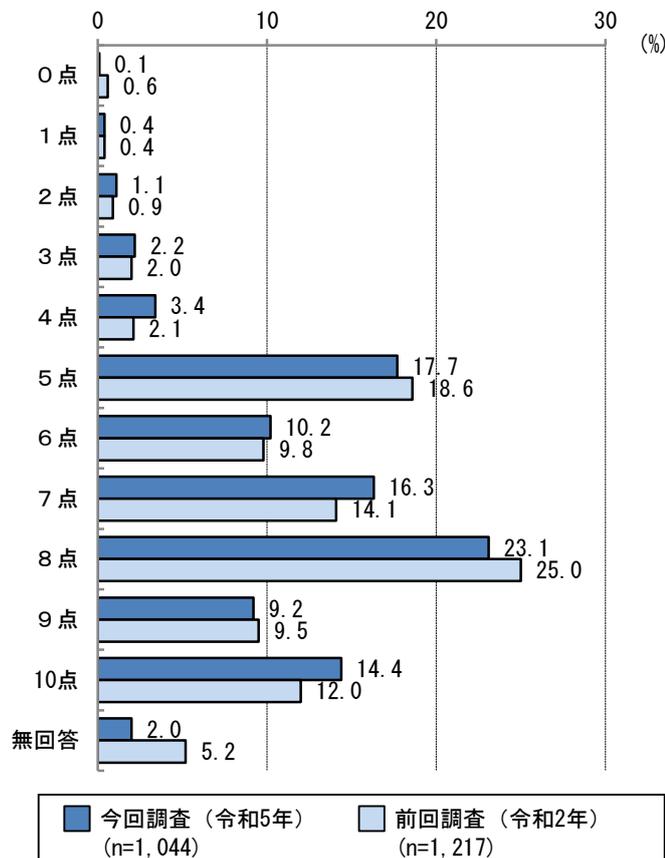


### 〔2〕主観的幸福感

問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)

※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください

現在の幸福感を10点満点で評価してもらったところ、「8点」が23.1%と最も多く、次いで、「5点」が17.7%、「7点」が16.3%で、平均7.1点となっています。

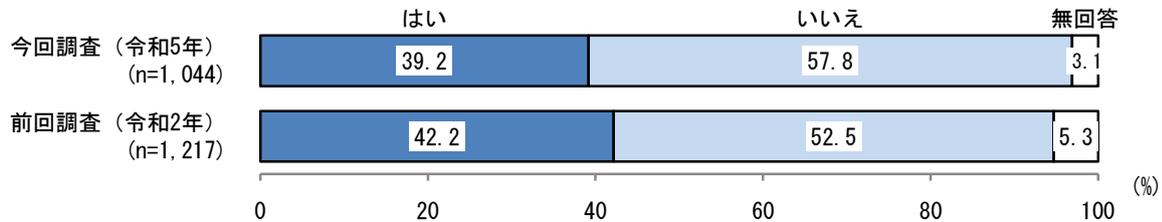


## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### [3] ゆうつ感や物事に対する興味の喪失感

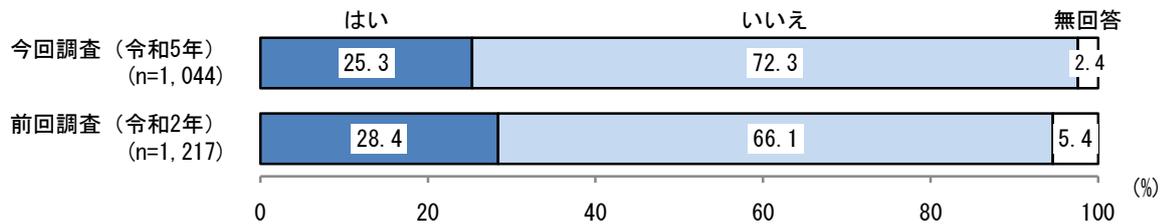
問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が39.2%、「いいえ」が57.8%となっています。



問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

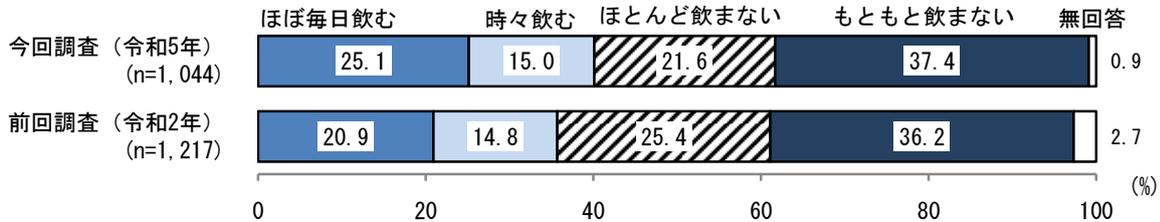
この1か月間に物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがあったかについては、「はい」が25.3%、「いいえ」が72.3%となっています。



[4] 飲酒・喫煙

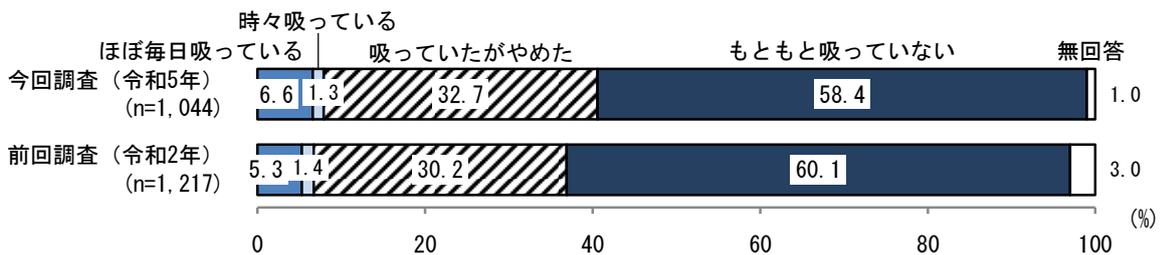
問7(5) お酒は飲みますか。(○は1つ)

飲酒習慣は、「もともと飲まない」が37.4%と最も多く、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた『飲む』が合計40.1%、「もともと飲まない」と「ほとんど飲まない」を合わせた『飲まない』が合計59.0%となっています。



問7(6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

喫煙習慣は、「もともと吸っていない」が58.4%と最も多く、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』が合計7.9%、「もともと吸っていない」と「吸っていたがやめた」を合わせた『吸っていない』が合計91.1%となっています。

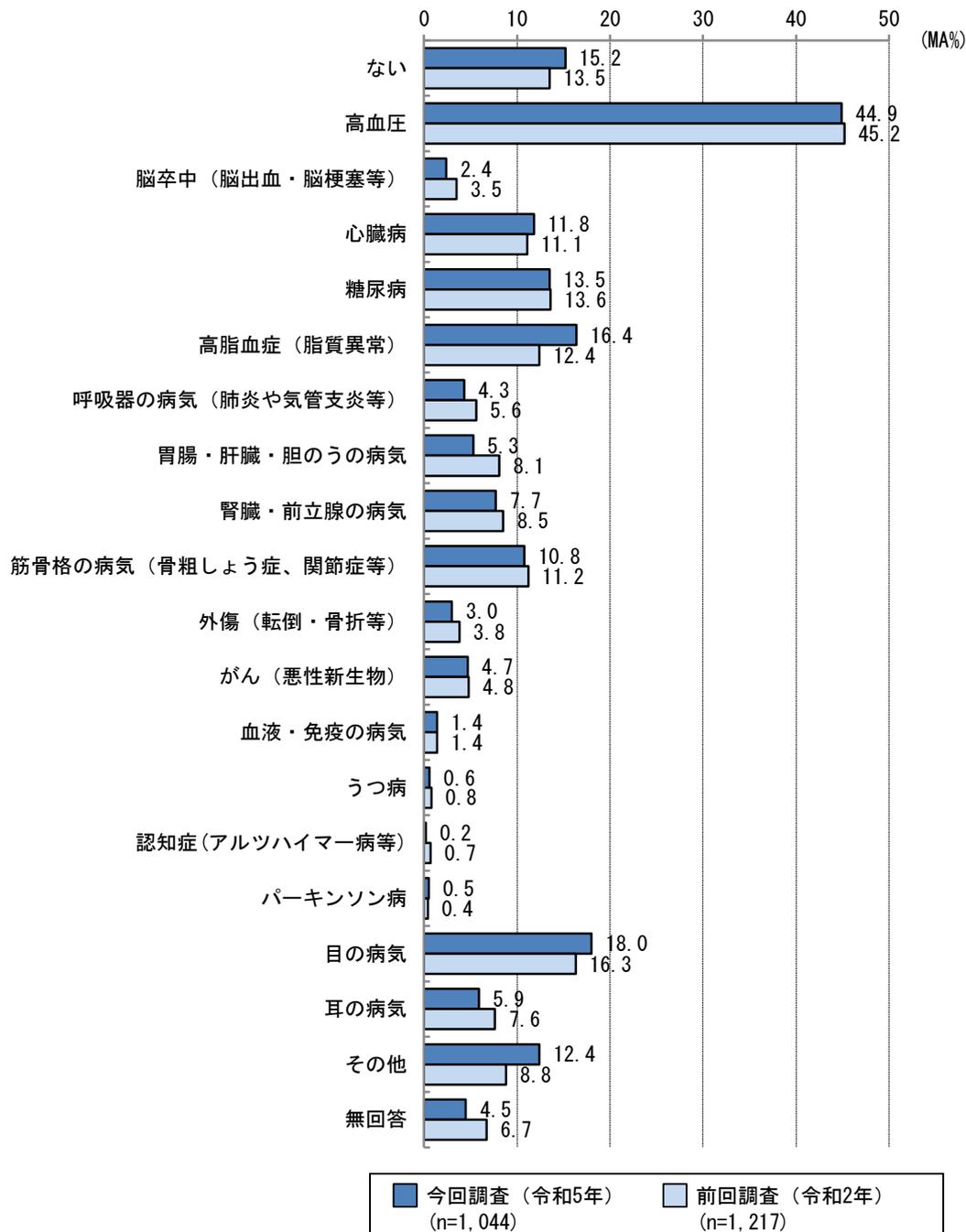


## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### [5] 治療中、後遺症のある病気

問7(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が44.9%と最も多く、次いで、「目の病気」が18.0%、「高脂血症（脂質異常）」が16.4%となっています。



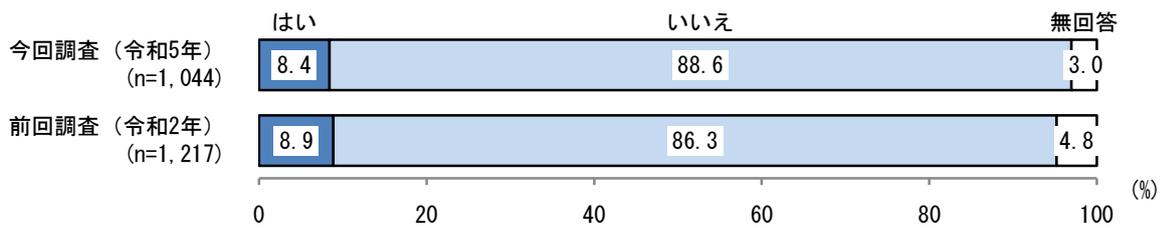
## 8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

### 〔1〕認知症状の有無

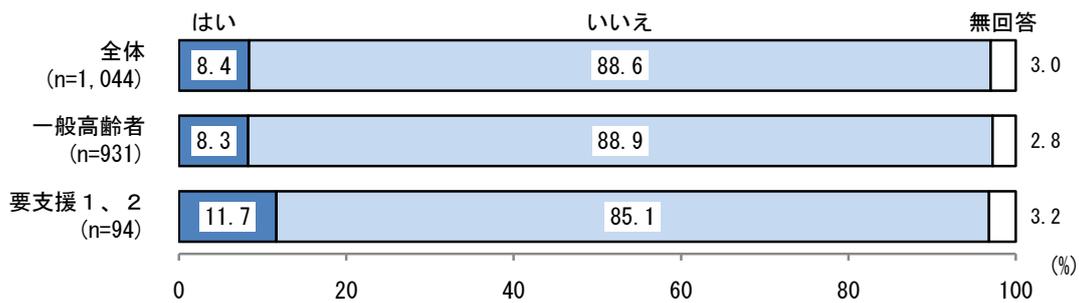
問8(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。  
(○は1つ)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「はい」が8.4%、「いいえ」が88.6%となっています。

認定状況別にみると、一般高齢者で8.3%、要支援1、2で11.7%となっています。



#### 【認知症状の有無 認定状況別】



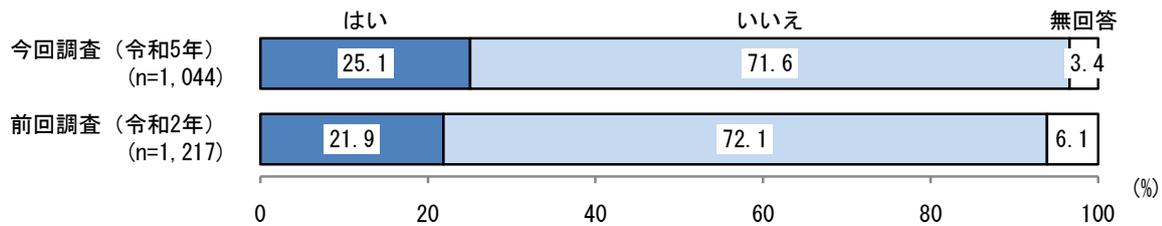
## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 〔2〕認知症相談窓口の認知

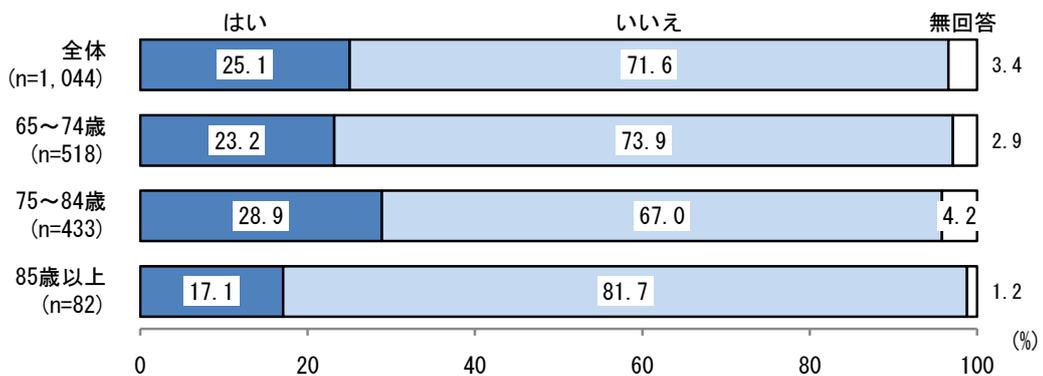
問8(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

認知症の相談窓口を知っているかについては、「はい」が25.1%、「いいえ」が71.6%となっています。

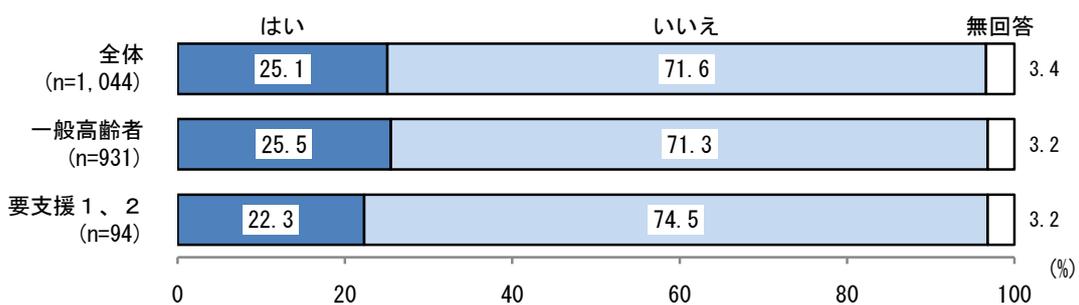
年齢別にみると、75～84歳で28.9%とやや多くなっています。認定状況別にみると、一般高齢者で25.5%、要支援1、2で22.3%となっています。



【認知症相談窓口の認知 年齢別】



【認知症相談窓口の認知 認定状況別】

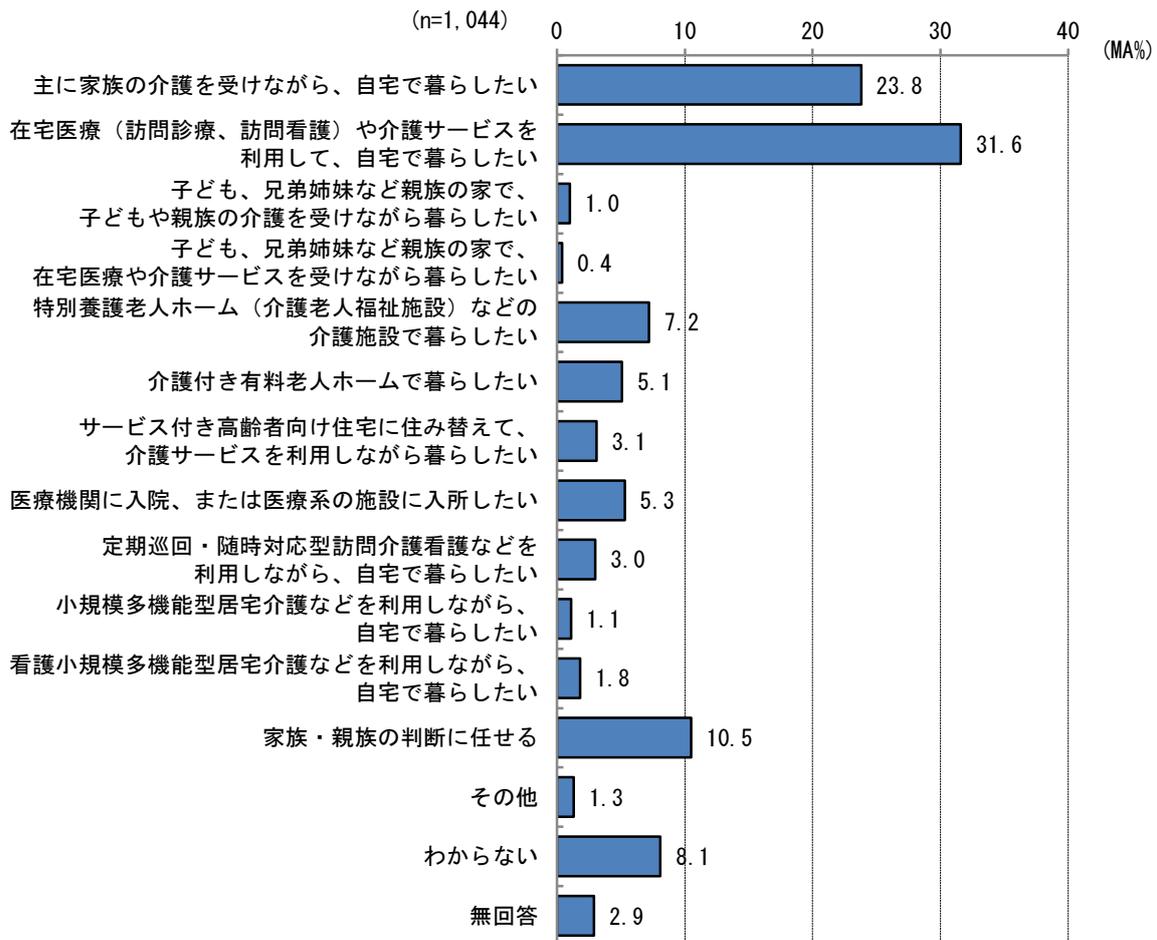


〔3〕療養や介護が必要になったときに希望する住まい

問8(3) あなたは、病気等により療養や介護が必要になった場合、どこでどのように過ごしたいですか。(○は1つ)

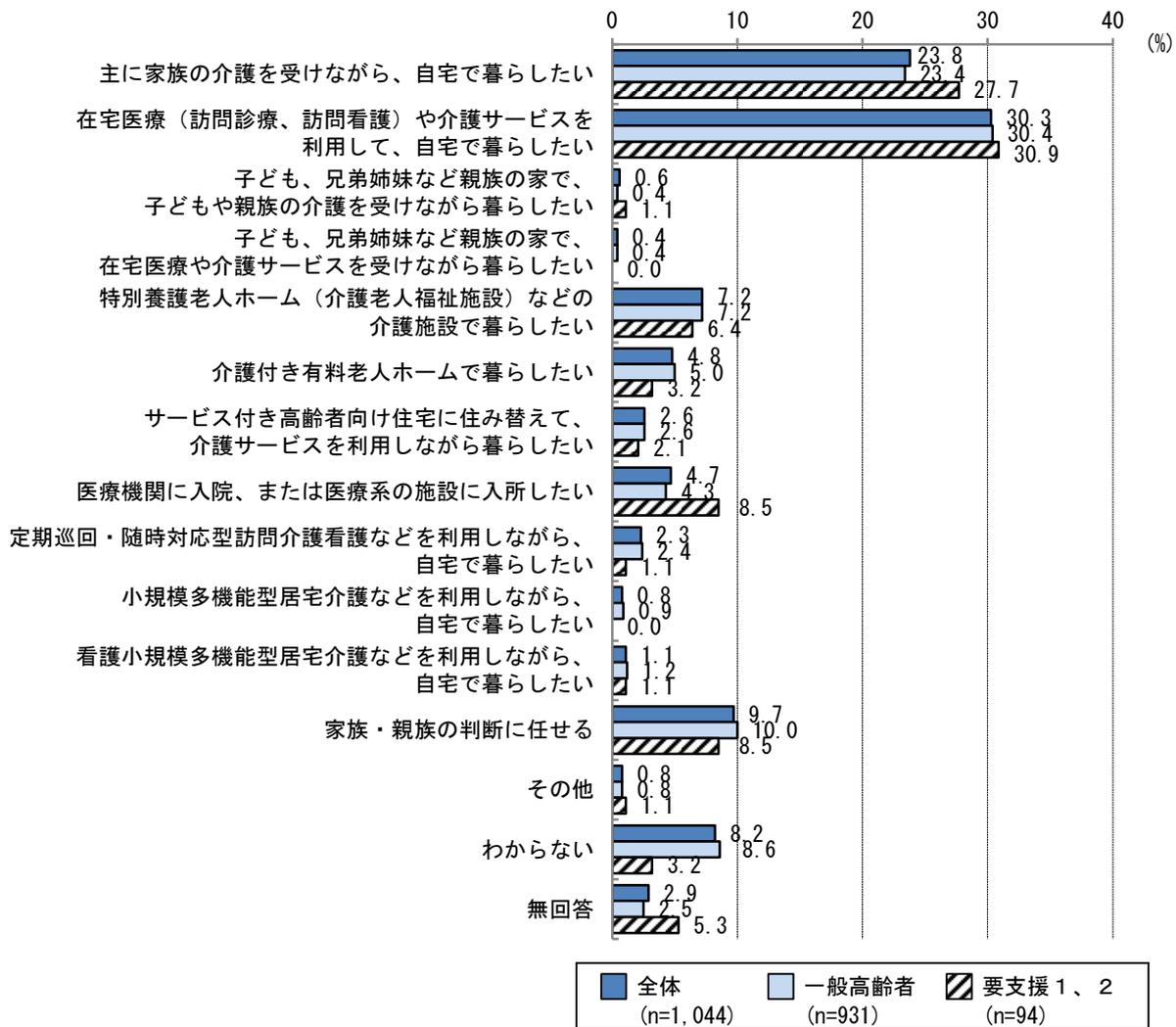
病気等により療養や介護が必要になった場合、どのように過ごしたいかについては、「在宅医療（訪問診療、訪問看護）や介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が31.6%と最も多く、次いで、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が23.8%、「家族・親族の判断に任せる」が10.5%となっています。

認定状況別にみると、要支援1、2の方では、「医療機関に入院、または医療系の施設に入所したい」が一般高齢者に比べて多くなっています。



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域二ーズ調査

【療養や介護が必要になったときに希望する住まい 認定状況別】



## 9. 地域や暮らしについて

### 〔1〕身近な地域について「感じること」・「必要なこと」

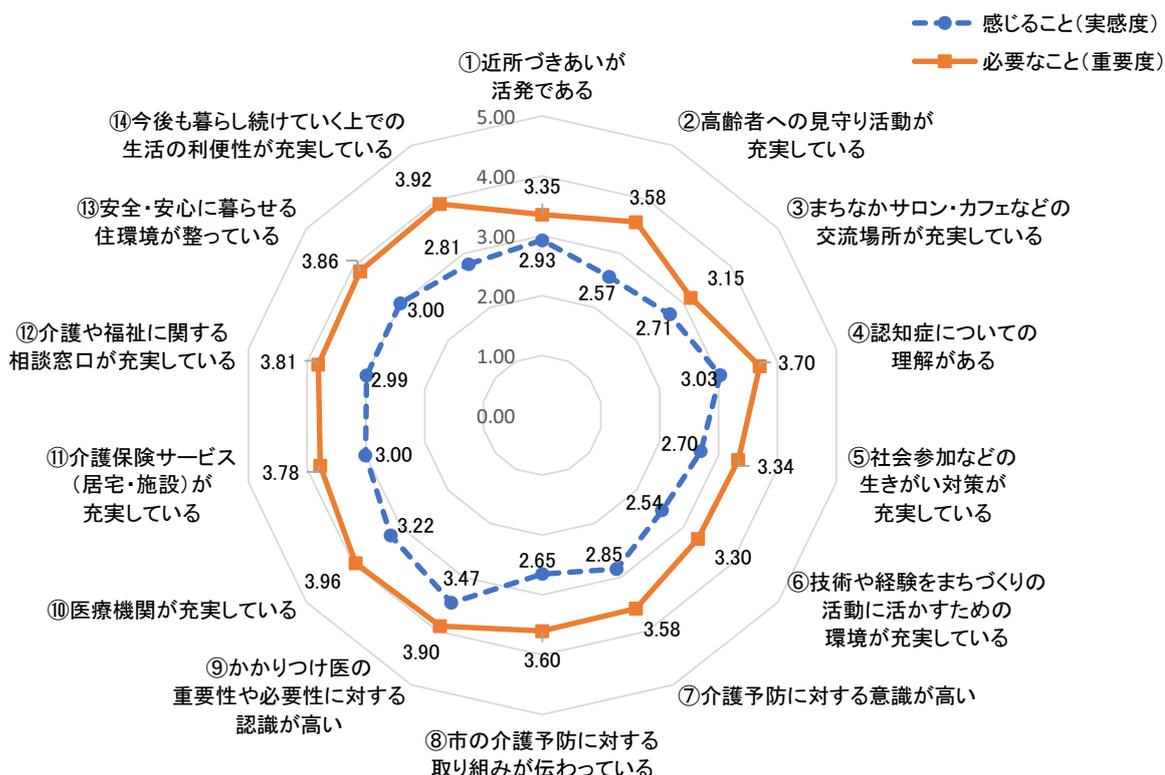
問9(1) あなたが住んでいる身近な地域について、「感じること」「必要なこと」は何ですか。  
 (①-⑭それぞれに対して「感じること」と「必要なこと」を○は1つ)

身近な地域の状況についての14項目を、「感じること」(「そう思う」から「まったく思わない」の5段階)、「必要なこと」(「非常に重要」から「重要ではない」の5段階)で評価してもらったところ、下記のような結果となりました。

「感じること(実感度)」が最も高かったのは、「⑨かかりつけ医の重要性や必要性に対する認識が高い」で3.47点、最も低かったのは「⑥技術や経験をまちづくりの活動に活かすための環境が充実している」で2.54点となっています。

「必要なこと(重要度)」が最も高かったのは、「⑩医療機関が充実している」で3.96点、最も低かったのは「③まちなかサロン・カフェなどの交流場所が充実している」で3.15点となっています。

「必要なこと(重要度)」と「感じること(実感度)」の差が最も大きかったのは、「⑭今後も暮らし続けていく上での生活の利便性が充実している」で1.11点差、次いで、「②高齢者への見守り活動が充実している」で1.02点差となっています。反対に差が小さかったのは、「①近所づきあいが活発である」、「⑨かかりつけ医の重要性や必要性に対する認識が高い」で0.43点差となっています。



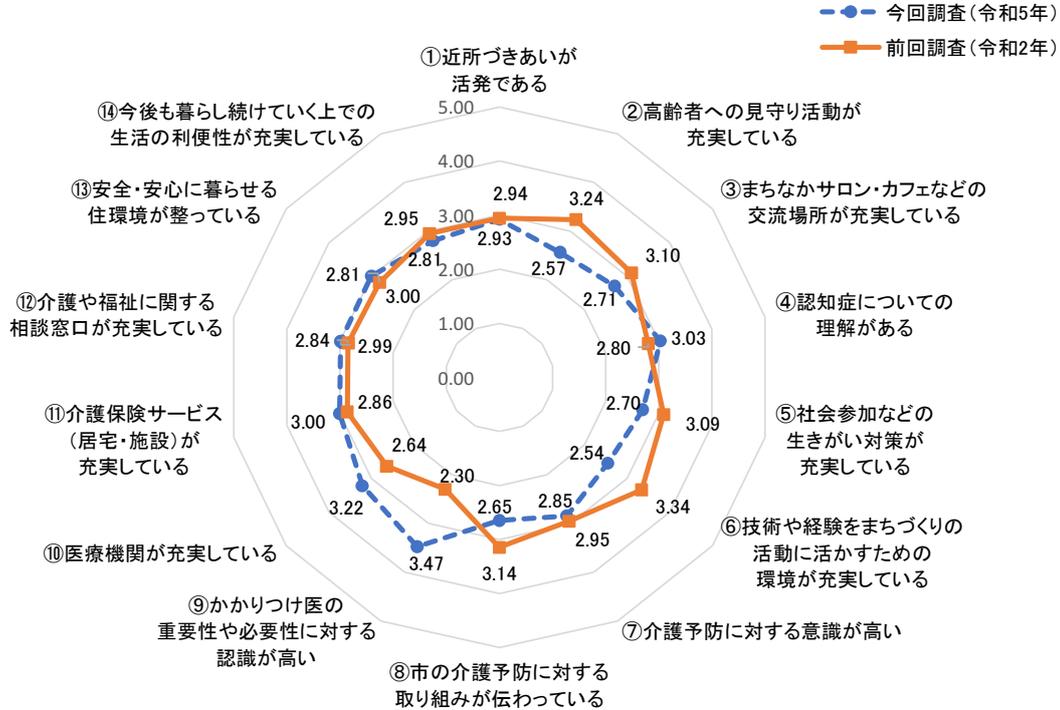
※「感じること(実感度)」は「そう思う」を5点、「どちらかというと思う」を4点、「どちらともいえない」を3点、「そう思わない」を2点、「全く思わない」を1点として計算した平均値。

※「必要なこと(重要度)」は「非常に重要」を5点、「重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「さほど重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点として計算した平均値。

## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

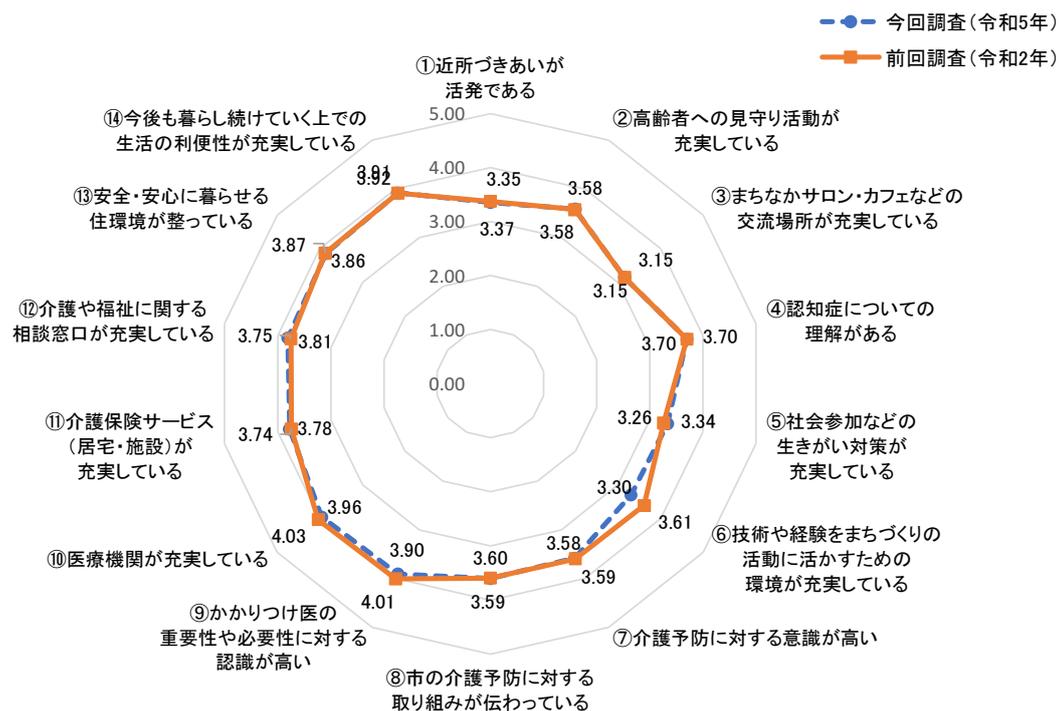
### 【「感じること(実感度)」 前回との比較】

前回調査に比べて増加しているのは、「⑨かかりつけ医の重要性や必要性に対する認識が高い」で1.18点差があり、次いで、「⑩医療機関が充実している」が0.57点差となっています。前回調査に比べて減少しているのは、「⑥技術や経験をまちづくりの活動に活かすための環境が充実している」で0.79点差、「②高齢者への見守り活動が充実している」が0.67点差となっています。



### 【「必要なこと(重要度)」 前回との比較】

前回調査に比べてほとんどの項目で大きな変化はみられませんが、「⑥技術や経験をまちづくりの活動に活かすための環境が充実している」が0.31点差で減少しています。



## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

地域に「必要なこと（重要度）」と「感じること（実感度）」を小学校区別にみた結果が以下の表となります。「必要なこと（重要度）」と「感じること（実感度）」の差が最も大きかったのは旧山中分校区の「⑭ 今後も暮らし続けていく上での生活の利便性が充実している」で 1.67 点差、次いで、旧波太校区の「⑬ 安全・安心に暮らせる住環境が整っている」で 1.37 点差、西鳥取校区の「② 高齢者への見守り活動が充実している」で 1.31 点差、同じく西鳥取校区の「⑧ 市の介護予防に対する取り組みが伝わっている」で 1.23 点差となっています。

【身近な地域について「感じること」 小学校区別】

	尾崎	旧福島	西鳥取	舞	下荘	旧箱作	桃の木台	上荘	東鳥取	旧波太	朝日	旧山中
①近所づきあいが活発である	2.67	2.80	2.98	2.80	3.17	2.93	2.66	2.81	3.01	3.16	3.00	<b>3.56</b>
②高齢者への見守り活動が充実している	2.58	2.24	2.46	2.45	2.72	2.65	2.46	2.49	2.55	2.88	2.70	<b>3.22</b>
③まちなかサロン・カフェなどの交流場所が充実している	2.63	2.20	2.58	2.66	2.92	2.91	2.74	2.58	2.51	2.53	<b>3.02</b>	2.89
④認知症についての理解がある	2.78	2.87	2.94	2.94	3.03	3.03	2.90	3.18	3.06	<b>3.47</b>	3.16	3.22
⑤社会参加などの生きがい対策が充実している	2.71	2.29	2.66	2.64	2.77	2.62	2.92	2.75	2.64	2.53	2.86	<b>3.13</b>
⑥技術や経験をまちづくりの活動に活かすための環境が充実している	2.60	2.36	2.45	2.54	2.53	2.47	2.63	2.61	2.46	2.56	<b>2.69</b>	2.67
⑦介護予防に対する意識が高い	2.68	2.80	2.76	2.87	2.95	2.63	2.78	2.90	2.87	<b>3.22</b>	2.91	<b>3.22</b>
⑧市の介護予防に対する取り組みが伝わっている	2.65	2.43	2.48	2.61	2.75	2.62	2.63	2.60	2.63	2.76	2.74	<b>2.89</b>
⑨かかりつけ医の重要性や必要性に対する認識が高い	3.34	3.48	3.39	3.43	3.46	3.57	3.37	3.39	<b>3.74</b>	3.59	3.31	3.11
⑩医療機関が充実している	<b>3.42</b>	3.19	<b>3.38</b>	3.26	3.19	3.21	3.03	3.29	3.26	3.29	2.98	2.44
⑪介護保険サービス（居宅・施設）が充実している	3.06	2.83	3.00	3.00	2.97	3.03	2.89	3.04	3.05	<b>3.24</b>	2.88	2.89
⑫介護や福祉に関する相談窓口が充実している	3.08	2.83	3.04	2.99	2.99	3.01	2.86	3.03	3.01	<b>3.12</b>	2.89	2.78
⑬安全・安心に暮らせる住環境が整っている	2.88	2.87	2.92	<b>3.05</b>	3.04	<b>3.12</b>	3.05	3.04	2.96	2.78	3.02	2.89
⑭今後も暮らし続けていく上での生活の利便性が充実している	2.92	2.59	2.78	2.66	2.68	2.67	2.79	<b>3.27</b>	3.01	2.83	2.68	2.11

【身近な地域について「必要なこと」 小学校区別】

	尾崎	旧福島	西鳥取	舞	下荘	旧箱作	桃の木台	上荘	東鳥取	旧波太	朝日	旧山中
①近所づきあいが活発である	3.26	3.18	<b>3.51</b>	3.31	3.41	3.29	3.32	3.24	3.45	3.33	3.42	3.44
②高齢者への見守り活動が充実している	3.38	3.45	3.77	3.62	3.56	3.45	3.51	3.65	3.57	3.80	3.67	<b>4.00</b>
③まちなかサロン・カフェなどの交流場所が充実している	2.92	2.90	3.17	3.14	3.35	3.11	3.27	3.17	3.03	3.27	3.27	<b>3.44</b>
④認知症についての理解がある	3.63	3.65	3.67	<b>3.75</b>	3.67	3.61	3.65	3.71	3.73	3.69	3.73	3.38
⑤社会参加などの生きがい対策が充実している	3.20	3.10	3.47	3.41	3.38	3.22	3.41	3.39	3.23	3.40	3.44	<b>3.67</b>
⑥技術や経験をまちづくりの活動に活かすための環境が充実している	3.22	3.24	3.40	3.43	3.29	3.15	3.33	3.31	3.14	3.36	3.41	<b>3.44</b>
⑦介護予防に対する意識が高い	3.54	3.64	<b>3.71</b>	3.67	3.56	3.35	3.64	3.66	3.45	3.62	3.69	3.33
⑧市の介護予防に対する取り組みが伝わっている	3.55	3.62	<b>3.71</b>	3.69	3.69	3.50	3.49	3.63	3.49	3.47	3.68	3.33
⑨かかりつけ医の重要性や必要性に対する認識が高い	3.80	3.88	3.91	3.95	3.94	3.95	3.74	<b>3.96</b>	3.93	3.82	3.87	3.78
⑩医療機関が充実している	3.90	3.80	3.91	<b>4.04</b>	3.98	3.97	3.86	4.01	3.95	3.93	3.98	3.56
⑪介護保険サービス（居宅・施設）が充実している	3.73	3.58	3.82	3.84	3.83	3.69	3.63	3.88	3.73	<b>3.93</b>	3.86	3.56
⑫介護や福祉に関する相談窓口が充実している	3.85	3.68	3.85	3.82	3.87	3.85	3.64	<b>3.90</b>	3.74	3.80	3.82	3.67
⑬安全・安心に暮らせる住環境が整っている	3.90	3.76	3.87	3.91	3.86	3.93	3.73	3.97	3.76	<b>4.14</b>	3.89	3.56
⑭今後も暮らし続けていく上での生活の利便性が充実している	3.93	3.80	3.85	3.95	3.98	3.88	3.78	4.06	3.79	<b>4.07</b>	4.03	3.78

## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 【「必要なこと(重要度)」と「感じること(実感度)」の差 小学校区別】

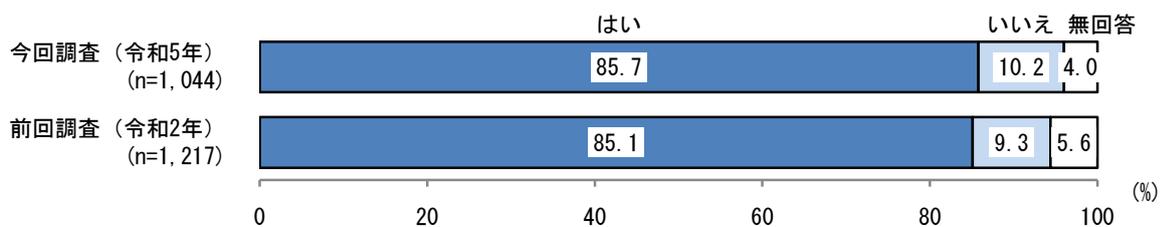
	尾崎	旧福島	西鳥取	舞	下荘	旧箱作	桃の木台	上荘	東鳥取	旧波太	朝日	旧山中
①近所づきあいが活発である	0.59	0.38	0.53	0.51	0.25	0.36	<b>0.67</b>	0.42	0.44	0.18	0.42	-0.11
②高齢者への見守り活動が充実している	0.80	1.21	<b>1.31</b>	1.17	0.85	0.80	1.05	1.16	1.01	0.93	0.98	0.78
③まちなかサロン・カフェなどの交流場所が充実している	0.28	0.71	0.59	0.48	0.43	0.19	0.53	0.59	0.52	<b>0.74</b>	0.25	0.56
④認知症についての理解がある	<b>0.84</b>	0.78	0.73	0.81	0.64	0.59	0.75	0.53	0.66	0.22	0.57	0.15
⑤社会参加などの生きがい対策が充実している	0.49	0.81	0.81	0.77	0.60	0.60	0.48	0.64	0.59	<b>0.87</b>	0.58	0.54
⑥技術や経験をまちづくりの活動に活かすための環境が充実している	0.62	0.89	<b>0.95</b>	0.89	0.76	0.68	0.70	0.70	0.68	0.80	0.72	0.78
⑦介護予防に対する意識が高い	0.86	0.84	<b>0.95</b>	0.80	0.61	0.71	0.86	0.76	0.58	0.39	0.78	0.11
⑧市の介護予防に対する取り組みが伝わっている	0.91	1.19	<b>1.23</b>	1.07	0.93	0.88	0.86	1.04	0.87	0.70	0.94	0.44
⑨かかりつけ医の重要性や必要性に対する認識が高い	0.46	0.40	0.53	0.52	0.48	0.38	0.37	0.56	0.19	0.24	0.56	<b>0.67</b>
⑩医療機関が充実している	0.48	0.61	0.54	0.78	0.79	0.77	0.84	0.72	0.69	0.64	1.00	<b>1.11</b>
⑪介護保険サービス(居宅・施設)が充実している	0.67	0.75	0.82	0.84	0.86	0.67	0.73	0.84	0.68	0.70	<b>0.98</b>	0.67
⑫介護や福祉に関する相談窓口が充実している	0.77	0.85	0.81	0.82	0.88	0.84	0.77	0.88	0.72	0.68	<b>0.93</b>	0.89
⑬安全・安心に暮らせる住環境が整っている	1.02	0.89	0.95	0.86	0.82	0.81	0.68	0.93	0.80	<b>1.37</b>	0.87	0.67
⑭今後も暮らし続けていく上での生活の利便性が充実している	1.01	1.21	1.07	1.29	1.30	1.21	0.99	0.79	0.78	1.24	1.34	<b>1.67</b>

※「必要なこと(重要度)」の点数から「感じること(実感度)」の点数を引いたもの。

## 〔2〕地域への居留意向

問9(2) あなたは現在お住まいの地域に住み続けたいですか。(○は1つ)

現在お住まいの地域に住み続けたいかについては、「はい」が85.7%、「いいえ」が10.2%となっています。



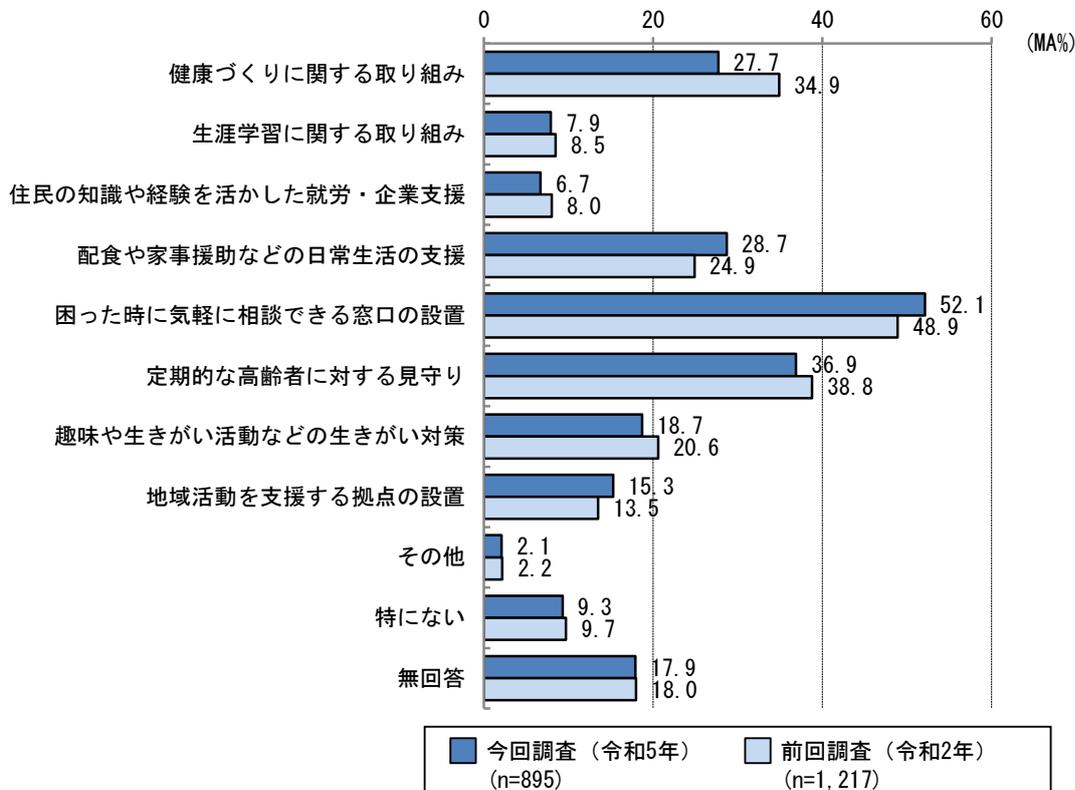
〔3〕地域に住み続けるために必要な取り組み

【問9(2)で「はい」(住み続けたい)と回答した方のみ】

問9(2)① この地域に住み続けるためにはどういった取り組みが必要とお考えですか。(〇はいくつでも)

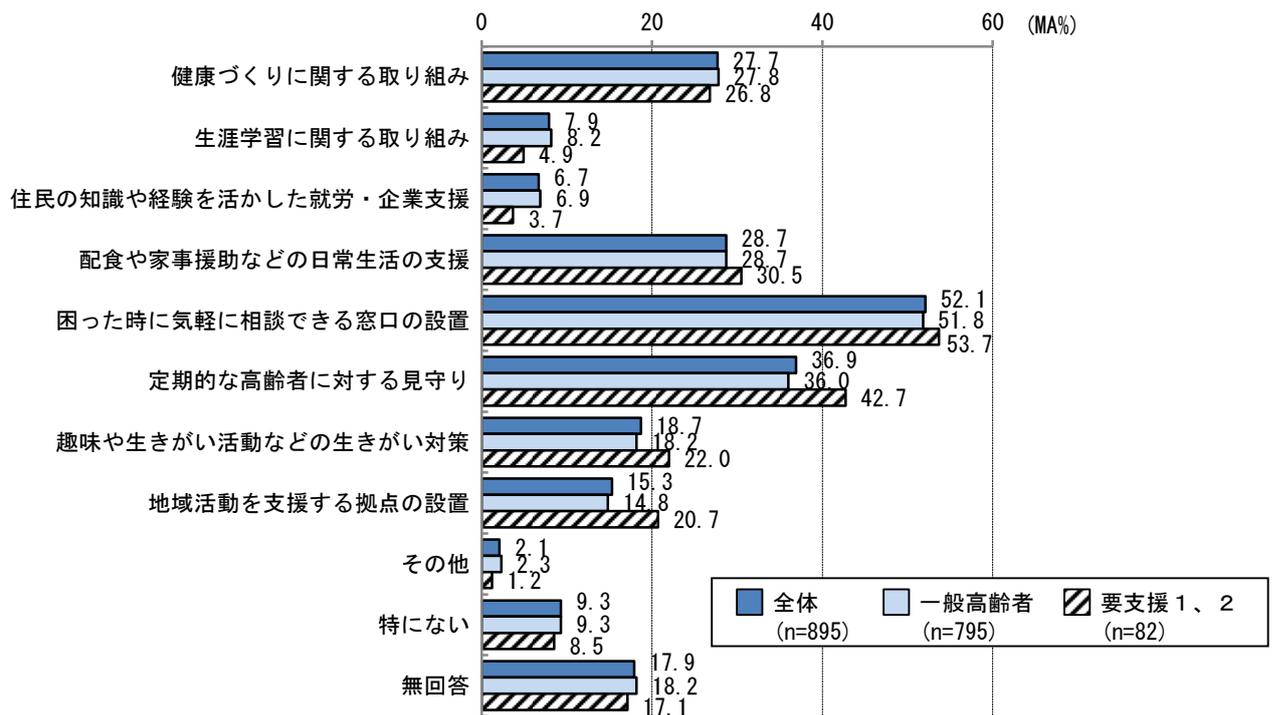
現在住んでいる地域に住み続けるために必要な取り組みは、「困った時に気軽に相談できる窓口の設置」が52.1%と最も多く、次いで、「定期的な高齢者に対する見守り」が36.9%、「配食や家事援助などの日常生活の支援」が28.7%となっています。

認定状況別にみると、「定期的な高齢者に対する見守り」、「趣味や生きがい活動などの生きがい対策」、「地域活動を支援する拠点の設置」などでは、要支援1、2の方のほうが一般高齢者より多くなっています。小学校区別にみると、桃の木台校区、下荘校区などで「健康づくりに関する取り組み」が、舞校区、上荘校区で「定期的な高齢者に対する見守り」が、他の地区に比べて多くなっています。



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【地域に住み続けるために必要な取り組み 認定状況別】



【地域に住み続けるために必要な取り組み 小学校区別】

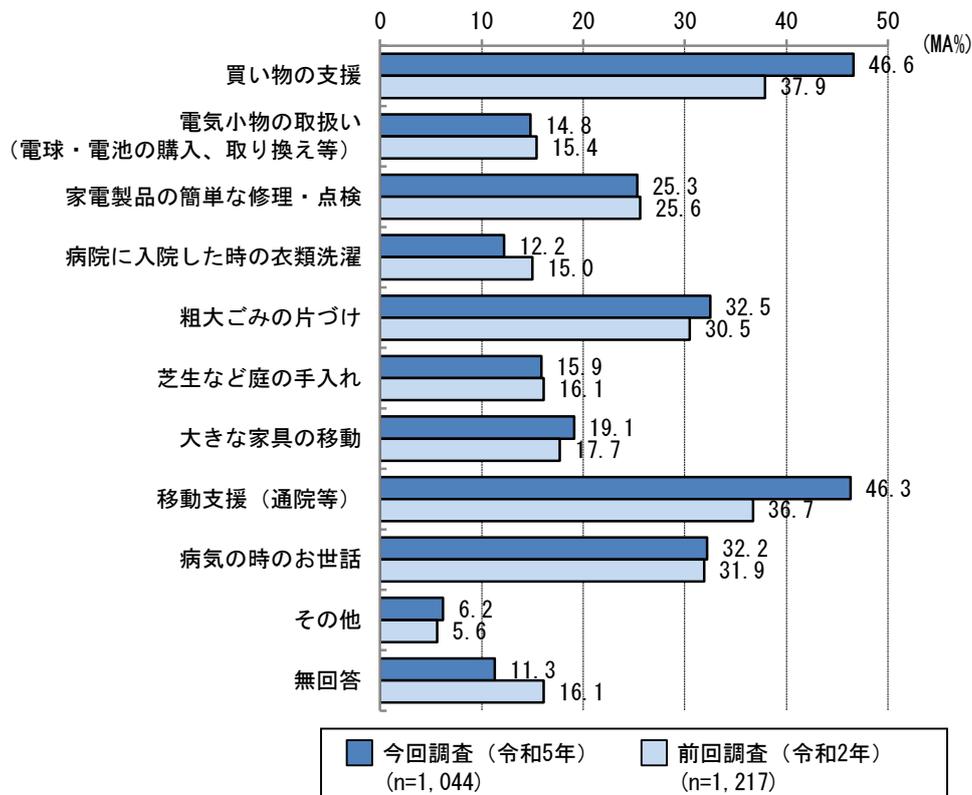
		n	健康づくりに関する	生涯学習に関する	企業活動支援	住民の知識や経験を活かした就労・企業支援	援助の食生活	配食や家事援助の助	設置談話の窓口	困った時に気軽に相談できる窓口	定期的な見守り	対策や生きがい	地域活動の拠点	その他	特にない	無回答
全体		895	248	71	60	257	<b>466</b>	330	167	137	19	83	160			
尾崎地区		100	27.7	7.9	6.7	28.7	<b>52.1</b>	36.9	18.7	15.3	2.1	9.3	17.9			
尾崎地区	尾崎校区	68	21	7	5	20	<b>35</b>	26	14	7	1	7	15			
	(旧)福島校区	100	30.9	10.3	7.4	29.4	<b>51.5</b>	38.2	20.6	10.3	1.5	10.3	22.1			
西鳥取地区	(旧)福島校区	50	13	1	2	7	<b>17</b>	9	6	7	0	8	15			
	100	26.0	2.0	4.0	14.0	<b>34.0</b>	18.0	12.0	14.0	0	16.0	30.0				
西鳥取地区	西鳥取校区	46	10	3	0	16	<b>25</b>	17	10	8	0	1	6			
	100	21.7	6.5	0	34.8	<b>54.3</b>	37.0	21.7	17.4	0	2.2	13.0				
下荘地区	舞校区	138	41	12	10	46	<b>81</b>	57	26	17	4	11	20			
	100	29.7	8.7	7.2	33.3	<b>58.7</b>	41.3	18.8	12.3	2.9	8.0	14.5				
下荘地区	下荘校区	109	30	12	7	27	<b>59</b>	30	22	27	4	9	20			
	100	27.5	11.0	6.4	24.8	<b>54.1</b>	27.5	20.2	24.8	3.7	8.3	18.3				
	(旧)箱作校区	74	22	4	5	24	<b>36</b>	27	14	7	1	5	16			
	100	29.7	5.4	6.8	32.4	<b>48.6</b>	36.5	18.9	9.5	1.4	6.8	21.6				
東鳥取地区	桃の木台校区	33	<b>13</b>	2	3	8	<b>12</b>	11	7	8	0	5	6			
	100	<b>39.4</b>	6.1	9.1	24.2	<b>36.4</b>	33.3	21.2	24.2	0	15.2	18.2				
東鳥取地区	上荘校区	82	27	8	6	25	<b>51</b>	40	16	13	2	7	10			
	100	32.9	9.8	7.3	30.5	<b>62.2</b>	48.8	19.5	15.9	2.4	8.5	12.2				
	東鳥取校区	136	39	6	12	35	<b>70</b>	55	23	23	1	11	26			
	100	28.7	4.4	8.8	25.7	<b>51.5</b>	40.4	16.9	16.9	0.7	8.1	19.1				
	(旧)波太校区	20	2	2	4	5	<b>13</b>	6	5	3	0	2	2			
	100	10.0	10.0	20.0	25.0	<b>65.0</b>	30.0	25.0	15.0	0	10.0	10.0				
	朝日校区	105	22	10	5	36	<b>50</b>	40	18	11	5	14	18			
100	21.0	9.5	4.8	34.3	<b>47.6</b>	38.1	17.1	10.5	4.8	13.3	17.1					
(旧)山中分校	7	3	2	0	2	<b>3</b>	1	<b>4</b>	1	0	1	1				
100	42.9	28.6	0	28.6	<b>42.9</b>	14.3	<b>57.1</b>	14.3	0	14.3	14.3					

[4] 在宅生活を続けるために必要なサービス

問9(3) あなたは、ご自宅での生活を続けるために、こういったサービスが必要とお考えですか。(〇はいくつでも)

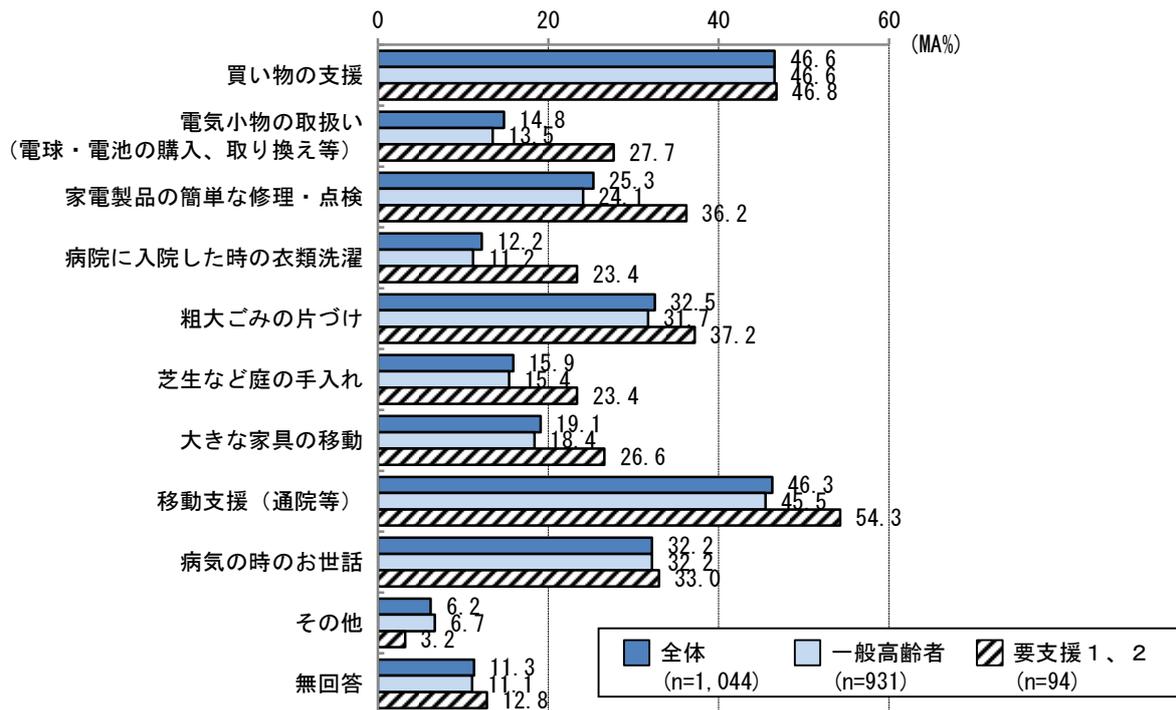
自宅での生活を継続するために必要なサービスについてみると、「買い物の支援」が46.6%と最も多く、次いで、「移動支援（通院等）」が46.3%、「粗大ごみの片づけ」が32.5%となっています。

認定状況別にみると、「移動支援（通院等）」をはじめ、多くの項目で要支援1、2の方のほうが一般高齢者より多くなっています。小学校区別にみると、「買い物の支援」は旧福島校区、西鳥取校区、舞校区、下荘校区、旧箱作校区などで、また、「移動支援（通院等）」は旧箱作校区、朝日地区、旧山中分校区で50%以上と多くなっています。



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【在宅生活を続けるために必要なサービス 認定状況別】



【在宅生活を続けるために必要なサービス 小学校区別】

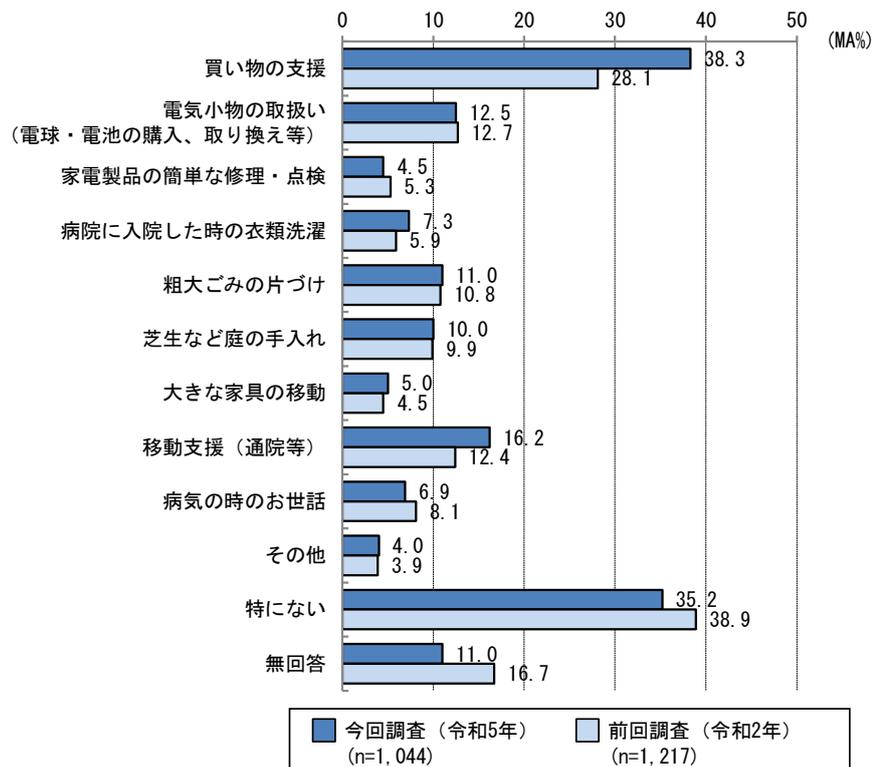
		n	買い物の支援	入、電気小物の取扱い (電球・電池の購入)	家電製品の簡単な修理・点検	病院に入院した時の衣類洗濯	粗大ごみの片づけ	芝生など庭の手入れ	大きな家具の移動	移動支援 (通院等)	病気の時の世話	その他	無回答
全体		1,044	48.6	15.5	26.4	12.7	33.9	16.6	19.9	48.3	33.6	6.5	11.8
		100	46.6	14.8	25.3	12.2	32.5	15.9	19.1	46.3	32.2	6.2	11.3
尾崎地区	尾崎校区	75	29	9	18	8	23	3	15	30	22	8	9
	(旧)福島校区	100	38.7	12.0	24.0	10.7	30.7	4.0	20.0	40.0	29.3	10.7	12.0
西鳥取地区	西鳥取校区	57	31	7	12	6	12	3	8	26	18	5	4
	舞校区	100	54.4	12.3	21.1	10.5	21.1	5.3	14.0	45.6	31.6	8.8	7.0
下荘地区	下荘校区	55	29	7	14	9	23	10	9	26	24	1	2
	舞校区	100	52.7	12.7	25.5	16.4	41.8	18.2	16.4	47.3	43.6	1.8	3.6
東鳥取地区	舞校区	175	96	28	42	24	57	31	38	84	52	14	21
		100	54.9	16.0	24.0	13.7	32.6	17.7	21.7	48.0	29.7	8.0	12.0
	下荘校区	125	71	26	40	21	42	21	24	64	45	14	15
	(旧)箱作校区	100	56.8	20.8	32.0	16.8	33.6	16.8	19.2	51.2	36.0	11.2	12.0
東鳥取地区	(旧)箱作校区	90	47	11	21	11	24	21	17	48	36	2	10
	桃の木台校区	100	52.2	12.2	23.3	12.2	26.7	23.3	18.9	53.3	40.0	2.2	11.1
	桃の木台校区	42	16	8	8	1	12	10	6	18	10	2	4
		100	38.1	19.0	19.0	2.4	28.6	23.8	14.3	42.9	23.8	4.8	9.5
	上荘校区	88	31	21	39	14	32	17	21	39	36	2	8
		100	35.2	23.9	44.3	15.9	36.4	19.3	23.9	44.3	40.9	2.3	9.1
東鳥取地区	東鳥取校区	152	59	11	37	14	49	17	29	63	44	7	19
		100	38.8	7.2	24.3	9.2	32.2	11.2	19.1	41.4	28.9	4.6	12.5
	(旧)波太校区	22	10	3	5	1	7	0	1	9	5	0	4
		100	45.5	13.6	22.7	4.5	31.8	0	4.5	40.9	22.7	0	18.2
	朝日校区	124	59	21	23	13	39	26	25	63	36	9	14
	100	47.6	16.9	18.5	10.5	31.5	21.0	20.2	50.8	29.0	7.3	11.3	
東鳥取地区	(旧)山分校校区	9	3	1	1	2	5	3	1	5	2	0	0
		100	33.3	11.1	11.1	22.2	55.6	33.3	11.1	55.6	22.2	0	0

[5] 近所で手助けや協力できること

問9(4) あなたご自身をご近所で手助けや協力できることがありますか。  
(○はいくつでも)

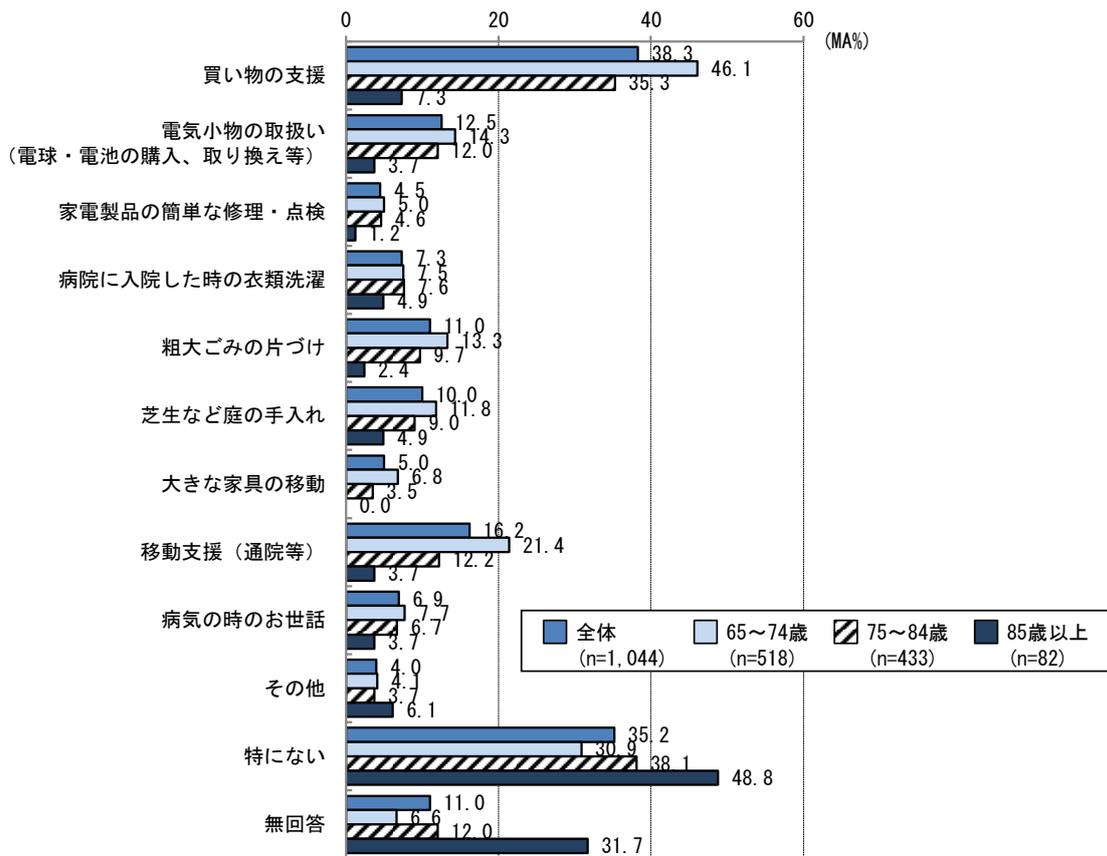
ご近所で手助けや協力ができることについては、「買い物の支援」が38.3%と最も多く、次いで、「特にない」が35.2%、「移動支援（通院等）」が16.2%となっています。

年齢別にみると、85歳以上の方では、手助けできることは少なくなっています。



## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 【近所で手助けや協力できること 年齢別】



### 【近所で手助けや協力できること 小学校区別】

		n	買い物の支援	入(電気取球・物換電池の取扱い)	理(電気小物の取扱い)	家(電製品の簡単な修理)	衣(病院に入院した時の洗濯)	粗(大ごみの片づけ)	芝(生など庭の手入れ)	大(きな家具の移動)	移(動支援(通院等))	病(気の時のお世話)	そ(その他)	特(にない)	無(回答)
全体		1,044	400	130	47	76	115	104	52	169	72	42	367	115	
尾崎地区	尾崎校区	75	28	6	0	6	8	5	1	5	9	2	29	6	
	(旧)福島校区	100	37.3	8.0	0	8.0	10.7	6.7	1.3	6.7	12.0	2.7	38.7	8.0	
	(旧)福島校区	57	20	4	4	3	6	4	2	8	4	2	22	6	
西鳥取地区	西鳥取校区	100	35.1	7.0	7.0	5.3	10.5	7.0	3.5	14.0	7.0	3.5	38.6	10.5	
	舞校区	175	65	21	7	8	20	13	10	25	11	11	60	22	
	舞校区	100	37.1	12.0	4.0	4.6	11.4	7.4	5.7	14.3	6.3	6.3	34.3	12.6	
下荘地区	下荘校区	125	44	17	7	11	12	16	7	19	7	8	44	17	
	(旧)箱作校区	100	35.2	13.6	5.6	8.8	9.6	12.8	5.6	15.2	5.6	6.4	35.2	13.6	
	(旧)箱作校区	90	35	11	2	4	6	15	3	17	7	1	29	13	
	桃の木台校区	100	38.9	12.2	2.2	4.4	6.7	16.7	3.3	18.9	7.8	1.1	32.2	14.4	
東鳥取地区	桃の木台校区	42	19	5	3	2	7	7	4	15	2	0	17	2	
	桃の木台校区	100	45.2	11.9	7.1	4.8	16.7	16.7	9.5	35.7	4.8	0	40.5	4.8	
	上荘校区	88	40	7	2	11	7	7	4	11	7	2	34	4	
	上荘校区	100	45.5	8.0	2.3	12.5	8.0	8.0	4.5	12.5	8.0	2.3	38.6	4.5	
	東鳥取校区	152	56	12	6	4	15	10	6	26	7	5	65	12	
	東鳥取校区	100	36.8	7.9	3.9	2.6	9.9	6.6	3.9	17.1	4.6	3.3	42.8	7.9	
	(旧)波太校区	22	8	3	1	5	4	3	1	2	2	1	3	6	
(旧)波太校区	100	36.4	13.6	4.5	22.7	18.2	13.6	4.5	9.1	9.1	4.5	13.6	27.3		
朝日校区	朝日校区	124	50	24	10	13	12	16	3	23	6	7	34	15	
	朝日校区	100	40.3	19.4	8.1	10.5	9.7	12.9	2.4	18.5	4.8	5.6	27.4	12.1	
	(旧)山中分校校区	9	4	0	0	1	2	0	1	4	1	1	3	0	
(旧)山中分校校区	100	44.4	0	0	11.1	22.2	0	11.1	44.4	11.1	11.1	33.3	0		

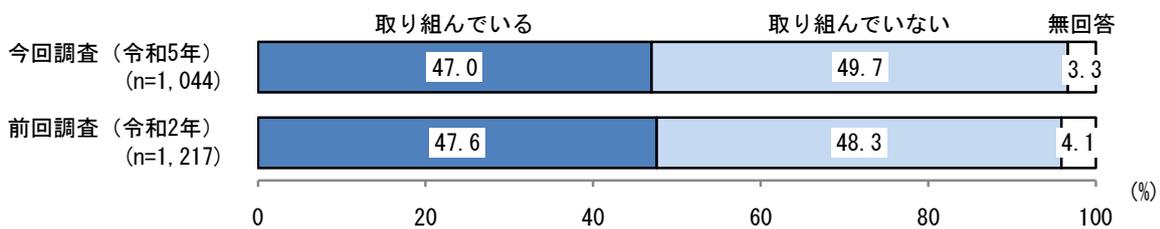
## 10. 介護予防について

### 〔1〕介護予防への取り組み状況

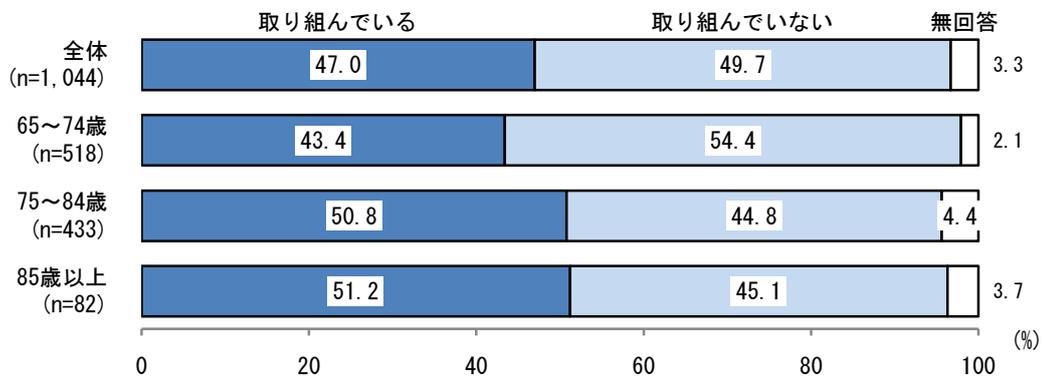
問10(1) あなたは、寝たきりや認知症など、介護を必要とする状態にならないよう、現在、介護予防に取り組んでいますか。(○は1つ)

介護予防に取り組んでいるかについては、「取り組んでいる」が47.0%、「取り組んでいない」が49.7%となっています。

年齢別にみると、65～74歳の前期高齢者では、「取り組んでいる」が43.4%と後期高齢者よりも少なくなっています。小学校区別にみると、西鳥取校区では、「取り組んでいる」が29.1%と他の地区に比べて少なくなっています。

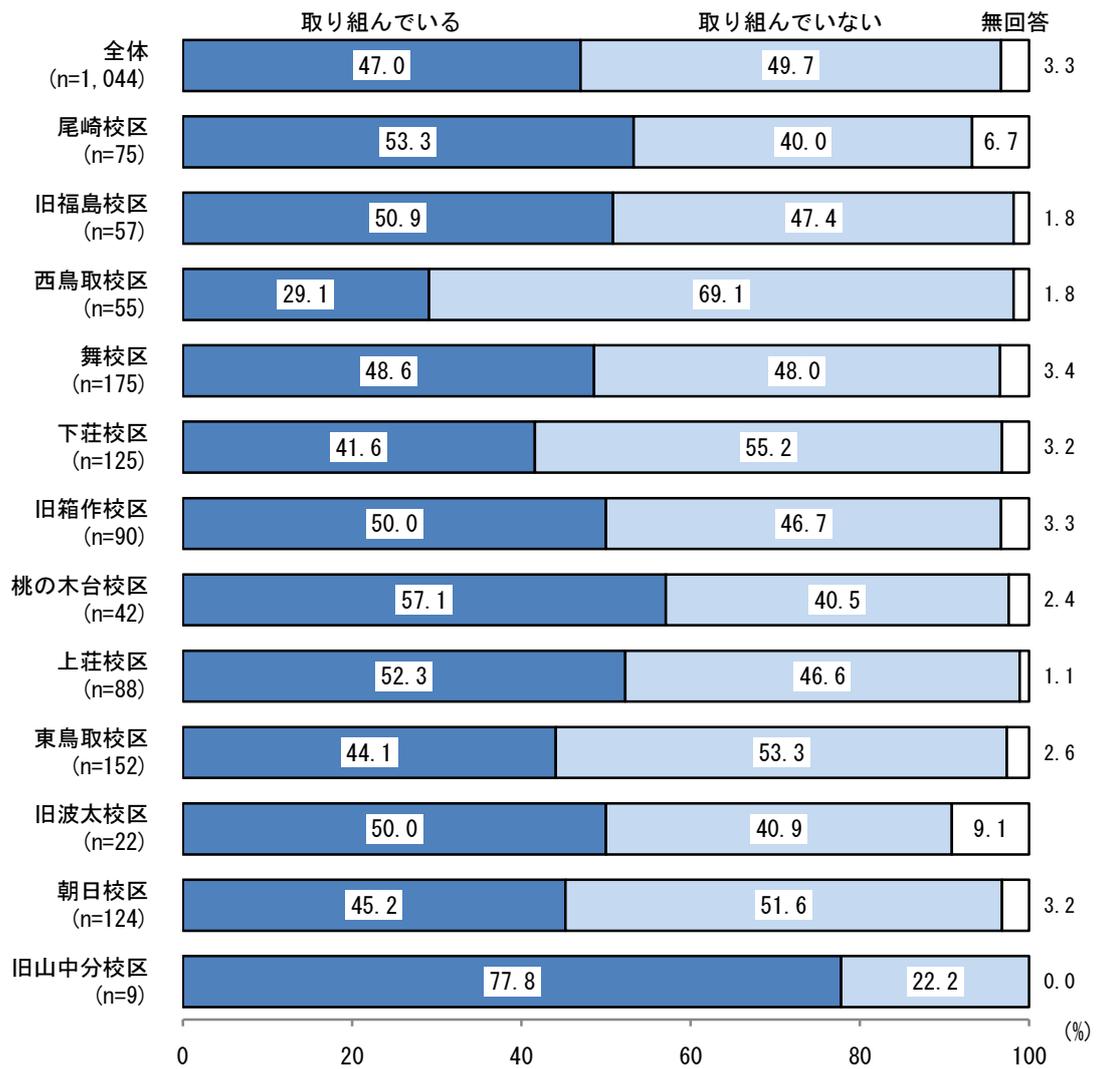


#### 【介護予防への取り組み状況 年齢別】



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【介護予防への取り組み状況 小学校区別】



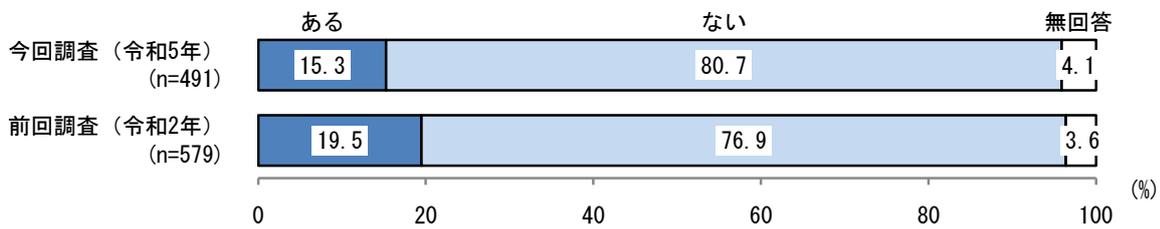
〔2〕介護予防教室への参加状況

【問10(1)で「1. 取り組んでいる」と回答した方のみ】

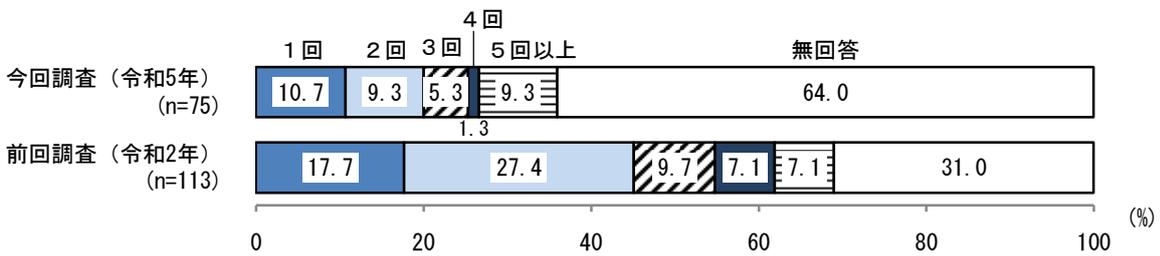
問10(1)① あなたは、いつまでも元気で暮らすための「介護予防教室」に参加したことがありますか。(○は1つ)

介護予防に取り組んでいる方の「介護予防教室」への参加状況は、「（参加したことが）ある」が15.3%、「ない」が80.7%となっています。また、参加したことが「ある」方の参加回数は、「1回」が10.7%と最も多く、次いで、「2回」、「5回以上」がそれぞれ9.3%となっています。

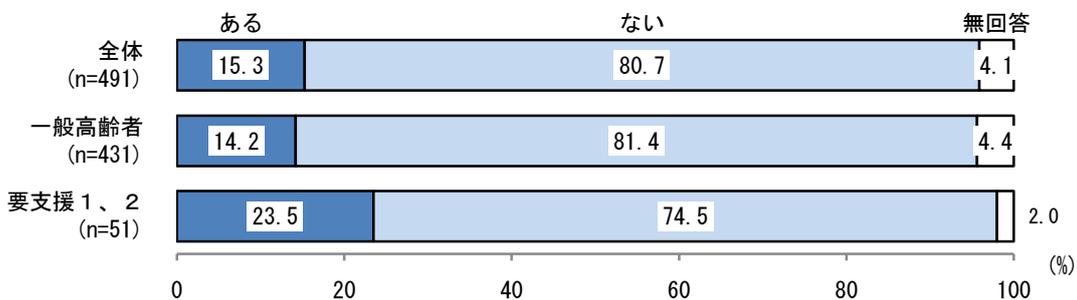
認定状況別にみると、「（参加したことが）ある」は要支援1、2の方で23.5%とやや多くなっています。小学校区別にみると、「（参加したことが）ある」は下荘校区で23.1%と多く、西鳥取校区や桃の木台校区では1割未満と少なくなっています。



【介護予防教室への参加回数】

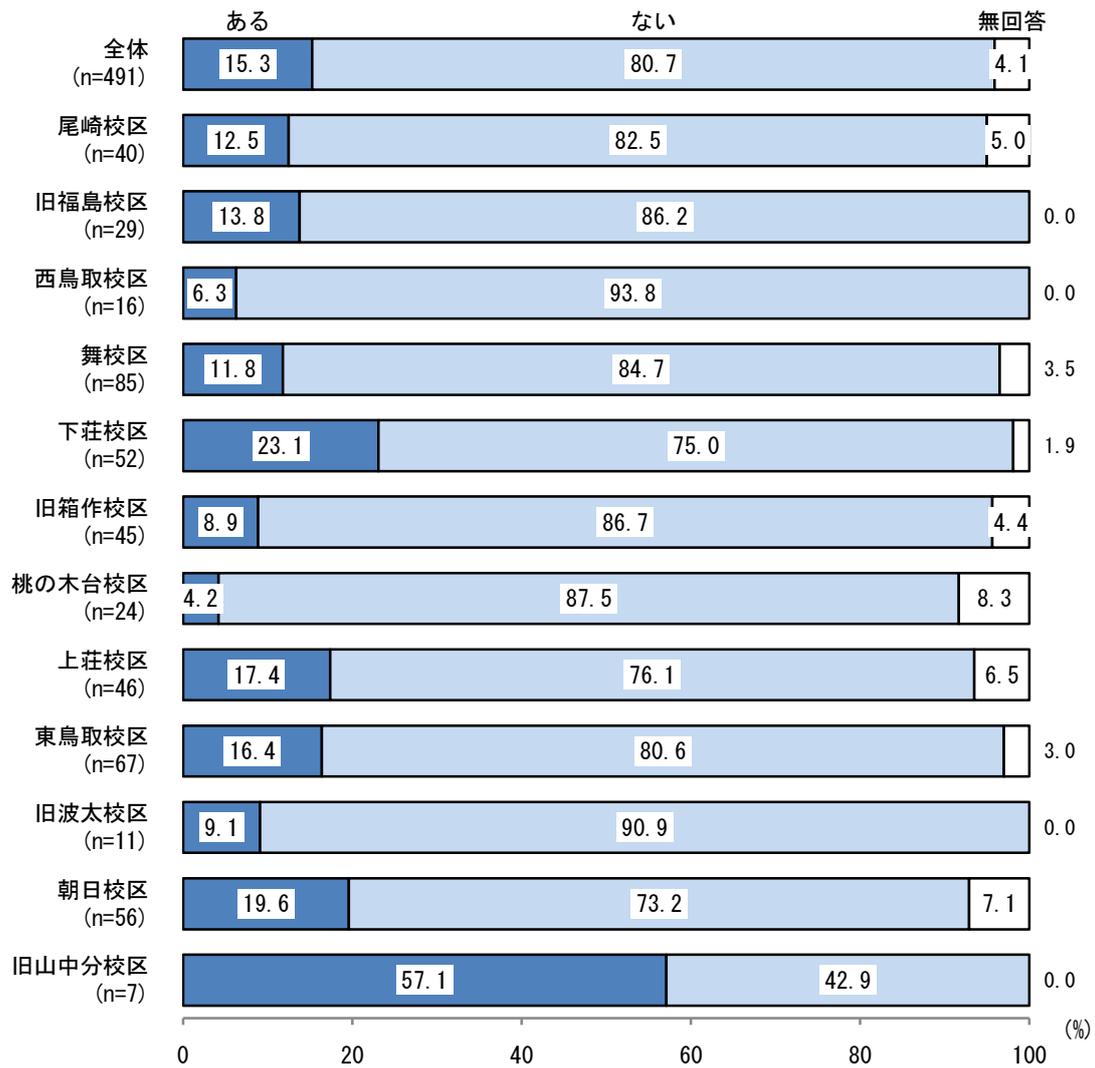


【介護予防教室への参加状況 認定状況別】



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【介護予防教室への参加状況 小学校区別】



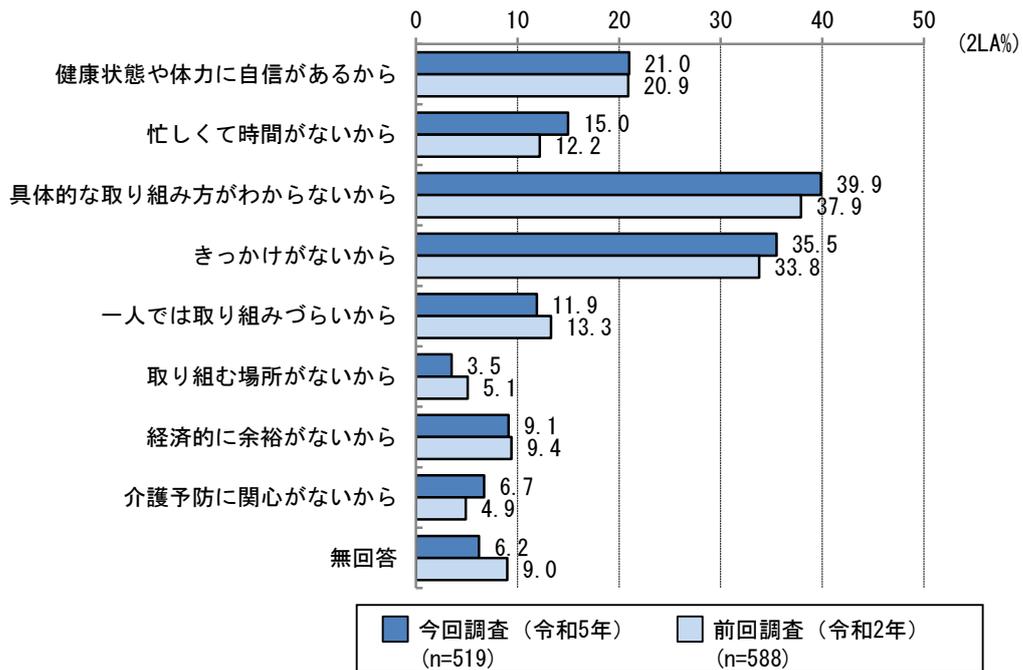
〔3〕介護予防に取り組んでいない理由

【問10(1)で「2. 取り組んでいない」と回答した方のみ】

問10(1)② 介護予防に取り組んでいない理由は何ですか。(○は2つまで)

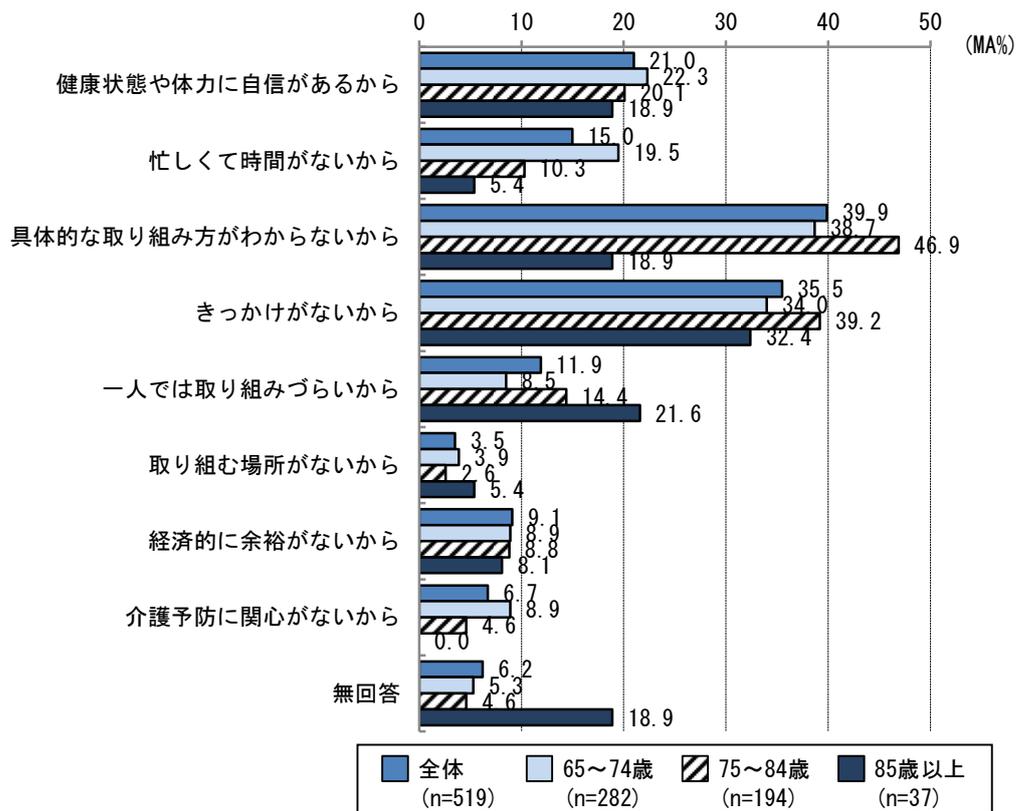
介護予防に取り組んでいない理由は、「具体的な取り組み方がわからないから」が39.9%と最も多く、次いで、「きっかけがないから」が35.5%、「健康状態や体力に自信があるから」が21.0%、「忙しくて時間がないから」が15.0%となっています。

年齢別、認定状況別にみると、85歳以上や要支援1、2の方では、「一人では取り組みづらから」が他の区分に比べて多くみられます。

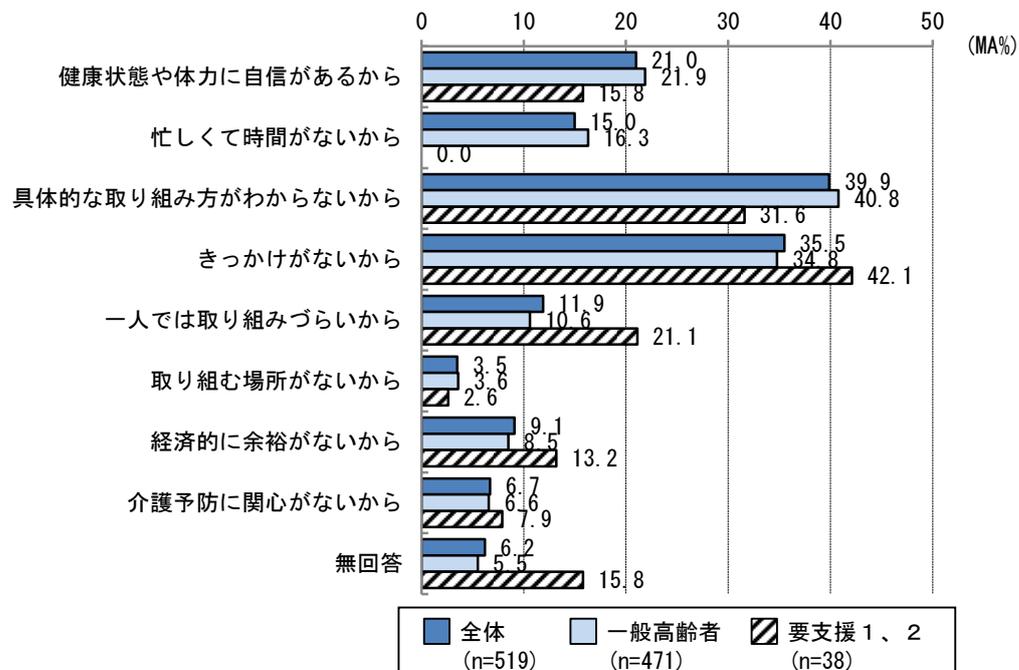


## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【介護予防に取り組んでいない理由 年齢別】



【介護予防に取り組んでいない理由 認定状況別】

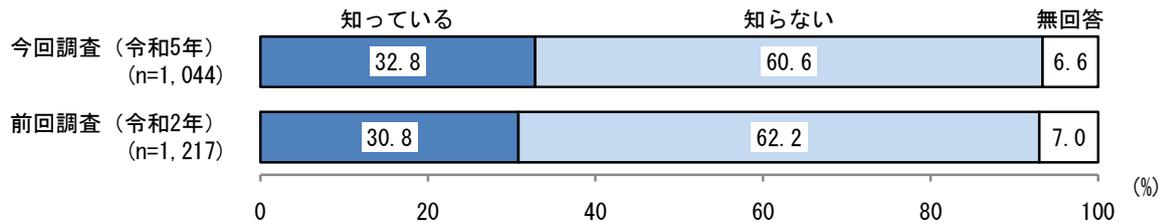


[4]「いきいき百歳体操」の認知

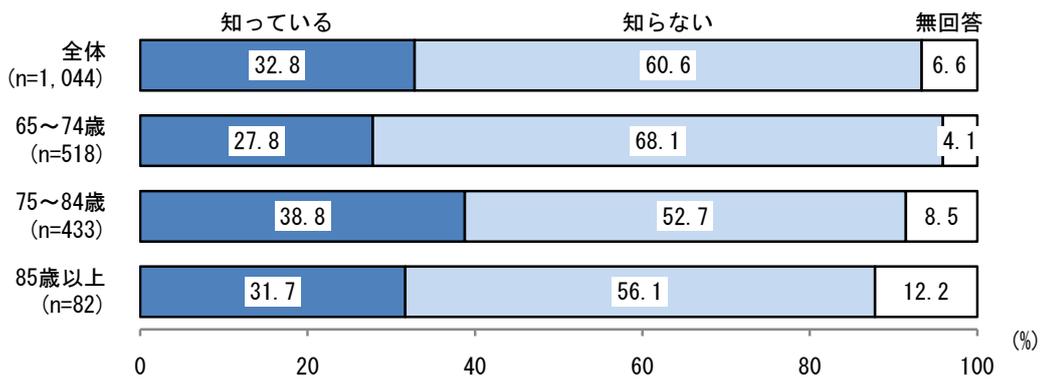
問10(2) 身近な地域で気軽に取り組める「いきいき百歳体操」を知っていますか。  
(○は1つ)

「いきいき百歳体操」を知っているかについては、「知っている」が32.8%、「知らない」が60.6%となっています。

年齢別にみると、「知っている」は75～84歳で38.8%と多く、65～74歳では27.8%とやや少なくなっています。



【「いきいき百歳体操」の認知 年齢別】

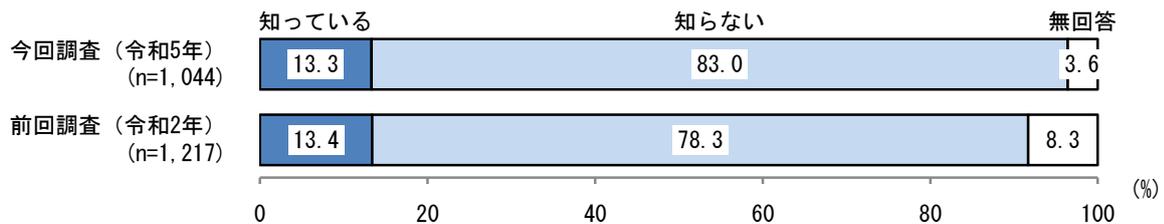


## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

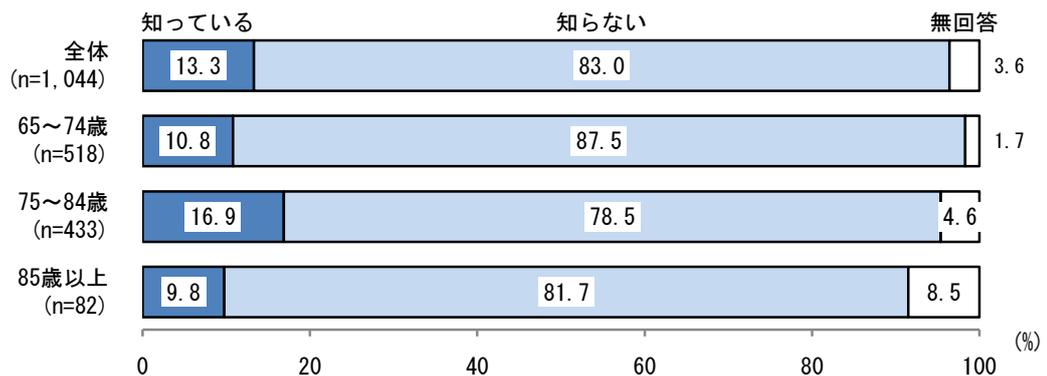
### 〔5〕「認知症サポーター」の認知

問10(3) あなたは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して、できる範囲で手助けする「認知症サポーター」を知っていますか。(○は1つ)

「認知症サポーター」を「知っている」は13.3%、「知らない」が83.0%となっています。  
 年齢別にみると、「知っている」は75～84歳で16.9%とやや多く、65～74歳では10.8%とやや少なくなっています。



#### 【認知症サポーターの認知 年齢別】

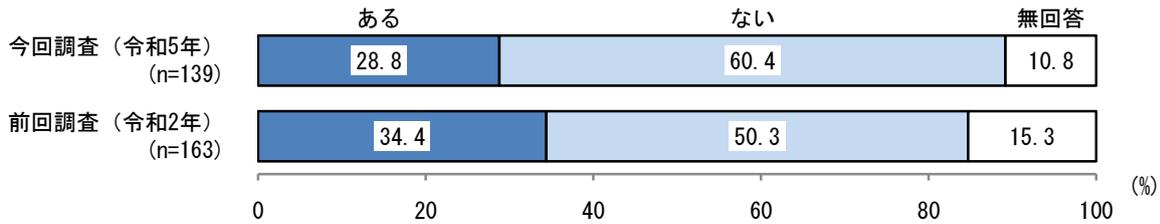


〔6〕「認知症サポーター養成講座」の受講状況

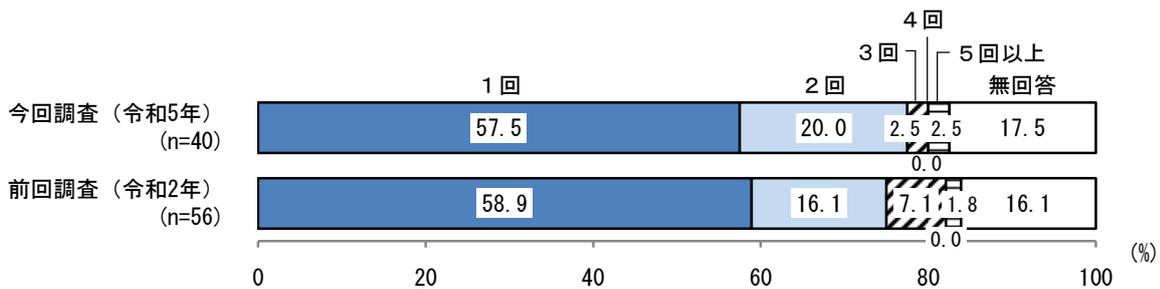
【問10(3)で「1. 知っている」と回答した方のみ】

問10(3) あなたは「認知症サポーター養成講座」を受講したことがありますか。  
(○は1つ)

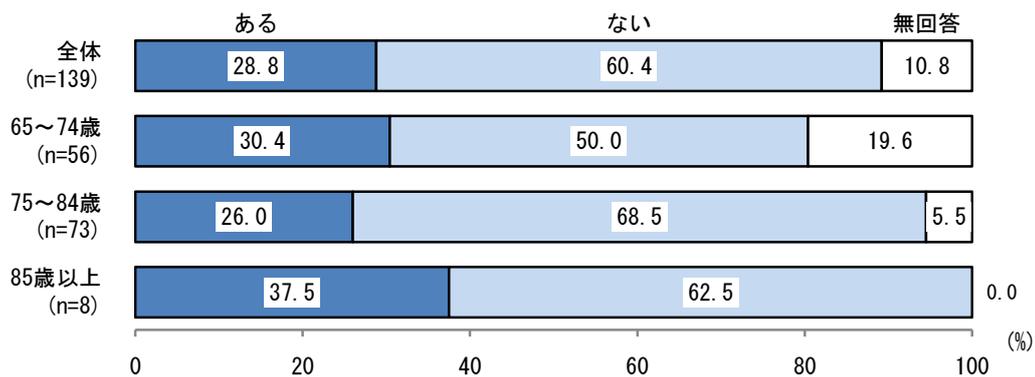
「認知症サポーター」を「知っている」と回答された方で、「認知症サポーター養成講座」を受講したことが「ある」方は28.8%となっています。また、受講したことが「ある」方の受講回数は、「1回」が57.5%と最も多く、次いで、「2回」が20.0%となっています。



【「認知症サポーター養成講座」の受講回数】



【「認知症サポーター養成講座」の受講状況 年齢別】



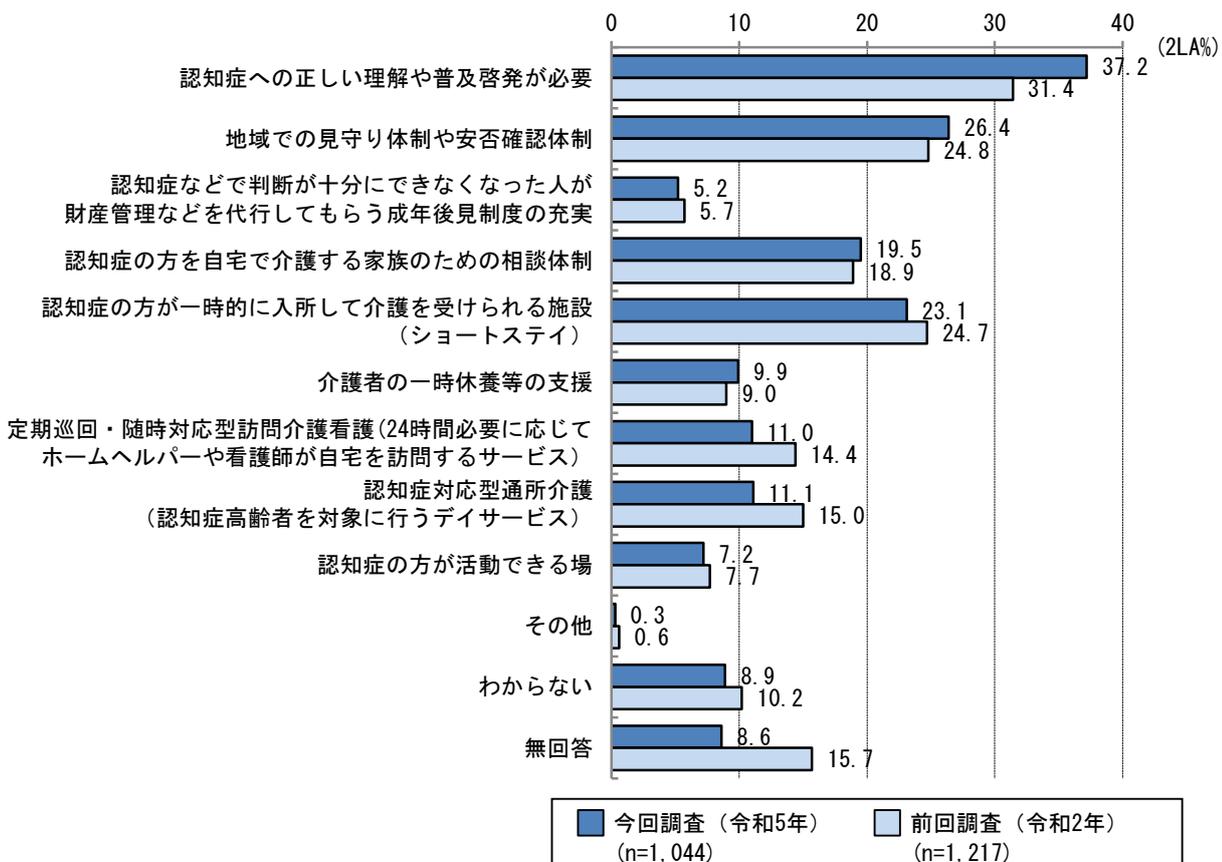
## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### [7] 認知症の方が住み慣れた地域で生活をするために必要な支援

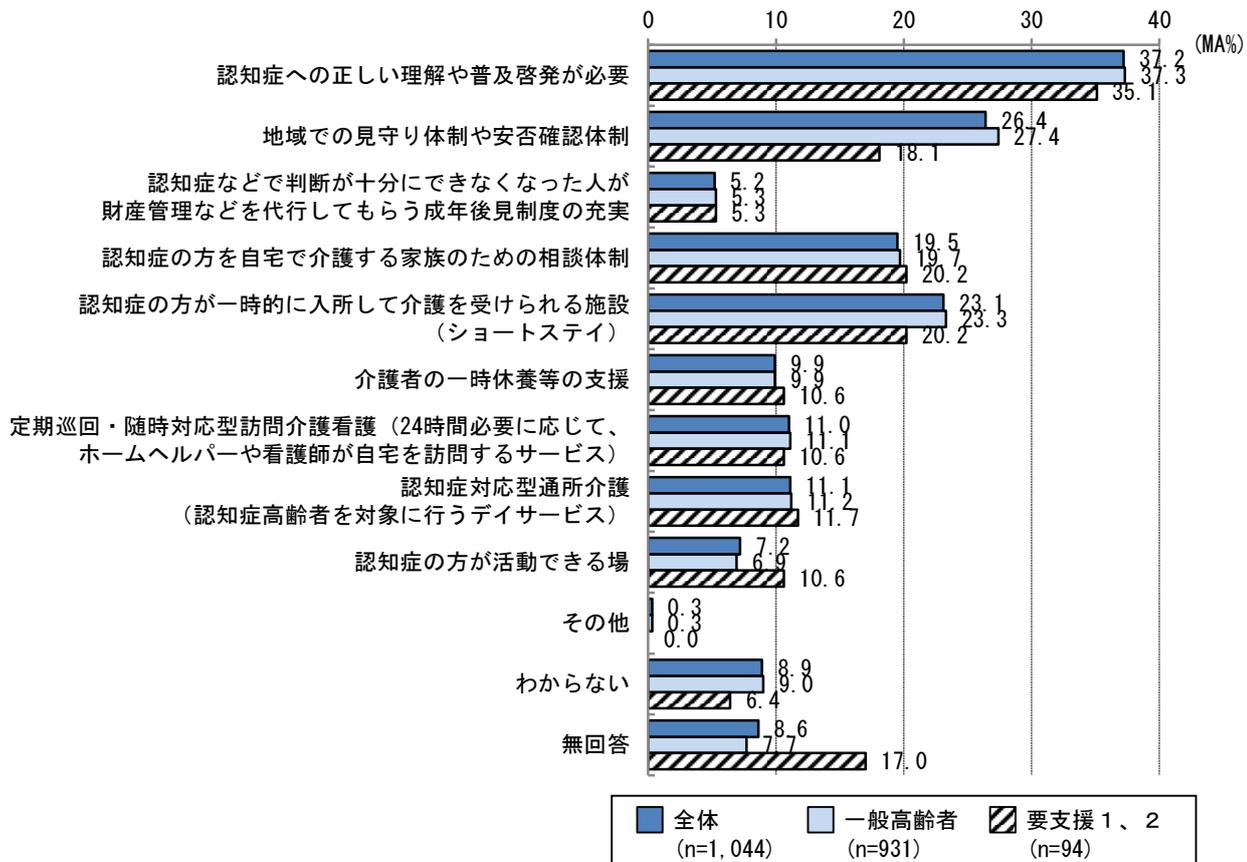
問10(4) あなたは、認知症の方が住み慣れた地域で生活をするためには、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答・2つまで)

認知症の方が住み慣れた地域で生活をするために必要な支援は、「認知症への正しい理解や普及啓発が必要」が37.2%と最も多く、次いで、「地域での見守り体制や安否確認体制」が26.4%、「認知症の方が一時的に入所して介護を受けられる施設（ショートステイ）」が23.1%となっています。

認定状況別にみると、「認知症の方が活躍できる場」では要支援1、2の方が10.6%と、一般高齢者より多くなっています。



【認知症の方が住み慣れた地域で生活をするために必要な支援 認定状況別】

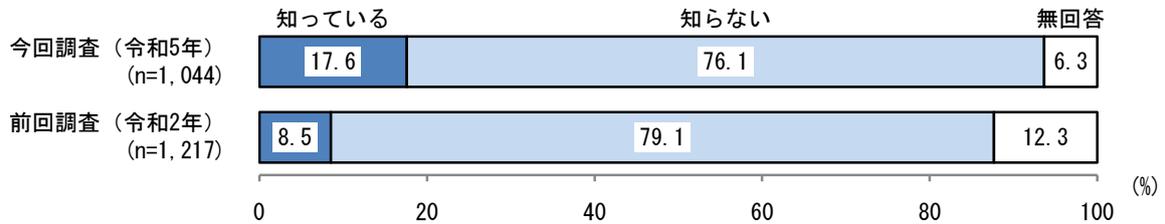


## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

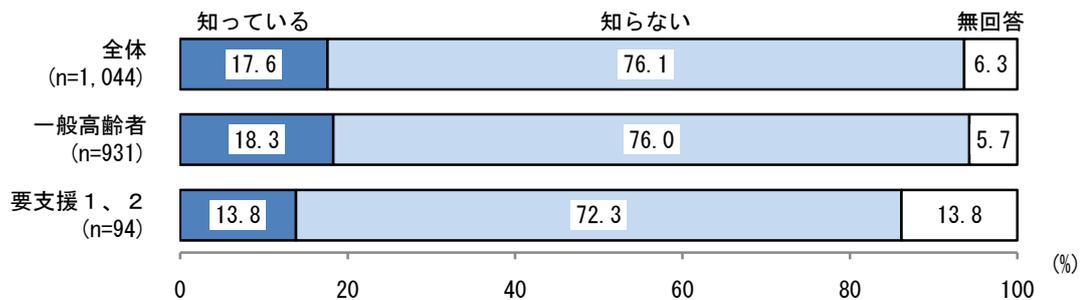
### 〔8〕認知症カフェの認知

問10(5) あなたは認知症カフェをご存じですか。(○は1つ)

認知症カフェについては、「知っている」が17.6%、「知らない」が76.1%となっています。  
認定状況別にみると、要支援1、2の方では「知っている」が13.8%と、一般高齢者よりやや少なくなっています。



【認知症カフェの認知 認定状況別】

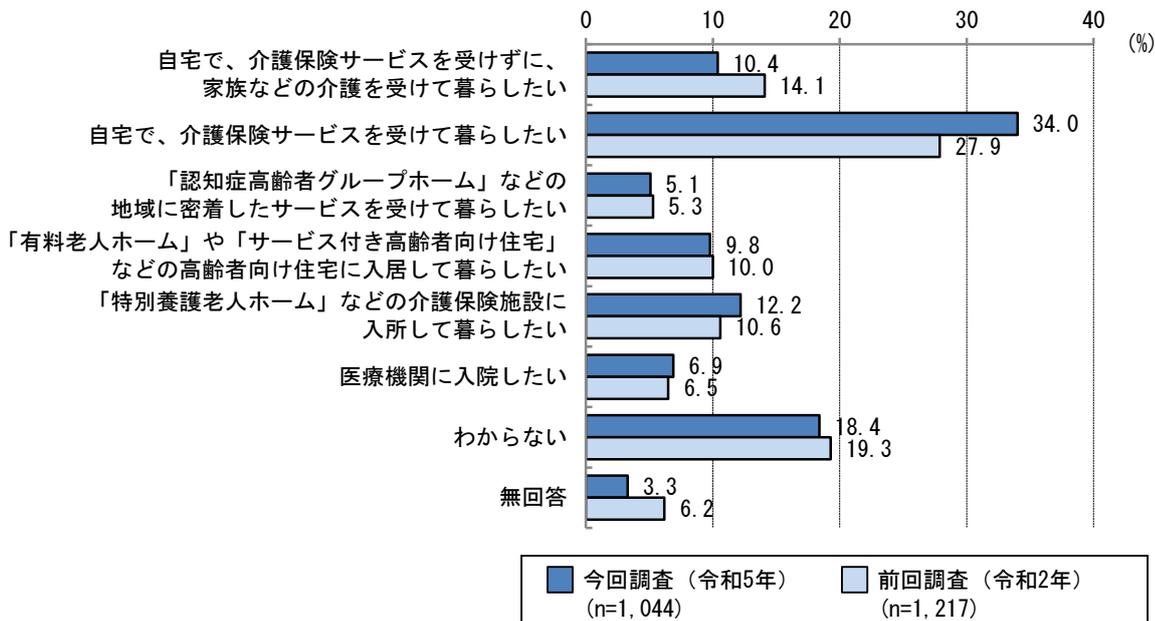


## 11. 在宅生活の継続について

### 〔1〕人生の最期を迎える時におくりたい暮らし

問11(1) あなたは、今後、自分で身の回りのことができなくなった場合や、人生の最期を迎える時にどのような暮らしをおくりたいですか。(○は1つ)

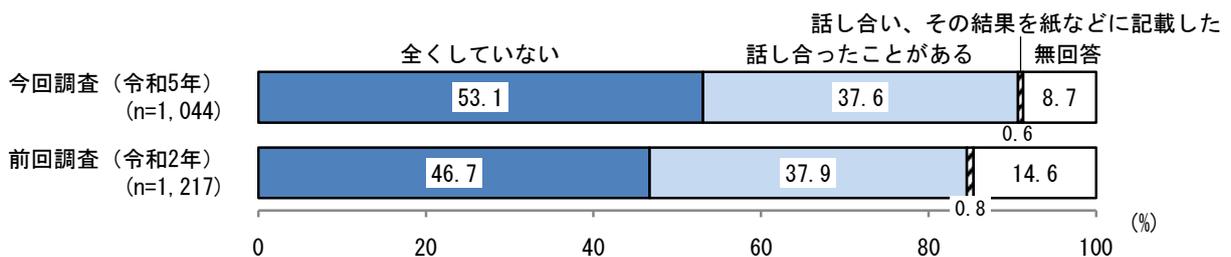
自分で身の回りのことができなくなった場合や、人生の最期を迎える時にどのような暮らしをおくりたいかについては、「自宅で、介護保険サービスを受けて暮らしたい」が34.0%と最も多く、次いで、「特別養護老人ホーム」などの介護保険施設に入所して暮らしたいが12.2%、「自宅で、介護保険サービスを受けずに、家族などの介護を受けて暮らしたい」が10.4%となっています。



### 〔2〕人生の最期について話し合った経験

問11(2) (1)で回答したこと(人生の最期を迎える時におくりたい暮らし)について誰かと話し合いをしていますか。(○は1つ)

人生の最後を迎える時におくりたい暮らしについて誰かと話し合いをしているかについては、「全くしていない」が53.1%と最も多く、次いで、「話し合ったことがある」が37.6%、「話し合い、その結果を紙などに記載した」が0.6%となっています。

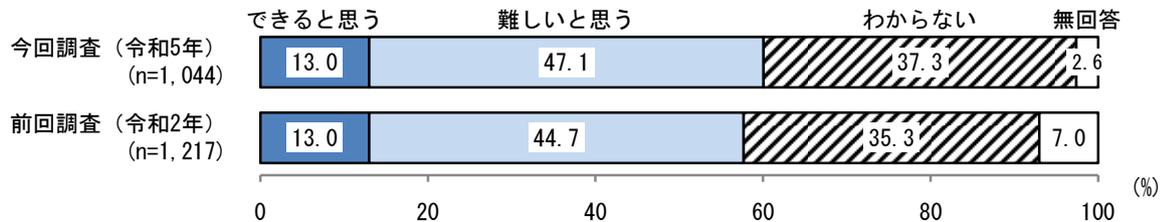


## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### [3] 自宅療養で最後まで過ごすことの可否

問11(3) あなたは、自宅で療養しながら、最期まで過ごすことができると思いますか。(○は1つ)

自宅で療養しながら、最期まで過ごすことができると思うかについては、「できると思う」が13.0%、「難しいと思う」が47.1%となっています。

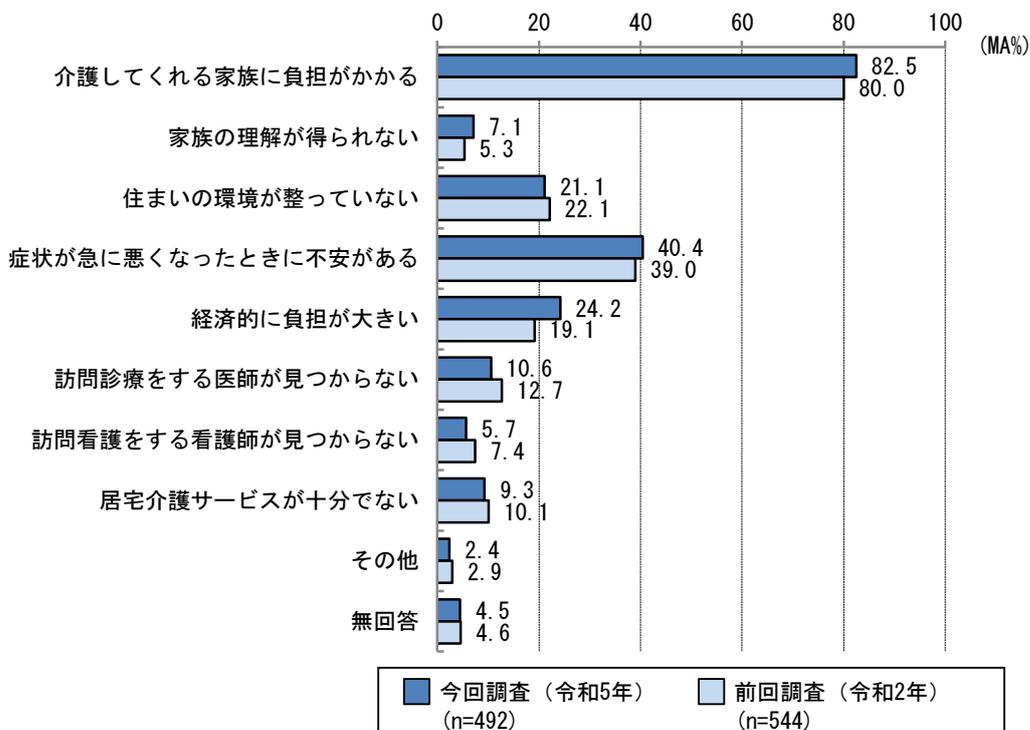


### [4] 自宅療養で最後まで過ごすことが難しい理由

【問11(3)で「2. 難しいと思う」と回答した方のみ】

問11(3)① 難しいと思う理由は何ですか。(複数回答)

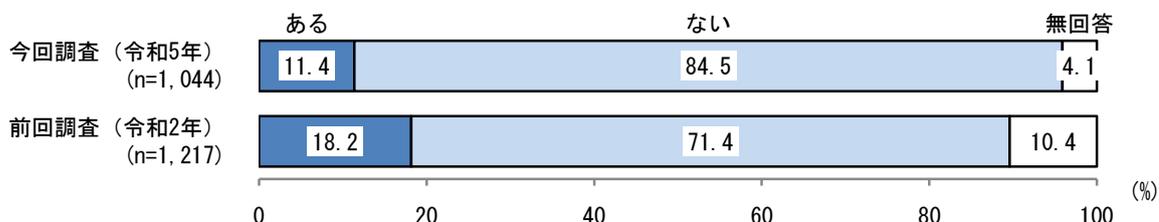
自宅で療養しながら最期まで過ごすことについて難しいと思う理由は、「介護してくれる家族に負担がかかる」が82.5%と最も多く、次いで、「症状が急に悪くなったときに不安がある」が40.4%、「経済的に負担が大きい」が24.2%となっています。前回調査に比べて「経済的に負担が大きい」が5.1ポイント増加しています。



[5] 在宅での医療や介護が必要になった経験

問11(4) 今までに入院されたことがあり、退院後、在宅での医療や介護が必要となったことがありますか。(○は1つ)

退院後、在宅での医療や介護が必要になったことがあるかについては、「ある」が11.4%、「ない」が84.5%となっています。

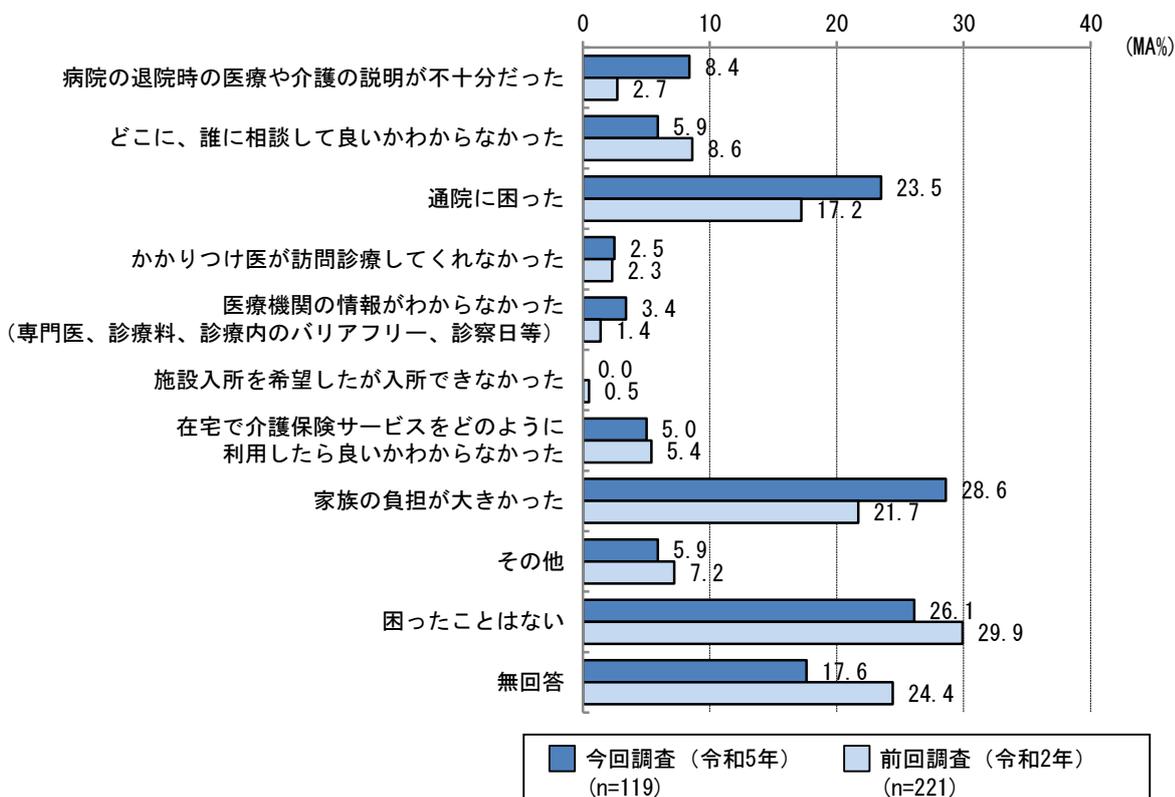


[6] 退院後に困ったこと

【問11(4)で「1. ある(退院後、在宅での医療や介護が必要になったことがある)」と回答した方のみ】

問11(4)① 退院時や退院後、困ったことはありますか。

退院時や退院後に困ったことは、「家族の負担が大きかった」が28.6%と最も多く、次いで、「通院に困った」が23.5%、「病院の退院時の医療や介護の説明が不十分だった」が8.4%となっています。

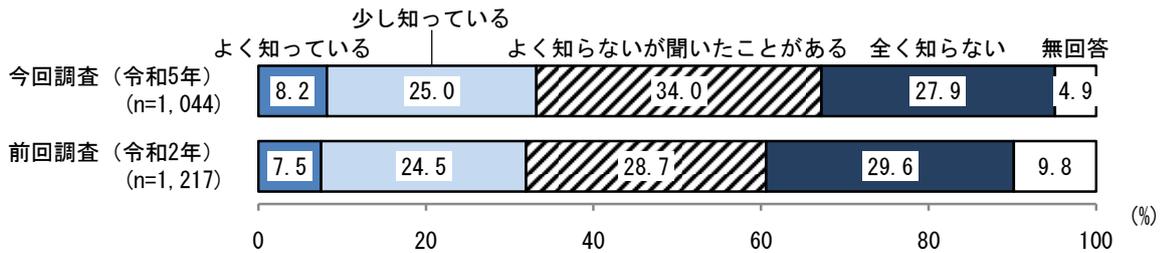


## 12. 成年後見制度について

### 〔1〕成年後見制度の認知

問12(1) あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

成年後見制度を知っているかについては、「よく知らないが聞いたことがある」が34.0%と最も多く、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた『知っている』が33.2%、「全く知らない」が27.9%となっています。

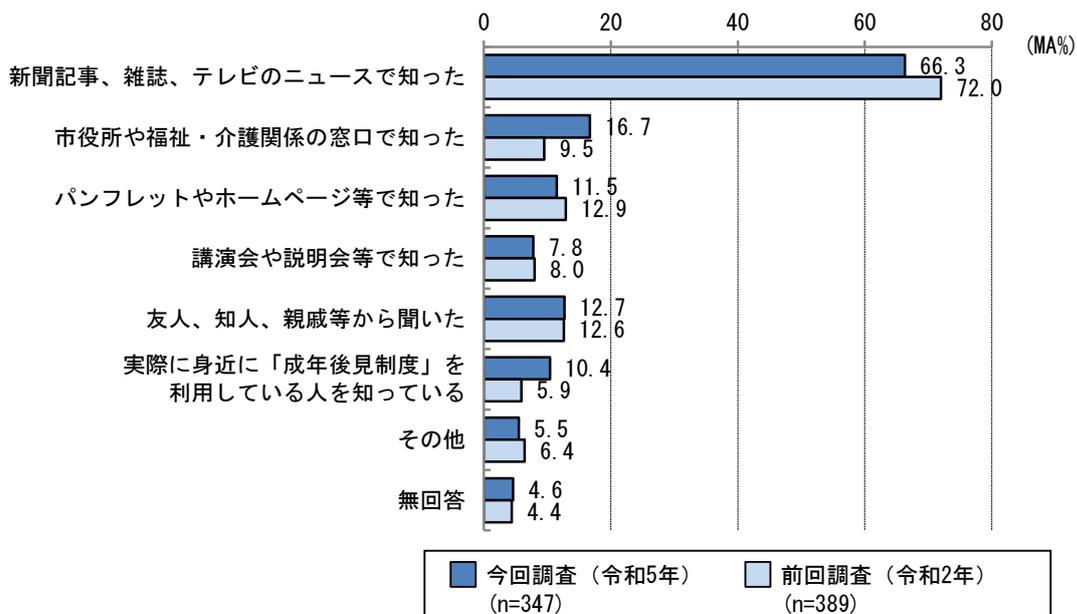


### 〔2〕成年後見制度の認知経路

【問12(1)で「1. よく知っている」「2. 少し知っている」と回答した方のみ】

問12(1) ①どこで「成年後見制度」を知りましたか。(○はいくつでも)

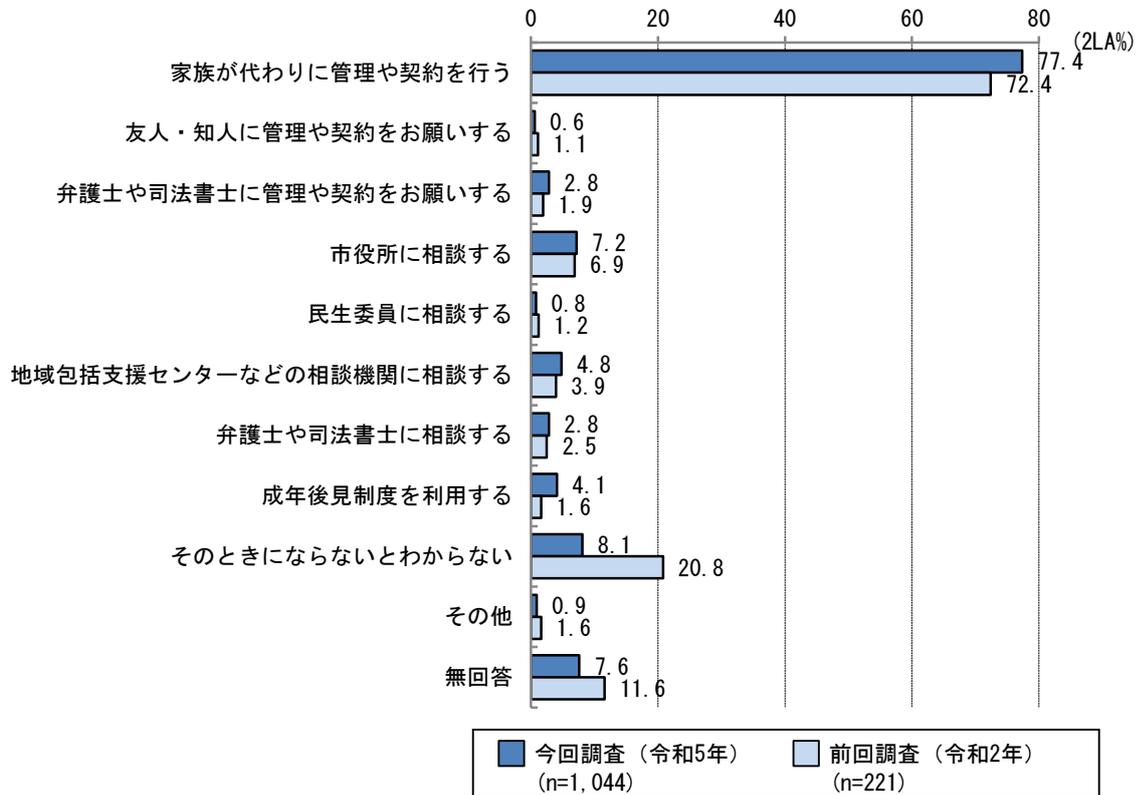
どこで「成年後見制度」を知ったかについては、「新聞記事、雑誌、テレビのニュースで知った」が66.3%と最も多く、次いで、「市役所や福祉・介護関係の窓口で知った」が16.7%、「友人、知人、親戚等から聞いた」が12.7%となっています。



〔3〕金銭や財産の管理などができなくなった場合の対応

問12(2) あなたは、金銭や財産の管理ができなくなったり、契約が結べなくなった場合、どのようにしたいとお考えですか。(○は2つまで)

「家族が代わりに管理や契約を行う」が77.4%と最も多く、次いで、「そのときにならないとわからない」が8.1%、「市役所に相談する」が7.2%となっています。

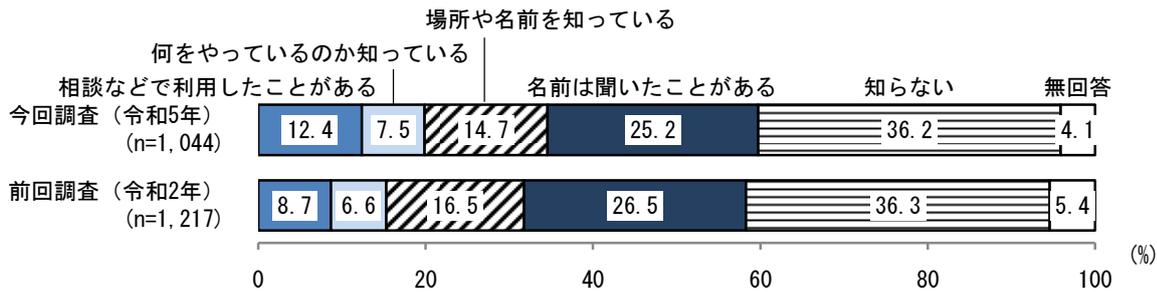


### 13. 介護保険制度・サービスについて

#### 〔1〕「地域包括支援センター」の認知

問13(1) あなたは、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」について知っていますか。(○は1つ)

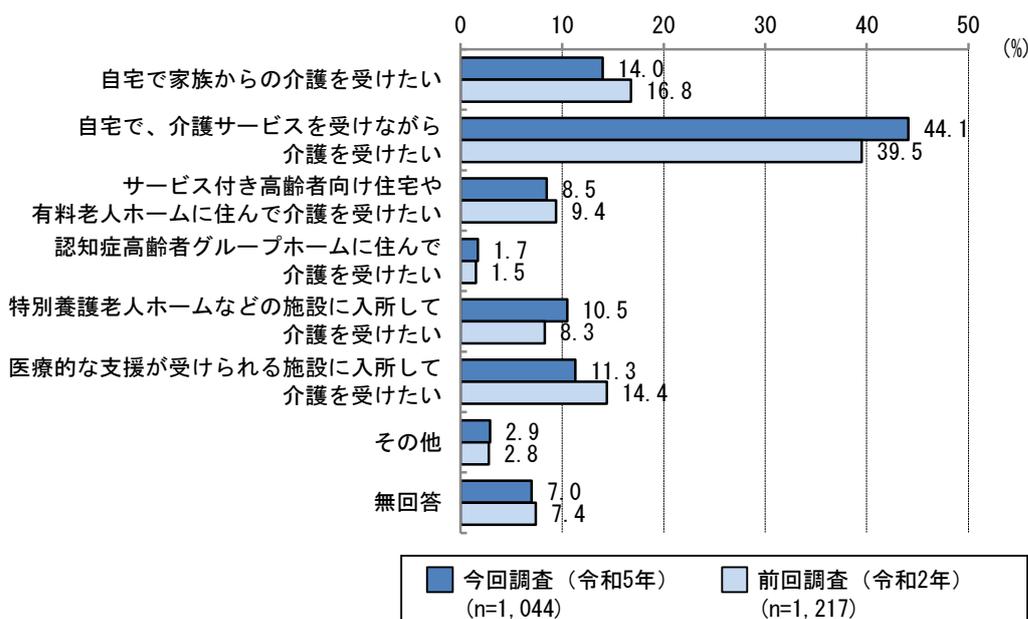
「地域包括支援センター」については、「知らない」が36.2%と最も多く、次いで、「名前は聞いたことがある」が25.2%、「場所や名前を知っている」が14.7%となっています。



#### 〔2〕介護が必要になった場合に希望する対応

問13(2) あなたご自身に介護が必要になった場合、どのようにしたいと思いますか。(○は1つ)

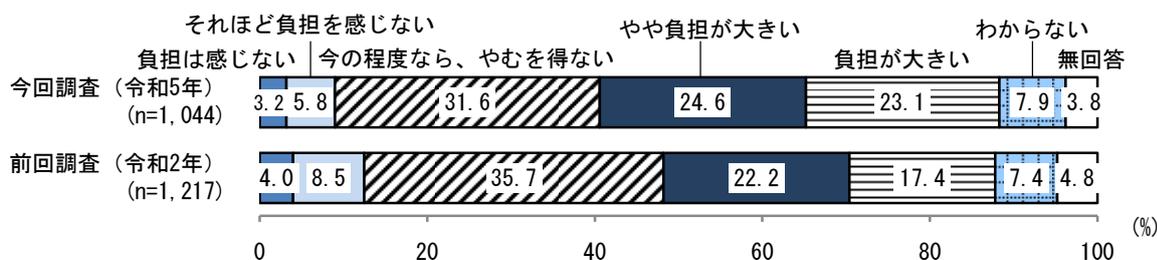
介護が必要になった場合、どのようにしたいかについては、「自宅で、介護サービスを受けながら介護を受けたい」が44.1%と最も多く、次いで、「自宅で家族からの介護を受けたい」が14.0%、「医療的な支援が受けられる施設に入所して介護を受けたい」が11.3%となっています。



〔3〕介護保険料の負担感

問13(3) あなたの介護保険料について経済的な負担感はどうですか。(○は1つ)

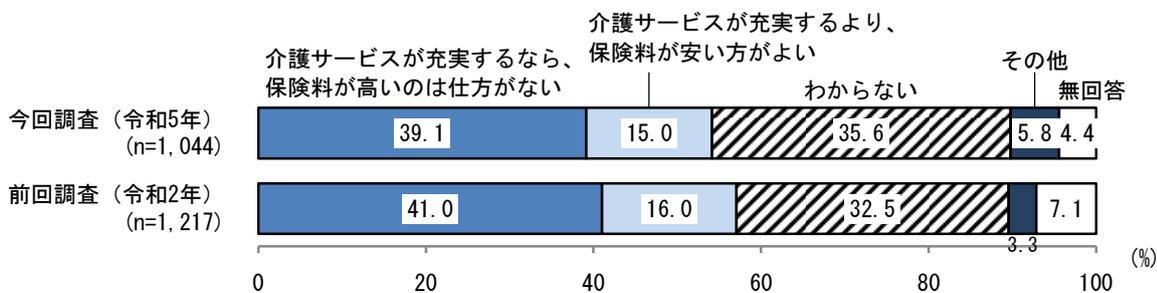
介護保険料について経済的な負担感は「今の程度なら、やむを得ない」が31.6%と最も多く、次いで、「やや負担が大きい」が24.6%、「負担が大きい」が23.1%となっています。「やや負担が大きい」と「負担が大きい」を合わせた『負担が大きい』は47.7%で、前回調査（39.6%）に比べて8.1ポイント増加しています。



〔4〕介護保険料と介護サービスについて

問13(4) 介護保険の保険料は市全体で使われた介護サービスの量で決まります。あなたは、保険料の負担と介護サービスについてどう思いますか。(○は1つ)

保険料の負担と介護サービスについては、「介護サービスが充実するなら、保険料が高いのは仕方がない」が39.1%、「介護サービスが充実するより、保険料が安い方がよい」が15.0%となっています。

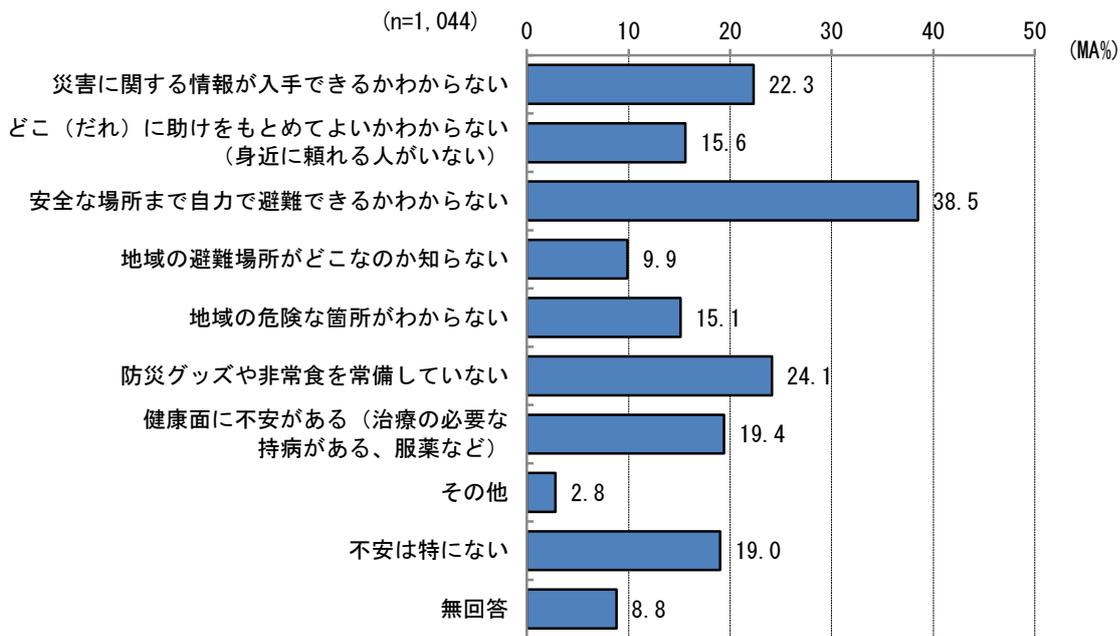


## 14. その他

### 〔1〕災害時に不安に思うこと

問14(1) 地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか。  
(○はいくつでも)

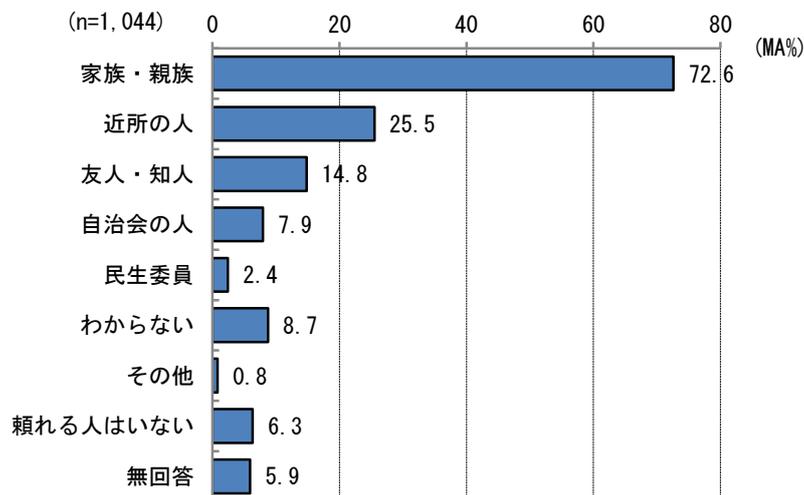
災害時に対して不安に思うことは、「安全な場所まで自力で避難できるかわからない」が38.5%と最も多く、次いで、「防災グッズや非常食を常備していない」が24.1%、「災害に関する情報が入手できるかわからない」が22.3%となっています。



### 〔2〕避難時に頼れる人

問14(2) 災害等で避難が必要な際、頼れる人はいますか。(○はいくつでも)

災害等で避難が必要な際、頼れる人は「家族・親族」が72.6%と最も多く、次いで、「近所の人」が25.5%、「友人・知人」が14.8%となっています。

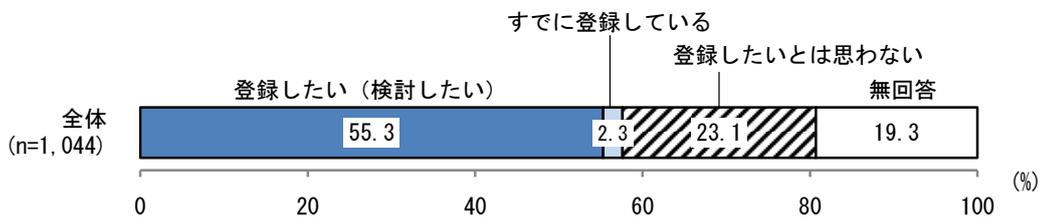


〔3〕災害時要援護者登録制度への登録希望

問14(3) 市では、災害時の支援体制づくりとして、支援が必要な方(災害時要援護者)を対象に市への登録申請を受け付けています(災害時要援護者登録制度(くらしの安心ダイヤル事業)※)。将来的に、ご自身が支援が必要な状態になった場合、要支援者として登録したいと思いますか。(○は1つ)

※災害時に支援が必要な方(災害時要援護者)が、自身の情報を事前に市に登録し、市がその情報を地域の関係者(自治会長・民生委員・避難支援者)に提供することで、災害時の支援体制づくりに備えています。

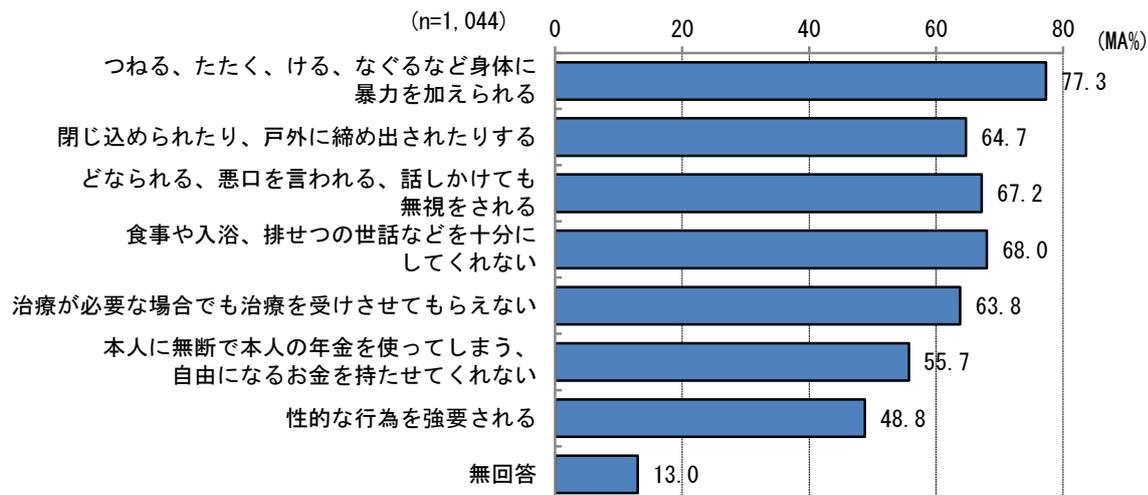
災害時要援護者登録制度に登録したいかについては、「登録したい(検討したい)」が55.3%、「すでに登録している」が2.3%、「登録したいとは思わない」が23.1%となっています。



〔4〕高齢者への虐待だと思ふ行為

問14(4) あなたが高齢者への虐待だと思ふ行為はどれですか。(○はいくつでも)

高齢者への虐待だと思ふ行為は、「つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えられる」が77.3%と最も多く、次いで、「食事や入浴、排せつの世話などを十分にしてくれない」が68.0%、「どなられる、悪口を言われる、話しかけても無視をされる」が67.2%となっています。

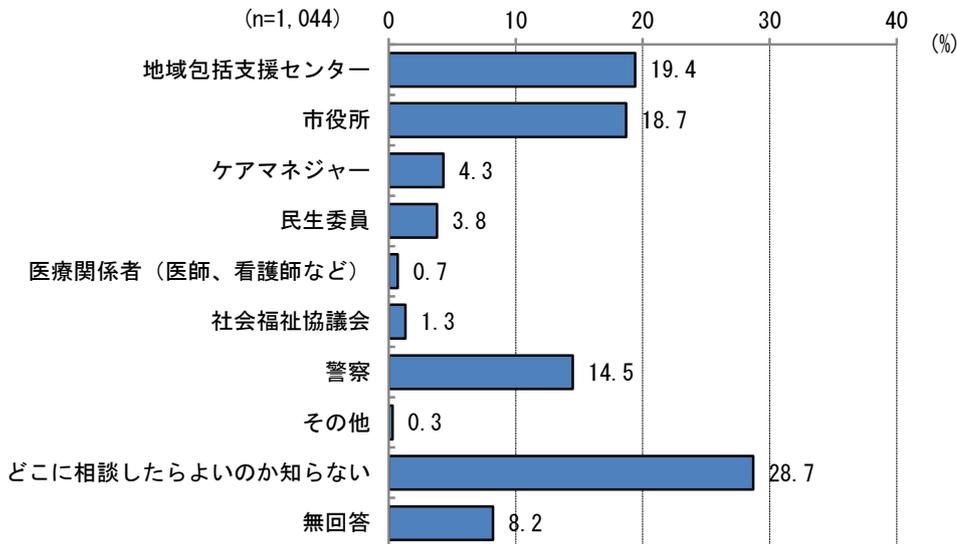


## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### [5] 高齢者虐待の相談先

問14(5) 高齢者の虐待についての相談先としてどんなところを知っていますか。  
(○は1つ)

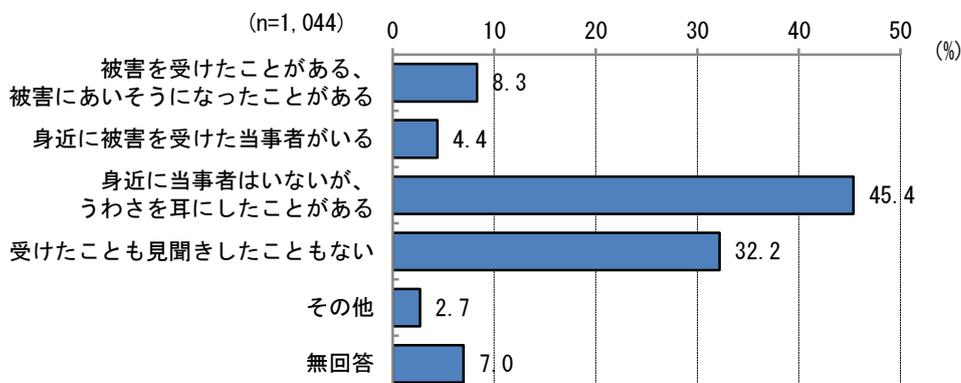
高齢者の虐待についての相談先として知っているところは、「地域包括支援センター」が19.4%と最も多く、次いで、「市役所」が18.7%、「警察」が14.5%となっています。



### [6] 悪質商法の被害体験、見聞きした経験

問14(6) あなたは、振り込め詐欺をはじめとする悪質商法の被害にあった経験や見聞きしたことがありますか。(○はいくつでも)

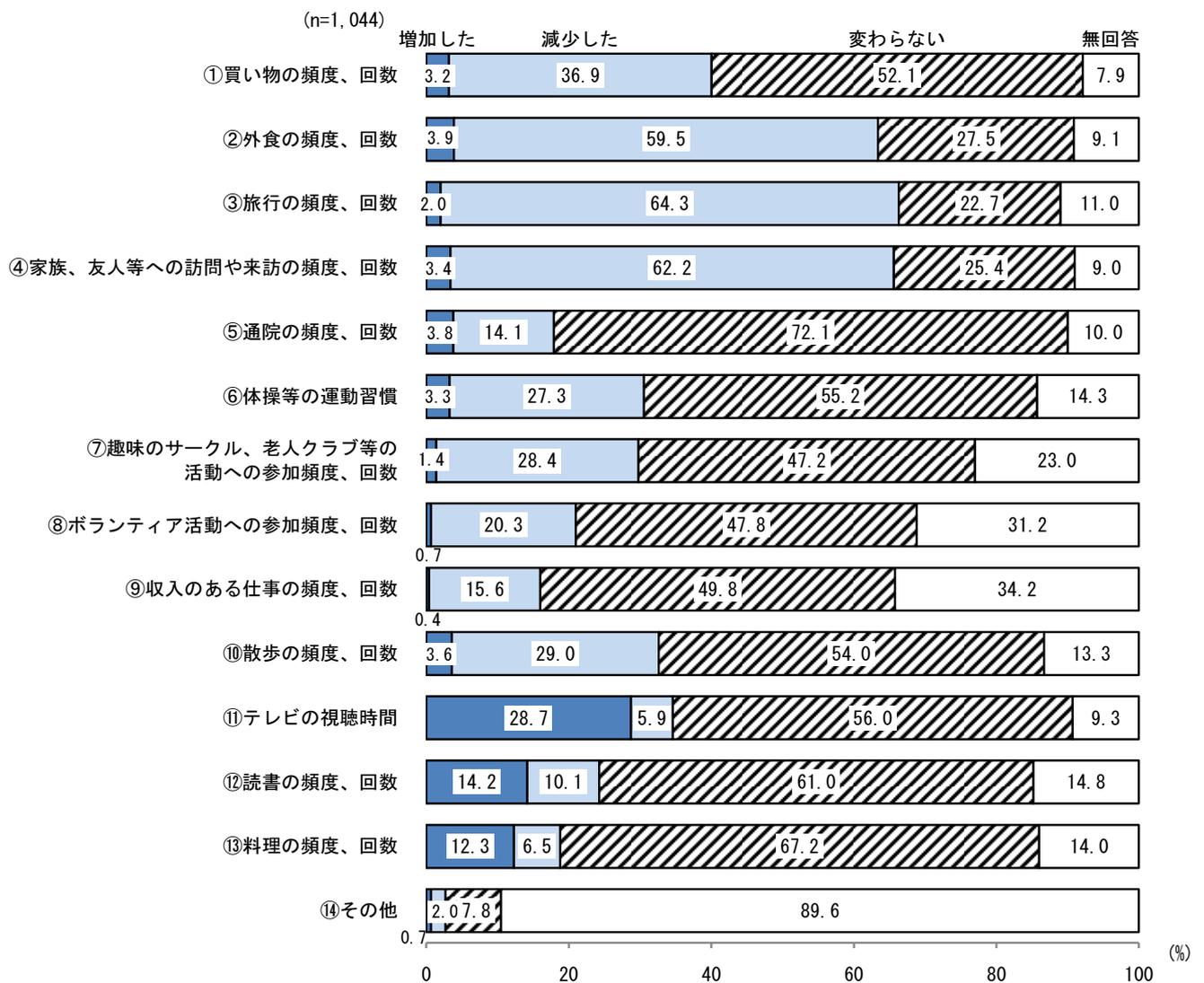
悪質商法の被害にあった経験や見聞きについては、「身近に当事者はいないが、うわさを耳にしたことがある」が45.4%と最も多く、次いで、「受けたことも見聞きしたこともない」が32.2%、「被害を受けたことがある、被害にあいそうになったことがある」が8.3%となっています。



〔7〕新型コロナウイルスによる日常生活の変化

問14(7) 新型コロナウイルス感染症が社会に影響を与える前と現在を比較して、あなたの日常生活はどのように変化しましたか。①～⑭のそれぞれの場面について、頻度や回数がどう変化したかをお答えください。  
(○は1つ)

新型コロナウイルスの流行による日常生活の変化についてたずねたところ、「②外食の頻度、回数」、「③旅行の頻度、回数」、「④家族、友人等への訪問や来訪の頻度、回数」については6割前後、「①買い物の頻度、回数」については約4割、「⑥体操等の運動習慣」、「⑦趣味のサークル、老人クラブ等の活動への参加頻度、回数」、「⑩散歩の頻度、回数」については約3割の人が「減少した」と回答しています。また、「⑤通院の頻度、回数」については7割強の人が「変わらない」と回答しています。



## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 〔8〕自由意見

問14(8)介護保険制度や高齢者保健福祉についてご意見・ご要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

計71件（のべ86件）のご意見をいただきました。主な内容は以下のとおりです。

ご意見内容	件数
<b>■ 介護保険制度や介護サービスについて</b>	<b>83件</b>
・介護保険料が高い、支払ったところで利用できるか不安	(33件)
・相談窓口、制度やサービスについて情報が欲しい	(19件)
・介護認定が厳しい 希望のサービスが受けられない	(12件)
・高齢者が安心して暮らせるよう支援の強化	(6件)
・補助金の増額、入院や入所の無償化、お金に対する意見	(5件)
・介護者への支援（給与の見直し等）、福祉士の質の向上	(4件)
・介護認定について正確に判断をするべき	(3件)
・保険証とマイナンバーの紐づけできるようにしてほしい	(1件)
<b>■ 移動や外出について</b>	<b>15件</b>
・コミュニティバスの増便を希望	(8件)
・介護タクシーや送迎車の普及を強化	(5件)
・道路や歩道の整備を強化	(1件)
・エレベーターの設置を希望（公民館）	(1件)
<b>■ 行政へのご意見・ご要望</b>	<b>9件</b>
・現状把握、市から各施設に対しての指示を強化、体制づくりの強化	(3件)
・財源の使い道について	(2件)
・議員の減給、福祉への寄付を希望	(1件)
・市長に対して	(1件)
・予防接種時の病院の対応について	(1件)
・その他	(1件)
<b>■ 高齢者施策について</b>	<b>5件</b>
・日常生活の支援	(2件)
・視覚障がいや体の不自由がある人への支援	(2件)
・体操など多くの人が参加できるイベント実施	(1件)
<b>■ 地域活動、ご近所づきあいについて</b>	<b>4件</b>
・居場所づくりの強化や声かけ、ボランティアの育成	(3件)
・地域活動情報の周知を強化	(1件)
<b>■ その他のご意見</b>	<b>56件</b>
・特になし、わからない	(22件)
・支援に対するお礼、自分自身の目標や意気込み	(20件)
・アンケートについて（勉強になった、難しい、時間がかかる等）	(14件)

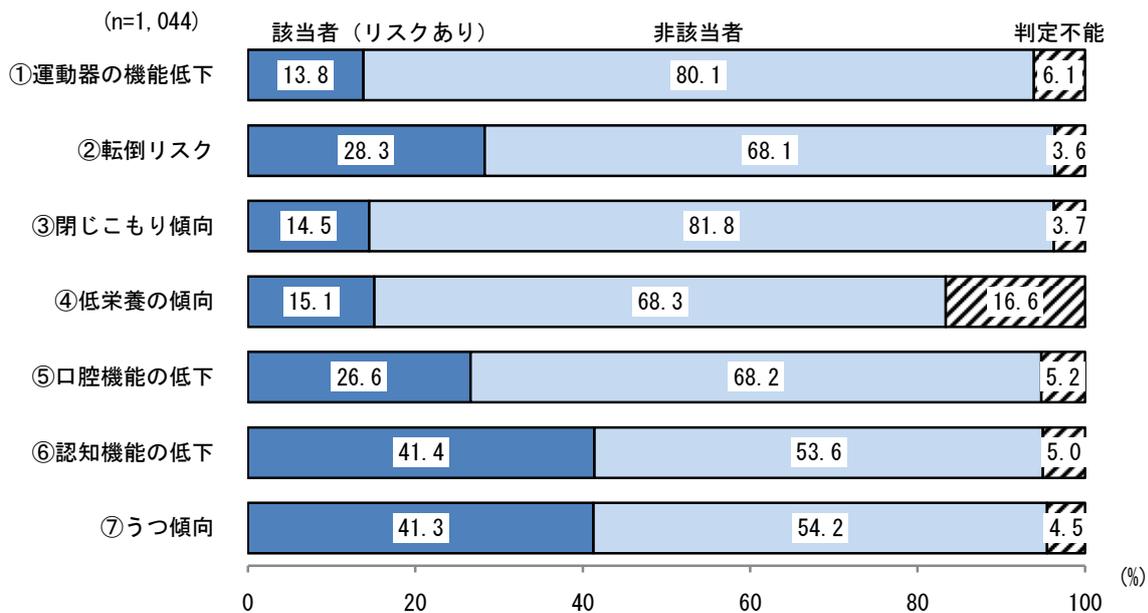
## 15. 生活機能評価等に関する分析

本調査は、地域における高齢者の課題や必要な支援・サービス等をよりの確に把握するため、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を取り入れており、介護予防事業の「基本チェックリスト」や「手段的自立度（IADL）」などの指標の判定に関する調査項目が設定されています。

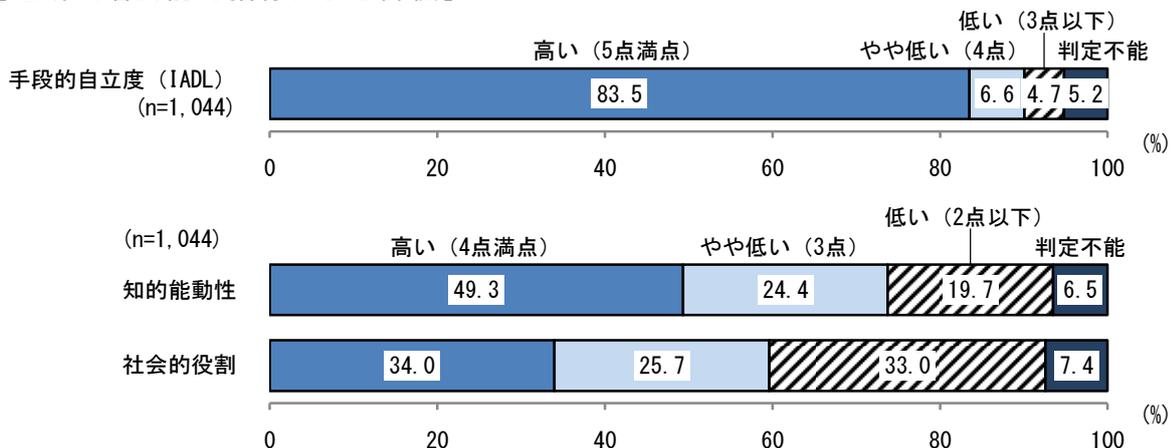
本報告書の『生活機能評価等に関する分析』では、これらの調査項目を使用し、各指標の判定（リスク評価等）を行っています。

一般高齢者、要支援認定者を合わせた全体のリスク評価等については、以下のような結果となっています。機能別のリスク該当者は、『認知機能の低下』が41.4%と最も多く、次いで、『うつ傾向』が41.3%となっています。『運動器の機能低下』では該当者は13.8%と少なくなっています。老研式活動能力指標による評価では、低下者（「やや低い」「低い」の計）に該当する人は、『手段的自立度（IADL）』で1割強、『知的能動性』で4割強、『社会的役割』で6割弱となっています。

### 【機能別リスク該当者】



### 【老研式活動能力指標による評価】



## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 〔1〕日常生活評価

#### ①運動器の機能低下

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を『運動器の機能低下』のリスク該当者と判定しました。

#### ■判定設問

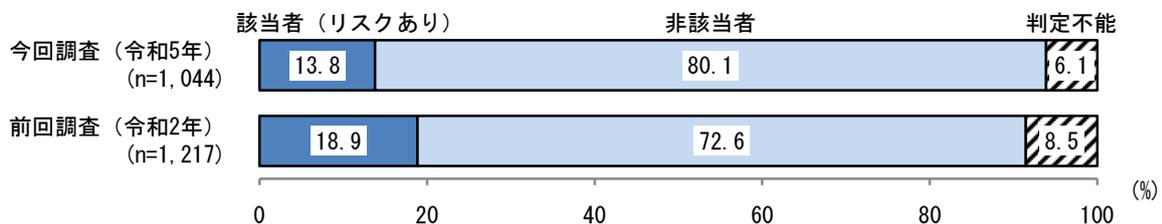
問番号	設問	該当する選択肢
問 2	(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
	(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
	(3) 15分位続けて歩いていますか	3. できない
	(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
	(5) 転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

#### ■リスク該当状況

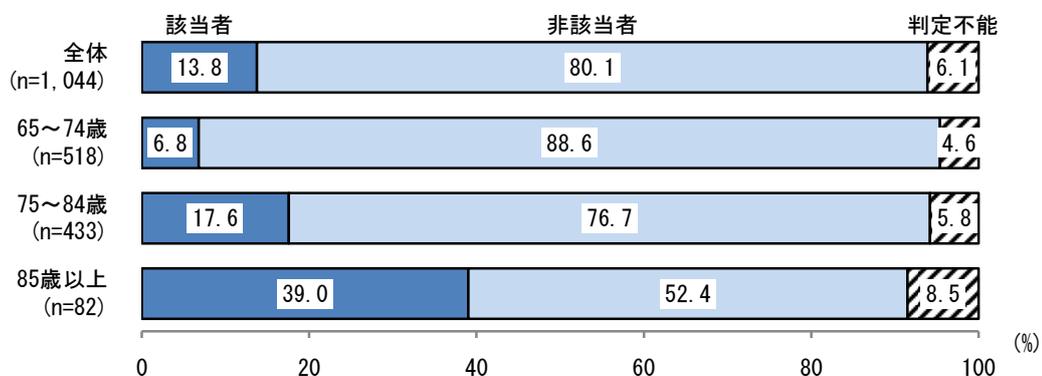
『運動器の機能低下』のリスク該当者は全体で13.8%と、前回調査に比べて5.1ポイント減少しています。

リスク該当者は、85歳以上では39.0%、要支援1、2では59.6%と多くなっています。

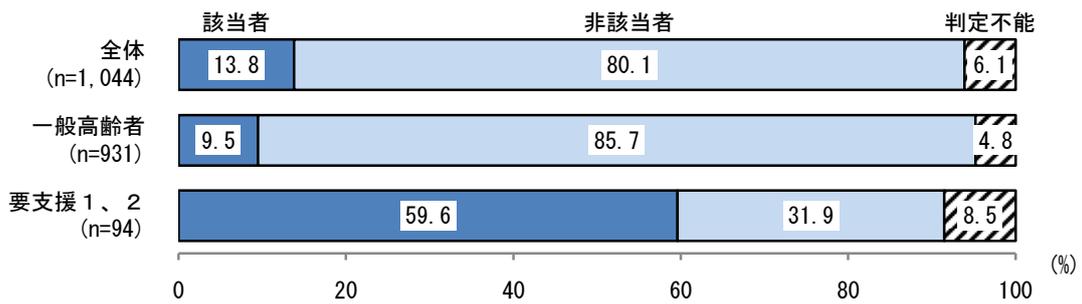
西鳥取校区、旧箱作校区、旧波太校区では、該当者が2～3割と他の地区に比べて多くみられます。



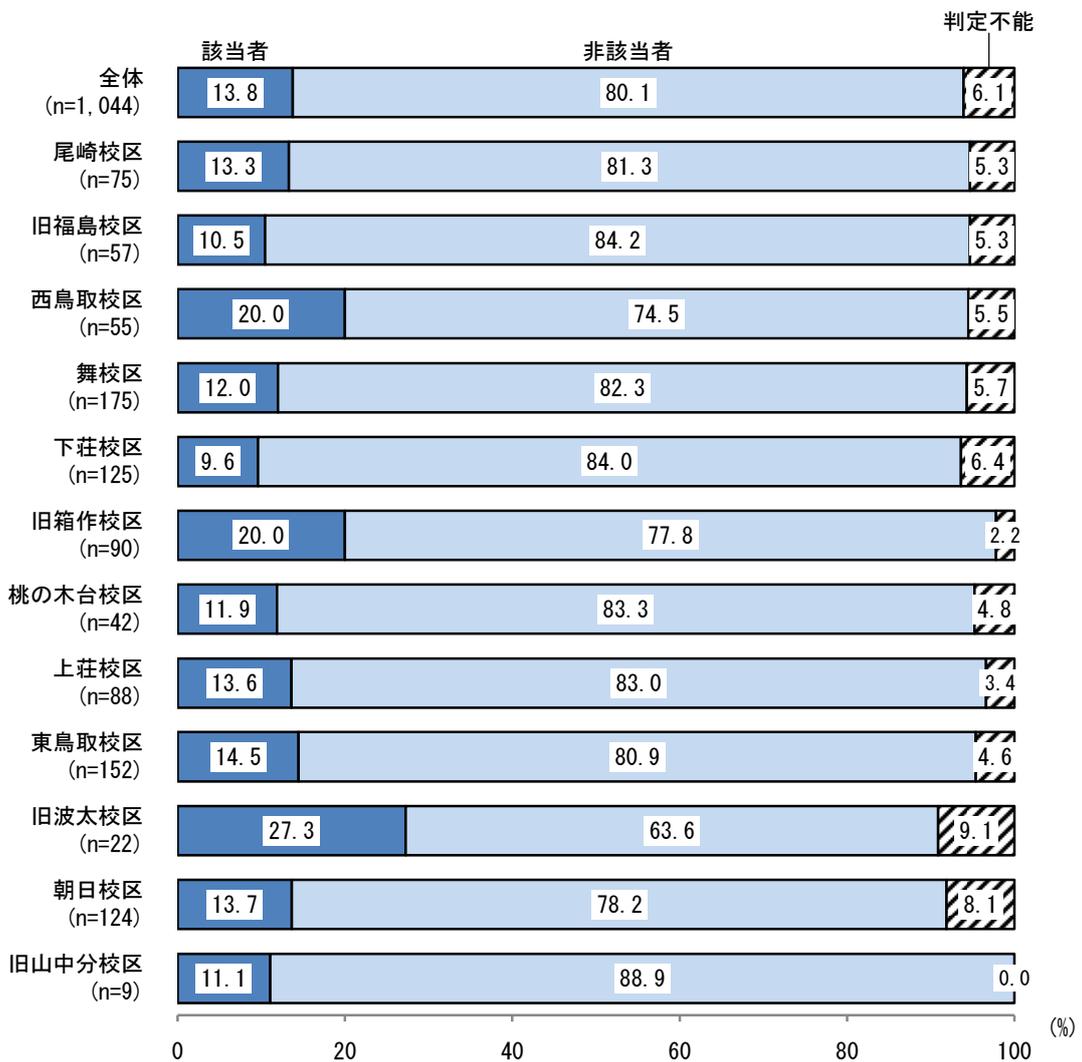
#### 【運動器の機能低下 年齢別】



【運動器の機能低下 認定状況別】



【運動器の機能低下 小学校区別】



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### ②転倒リスク

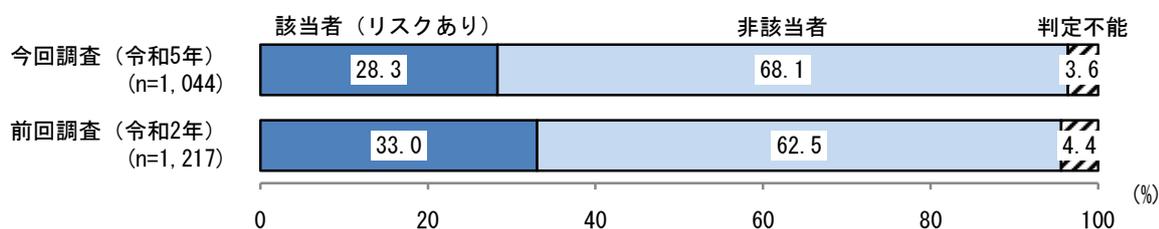
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『転倒』のリスク該当者と判定しました。

#### ■判定設問

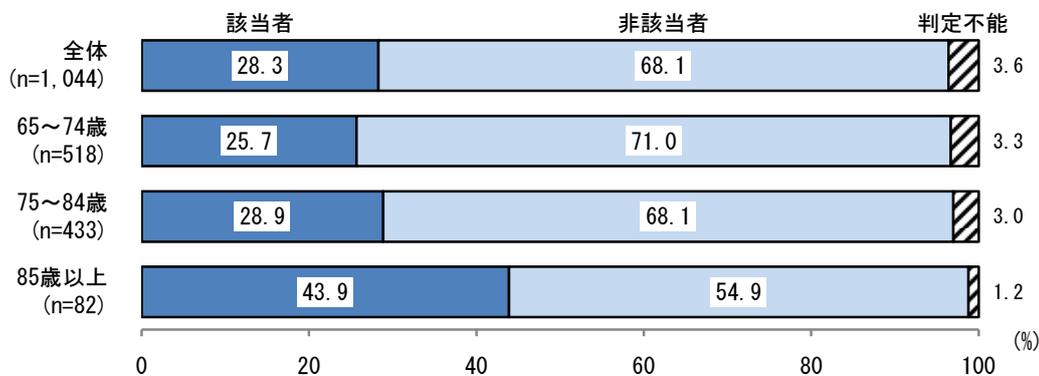
問番号	設問	該当する選択肢
問 2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

#### ■リスク該当状況

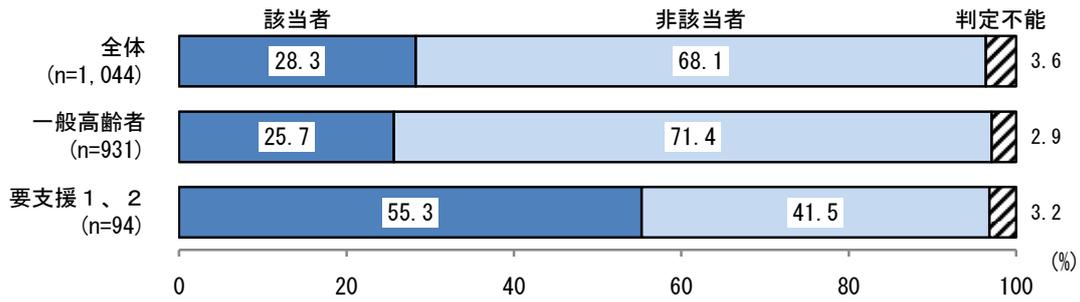
『転倒』のリスク該当者は全体で28.3%と、前回調査に比べて4.7ポイント減少しています。リスク該当者は、85歳以上では43.9%、要支援1、2はで55.3%と多くなっています。旧箱作校区、旧波太校区では、該当者が4割前後と他の地区に比べて多くみられます。



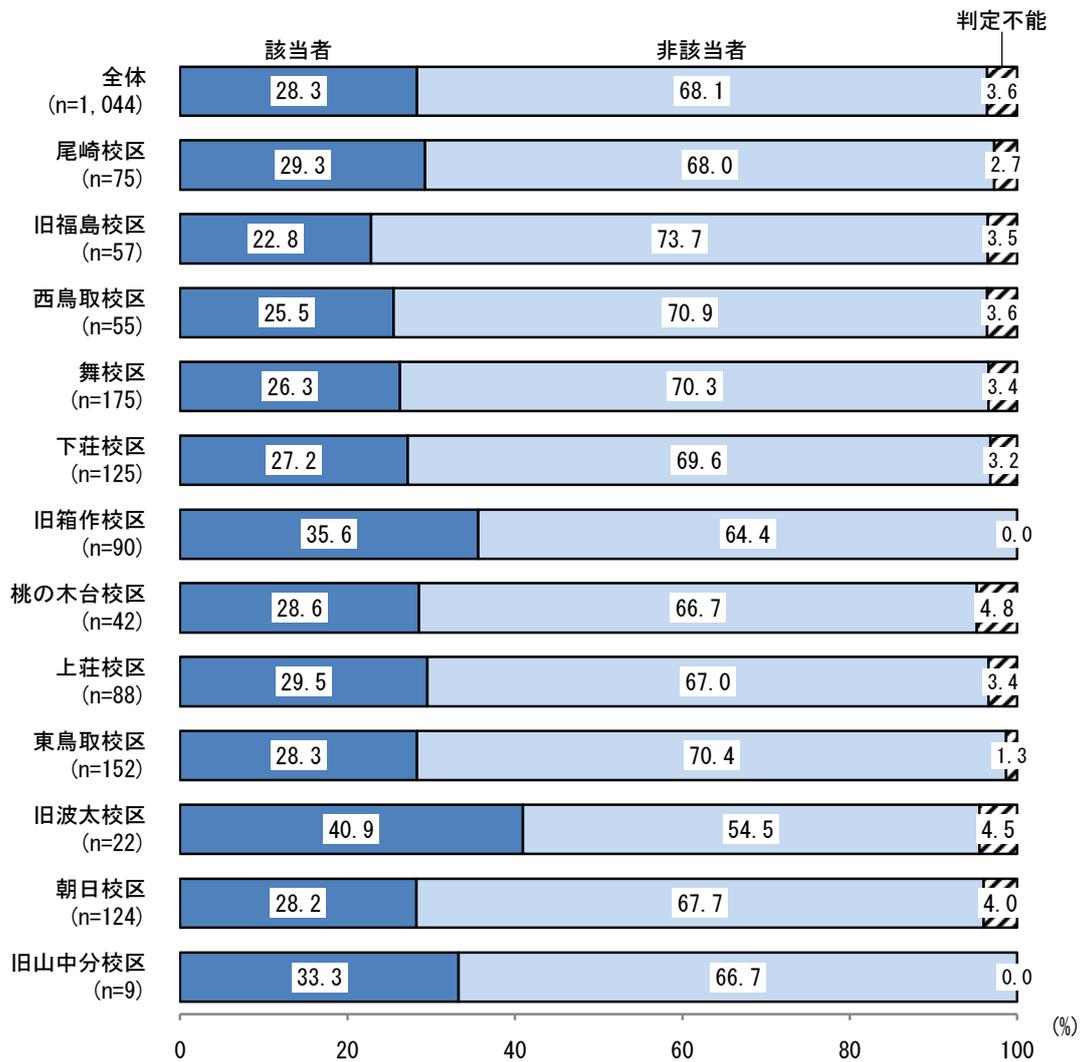
#### 【転倒リスク 年齢別】



【転倒リスク 認定状況別】



【転倒リスク 小学校区別】



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### ③閉じこもり傾向

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『閉じこもり傾向』のリスク該当者と判定しました。

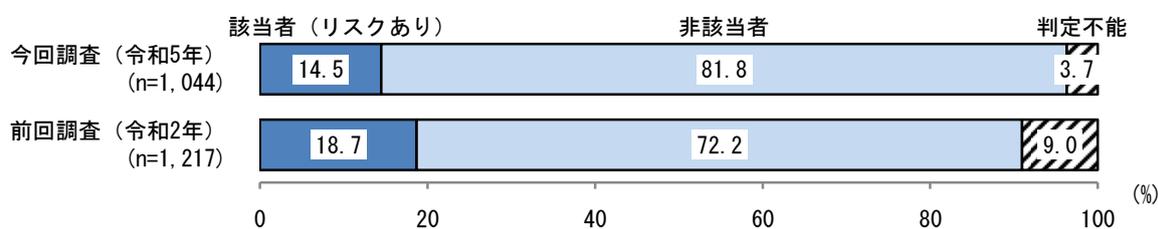
#### ■判定設問

問番号	設問	該当する選択肢
問2 (6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

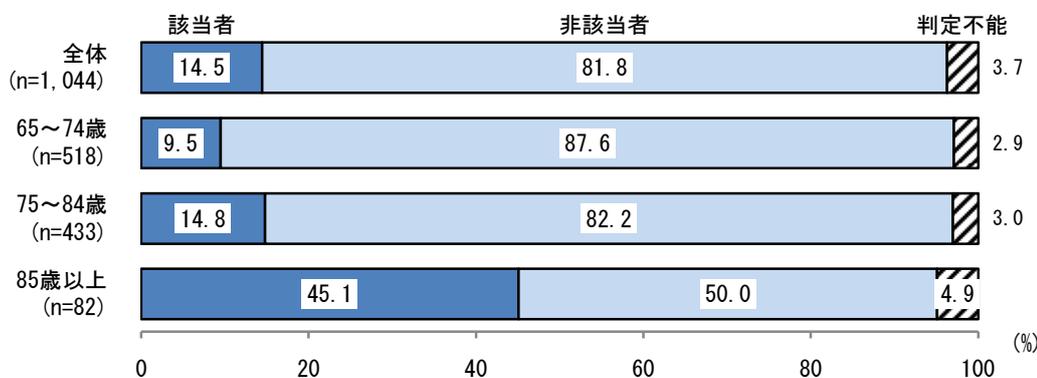
#### ■リスク該当状況

『閉じこもり傾向』のリスク該当者は全体で14.5%と、前回調査に比べて4.2ポイント減少しています。

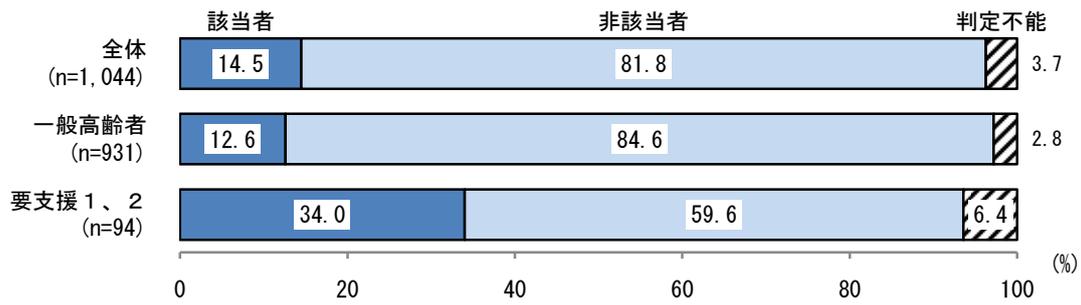
リスク該当者は、85歳以上では45.1%、要支援1、2では34.0%と多くなっています。下荘校区では該当者が22.4%と、他の地区に比べてやや多くなっています。



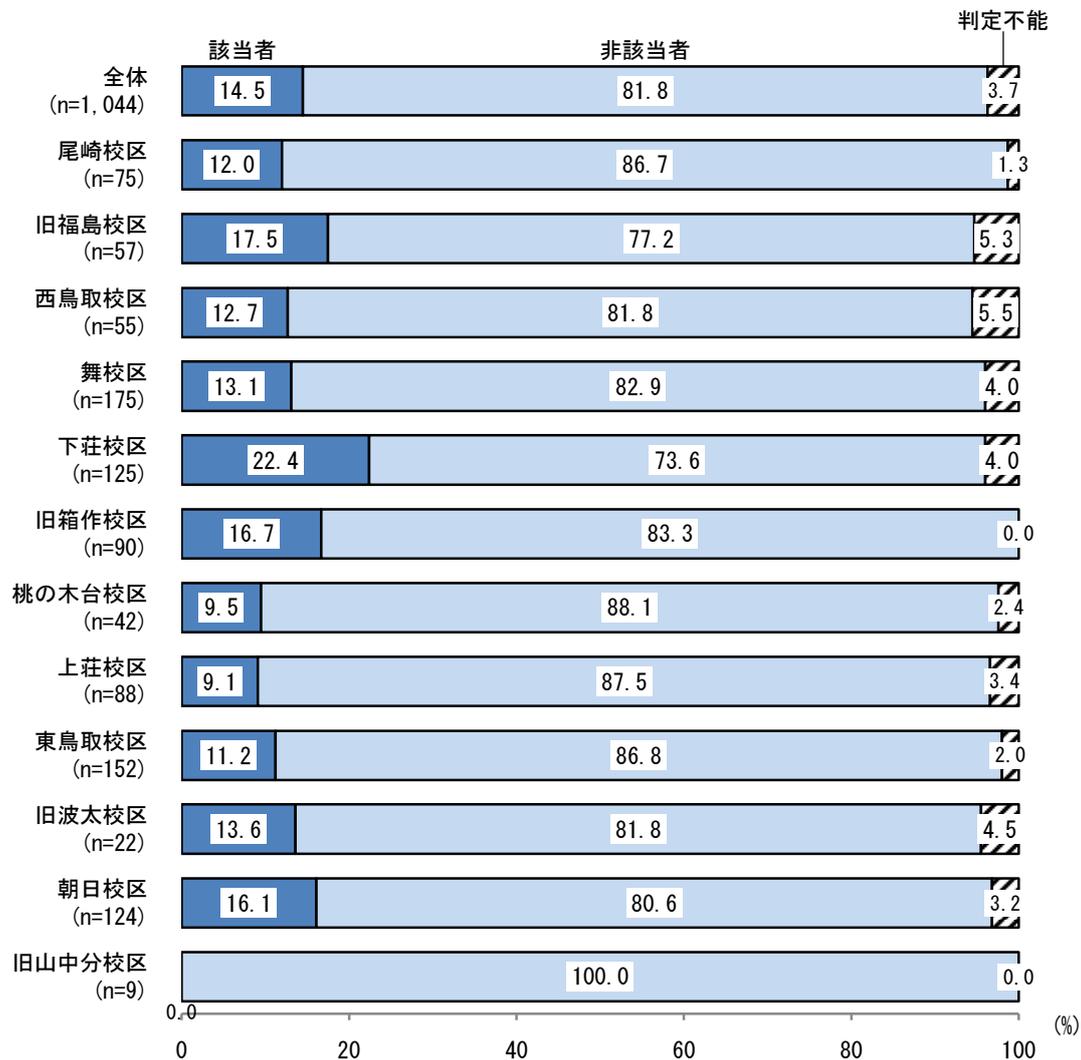
#### 【閉じこもり傾向 年齢別】



【閉じこもり傾向 認定状況別】



【閉じこもり傾向 小学校区別】



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### ④ 低栄養の傾向

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、2項目ともに該当する人を『低栄養の傾向』のリスク該当者と判定しました。

#### ■ 判定設問

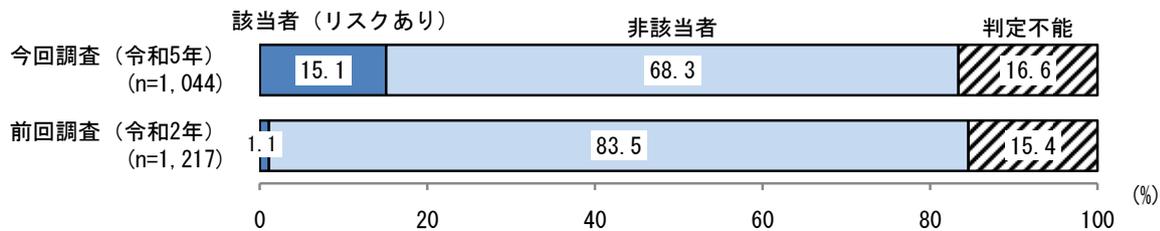
問番号		設問	該当する選択肢
問 3	(1)	身長・体重を記入ください	B M I 18.5未満
	(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

#### ■ リスク該当状況

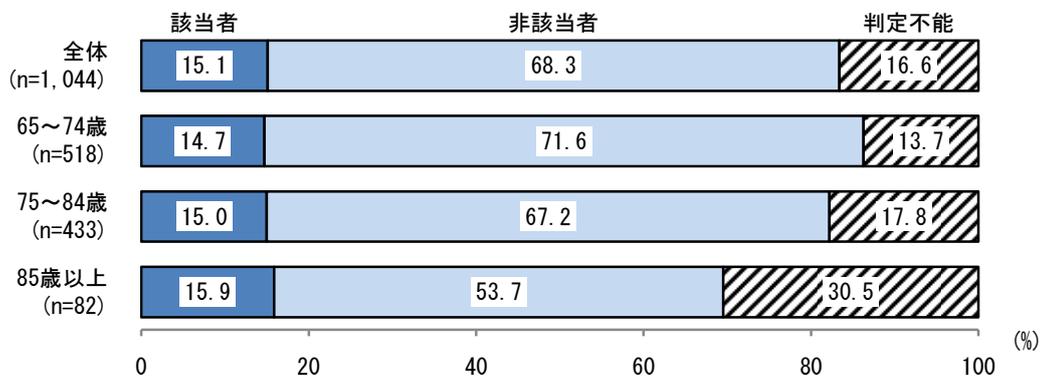
『低栄養の傾向』のリスク該当者は全体で15.1%と、前回調査に比べて14.0ポイント増加しています。

リスク該当者は、要支援1、2では23.4%と多くなっています。

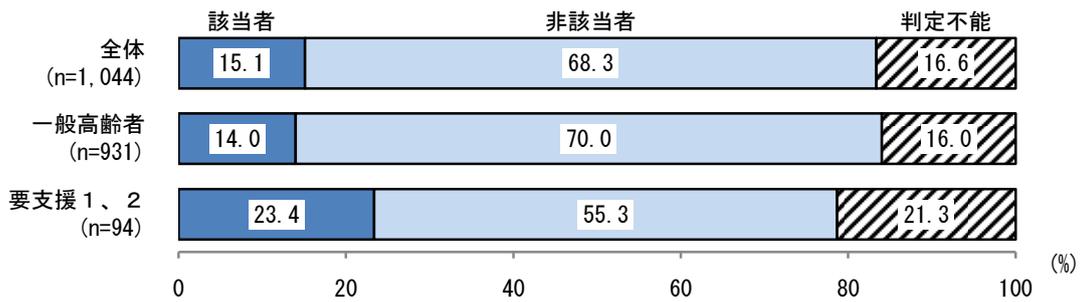
旧波太校区では該当者が27.3%と、他の地区に比べて多くなっています。



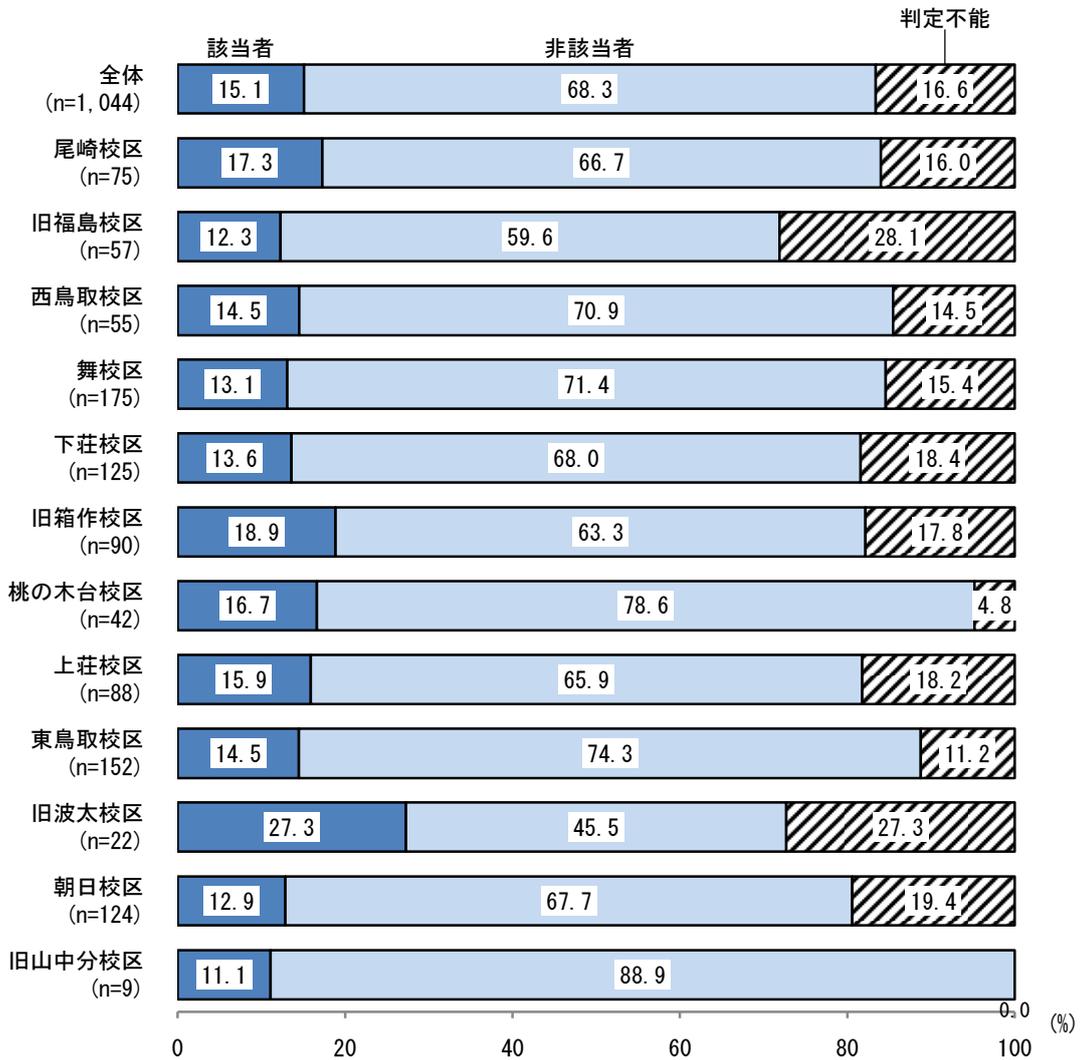
#### 【低栄養の傾向 年齢別】



【低栄養の傾向 認定状況別】



【低栄養の傾向 小学校区別】



## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### ⑤ 口腔機能の低下

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を『口腔機能の低下』のリスク該当者と判定しました。

#### ■ 判定設問

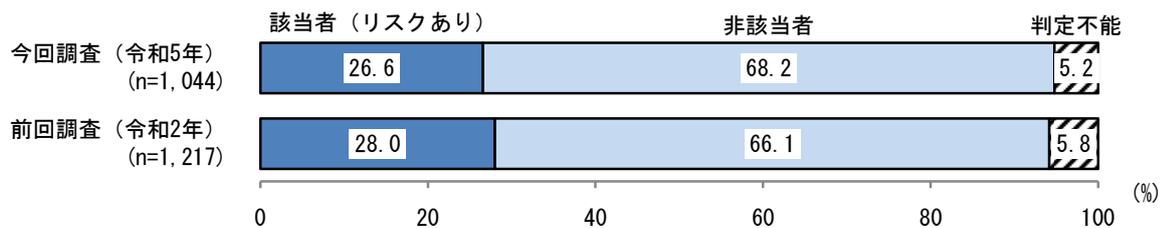
問番号	設問	該当する選択肢
問3	(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
	(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
	(4) 口の渇きが気になりますか	1. はい

#### ■ リスク該当状況

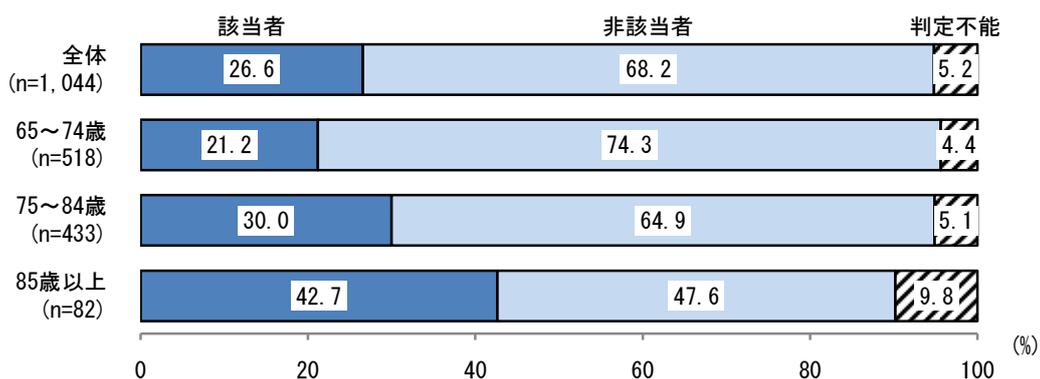
『口腔機能の低下』のリスク該当者は全体で26.6%と、前回調査に比べて大きな変化はみられません。

リスク該当者は、85歳以上では42.7%、要支援1、2では56.4%と多くなっています。

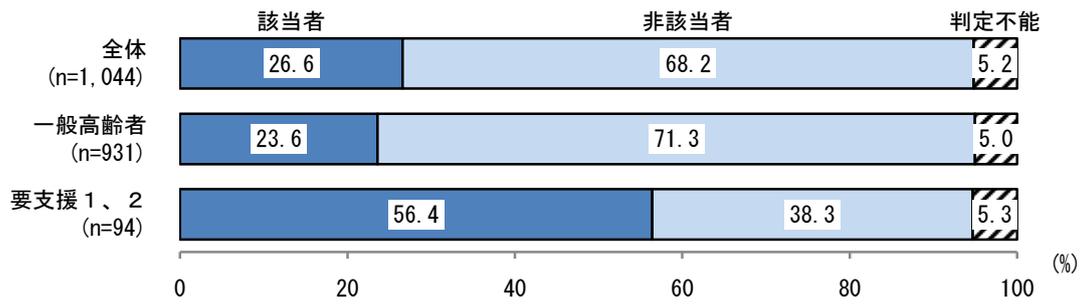
尾崎地区、旧波太校区、旧山中分校区では該当者が4割前後と、他の地区に比べて多くなっています。



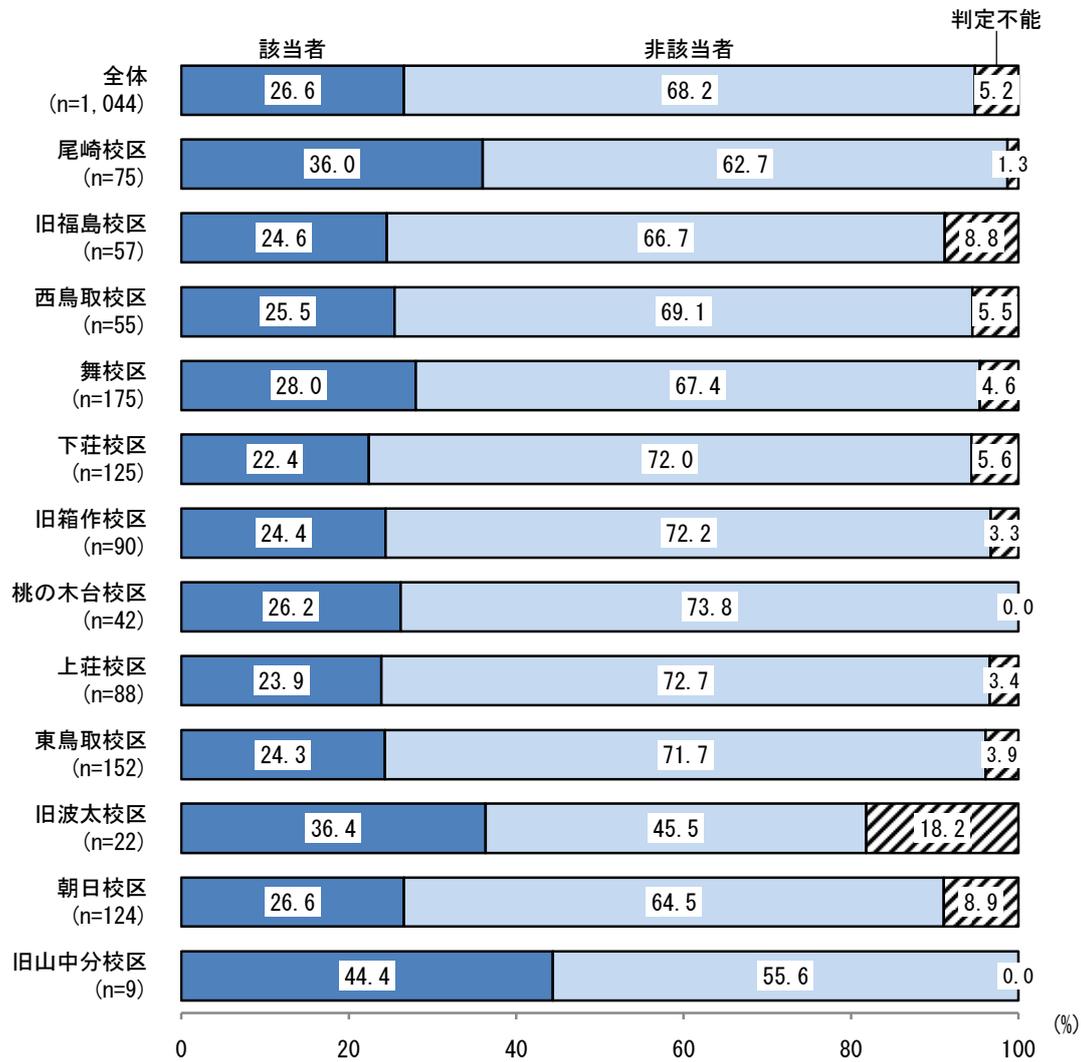
【口腔機能の低下 年齢別】



【口腔機能の低下 認定状況別】



【口腔機能の低下 小学校区別】



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### ⑥ 認知機能の低下

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち1項目以上に該当する人を『認知機能の低下』のリスク該当者と判定しました。

#### ■ 判定設問

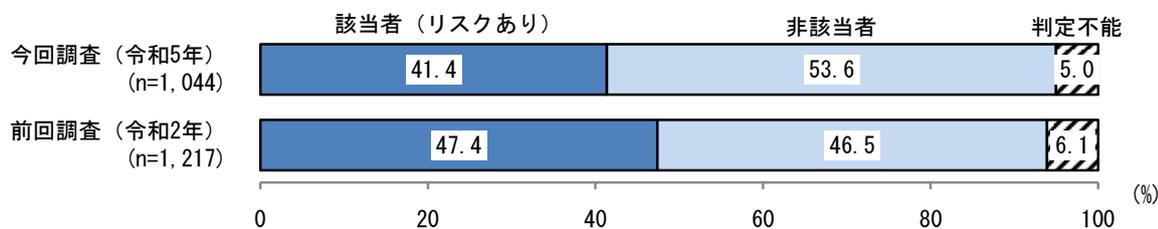
問番号	設問	該当する選択肢
問 4 (1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい

#### ■ リスク該当状況

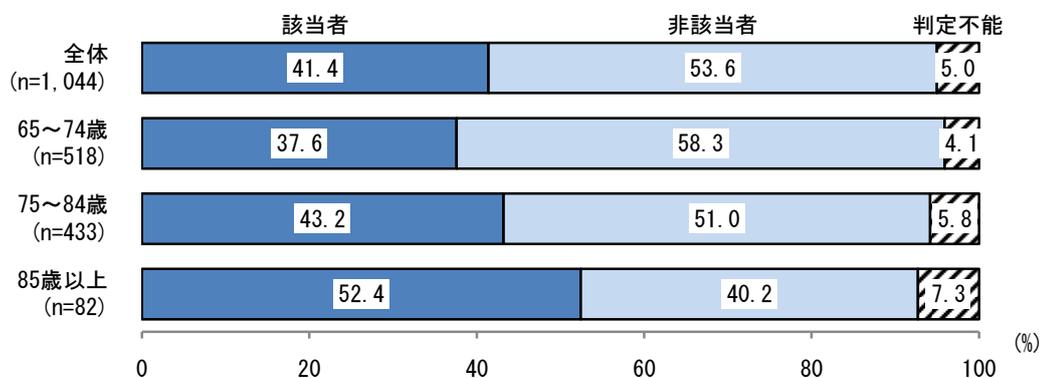
『認知機能の低下』のリスク該当者は全体で41.4%となっています。

リスク該当者は、85歳以上では52.4%、要支援1、2では58.5%と多くなっています。

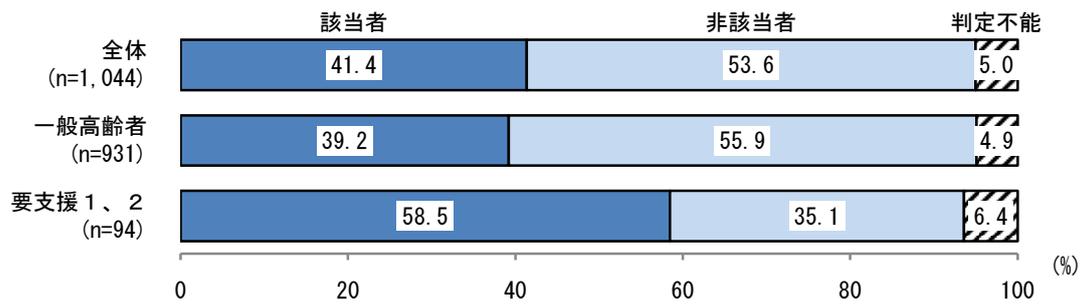
旧波太校区では該当者が54.5%、旧山中分校区で88.9%と、他の地区に比べて多くなっています。



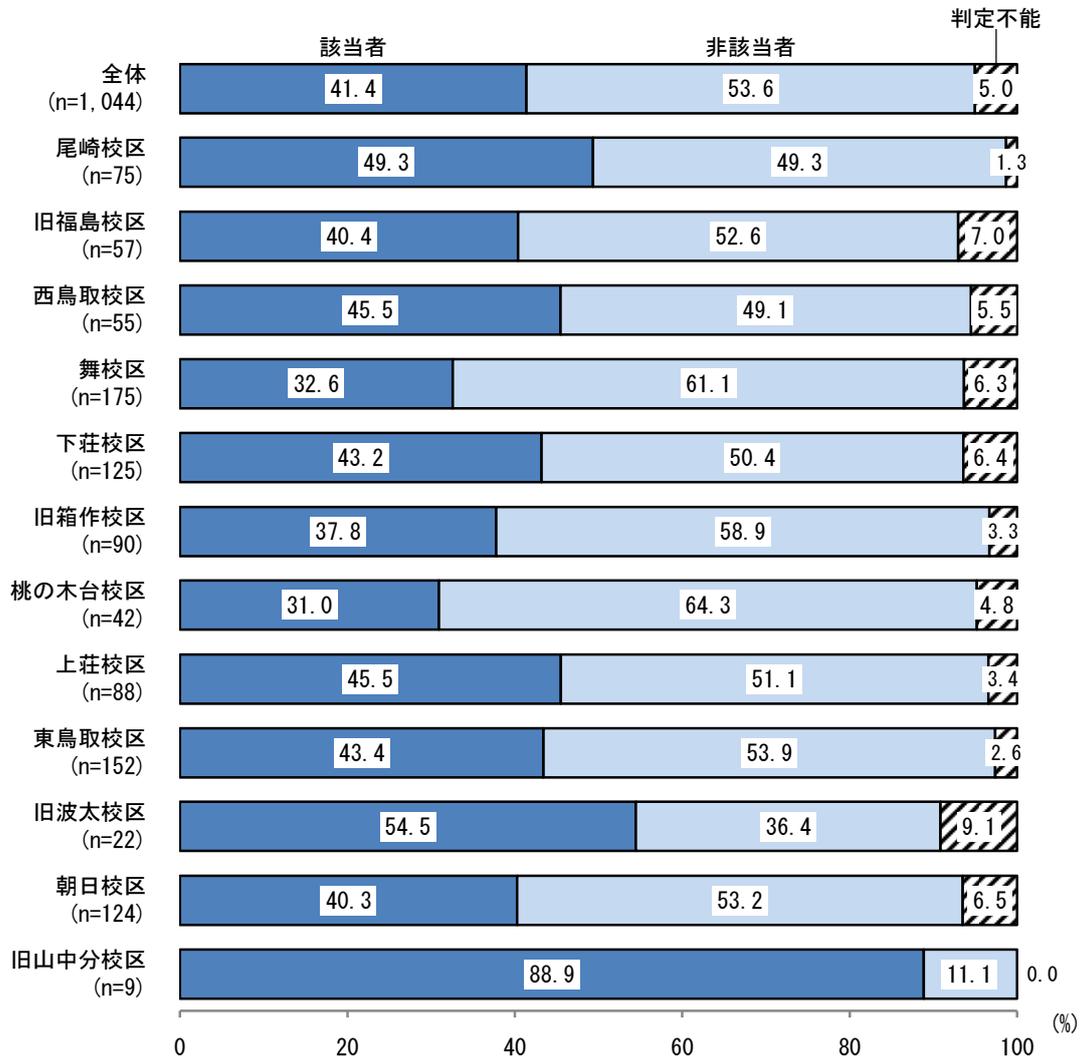
#### 【認知機能の低下 年齢別】



【認知機能の低下 認定状況別】



【認知機能の低下 小学校区別】



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### ⑦うつ傾向

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のいずれかに該当する人を『うつ傾向』のリスク該当者と判定しました。

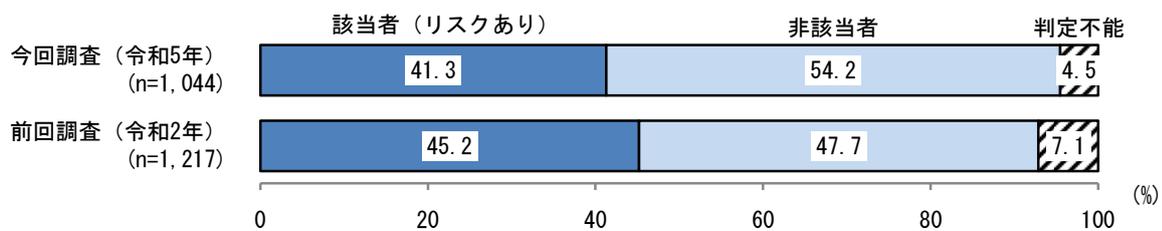
#### ■判定設問

問番号	設問	該当する選択肢
問7	(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
	(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

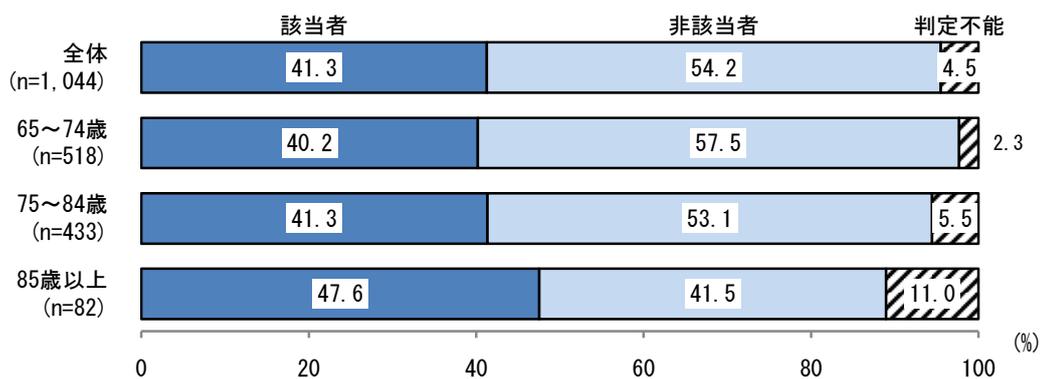
#### ■リスク該当状況

『うつ傾向』のリスク該当者は全体で41.3%と、前回調査に比べて3.9ポイント減少しています。

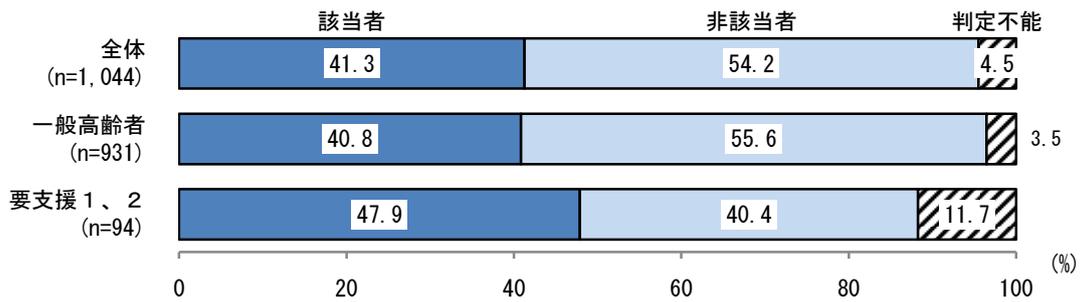
リスク該当者は、85歳以上では47.6%、要支援1、2では47.9%とやや多くなっています。尾崎校区、西鳥取校区、旧山中分校区では該当者が5割強と、他の地区に比べて多くなっています。



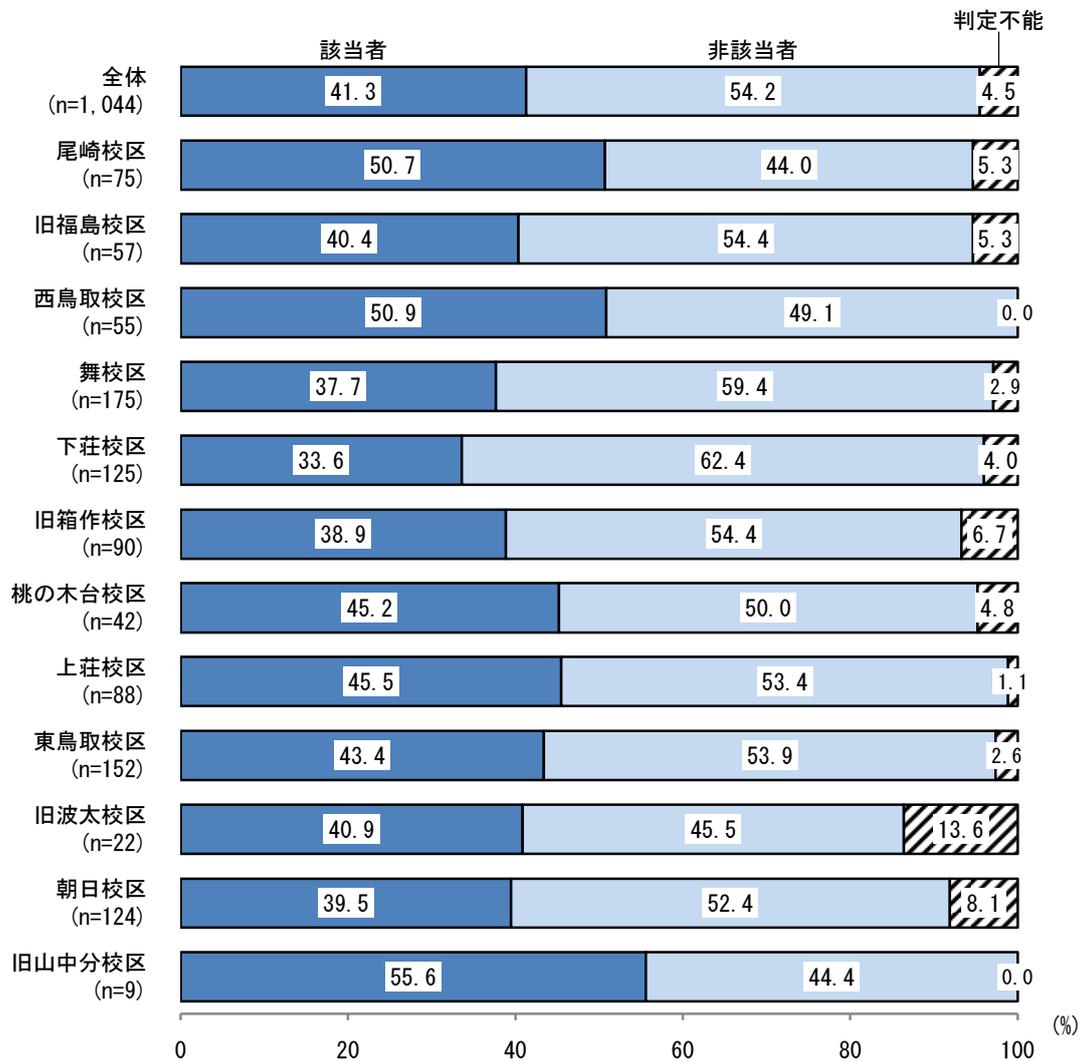
#### 【うつ傾向 年齢別】



【うつ傾向 認定状況別】



【うつ傾向 小学校区別】



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### 〔2〕日常生活評価

#### ①手段的自立度(IADL)

老研式活動能力指標に準じた設問に基づき、活動的な日常生活をおくるための能力（手段的自立度：IADL）が低下している人の状況を把握します。評価は、調査票の以下の設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を“1点”として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」（※4点以下が「能力の低下がみられる人」と評価しました）。

#### ■判定設問

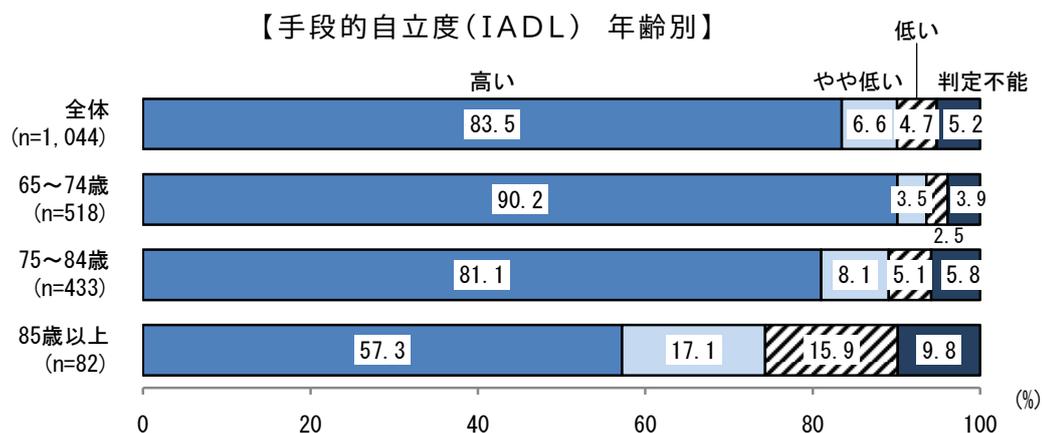
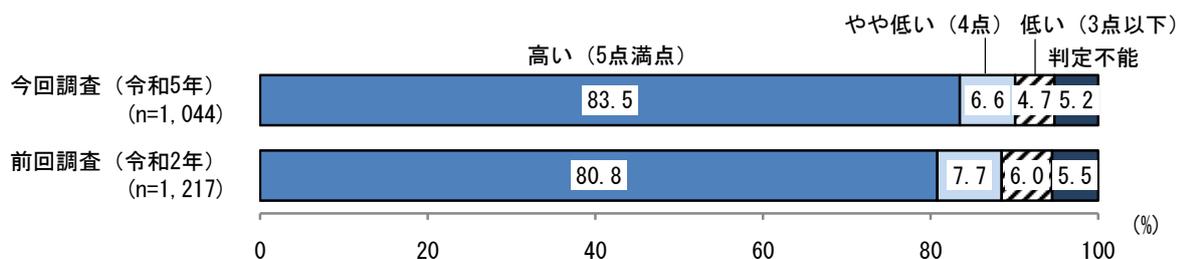
問番号	設問	該当する選択肢
問 4	(4) バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している (1点) 2. できるけどしていない (1点)
	(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している (1点) 2. できるけどしていない (1点)
	(6) 自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している (1点) 2. できるけどしていない (1点)
	(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している (1点) 2. できるけどしていない (1点)
	(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している (1点) 2. できるけどしていない (1点)

#### ■リスク該当状況

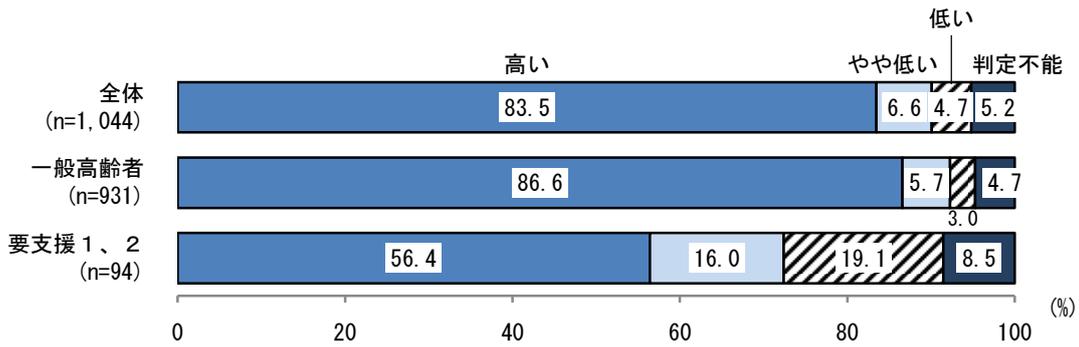
『手段的自立度（IADL）』の評価結果をみると、「能力の低下がみられる人」（「やや低い」「低い」の計）は全体で11.3%と、前回調査に比べて2.4ポイント減少しています。

低下者は、85歳以上では33.0%、要支援1、2では35.1%と多くなっています。

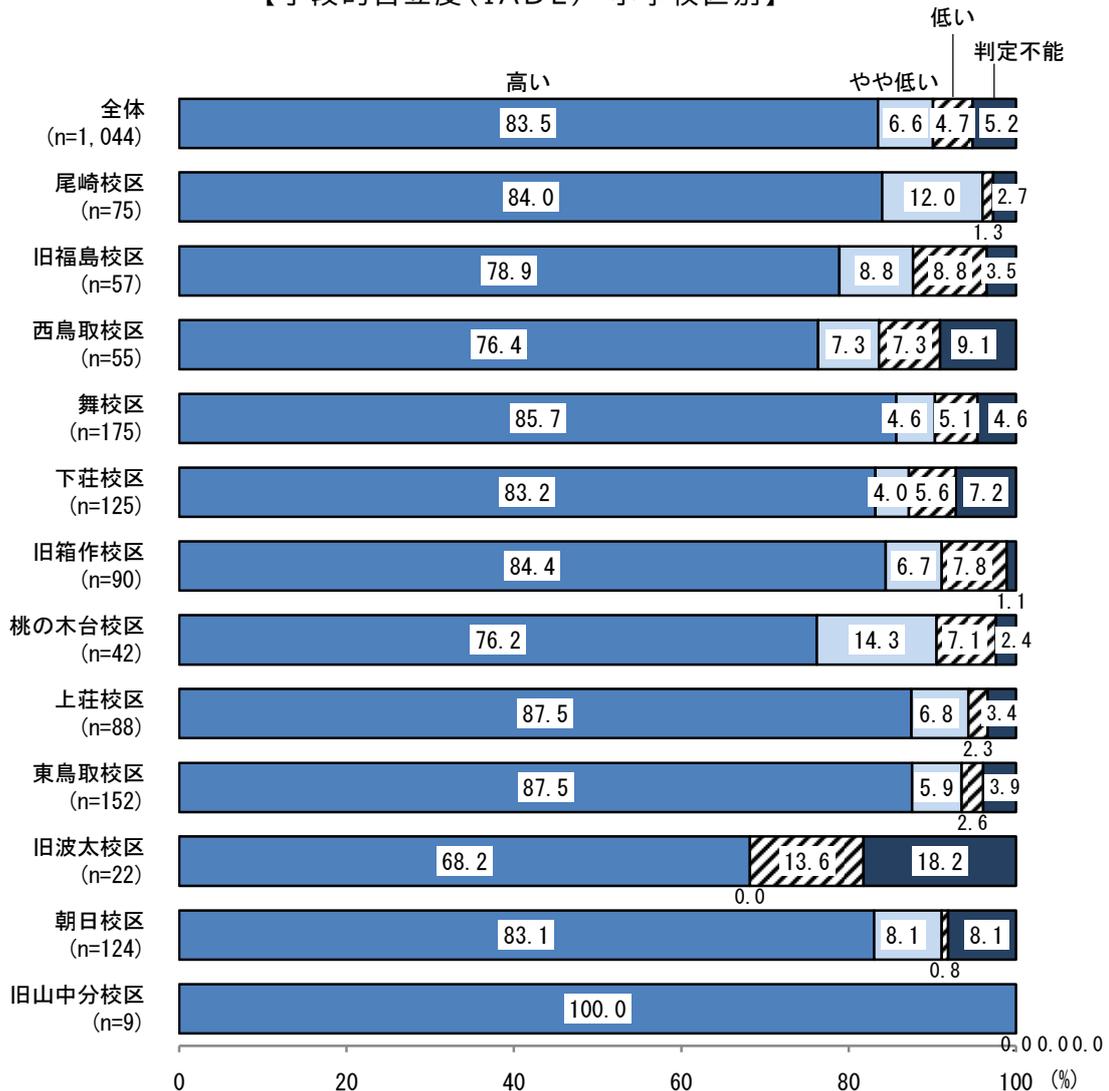
桃の木台校区で21.4%、旧福島校区で17.6%と、低下者が他の地区に比べて多くなっています。



【手段的自立度(IADL) 認定状況別】



【手段的自立度(IADL) 小学校区別】



## Ⅱ 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域二ーズ調査

### 〔3〕社会参加評価

#### ①知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の余暇や創作など生活を楽しむ能力に関する設問が『知的能動性』として尺度化されており、これが低下している人の状況を把握します。評価は、調査票の以下の設問に「はい」と回答した場合を“1点”として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」（※3点以下を「能力の低下がみられる人」と評価しました。

#### ■判定設問

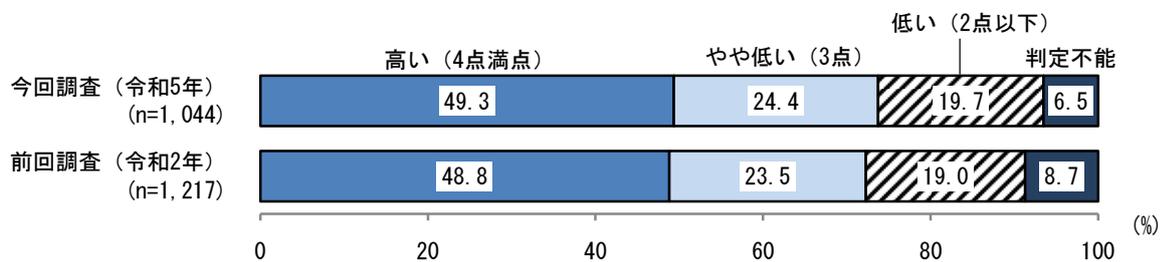
問番号	設問	該当する選択肢
問 4	(9) 年金などの書類が書けますか	1. はい (1点)
	(10) 新聞を読んでいますか	1. はい (1点)
	(11) 本や雑誌を読んでいますか	1. はい (1点)
	(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい (1点)

#### ■リスク該当状況

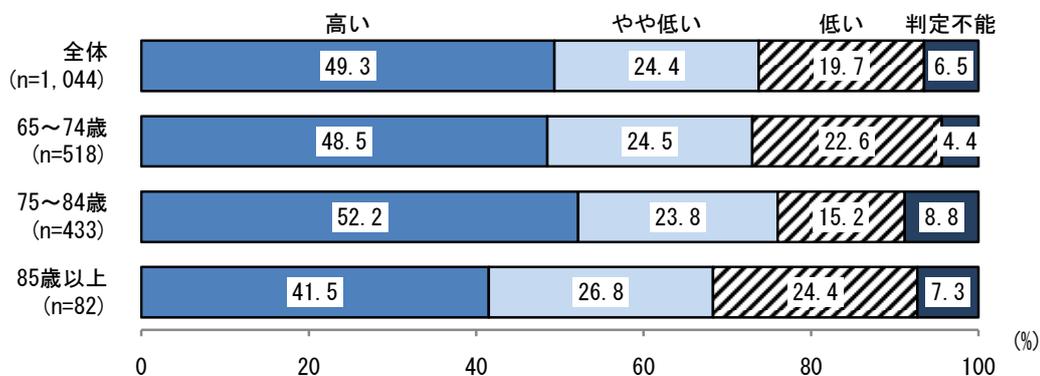
『知的能動性』の評価結果をみると、「能力の低下がみられる人」（「やや低い」「低い」の計）は全体で44.1%と、前回調査に比べて大きな変化はみられません。

低下者は、85歳以上では51.2%、要支援1、2では48.9%と多くなっています。

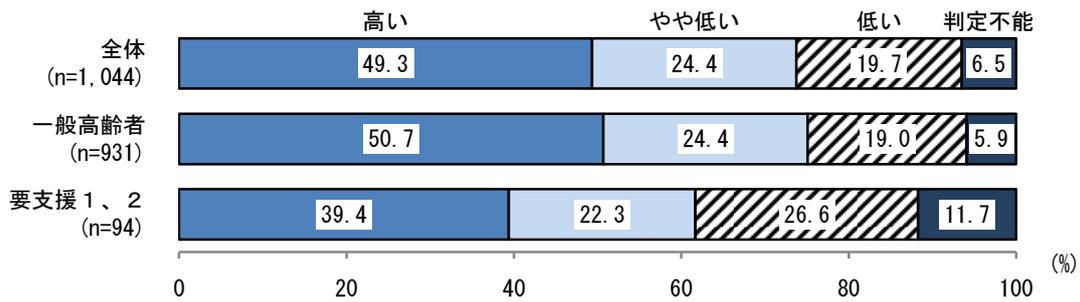
旧福島校区で52.6%、西鳥取校区で49.1%と、低下者が他の地区に比べて多くなっています。



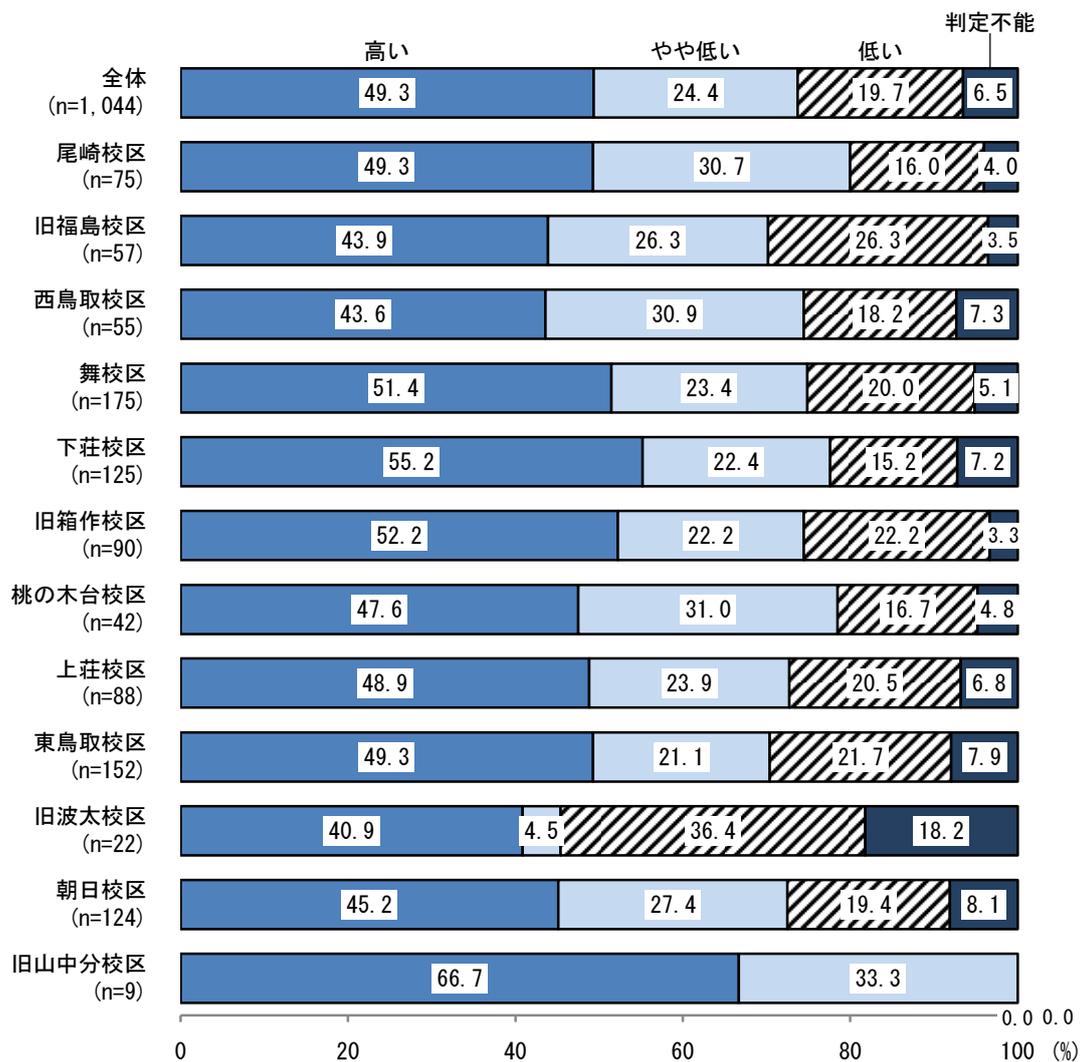
#### 【知的能動性 年齢別】



【知的能動性 認定状況別】



【知的能動性 小学校区別】



## II 調査結果 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

### ②社会的役割

老研式活動能力指標には、地域で社会的な役割を果たす能力に関する設問が『社会的役割』として尺度化されており、これが低下している人の状況を把握します。評価は、調査票の以下の設問に「はい」と回答した場合を“1点”として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」（※3点以下を「能力の低下がみられる人」と評価しました。

#### ■判定設問

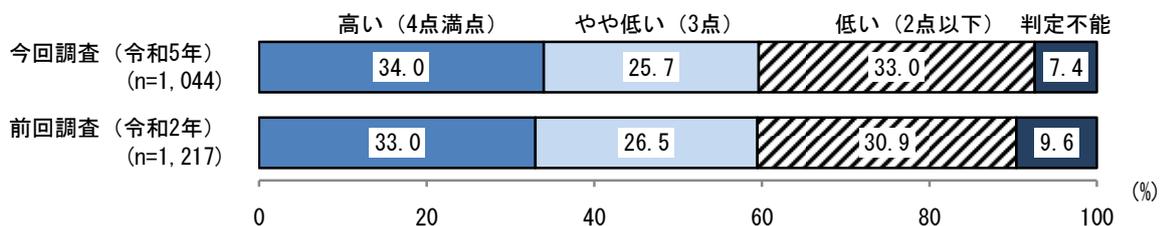
問番号	設問	該当する選択肢
問 4	(13) 友人の家を訪ねていますか	1. はい (1点)
	(14) 家族や友人の相談にのっていますか	1. はい (1点)
	(15) 病人を見舞うことができますか	1. はい (1点)
	(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい (1点)

#### ■リスク該当状況

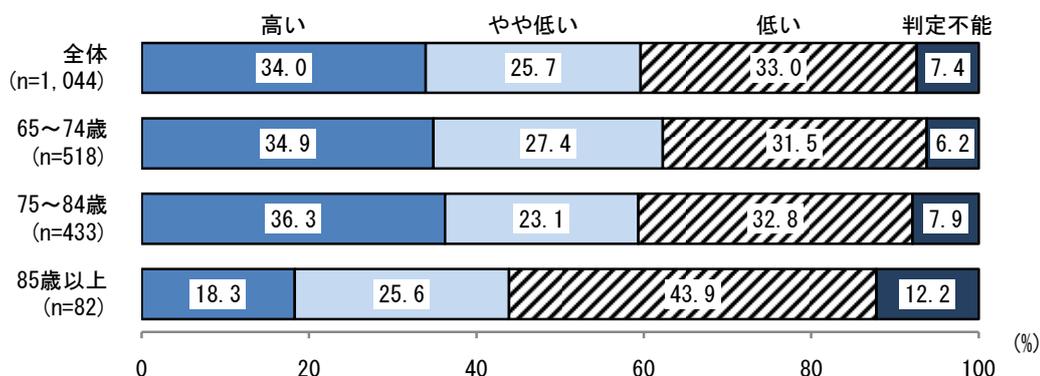
『社会的役割』の評価結果をみると、「能力の低下がみられる人」（「やや低い」「低い」の計）は全体で58.7%と、前回調査に比べて大きな変化はみられません。

低下者は、85歳以上では69.5、要支援1、2では73.4%と多くなっています。

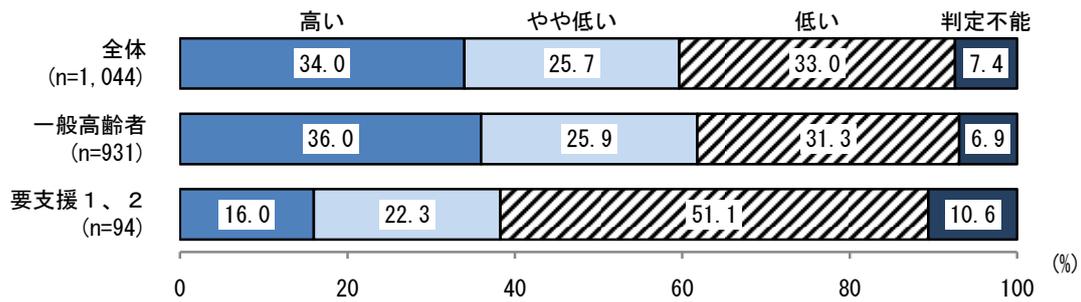
旧箱作校区で70.0%、桃の木台校区で66.7%、旧波太校区で63.7%と、低下者が他の地区に比べて多くなっています。



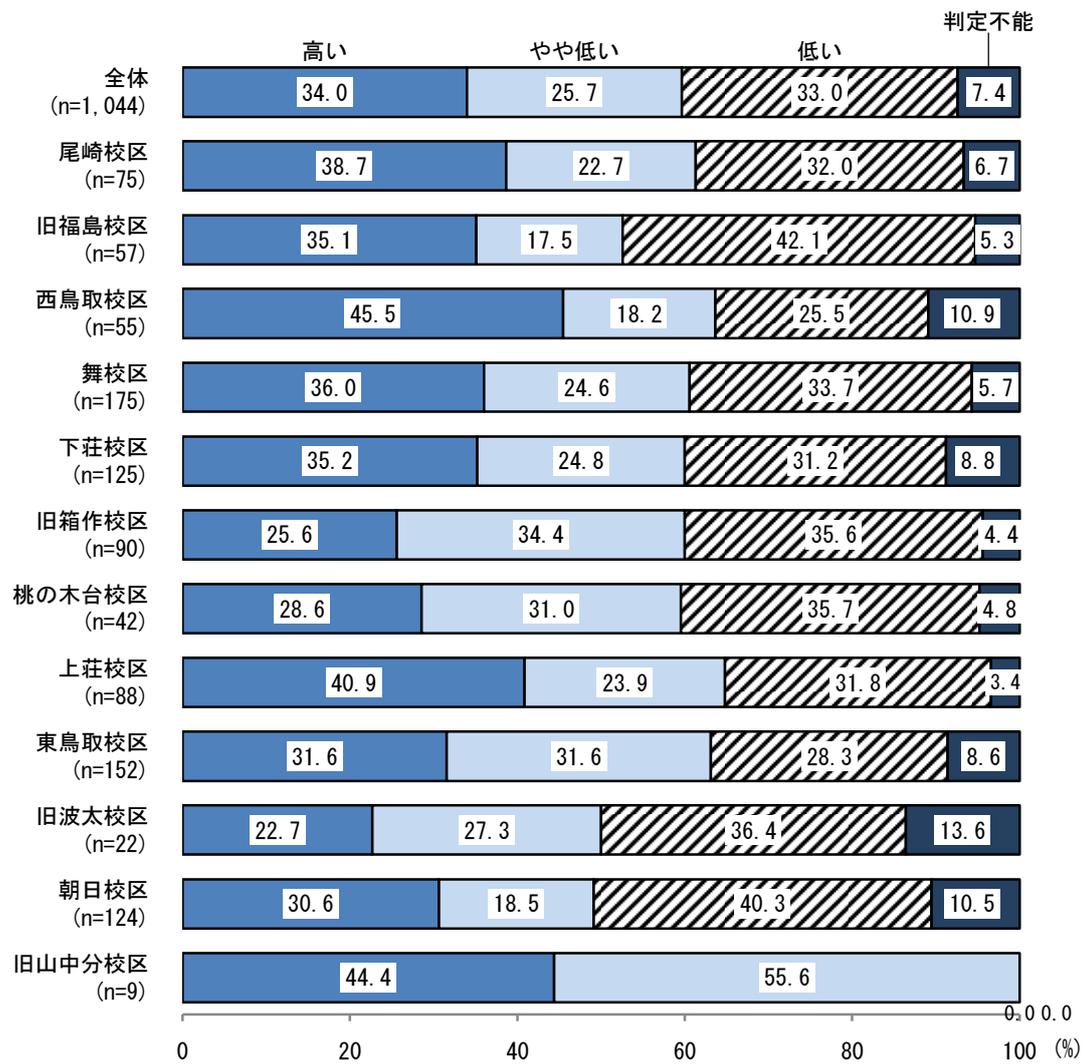
#### 【社会的役割 年齢別】



【社会的役割 認定状況別】



【社会的役割 小学校区別】



## 2 在宅介護実態調査

### 1. 回答者属性

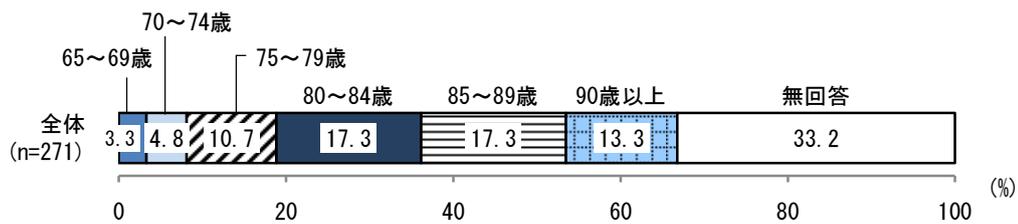
#### [1] 性別

調査対象者の性別は、「男性」が22.9%、「女性」が43.9%となっています。



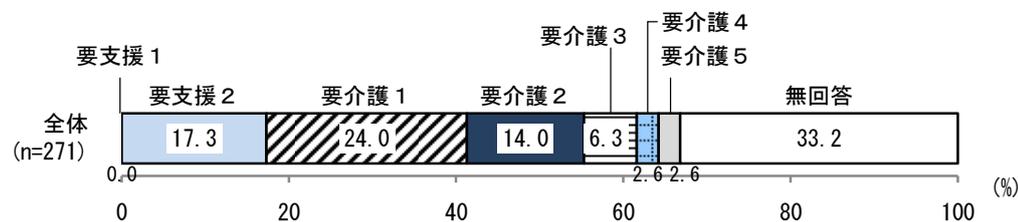
#### [2] 年齢

調査対象者の年齢は、「80～84歳」、「85～89歳」がそれぞれ17.3%と最も多く、65～74歳の前期高齢者が8.1%、75歳以上の後期高齢者は58.6%となっています。



#### [3] 要介護度

調査対象者の要介護度は、「要介護1」が24.0%と最も多く、次いで、「要支援2」が17.3%、「要介護2」が14.0%で、要介護3以上の重度者は合わせて11.5%となっています。

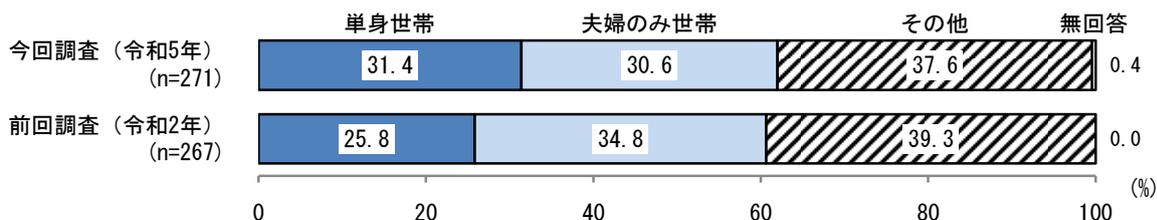


## 2. 調査対象者本人について

### 〔1〕世帯類型

A票 問1 世帯類型について、ご回答ください。(単数回答)

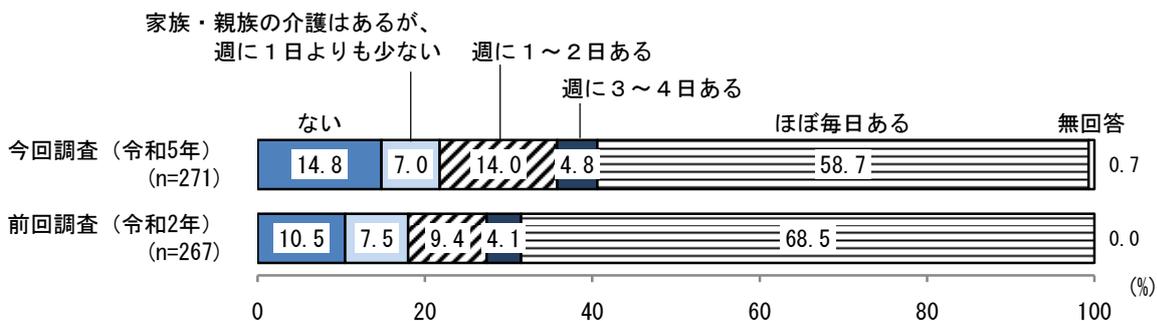
世帯類型については、「単身世帯」が31.4%、「夫婦のみ世帯」が30.6%で、前回調査に比べて単身世帯が5.6ポイント増加しています。



### 〔2〕家族・親族による介護の頻度

A票 問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (単数回答)

家族・親族による介護の頻度は、「ほぼ毎日ある」が58.7%と最も多くなっていますが、週に1日以下（「ない」、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」）の方が21.8%と、前回調査に比べて3.8ポイント増加しています。



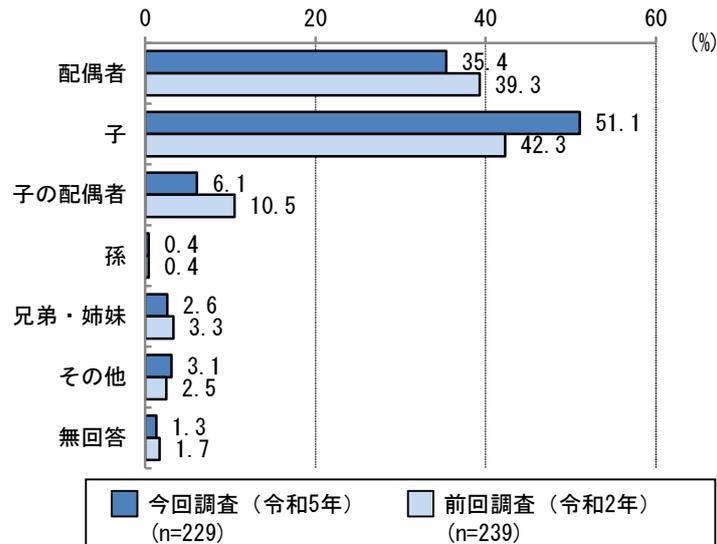
### 3. 主な介護者について

【問3から問7までは、問2で「2」～「5」(家族・親族からの介護がある)と回答した人のみ】

#### [1] 主な介護者と本人の関係

A票 問3 主な介護者の方は、どなたですか。(単数回答)

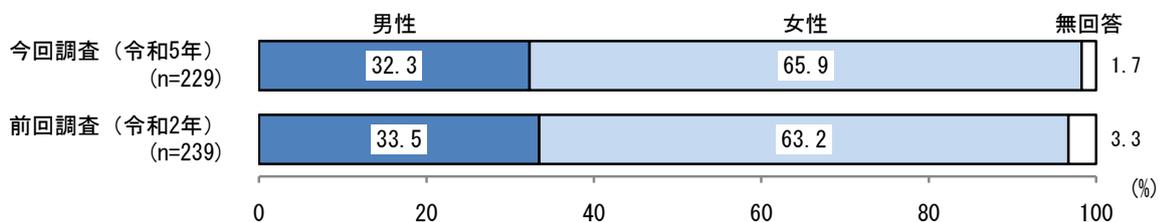
主な介護者は、「子」が51.1%と最も多く、次いで、「配偶者」が35.4%となっています。



#### [2] 主な介護者の性別

A票 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(単数回答)

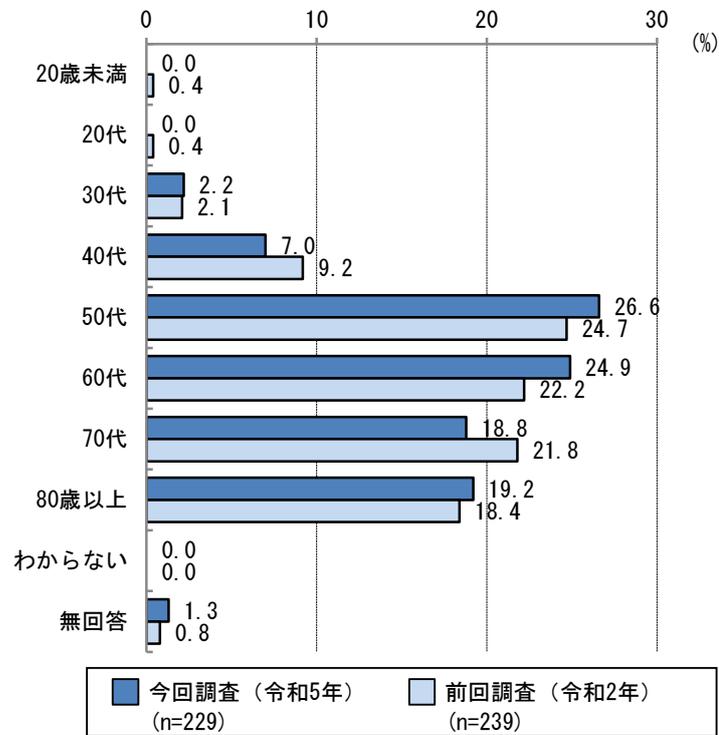
主な介護者の性別は、「男性」が32.3%、「女性」が65.9%となっています。



〔3〕主な介護者の年齢

A票 問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(単数回答)

主な介護者の年齢は、「50代」が26.6%と最も多く、次いで、「60代」が24.9%で、『70代以上』は38.0%となっています。

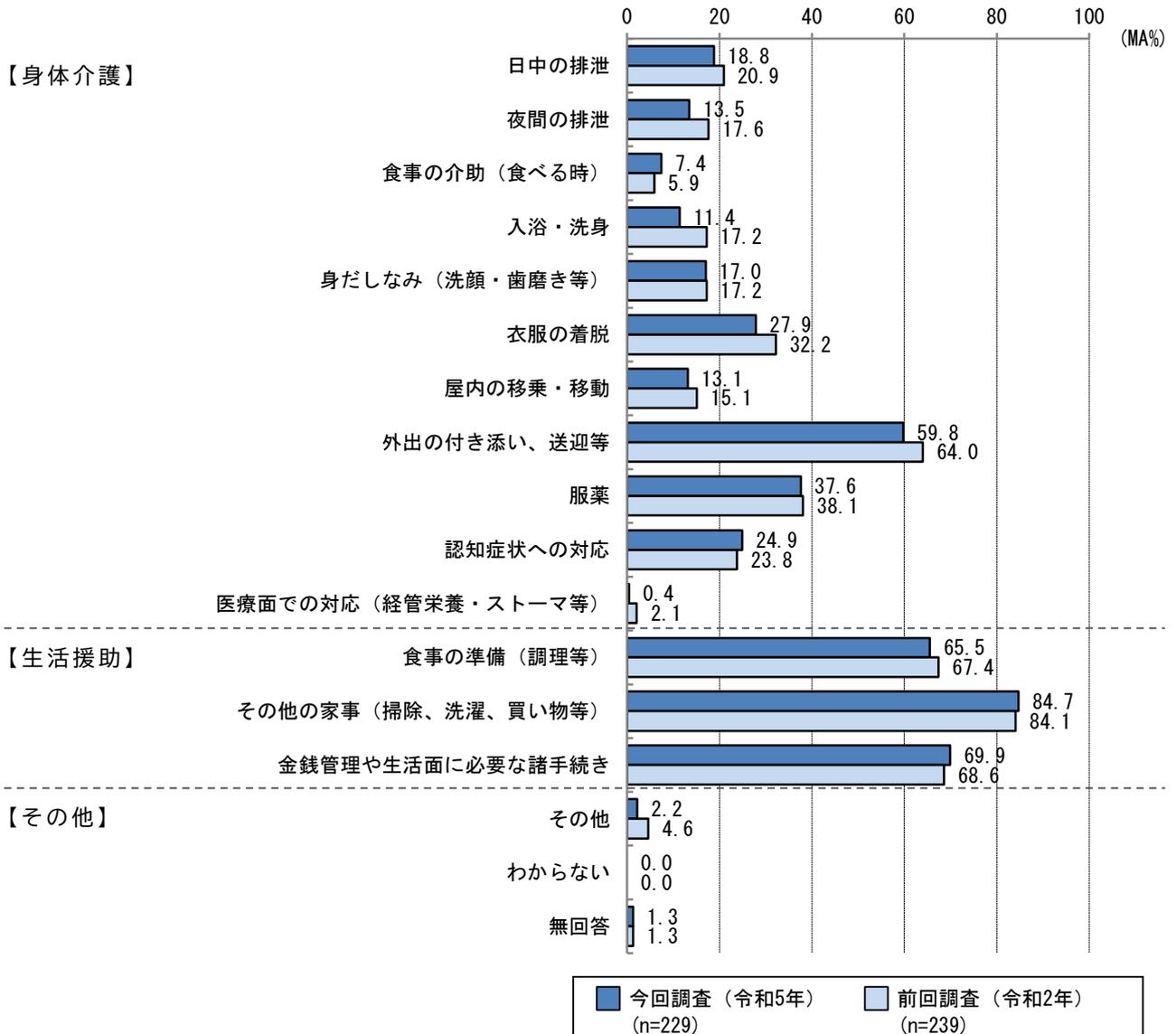


## II 調査結果 2 在宅介護実態調査

### [4] 主な介護者が行っている介護

A票 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。  
(複数回答)

主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が84.7%と最も多く、次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が69.9%、「食事の準備（調理等）」が65.5%となっています。

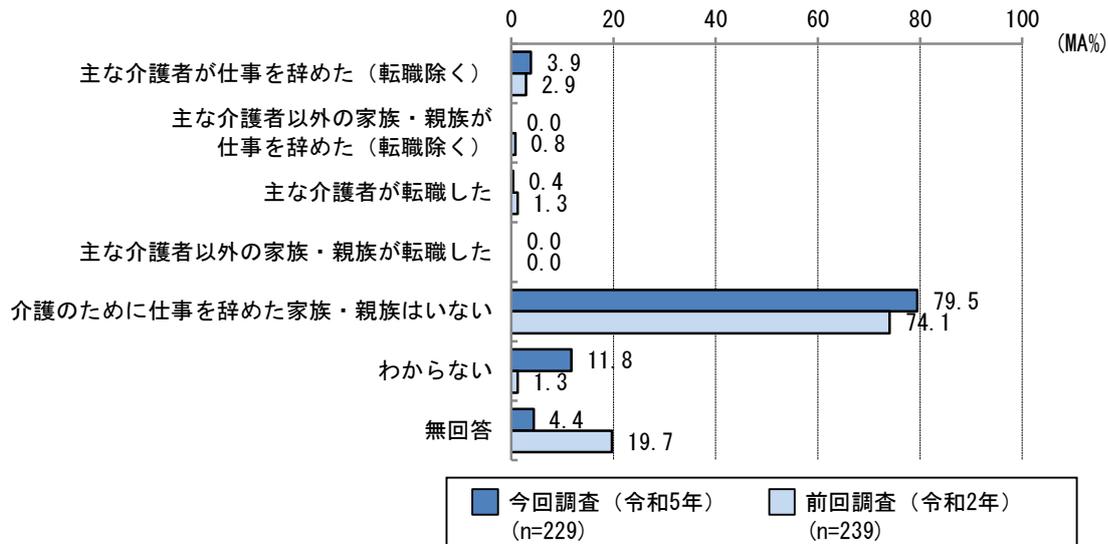


[5]介護のための離職の有無

A票 問7 ご家族やご親族の中でご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数回答)

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

介護のための離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が79.5%と最も多く、前回調査に比べて5.4ポイント増加しています。



## 4. 支援・サービスの利用について

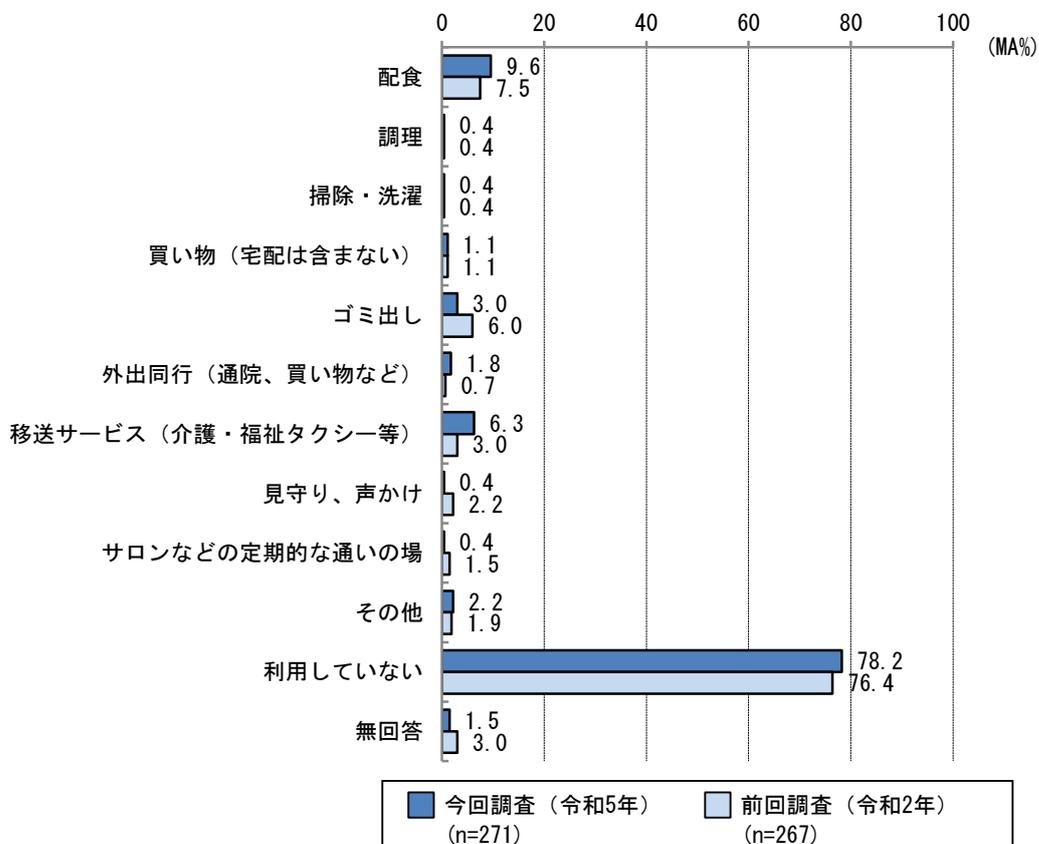
### 〔1〕「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況

A票 問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数回答)

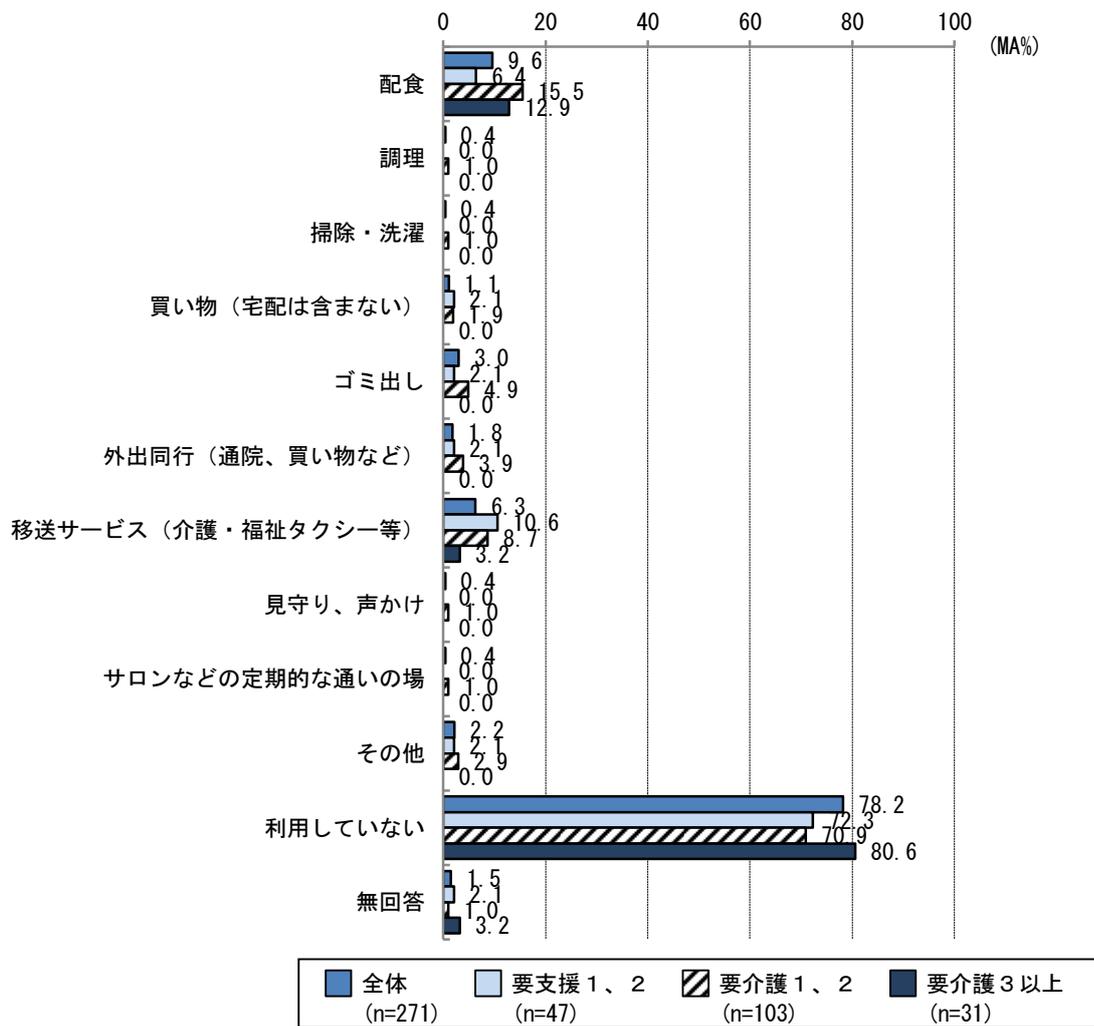
※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

介護保険以外の支援・サービスは、「利用していない」が78.2%と多く、利用しているサービスでは、「配食」が9.6%、「移送サービス（介護・福祉タクシー）」が6.3%となっています。

要介護度別にみると、「配食」は要介護1、2で15.5%、要介護3以上で12.9%と多く、「移送サービス（介護・福祉タクシー）」は要支援1、2で10.6%と多くなっています。



【介護保険以外の支援・サービスの利用状況 要介護度別】



## Ⅱ 調査結果 2 在宅介護実態調査

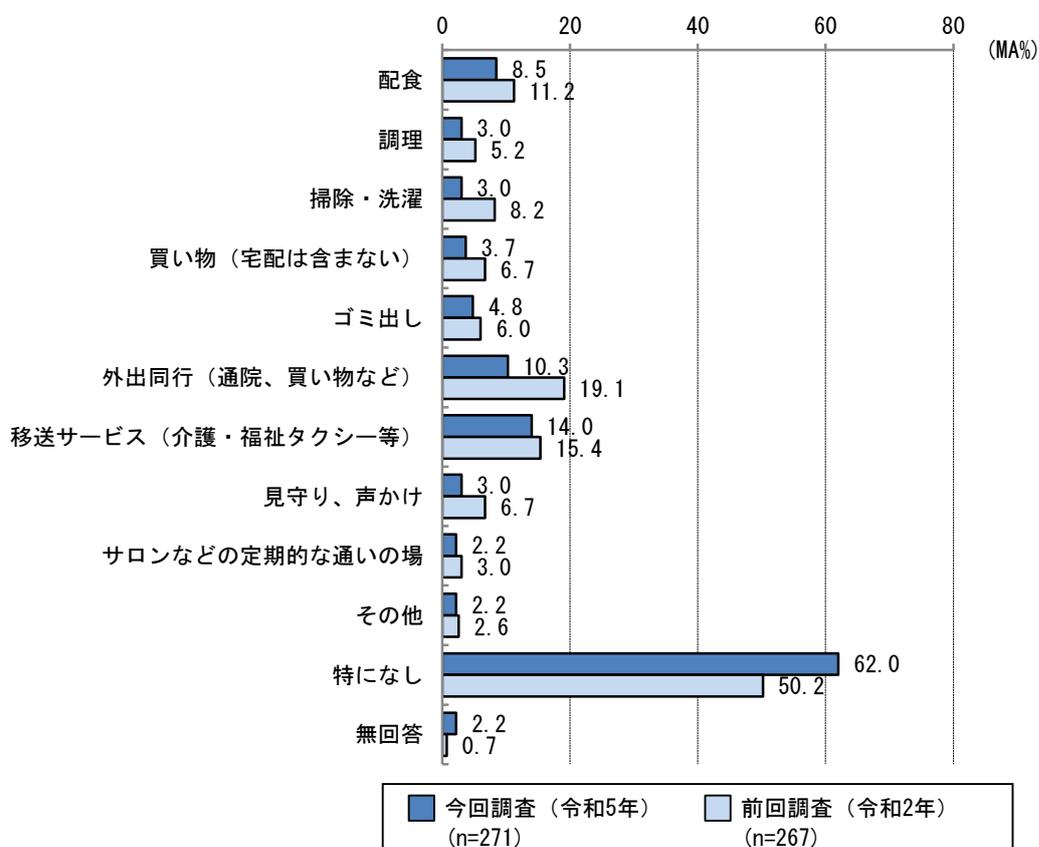
### 〔2〕在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

A票 問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数回答)

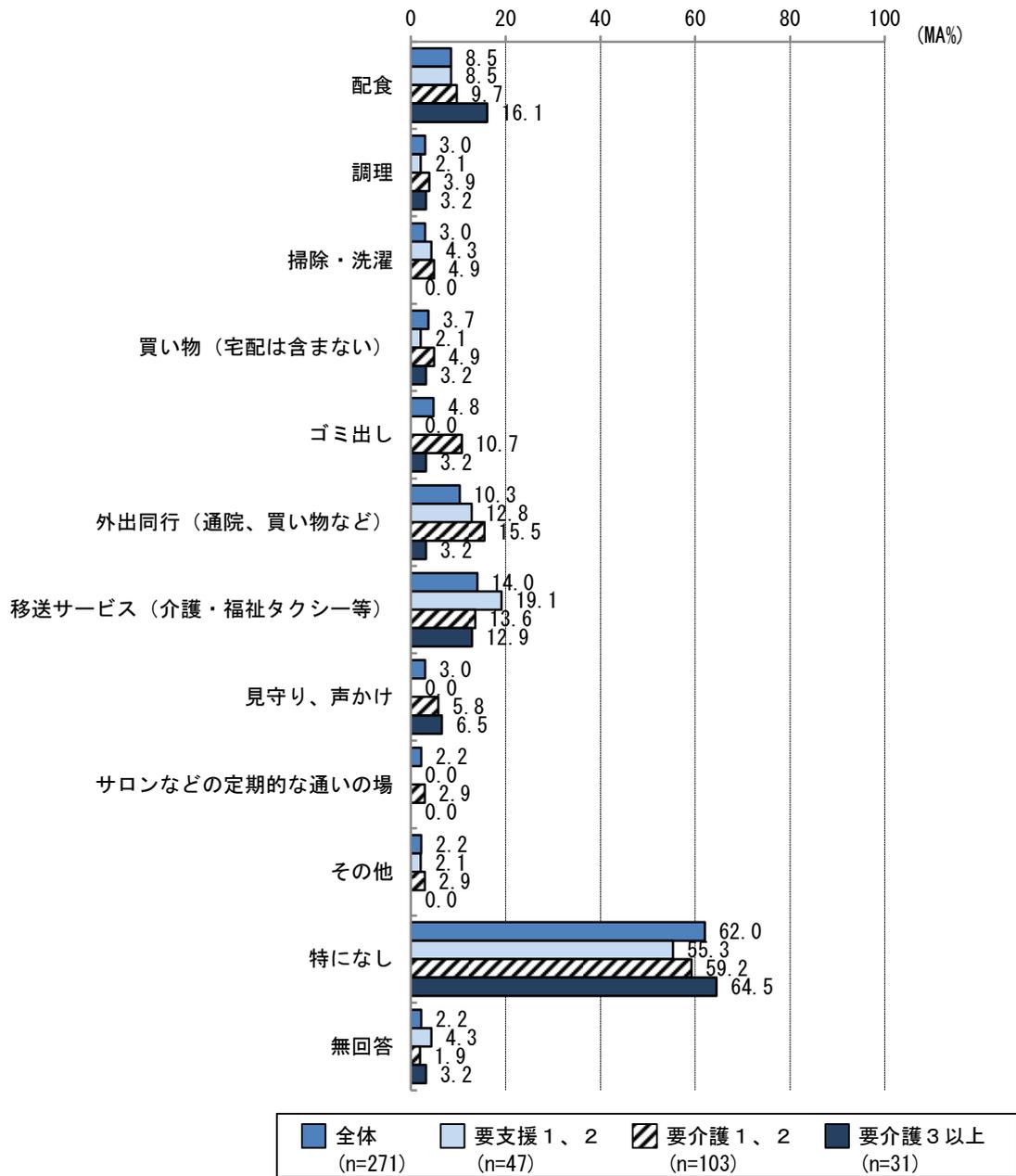
※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「移送サービス(介護・福祉タクシー)」が14.0%と最も多く、次いで、「外出同行(通院、買い物など)」が10.3%、「配食」が8.5%となっています。

要介護度別にみると、「移送サービス(介護・福祉タクシー)」は要支援1、2で19.1%と多く、「配食」は要介護3以上で16.1%と多くなっています。



【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 要介護度別】



## II 調査結果 2 在宅介護実態調査

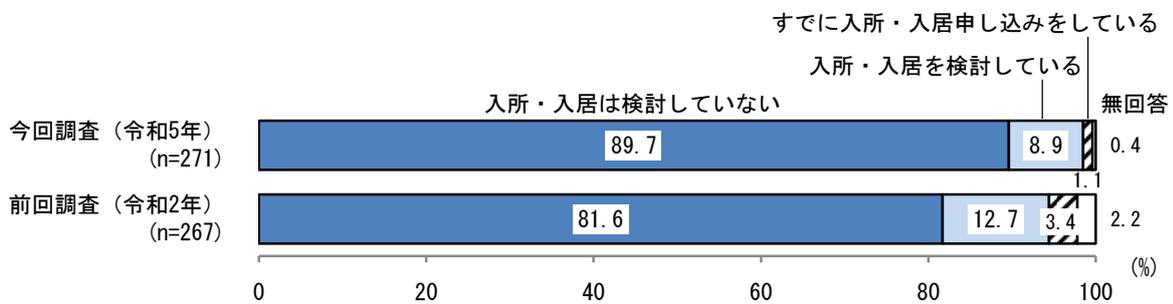
### [3]施設等入所の検討状況

A票 問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(単数回答)

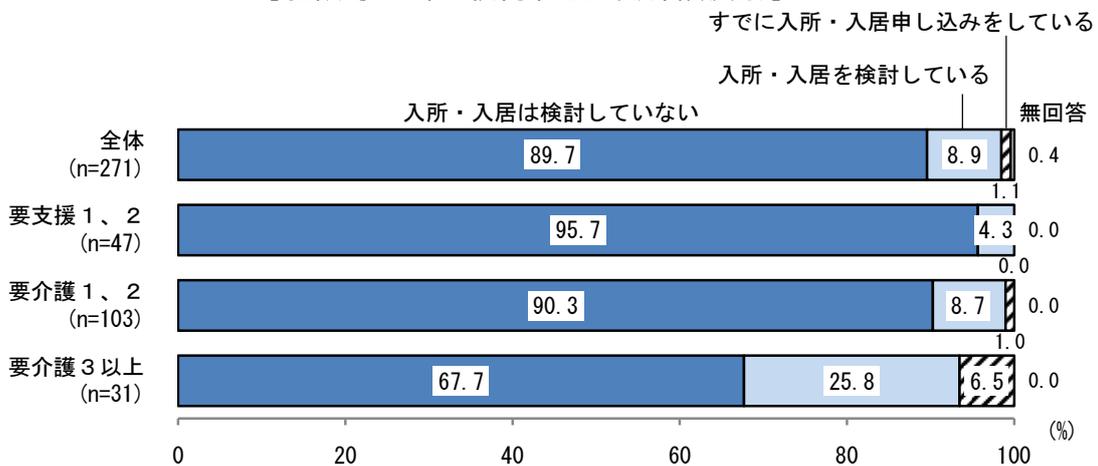
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

施設等入所の検討状況については、「施設等への入所・入居を検討している」は8.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は1.1%で、施設等への入所・入居を考えている人は合計10.0%となっています。

要介護度別にみると、施設等への入所・入居を考えている人は要介護3以上で32.3%となっています。



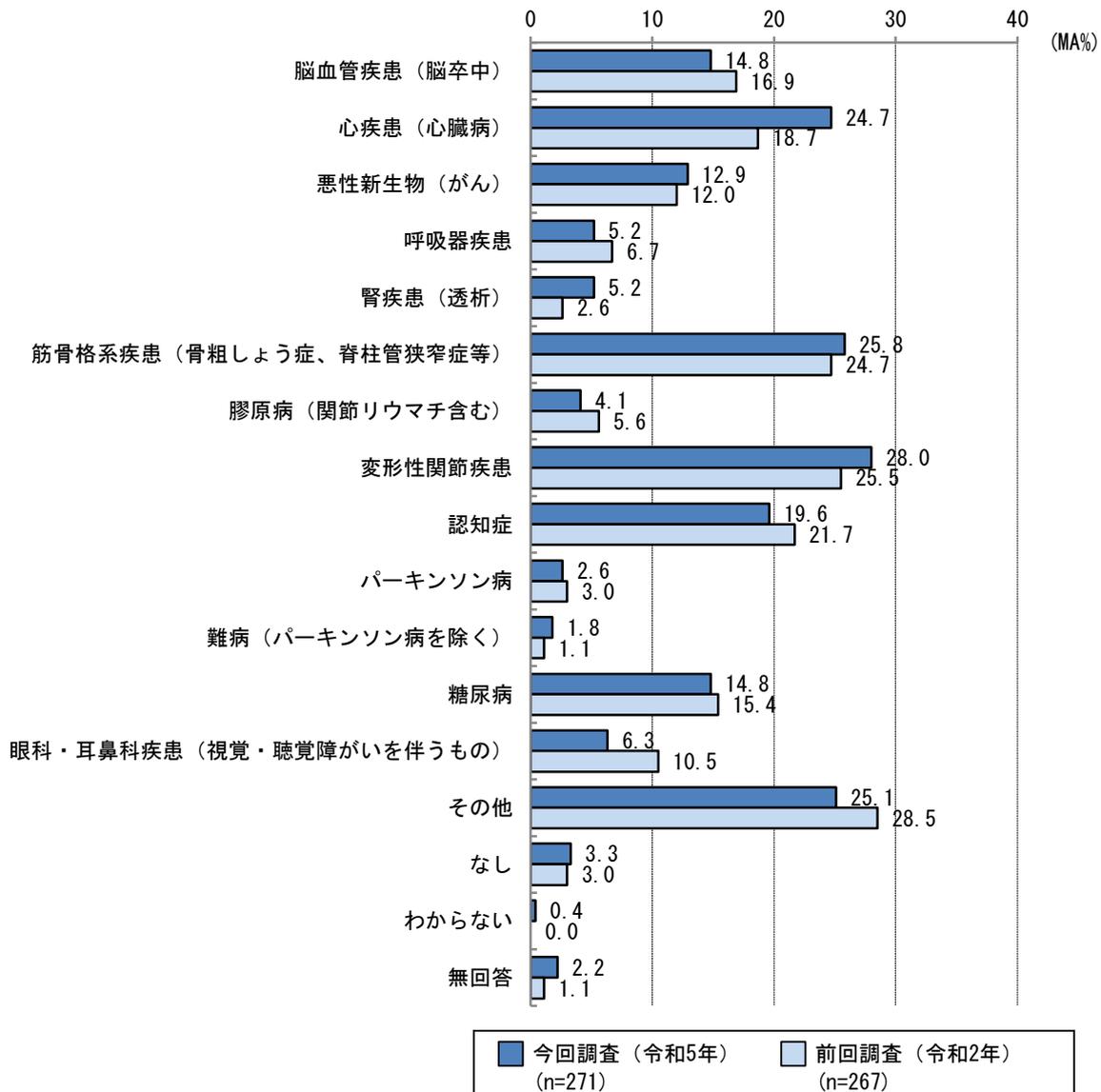
#### 【施設等入所の検討状況 要介護度別】



[4]現在抱えている傷病

A票 問11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(複数回答)

本人が抱えている傷病は、「変形性関節疾患」が28.0%と最も多く、次いで、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が25.8%、「心疾患(心臓病)」が24.7%となっています。前回調査に比べて、「心疾患(心臓病)」が6.0ポイント増加しています。



## Ⅱ 調査結果 2 在宅介護実態調査

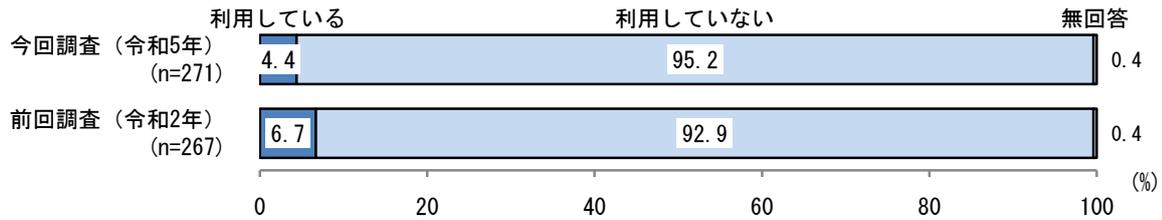
### 〔5〕訪問診療利用状況

A票 問12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。  
(単数回答)

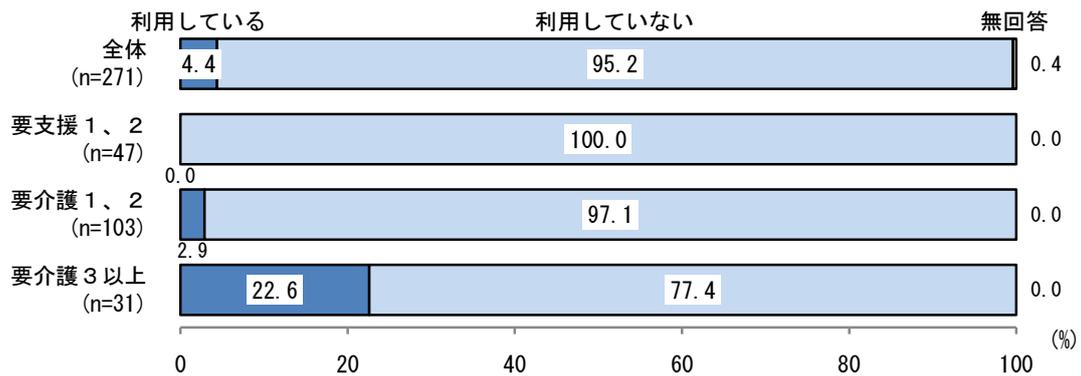
※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

訪問診療を「利用している」は4.4%となっています。

要介護度別にみると、要介護3以上で22.6%となっています。



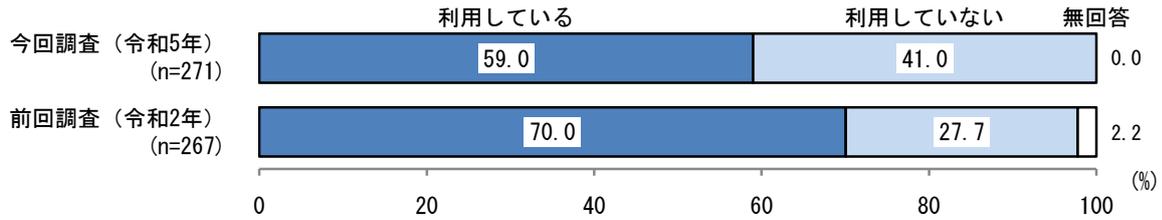
#### 【訪問診療利用状況 要介護度別】



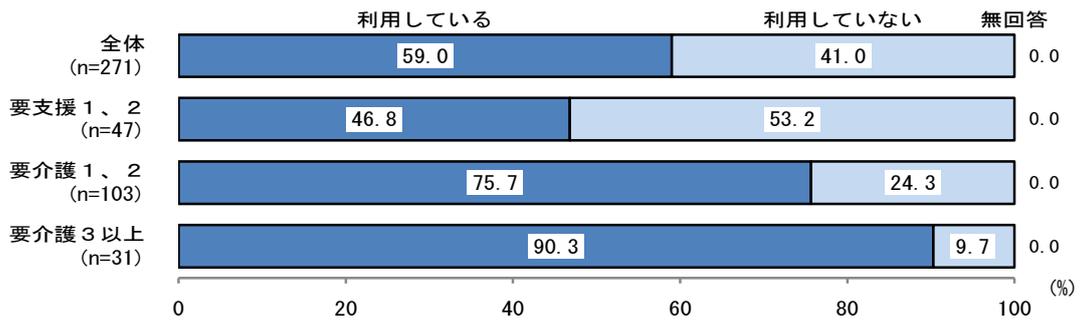
[6]介護保険サービスの利用状況

A票 問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(単数回答)

介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が59.0%、「利用していない」が41.0%となっています。前回調査に比べて、「利用している」は11.0ポイント減少しています。要介護度別にみると、要支援1、2で46.8%、要介護1、2で75.7%、要介護3以上では90.3%と多くなっています。



【介護保険サービスの利用状況 要介護度別】



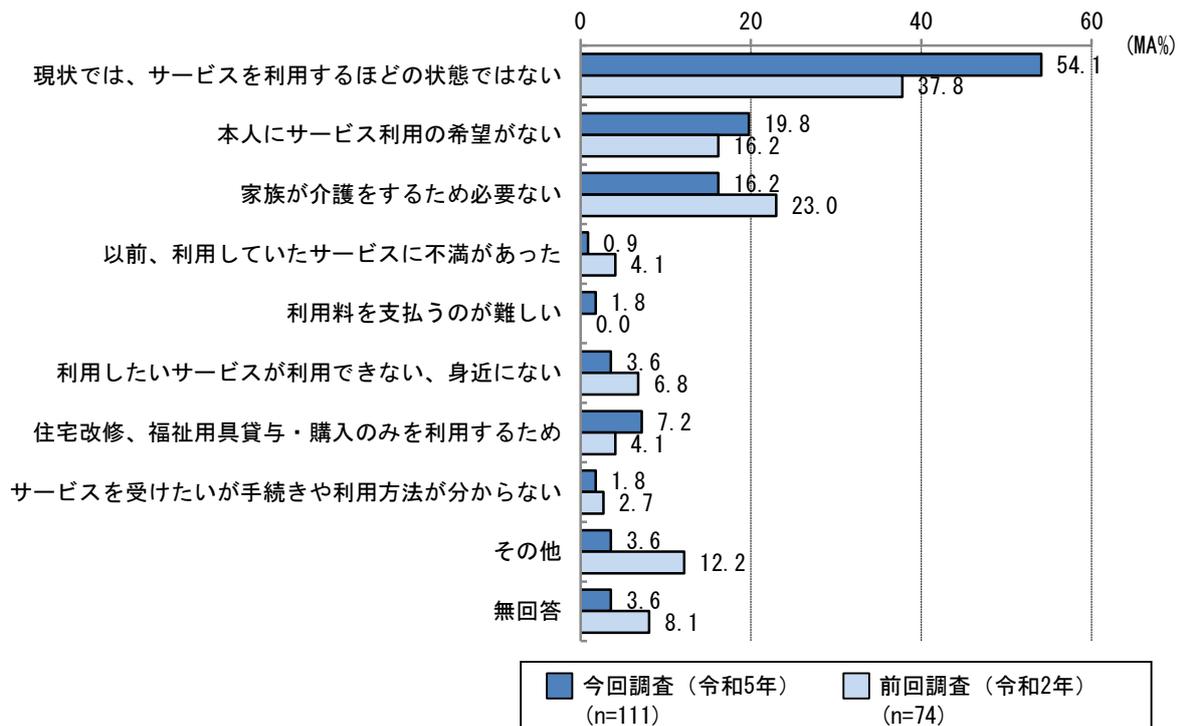
## Ⅱ 調査結果 2 在宅介護実態調査

### 〔7〕介護保険サービスを利用していない理由

【問13で「2.利用していない」と回答した方のみ】

A票 問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答)

介護保険サービス未利用の理由は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が54.1%と最も多く、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」が19.8%、「家族が介護をするため必要ない」が16.2%となっています。



## 5. 介護者の就労について

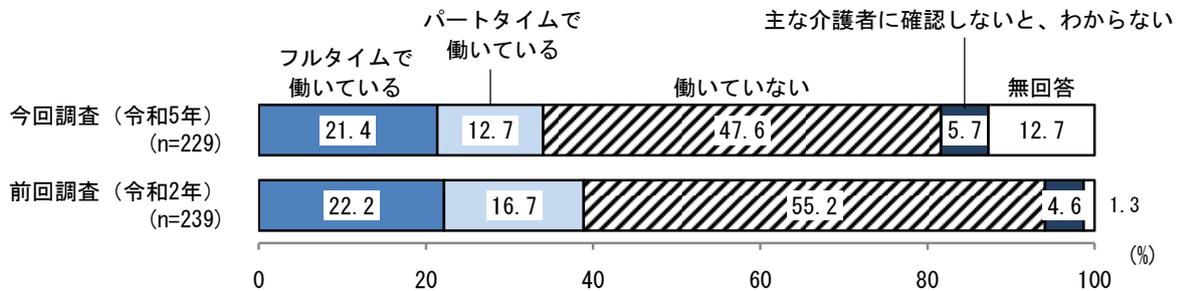
【A票 問2で「2」～「5」(家族・親族からの介護がある)と回答し、  
さらに「主な介護者が調査に同席している方のみ】

### 〔1〕主な介護者の勤務形態

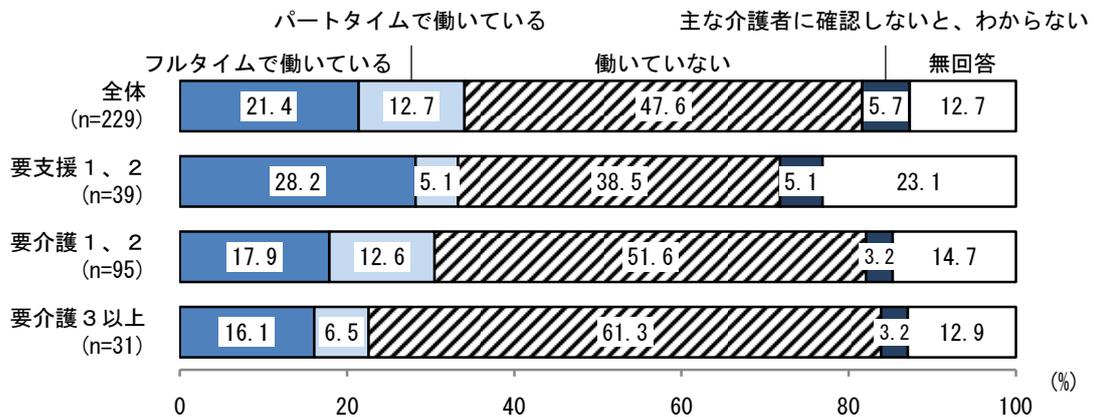
B票 問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。  
(単数回答)

主な介護者の勤務形態は、「フルタイムで働いている」が21.4%、「パートタイムで働いている」が12.7%で、就労している介護者は合計34.1%となっています。

要介護度別にみると、要介護3以上の方の介護者では、就労している人は22.6%とやや少なくなっています。



### 【主な介護者の勤務形態 要介護度別】



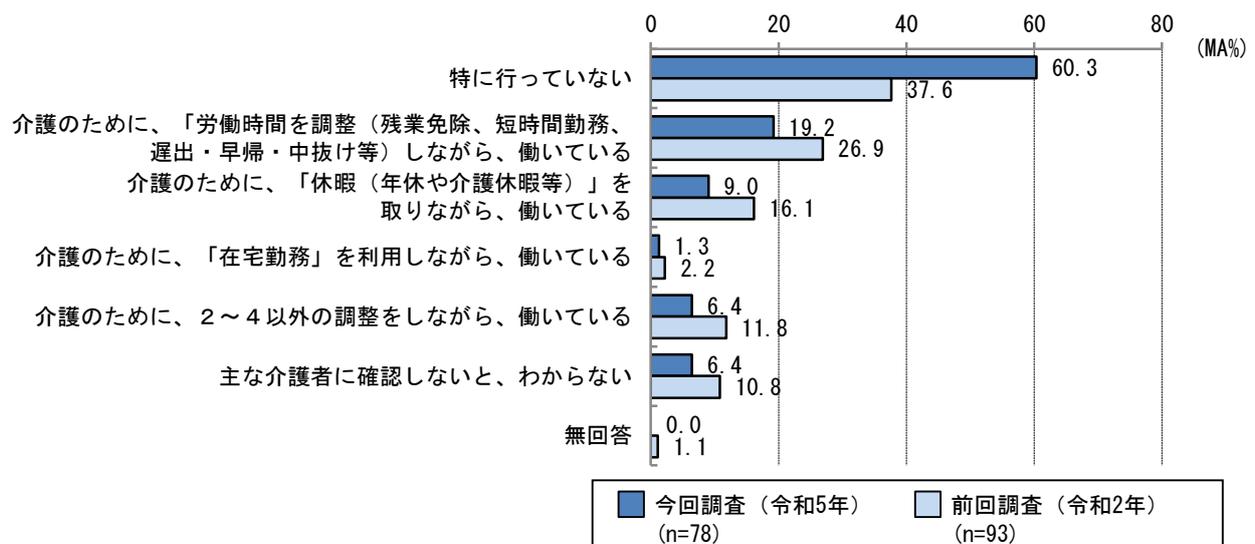
## Ⅱ 調査結果 2 在宅介護実態調査

### 〔2〕主な介護者の方の働き方の調整

【問1で「1」「2」(働いている)と回答した方のみ】

B票 問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等  
をしていますか。(複数選択)

主な介護者の方の働き方の調整について、介護のために何らかの働き方の調整を行っている人（「特に行っていない」と「主な介護者に確認しないとわからない」以外）は3割以上となっており、なかでも「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」が19.2%と最も多くなっています。

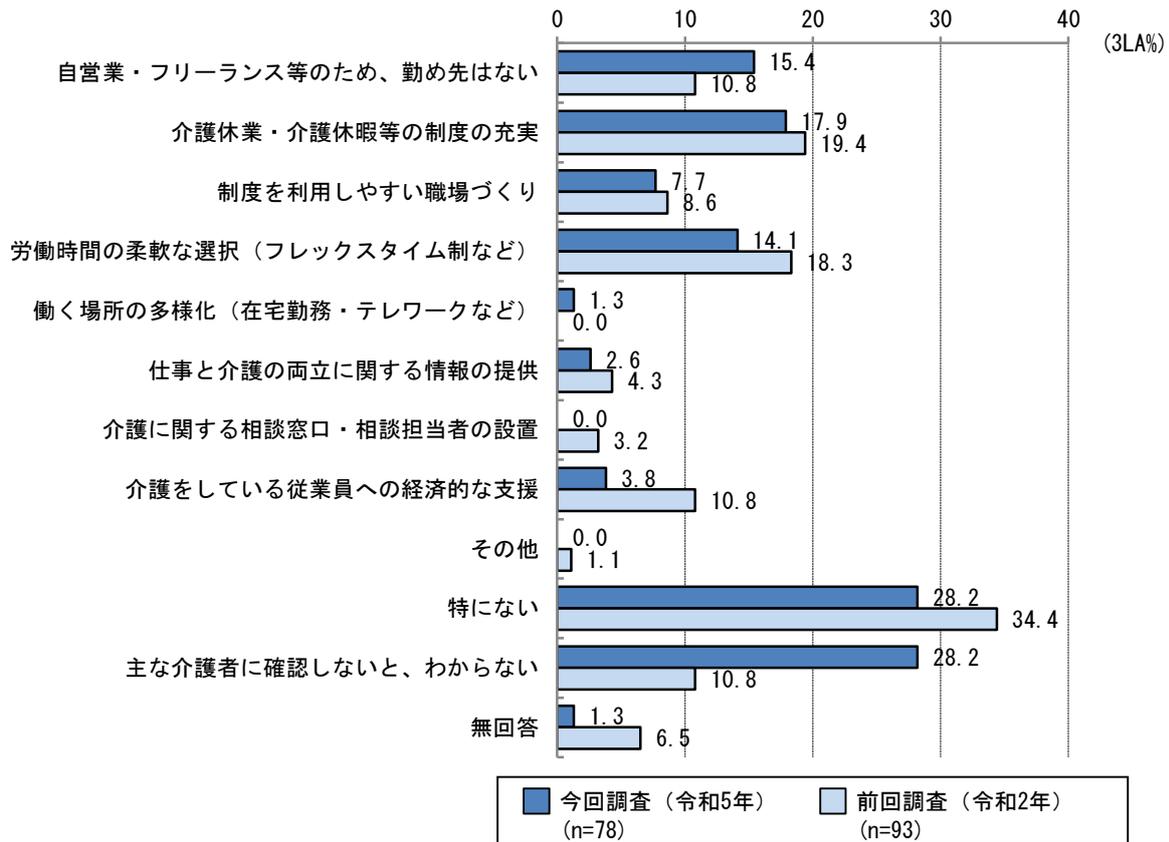


〔3〕就労の継続に効果的な勤め先からの支援

【問1で「1」「2」(働いている)と回答した方のみ】

B票 問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(複数回答・3つまで)

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が17.9%と最も多く、次いで、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が15.4、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が14.1%となっています。



## II 調査結果 2 在宅介護実態調査

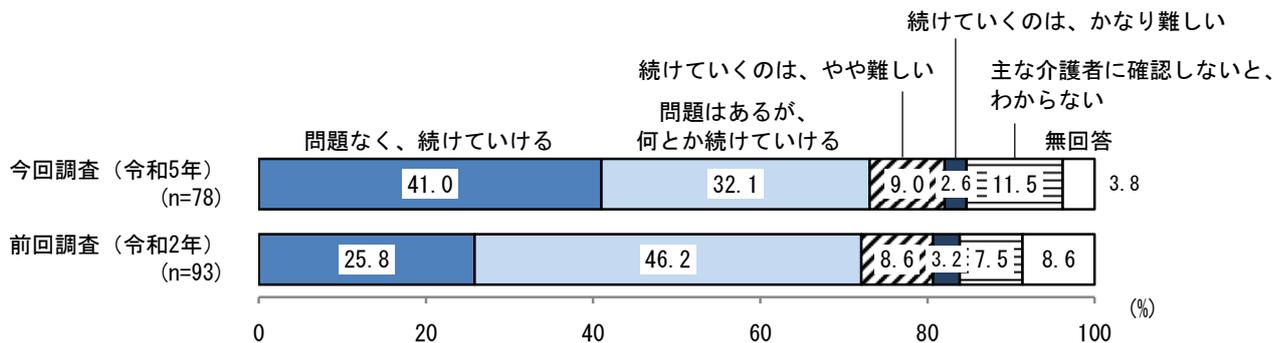
### [4] 主な介護者の就労継続の可否

【問1で「1」「2」(働いている)と回答した方のみ】

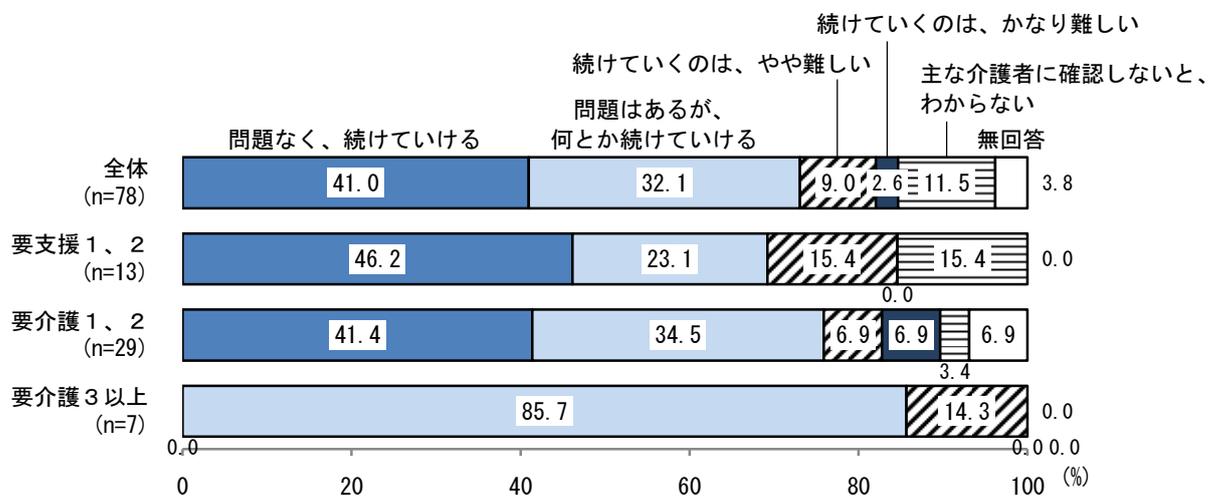
B票 問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。  
(単数回答)

主な介護者の就労継続の可否について、「問題なく、続けていける」が41.0%と最も多く、前回調査に比べて15.2ポイント増加しています。「問題はあるが、何とか続けていける」と合わせた『続けていける』は合計73.1%となっています。

要介護度別にみると、要介護1、2の方の介護者で、「続けていくのは、かなり難しい」が6.9%みられます。



【主な介護者の就労継続の可否 要介護度別】



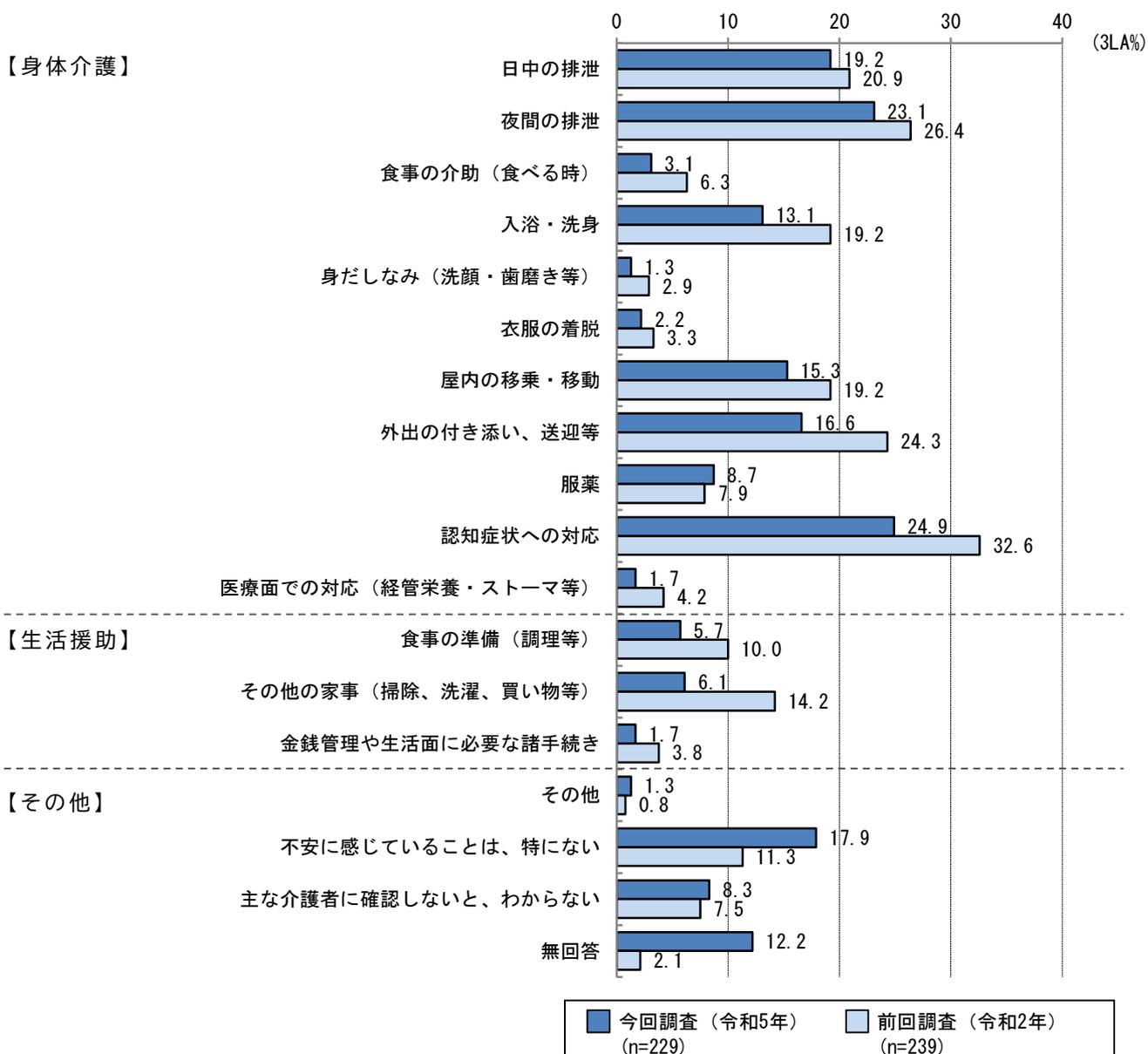
## 6. 介護者が不安に感じる介護

### 〔1〕介護者が不安に感じる介護

B票 問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)  
(複数回答・3つまで)

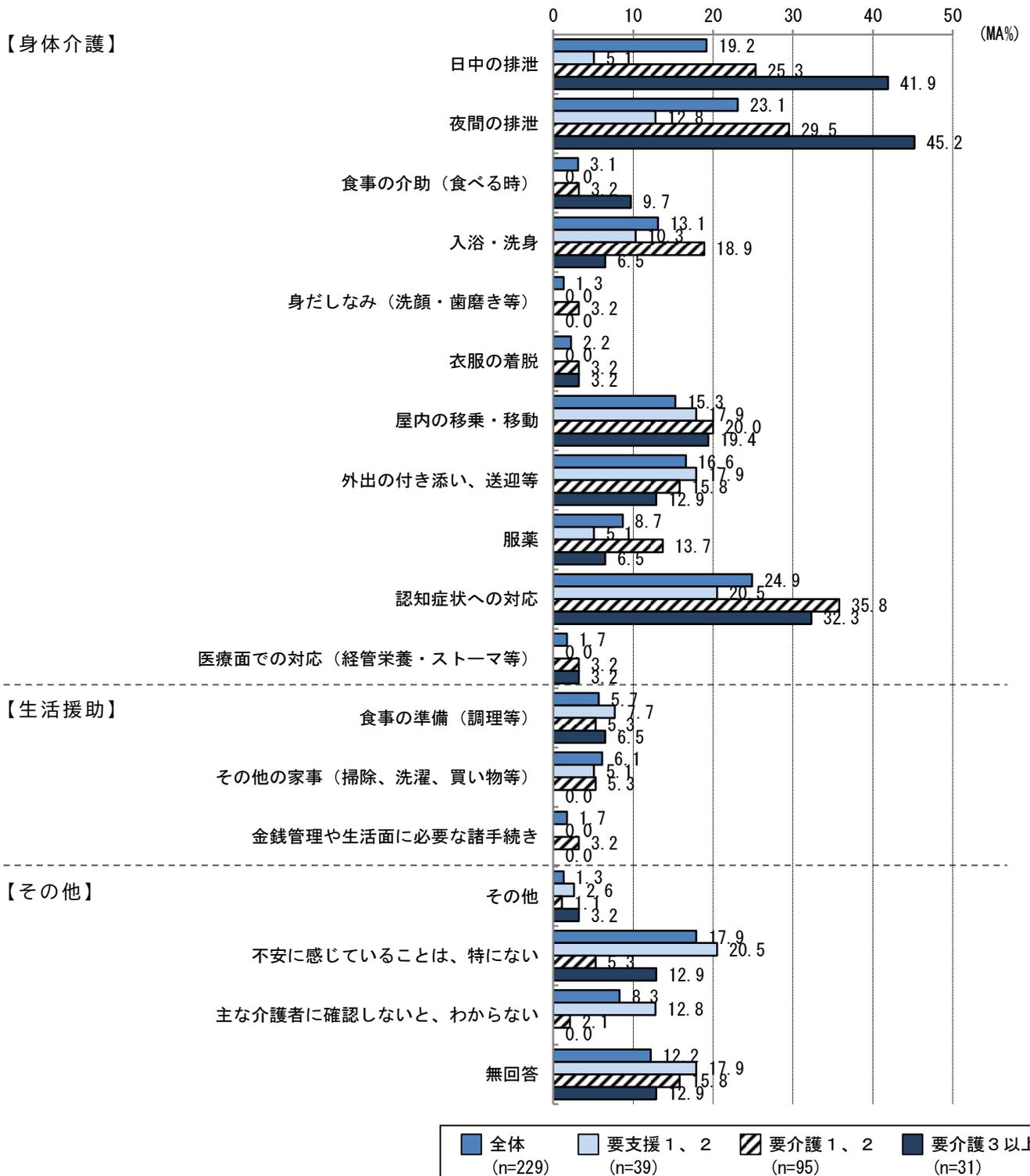
在宅生活の継続を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護については、「認知症状への対応」が24.9%と最も多く、次いで、「夜間の排泄」が23.1%、「日中の排泄」が19.2%となっています。

要介護度別にみると、要支援1、2の方の介護者では、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」がそれぞれ17.9%と多く、要介護3以上の方の介護者では、「日中の排泄」が41.9%、「夜間の排泄」が45.2%と多くなっています。



## II 調査結果 2 在宅介護実態調査

【介護者が不安に感じる介護 要介護度別】

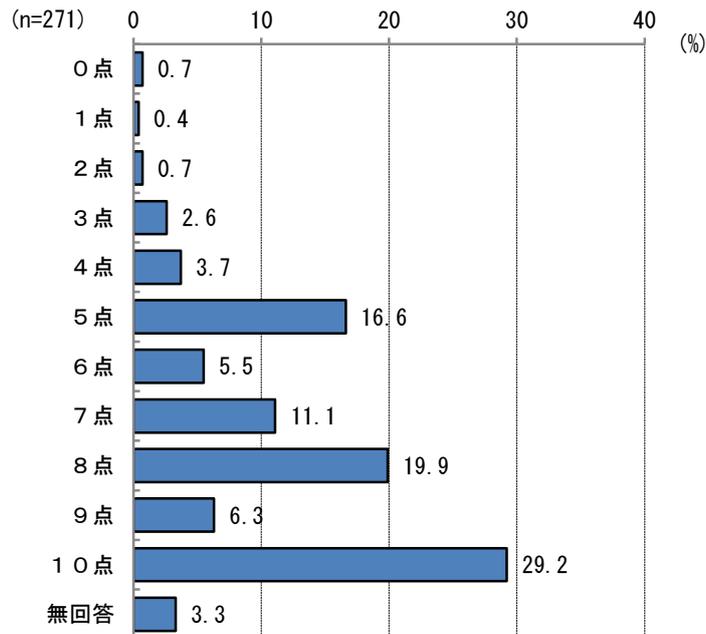


## 7. 生活感や介護への考え(追加調査項目)

### 〔1〕主観的幸福感

追加質問1(1) あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。1つの点数に○)

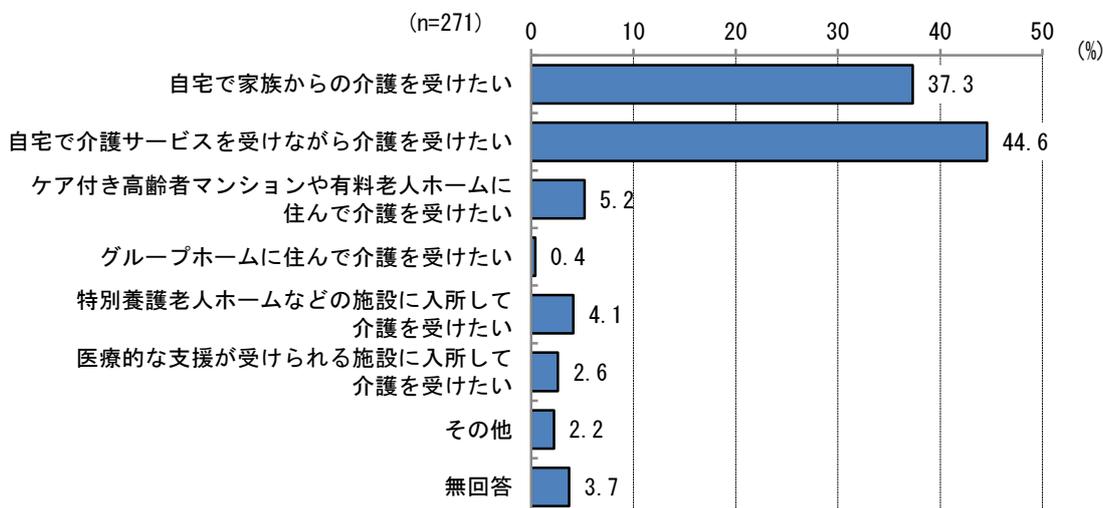
現在の幸福感を10点満点で評価してもらったところ、「10点」が29.2%と最も多く、次いで、「8点」が19.9%、「5点」が16.6%となっています。



### 〔2〕希望する介護

追加質問1(2) あなたが希望する今後の介護について、考えに近いものは何ですか。(1つに○)

今後、希望する介護については、「自宅で介護サービスを受けながら介護を受けたい」が44.6%と最も多く、次いで、「自宅で家族からの介護を受けたい」が37.3%となっています。

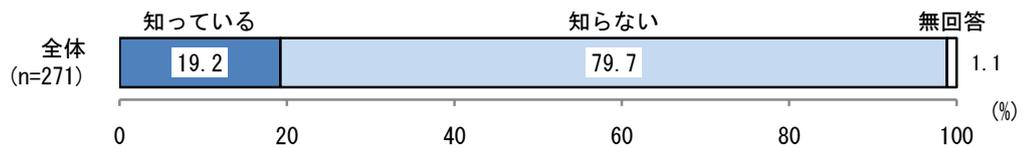


## 8. 認知症対策(追加調査項目)

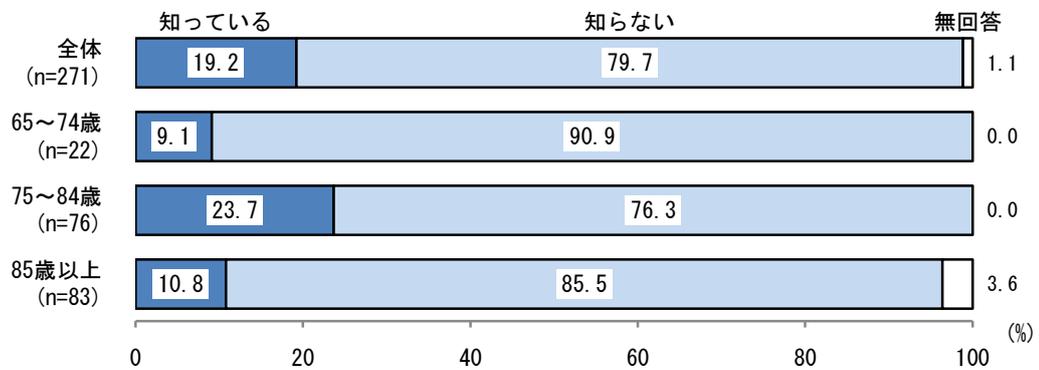
### 〔1〕認知症専門の医療機関の認知

追加質問2(1) 認知症専門の医療機関を知っていますか。(1つに○)

認知症専門の医療機関を「知っている」は19.2%となっています。年齢別にみると、75～84歳で23.7%と多く、65～74歳や85歳以上では1割程度と少なくなっています。



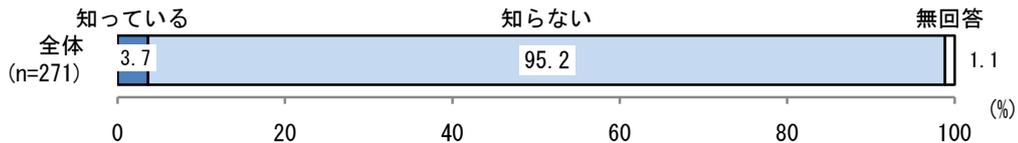
【認知症専門の医療機関の認知 年齢別】



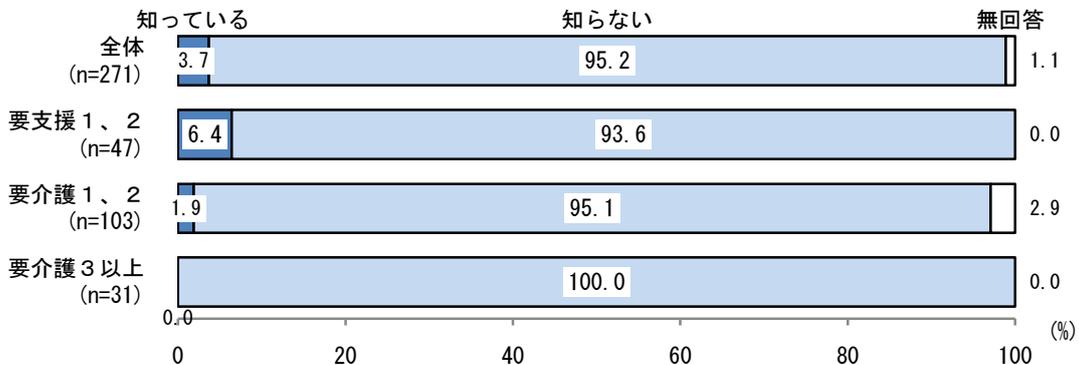
〔2〕『阪南市認知症あんしんガイド』の認知

追加質問2(2) あなたは、認知症になってもできる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症の人を支えていく仕組みを整理した『阪南市認知症あんしんガイド』について知っていますか。  
(1つに○)

『阪南市認知症あんしんガイド』を「知っている」は3.7%、「知らない」は95.2%となっています。要介護度別にみると、「要支援1、2」の方で6.4%とやや多くなっています。



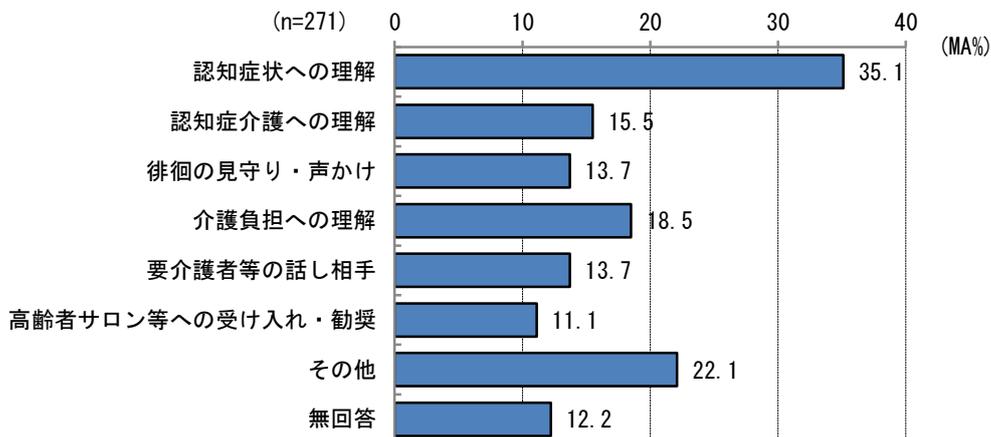
【『阪南市認知症あんしんガイド』の認知 要介護度別】



〔3〕認知症介護に対して地域からの支援で期待すること

追加質問2(3) 認知症介護に対して、地域からの支援で期待する内容はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

認知症介護に対して、地域からの支援で期待する内容は、「認知症状への理解」が35.1%と最も多く、次いで、「介護負担への理解」が18.5%となっています。

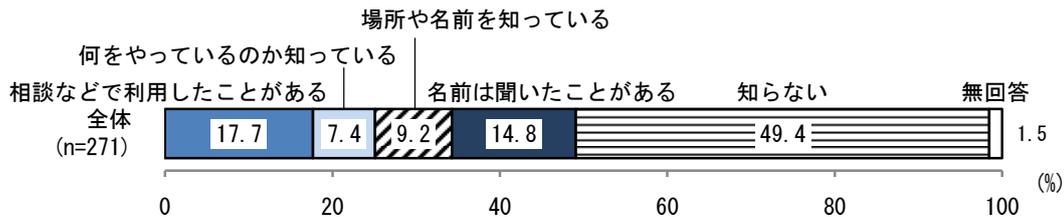


## 9. 情報・相談(追加調査項目)

### 〔1〕「地域包括支援センター」の認知

追加質問3(1) あなたは、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」について知っていますか。(○は1つ)

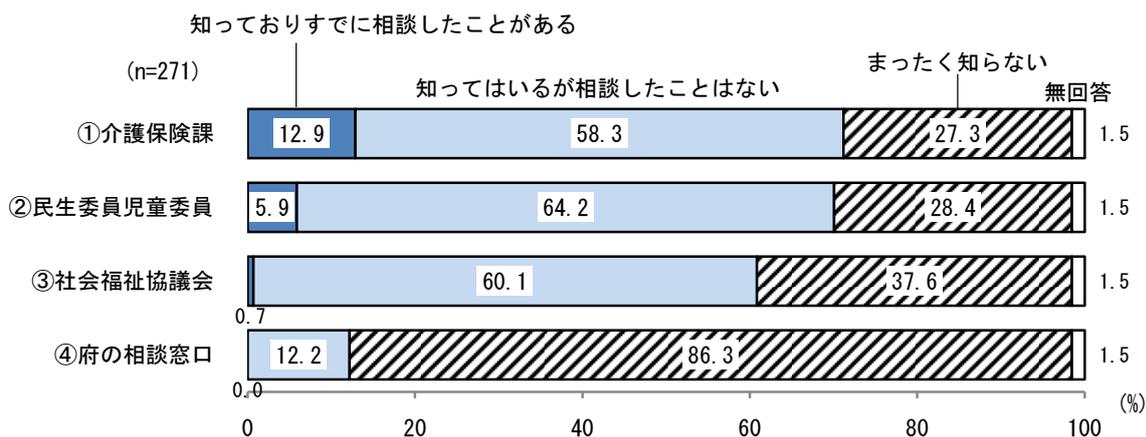
「地域包括支援センター」については、「知らない」が49.4%と最も多く、次いで、「相談などで利用したことがある」が17.7%、「名前は聞いたことがある」が14.8%となっています。



### 〔2〕高齢者福祉等の相談機関の認知

追加質問3(2) あなたは、以下の高齢者福祉等の相談に関する関係機関を知っていますか。(①～④それぞれの認知度と満足度1つに○)

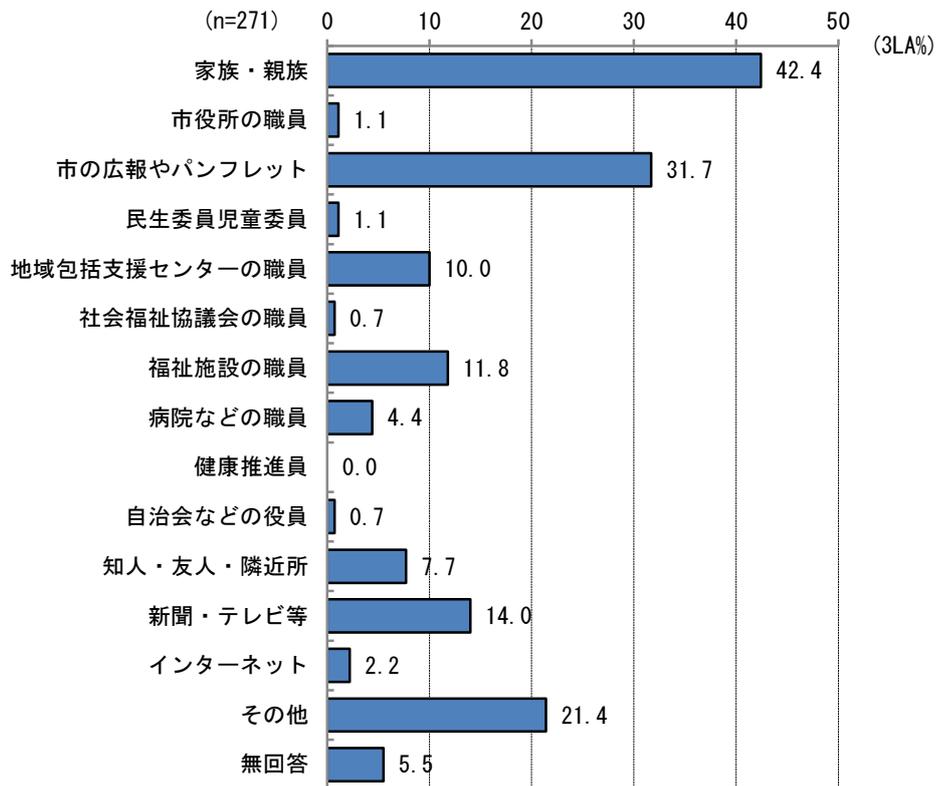
高齢者福祉等の相談に関する関係機関について、「知っておりすでに相談したことがある」は①介護保険課が12.9%と最も多くなっています。①介護保険課と②民生委員児童委員については、「知っておりすでに相談したことがある」と「知ってはいるが相談したことはない」を合わせた『知っている』が7割となっています。



〔3〕情報の入手方法

追加質問3(3) 現在、介護保険や高齢者福祉サービス、健康に関する情報をどのような方法で入手していますか。(3つまでに○)

介護保険や高齢者福祉サービス、健康に関する情報の入手方法は、「家族・親族」42.4%と最も多く、次いで、「市の広報やパンフレット」が31.7%、「新聞・テレビ等」が14.0%となっています。



### 3 サービス提供事業者アンケート調査

#### 1. 事業所の概要及びサービスの実施状況について

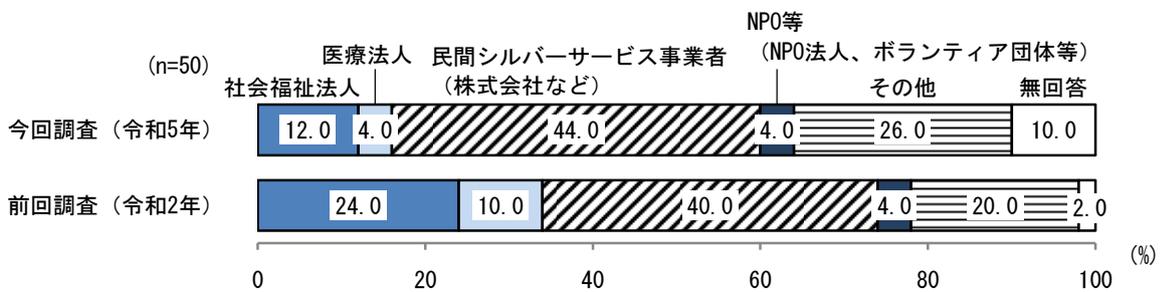
##### 〔1〕事業所概要

問1 令和5年5月現在の貴事業所の概要をお聞かせください。

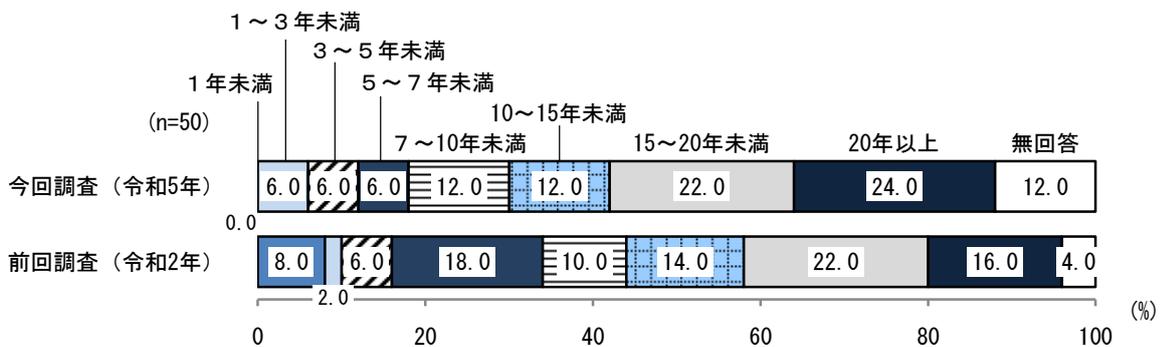
運営形態は、「民間シルバーサービス事業者（株式会社など）」が44.0%と最も多く、次いで、「社会福祉法人」が12.0%、「医療法人」、「NPO等（NPO法人、ボランティア団体等）」がそれぞれ4.0%となっています。

経営年数は、「20年以上」が24.0%と最も多く、次いで、「15～20年未満」が22.0%、「7～10年未満」、「10～15年未満」がそれぞれ12.0%となっています。

##### ■運営形態(単数回答)



##### ■経営年数(数量回答)

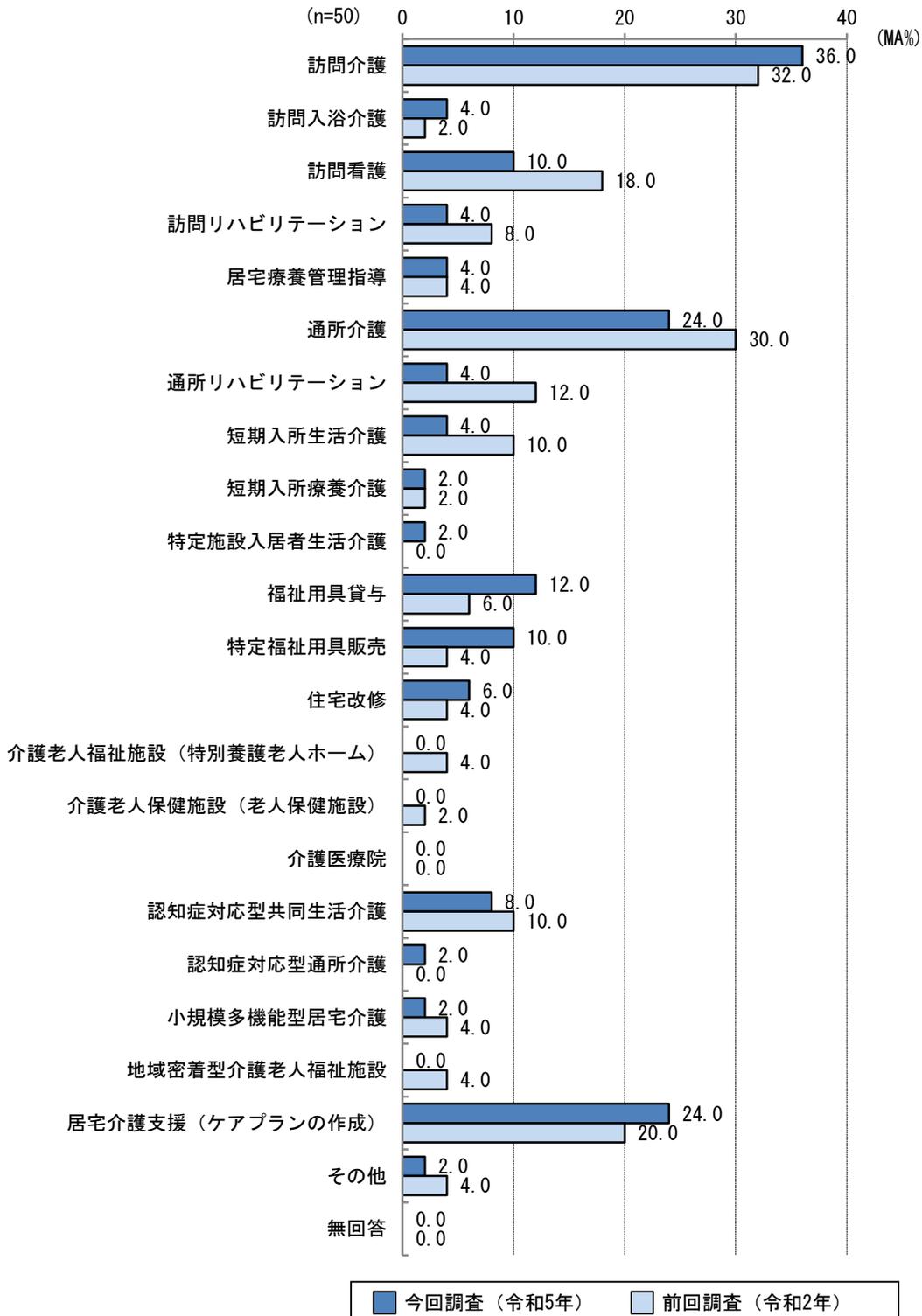


〔2〕提供サービスと利用者数

問2 貴事業所が提供しているサービスについてお聞きかせください。(予防サービスを含む。)また、サービスの利用人数等もご記入ください。(令和5年5月の状況を記入してください。)

■ 提供しているサービスの種類(複数回答)

提供しているサービスの種類は、「訪問介護」が36.0%と最も高く、次いで「通所介護」、「居宅介護支援(ケアプランの作成)」がそれぞれ24.0%となっています。



## Ⅱ 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

### ■サービスの利用人数

サービスの月間延べ利用人数は、「1～29人」が40.0%と最も多く、次いで、「100人以上」が20.0%となっています。

阪南市民の利用人数は、「1～29人」が57.5%と最も多くなっています。

#### 【利用人数(月間延べ)】

##### 今回調査(令和5年)

カテゴリ	件数	割合
1～29人	32件	40.0%
30～49人	13件	16.3%
50～99人	10件	12.5%
100人以上	16件	20.0%
無回答	9件	11.3%
合計	80件	100.0%

##### 前回調査(令和2年)

カテゴリ	件数	割合
1～29人	25件	27.8%
30～49人	11件	12.2%
50～99人	16件	17.8%
100人以上	30件	33.3%
無回答	8件	8.9%
合計	90件	100.0%

#### 【阪南市民の利用人数(実数)】

##### 今回調査(令和5年)

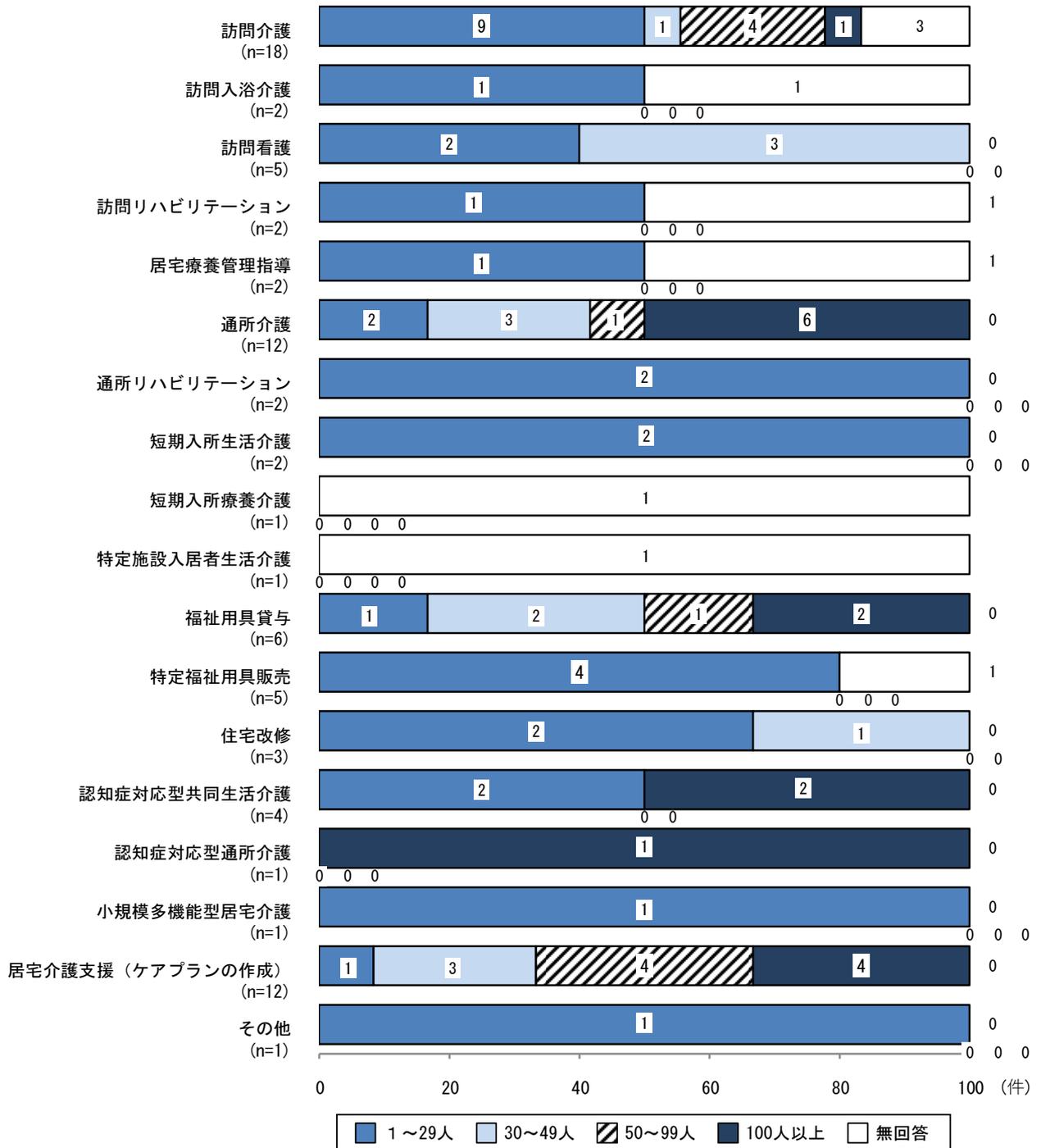
カテゴリ	件数	割合
1～29人	46件	57.5%
30～49人	8件	10.0%
50～99人	7件	8.8%
100人以上	7件	8.8%
無回答	12件	15.0%
合計	80件	100.0%

##### 前回調査(令和2年)

カテゴリ	件数	割合
1～29人	45件	50.0%
30～49人	13件	14.4%
50～99人	13件	14.4%
100人以上	7件	7.8%
無回答	12件	13.3%
合計	90件	100.0%

■ サービス別利用人数(月間延べ)

サービスの月間延べ利用人数は、訪問介護では「1～29人」が9件と最も多く、通所介護では「100人以上」が6件となっています。

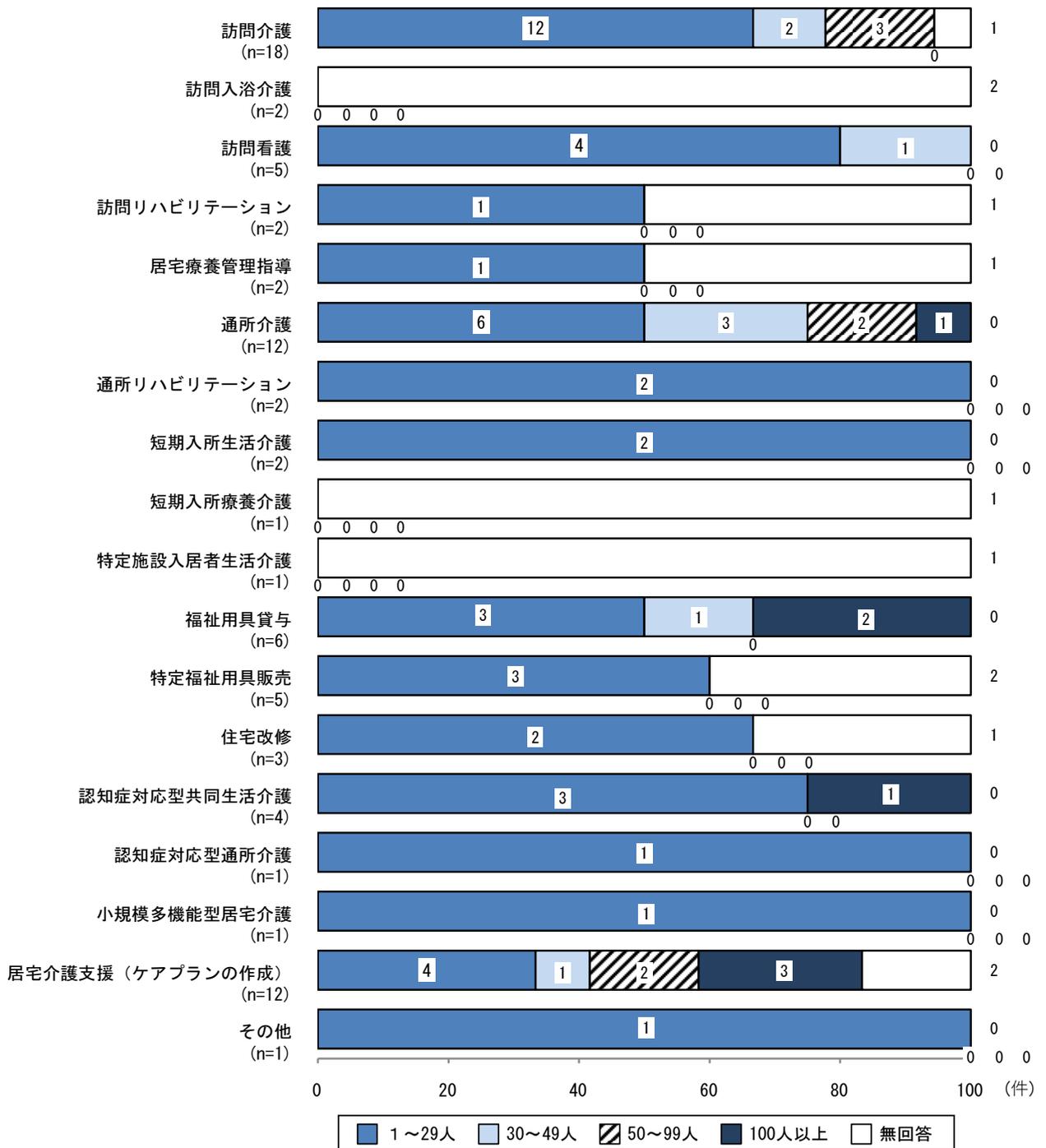


※ 「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」、「介護老人保健施設（老人保健施設）」、「介護医療院」、「地域密着型介護老人福祉施設」については回答事業所なし。

## II 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

### ■サービス別阪南市民の利用人数

阪南市民の実利用人数は、訪問介護では「1～29人」が12件と最も多く、通所介護では6件となっています。

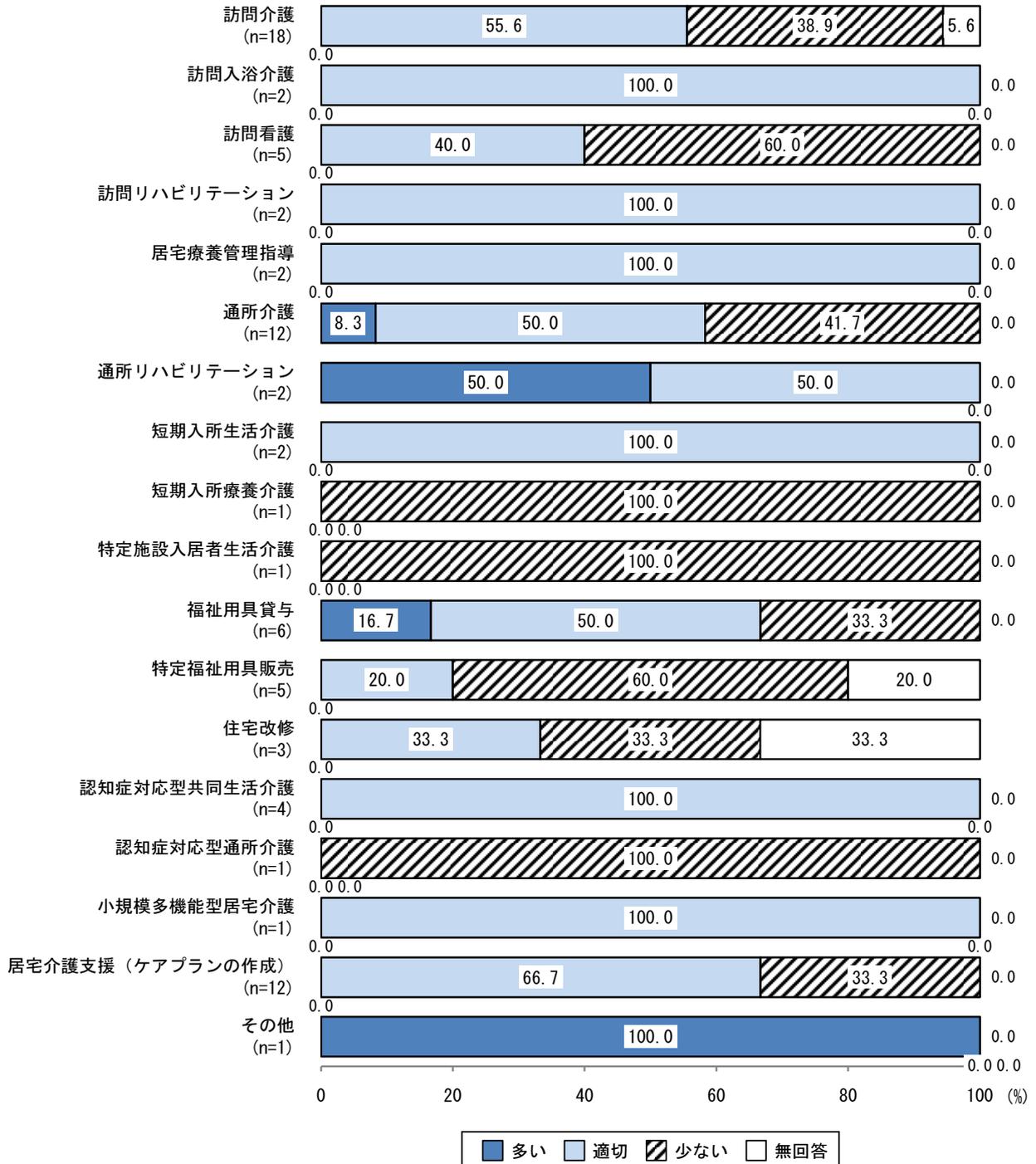


※「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」、「介護老人保健施設（老人保健施設）」、「介護医療院」、「地域密着型介護老人福祉施設」については回答事業所なし。

■定員(又は見込み)と比較したときの現在の利用者数

定員(又は見込み)と比較したときの現在の利用者数は、訪問入浴介護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、短期入所生活介護、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護で「適切」が100%となっており、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、認知症対応型通所介護で「少ない」が100%となっています。

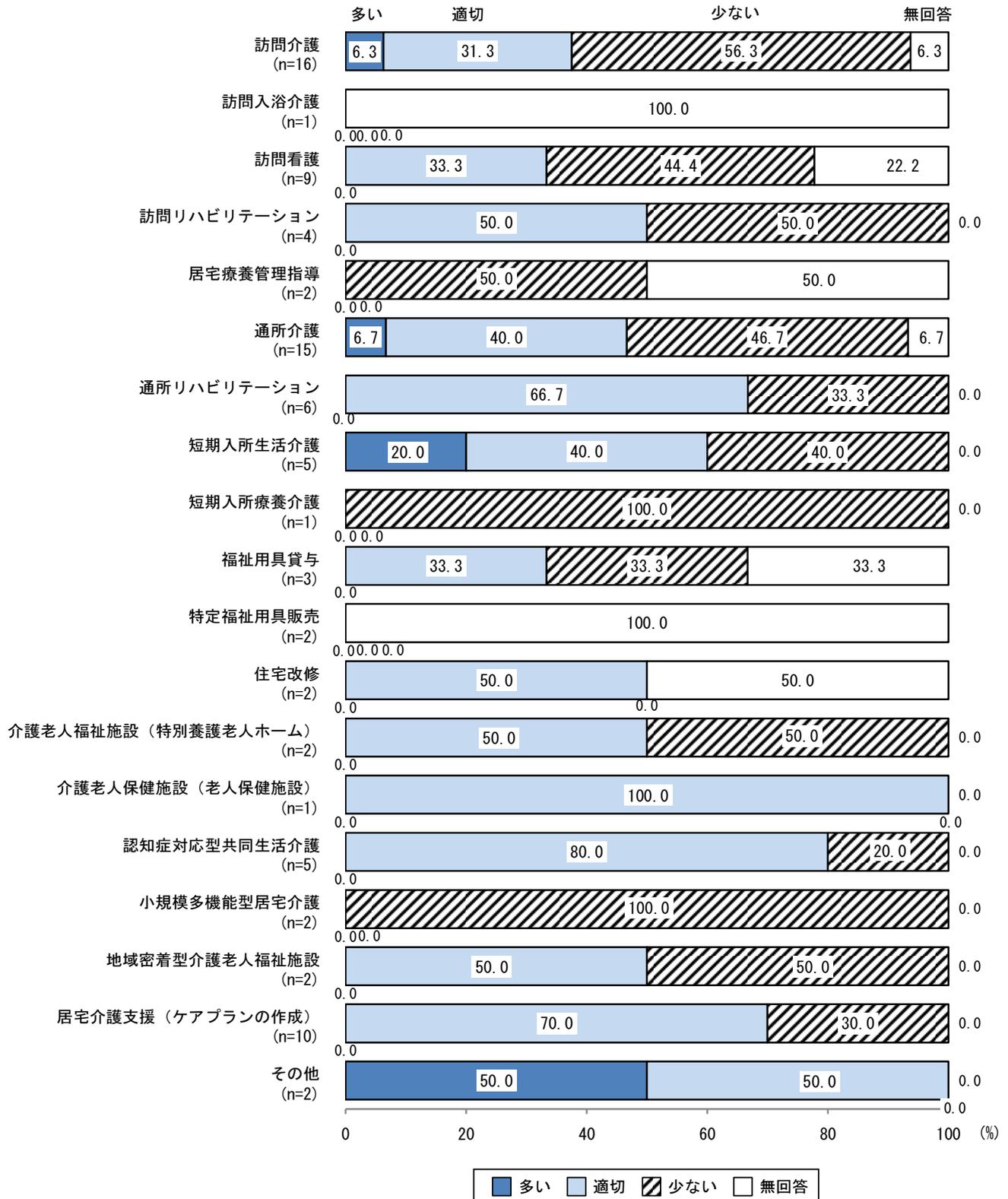
今回調査(令和5年)



※「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」、「介護老人保健施設(老人保健施設)」、「介護医療院」、「地域密着型介護老人福祉施設」については回答事業所なし。

## II 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

前回調査(令和2年)

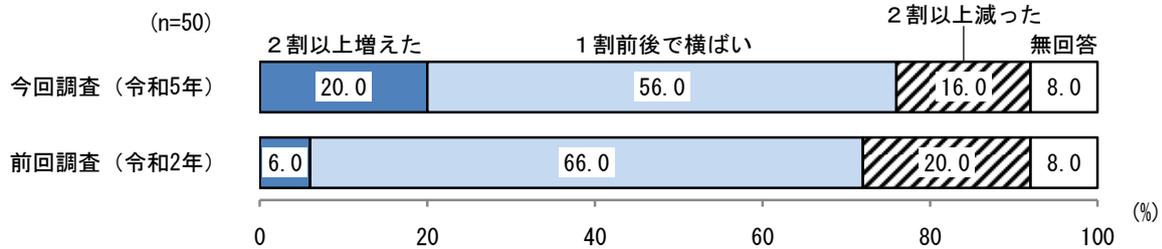


※「特定施設入居者生活介護」、「介護医療院」、「認知症対応型通所介護」については回答事業所なし。

[3]サービスの種類別の利用者数の変化

問3 令和5年5月現在、サービスの種類別の利用者数は、1年前に比べてどのような状況ですか。(1つに○)

1年前と比較したサービスの種類別利用者数は、「1割前後で横ばい」が56.0%と最も多く、次いで、「2割以上増えた」が20.0%、「2割以上減った」が16.0%となっています。

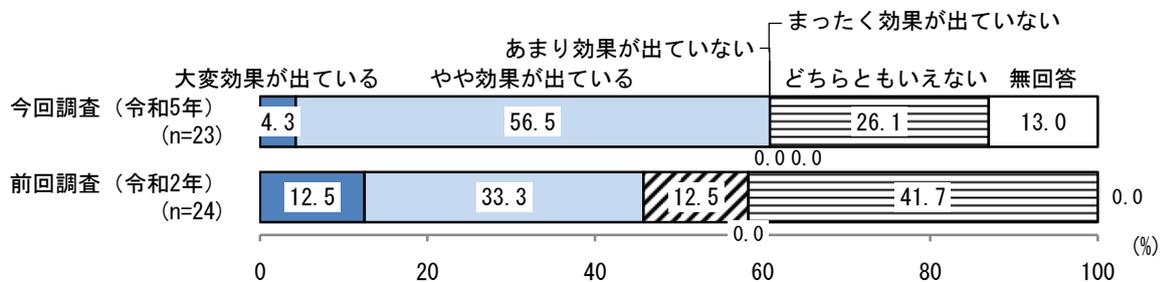


[4]介護予防サービスの提供による改善・予防の効果

【介護予防サービスを提供している事業所の方のみ】

問4 介護予防サービスを提供し始めてから利用者に改善・予防の効果が出ていると思いますか。(単数回答)

利用者への改善・予防の効果は、「やや効果が出ている」が56.5%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」が26.1%、「大変効果が出ている」が4.3%となっています。



## Ⅱ 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

問5 問4でお答えいただいた理由は何ですか。

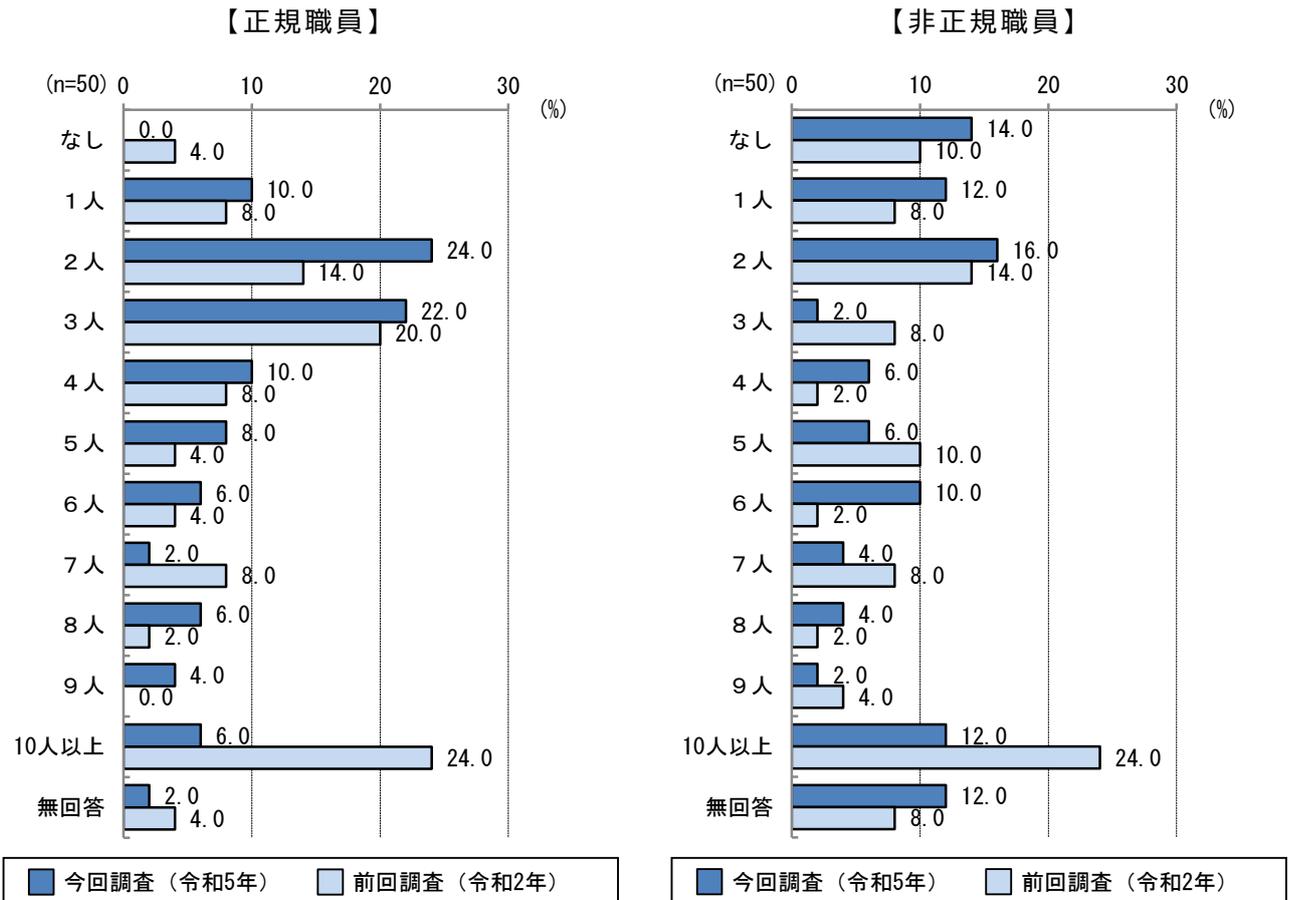
ご意見内容	件数
<b>■「1. 大変効果が出ている」、「2. やや効果が出ている」を答えた方</b>	<b>25件</b>
・現状維持できている、悪化していない、予防ができている	(8件)
・できなかったことができるようになった、外出が楽しいとお声をいただく	(4件)
・一緒に行動することによりコミュニケーションがとれて気持ちが前向きになる	(4件)
・独自のアンケート調査や効果を推測した結果予防や改善に繋がっている	(2件)
・食生活の大切さ、体を動かすことの大切さが実感してもらいやすい	(2件)
・継続しやすく生活維持に繋がる	(2件)
・機能訓練サービスを実施している	(1件)
・訪問介護の回数が減少した	(1件)
・多くても週2回の利用のため自宅でも取り組む人と取り組まない人で改善に大きく関係してくる	(1件)
<b>■「3. あまり効果が出ていない」、「4. まったく効果が出ていない」を答えた方</b>	<b>4件</b>
・サービス依存の傾向がみられる	(1件)
・年齢、病気の進行と共に要介護になっていく人が多い	(1件)
・要支援者は10年以上いない状態	(1件)
・予防利用する人がいない	(1件)
<b>■「5. どちらともいえない」を答えた方</b>	<b>6件</b>
・人による	(3件)
・対象者がいない	(1件)
・良くも悪くもなく現状維持が多い	(1件)
・年齢が増すとできない	(1件)

## 2. 事業所の人材の現状について

### 〔1〕介護職員総数

問6 介護職員の総数をご記入ください。(令和5年5月時点の人数を記入)

介護職員の総数は、正規職員では「2人」が24.0%と最も多く、次いで、「3人」が22.0%、「1人」、「4人」がそれぞれ10.0%となっています。非正規職員では「2人」が16.0%と最も多く、次いで、「なし」が14.0%、「1人」、「10人以上」がそれぞれ12.0%となっています。

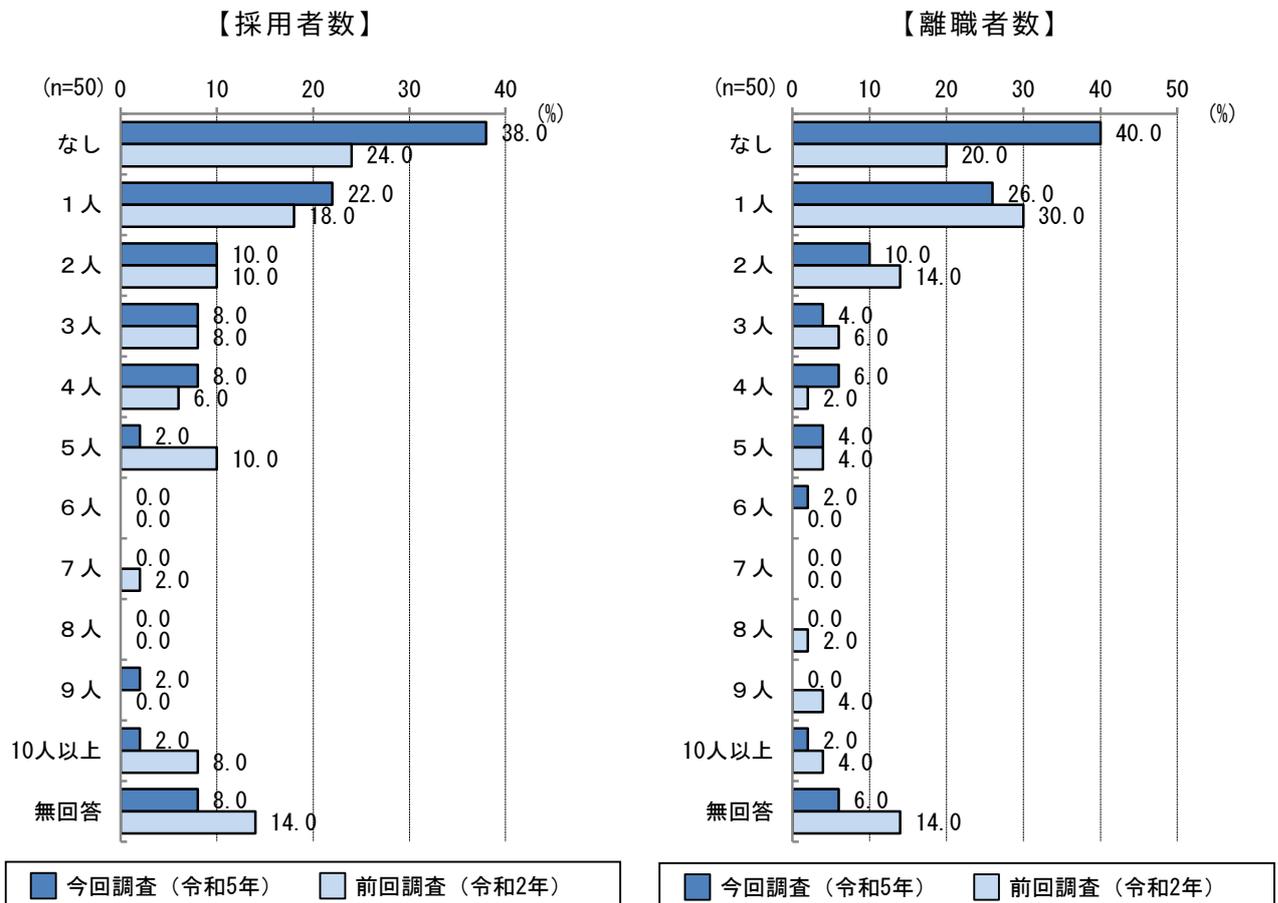


## Ⅱ 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

### 〔2〕採用者数と離職者数

問7 令和5年1月時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。  
過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。(数値を記入)

過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数は、採用者数は「なし」が38.0%と最も多く、次いで、「1人」が22.0%、「2人」が10.0%となっています。離職者数は「なし」が40.0%と最も多く、次いで、「1人」が26.0%、「2人」が10.0%となっています。



問7-1 問7の採用者数・離職者数について、正規・非正規の別、年齢別にご記入ください。(採用、離職当時の数値を記入)

採用者・離職者における正規職員・非正規職員の人数、および年齢は、正規職員の採用者は「50代」が13人と最も多く、非正規職員の採用者は「60代」が17人と最も多くなっています。正規職員の離職者は「50代」が12人と最も多く、非正規職員の離職者は「60代」の16人が最も多くなっています。前回調査に比べてほとんどの項目で減少しています。

■ 採用者数・離職者数

今回調査(令和5年)

年齢 (採用、離職当時)	採用者数			離職者数			前回比	
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	採用者数	離職者数
20歳未満	0人	0人	0人	0人	0人	0人	-2人	0人
20代	5人	4人	9人	2人	3人	5人	-23人	-13人
30代	5人	10人	15人	3人	1人	4人	-24人	-22人
40代	12人	16人	28人	6人	15人	21人	-14人	-12人
50代	13人	16人	29人	12人	10人	22人	-23人	-5人
60代	11人	17人	28人	5人	16人	21人	-12人	2人
70代以上	1人	2人	3人	0人	3人	3人	-11人	0人
年齢不明	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

前回調査(令和2年)

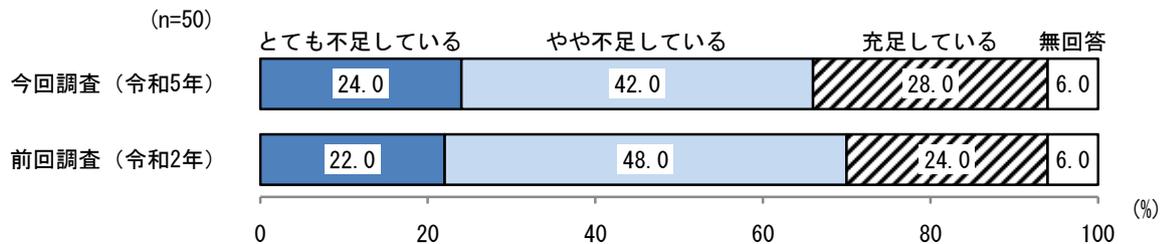
年齢 (採用、離職当時)	採用者数			離職者数		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
20歳未満	0人	2人	2人	0人	0	0人
20代	20人	12人	32人	11人	7	18人
30代	14人	25人	39人	12人	14	26人
40代	22人	20人	42人	19人	14	33人
50代	33人	19人	52人	23人	4	27人
60代	9人	31人	40人	6人	13	19人
70代以上	0人	14人	14人	0人	3	3人
年齢不明	0人	0人	0人	0人	0	0人

## II 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

### 〔3〕介護人材の充足状況と不足する職種

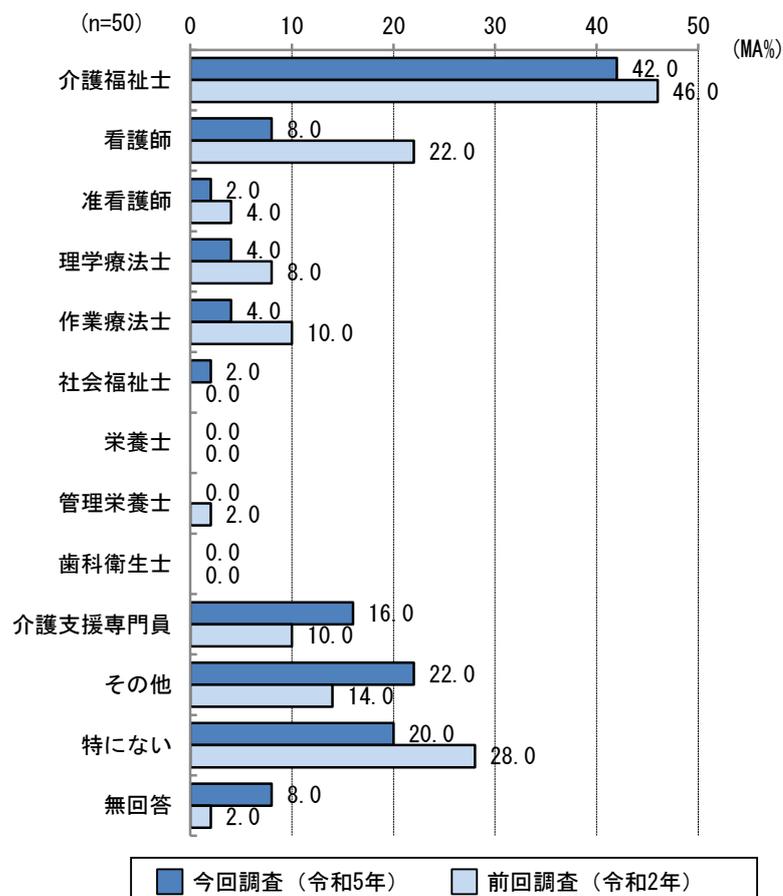
問8 この1年間、貴事業所における介護人材の確保について、おおむねどのように感じておられますか。(1つに○)

事業所における介護人材の確保についておおむねどのように感じているかについては、「とても不足している」が24.0%、「やや不足している」が42.0%、「充足している」が28.0%となっています。



問9 貴事業所で不足している専門職種は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

事業所で不足している専門職種は、「介護福祉士」が42.0%と最も多く、次いで、「介護支援専門員」が16.0%、「看護士」が8.0%となっています。

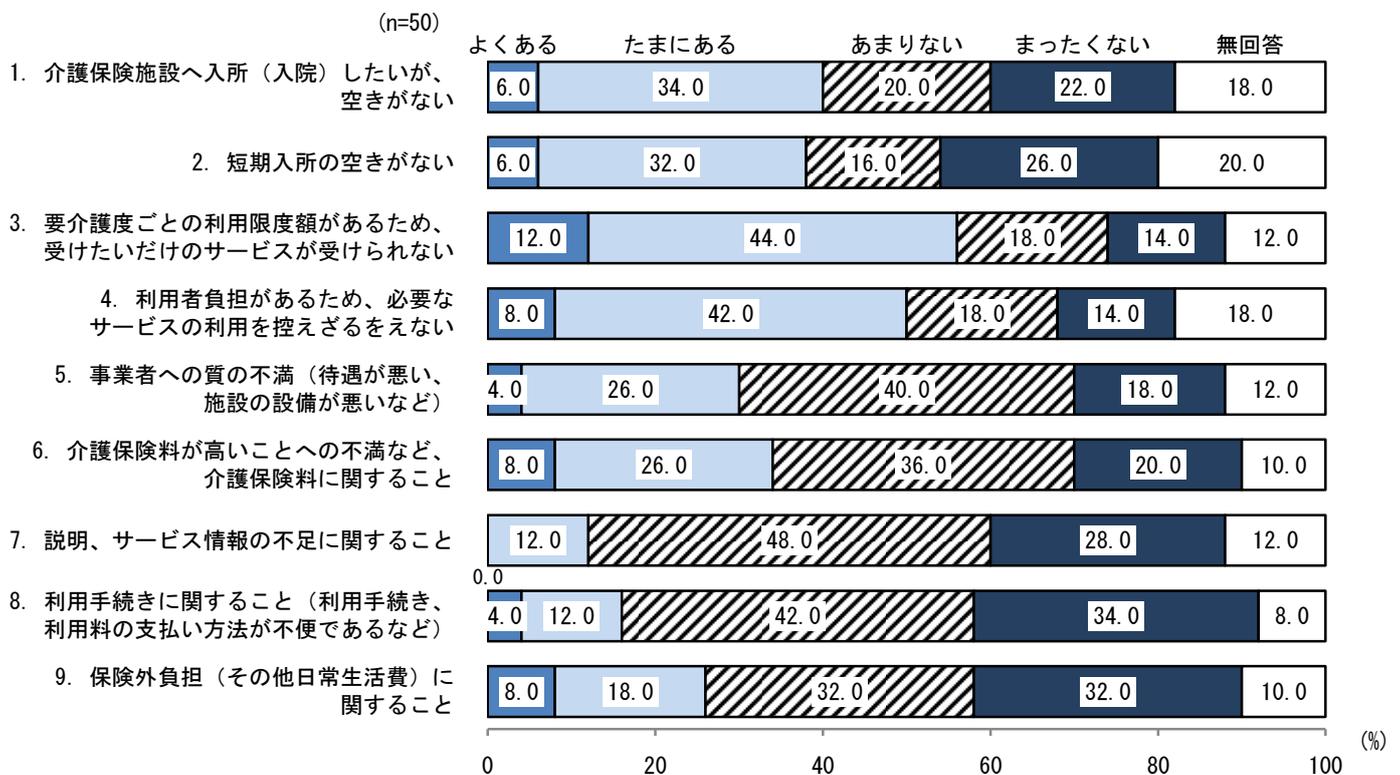


### 3. サービスの質の向上に向けた取り組み状況等について

#### 〔1〕介護保険制度やサービスに対する苦情

問10 介護保険制度やサービスに対する利用者やその家族からの苦情で、よくあるものはどれですか。また、そのほかに苦情があれば「10.」に具体的にご記入ください。(1～9のそれぞれ1つに○)

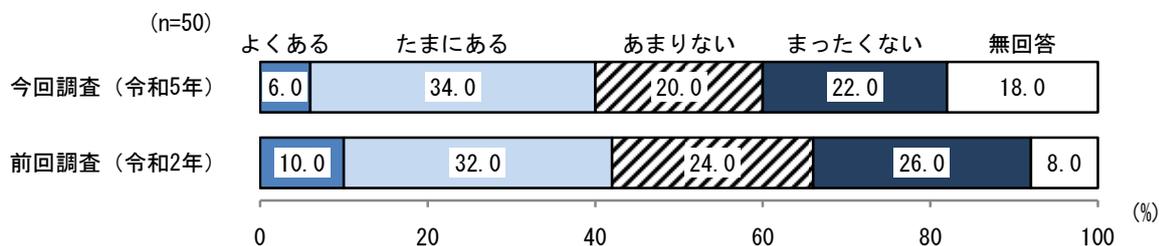
利用者やその家族からの主な苦情は、「よくある」と「たまにある」を合わせた『ある』では「3. 要介護度ごとの利用限度額があるため、受けたいだけのサービスが受けられない」で56.0%と最も多く、次いで、「4. 利用者負担があるため、必要なサービスの利用を控えざるをえない」が50.0%、「1. 介護保険施設へ入所（入院）したいが、空きがない」が40.0%となっています。「あまりない」と「まったくない」を合わせた『ない』では「7. 説明、サービス情報の不足に関すること」と「8. 利用手続きに関すること（利用手続き、利用料の支払い方法が不便であるなど）」でそれぞれ76.0%となっています。



## II 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

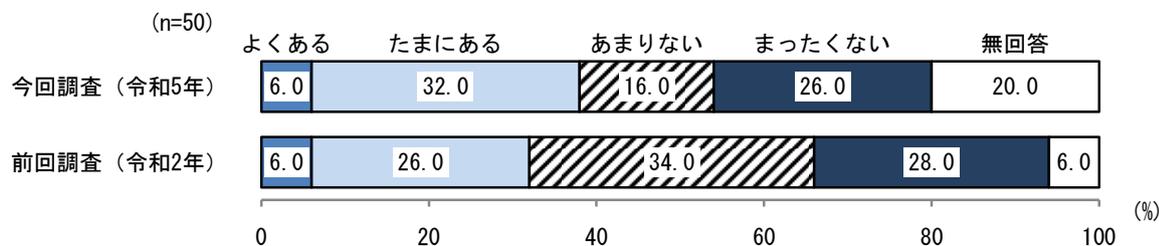
### 1. 介護保険施設へ入所(入院)したいが、空きがない

介護保険施設へ入所(入院)したいが、空きがないという苦情が『ある』割合は、合計40.0%で前回調査に比べて2.0ポイント減少しています。



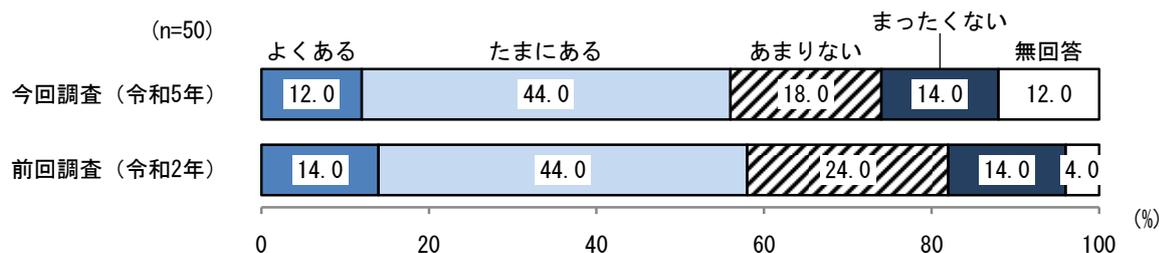
### 2. 短期入所の空きがない

短期入所の空きがないという苦情が『ある』割合は、合計38.0%で前回調査に比べて6.0ポイント増加しています。



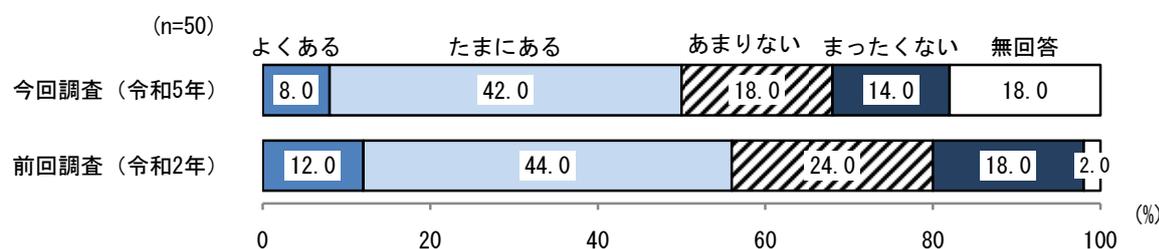
### 3. 要介護度ごとの利用限度額があるため、受けたいだけのサービスが受けられない

利用限度額があるためサービスが受けられないという苦情が『ある』割合は、合計56.0%で前回調査に比べて2.0ポイント減少しています。



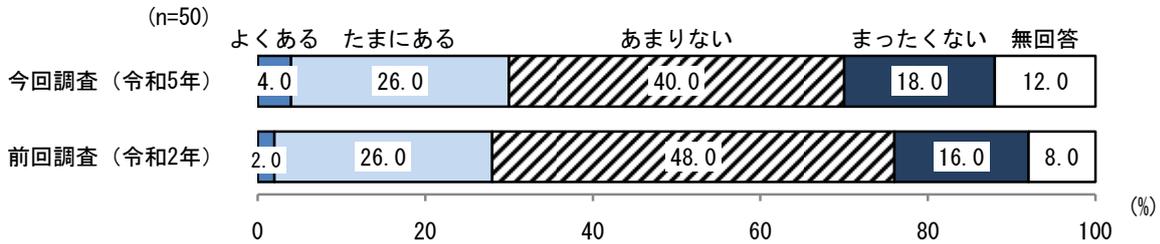
### 4. 利用者負担があるため、必要なサービスの利用を控えざるをえない

利用者負担があるため、必要なサービスの利用を控えざるをえないという苦情が『ある』割合は、合計50.0%で前回調査に比べて6.0ポイント減少しています。



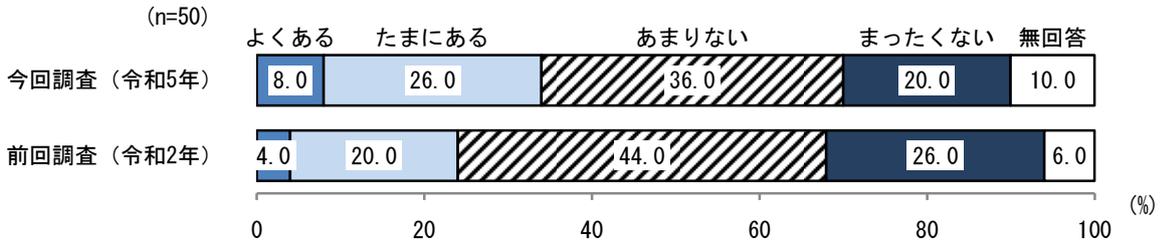
### 5. 事業者への質の不满(待遇が悪い、施設の設備が悪いなど)

事業者への質の苦情が『ある』割合は、合計30.0%で前回調査に比べて2.0ポイント増加しています。



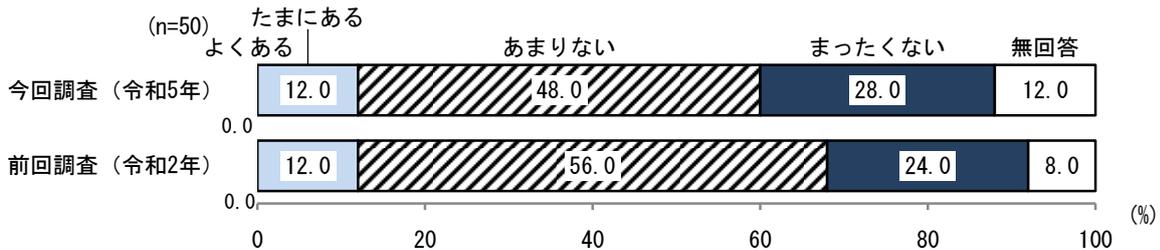
### 6. 介護保険料が高いことへの不満など、介護保険料に関すること

介護保険料に関する苦情が『ある』割合は、合計34.0%で前回調査に比べて10.0ポイント増加しています。



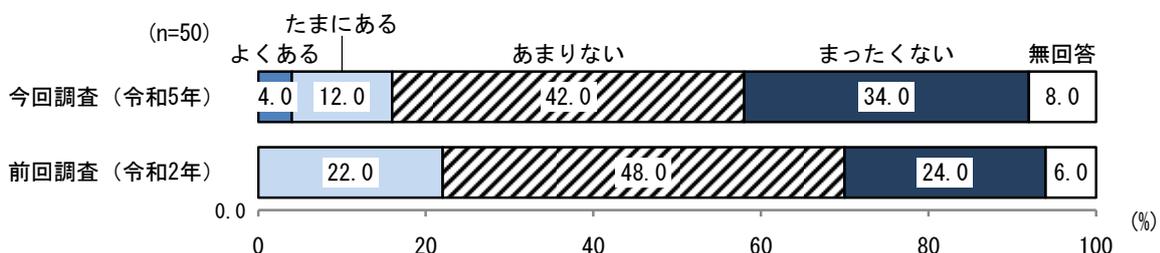
### 7. 説明、サービス情報の不足に関すること

説明、サービス情報の苦情が『ある』割合は、合計12.0%で前回調査に比べて変化はみられません。



### 8. 利用手続きに関すること(利用手続き、利用料の支払い方法が不便であるなど)

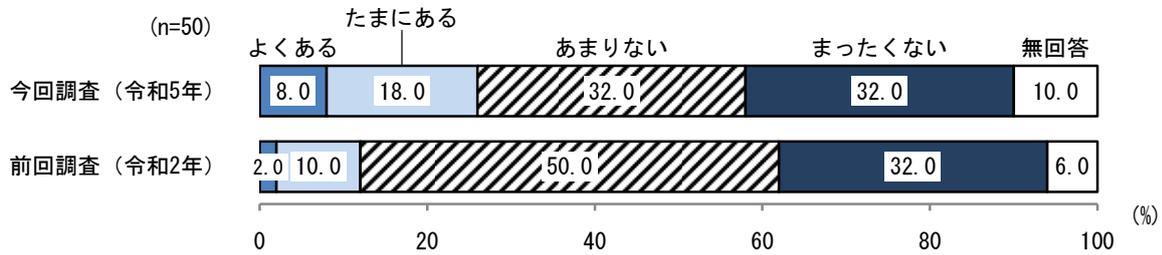
利用手続きに関する苦情が『ある』割合は、合計16.0%で前回調査に比べて6.0ポイント減少しています。



## Ⅱ 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

### 9. 保険外負担(その他日常生活費)に関すること

保険外負担に関する苦情が『ある』割合は、合計26.0%で前回調査に比べて14.0ポイント増加しています。



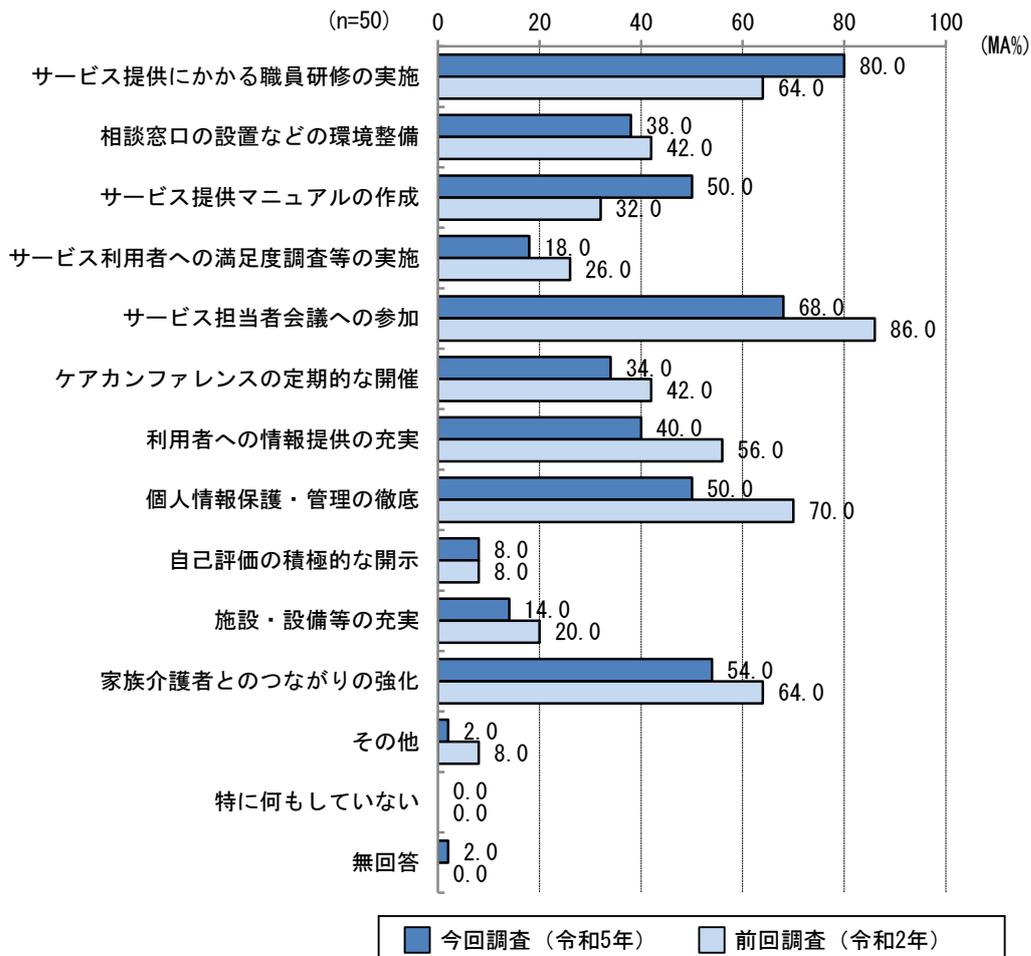
### 10. その他

ご意見内容	件数
・ヘルパーの固定について、希望するヘルパーを頼めない	(3件)
・保険料金について、保険制度の理解について	(2件)
・福祉用具、オムツ券について	(2件)
・認定結果について	(2件)
・サービス提供時間や家事について	(1件)
・送迎運転手について	(1件)
・特になし	(2件)

[2]サービスの質の向上に向けて特に取り組んでいること

問11 貴事業所において、サービスの質の向上に向けて特に取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

サービスの質を向上させるために特に取り組んでいることは、「サービス提供にかかる職員研修の実施」が80.0%と最も多く、次いで、「サービス担当者会議への参加」が68.0%、「家族介護者とのつながりの強化」が54.0%となっています。

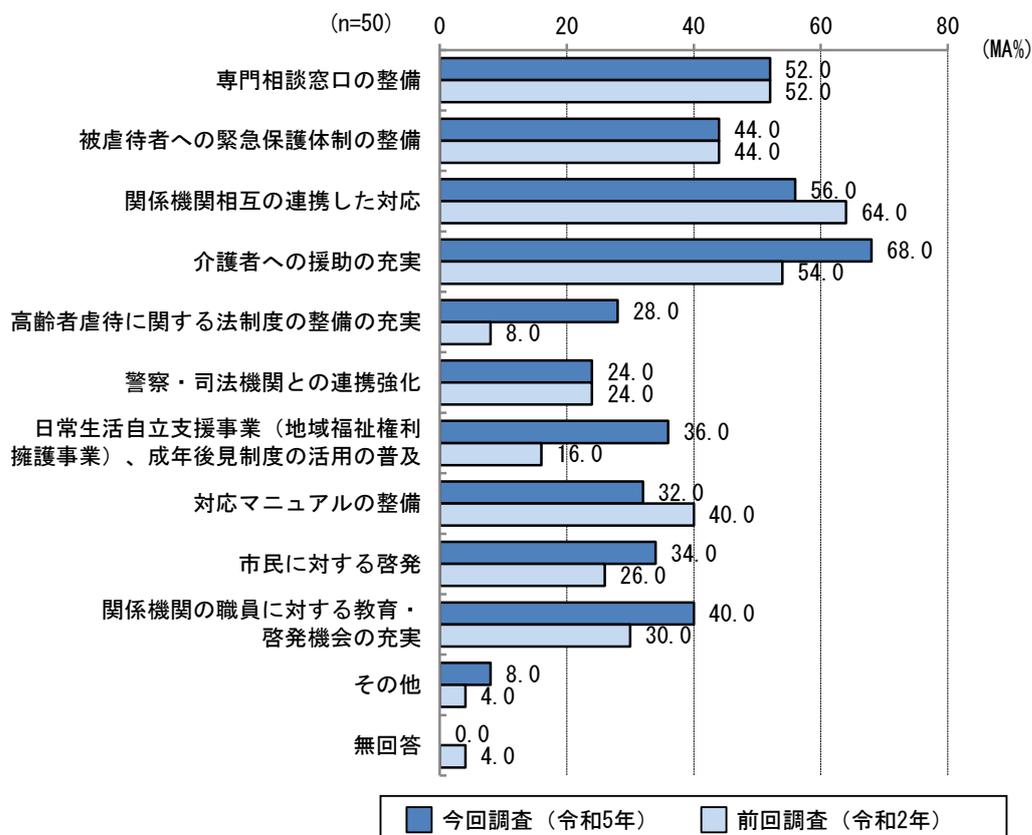


## II 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

### 〔3〕高齢者虐待への対応に向けて必要な取り組み

問12 近年、高齢者への虐待が問題となっていますが、このような虐待への対応に向けて、どのような取り組みが必要であると思われますか。(あてはまるものすべてに○)

高齢者への虐待の対応に必要な取り組みは、「介護者への援助の充実」が68.0%と最も多く、次いで、「関係機関相互の連携した対応」が56.0%、「専門相談窓口の整備」が52.0%となっています。前回調査に比べて、「高齢者虐待に関する法制度の整備の充実」と「日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）、成年後見制度の活用の普及」がそれぞれ20.0ポイント増加しています。

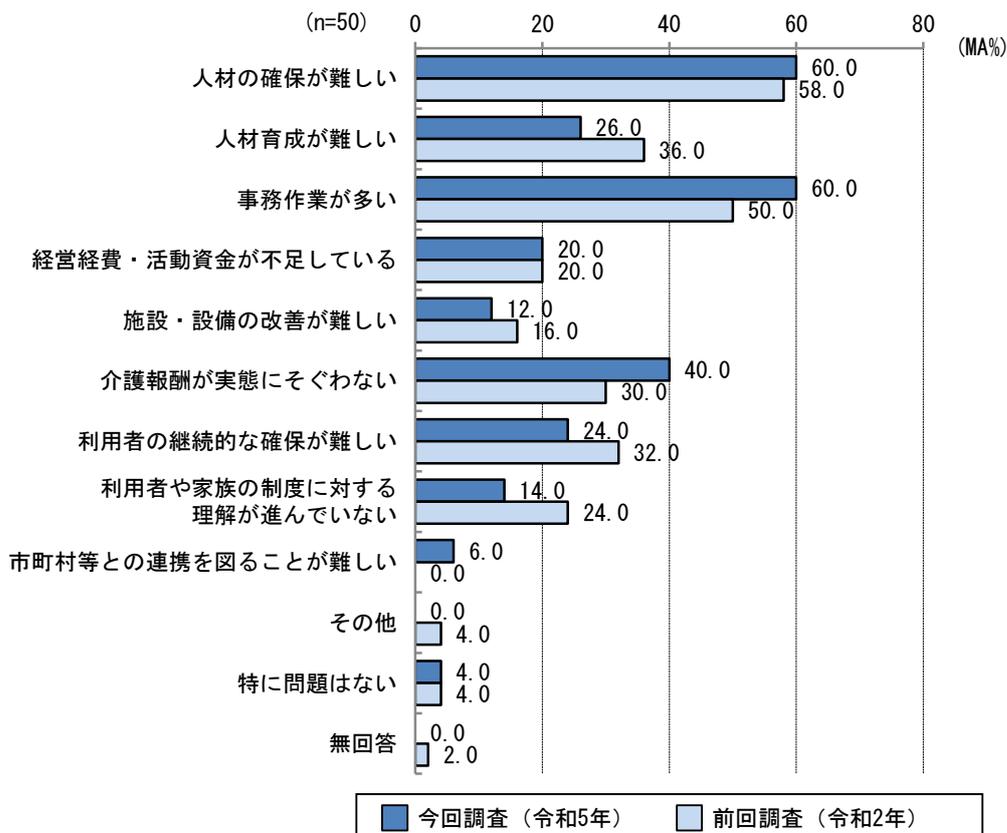


## 4. 事業所の今後の運営方針について

### 〔1〕事業所運営に困難を感じること

問13 貴事業所の運営に関して、現在困難を感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

事業所の運営に関して、現在困難を感じることは、「人材の確保が難しい」と「事務作業が多い」がそれぞれ60.0%と最も多く、次いで、「介護報酬が実態にそぐわない」が40.0%、「人材育成が難しい」が26.0%となっています。前回調査に比べて、「事務作業が多い」と「介護報酬が実態にそぐわない」がそれぞれ10.0ポイント増加しています。

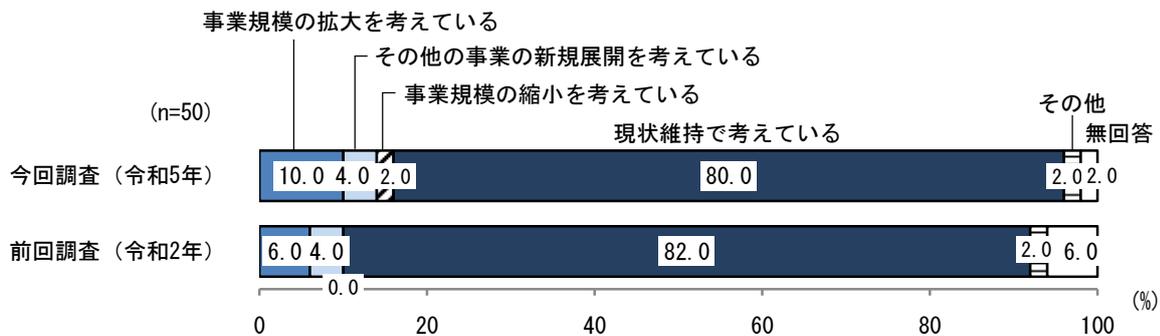


## Ⅱ 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

### 〔2〕今後のサービス展開について

問14 貴事業所で阪南市内において提供しているサービスについて、今後、どのような展開を考えていますか。(1つに○)

阪南市内において提供しているサービスについて今後考える展開は、「現状維持で考えている」が80.0%と最も多く、次いで、「事業規模の拡大を考えている」が10.0%、「その他の事業の新規展開を考えている」が4.0%、「その他の事業の新規展開を考えている」が4.0%、「事業規模の縮小を考えている」が2.0%、「その他」が2.0%、「無回答」が2.0%となっています。



#### 【問14で「1」～「3」と答えた事業所のみ】

問15 阪南市内における「事業拡大」、「新規展開」または「事業縮小」を予定されているサービス名、実施予定時期、実施予定規模等をご記入ください。

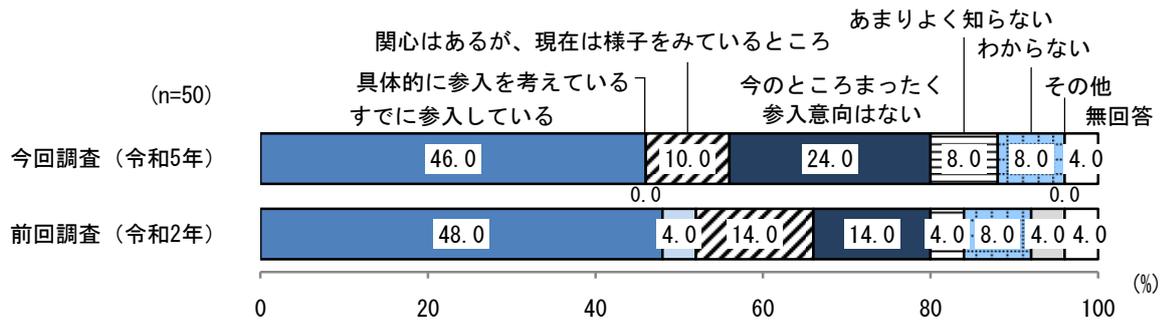
阪南市内における「事業拡大」、「新規展開」または「事業縮小」を予定されているサービス名等については、以下のとおりとなっています。

事業	サービスの種類	実施予定時期 (令和 年頃)	実施予定規模 (定員数)	事業所所在地 (予定)
新規展開	障害者グループホーム	令和6年頃	10人	箱作
新規展開	訪問介護	令和6年頃	未記入	尾崎
拡大	住宅型有料老人ホーム	令和6年頃	12人	東鳥取地区
拡大	小規模多機能型居宅介護	令和6年頃	29人	下荘
拡大	福祉用具貸与、介護予防福祉用具貸与	令和6年頃	300人	全域
拡大	福祉用具貸与	令和5年頃	未記入	未記入
拡大	未記入	未記入	未記入	未記入
縮小	居宅介護支援	未記入	未記入	未記入

〔3〕総合事業への参入意向

問16 貴事業所では、介護予防・日常生活支援総合事業サービスへの参入意向はありますか。(1つに○)

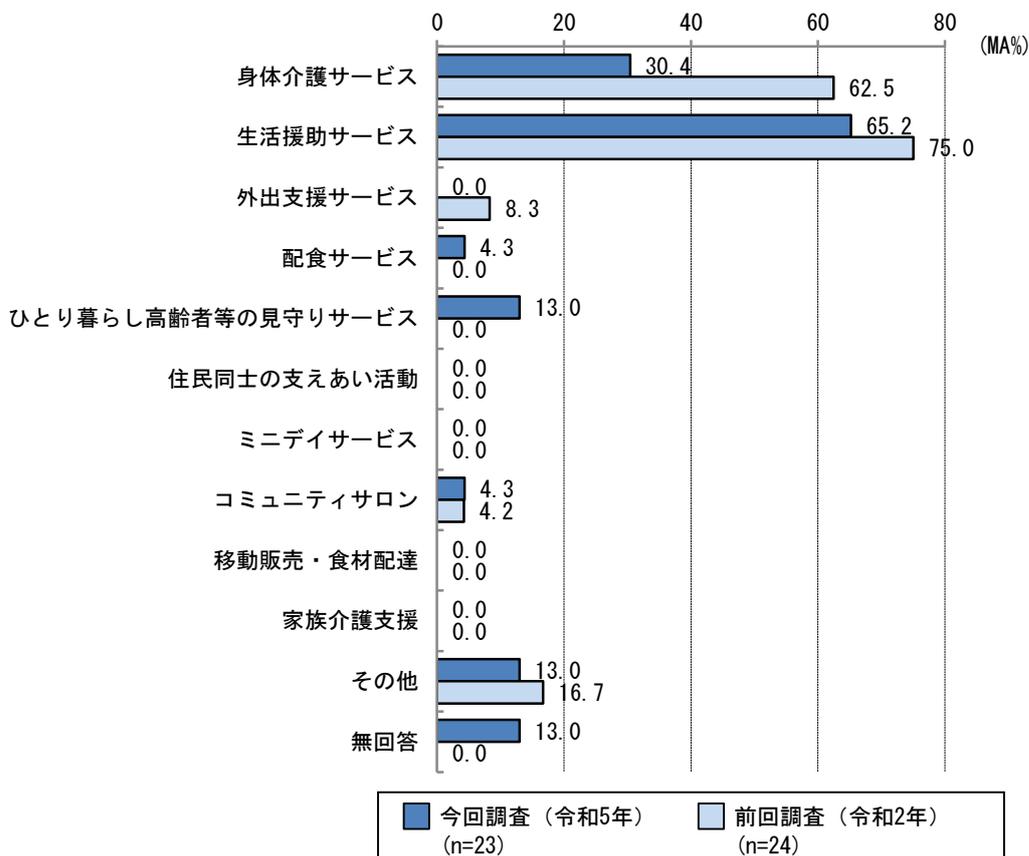
介護予防・日常生活支援総合事業サービスへの参入意向は、「すでに参入している」が46.0%と最も多く、次いで、「今のところまったく参入意向はない」が24.0%、「関心はあるが、現在は様子を見ているところ」が10.0%となっています。前回調査に比べて、「今のところまったく参入意向はない」が10.0ポイント増加しています。



【問16で「1.すでに参入している」と答えた事業所のみ】

問17 どのような分野に参入していますか(あてはまるものすべてに○)

具体的に参入している分野は、「生活援助サービス」が65.2%と最も多く、次いで、「身体介護サービス」が30.4%、「ひとり暮らし高齢者等の見守りサービス」が13.0%となっています。



## II 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

### 【問16で「2.具体的に参入を考えている」と答えた事業所のみ】

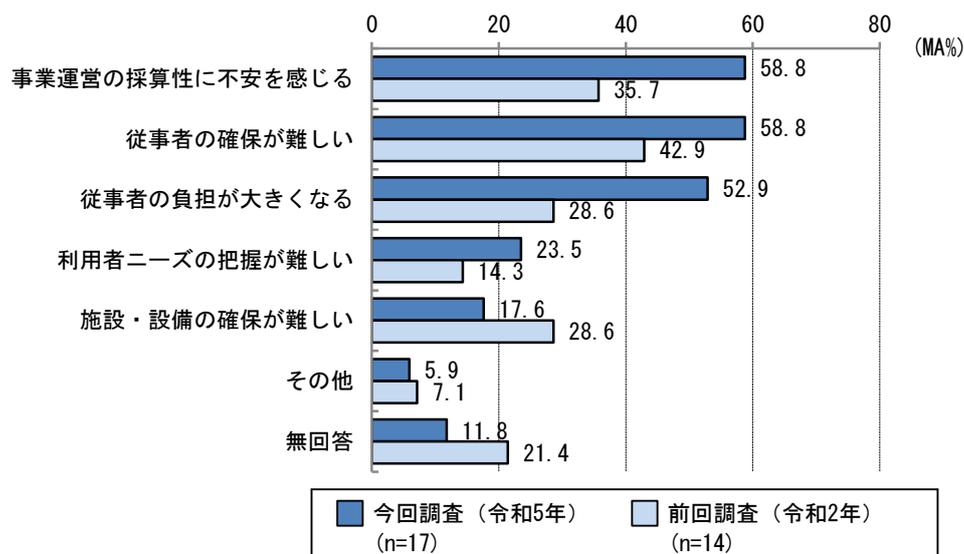
問18 具体的にどのような分野に参入したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

今回調査では「2.具体的に参入を考えている」と答えた事業所なし。

### 【問16で「3.関心はあるが、現在は様子を見ているところ」または「4.今のところまったく参入意向はない」と答えた事業所のみ】

問19 参入する場合、どのようなことが不安・課題になると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

参入する場合に不安・課題に思うことは、「事業運営の採算性に不安を感じる」、「従事者の確保が難しい」がそれぞれ58.8%と最も多く、次いで、「従事者の負担が大きくなる」が52.9%となっています。

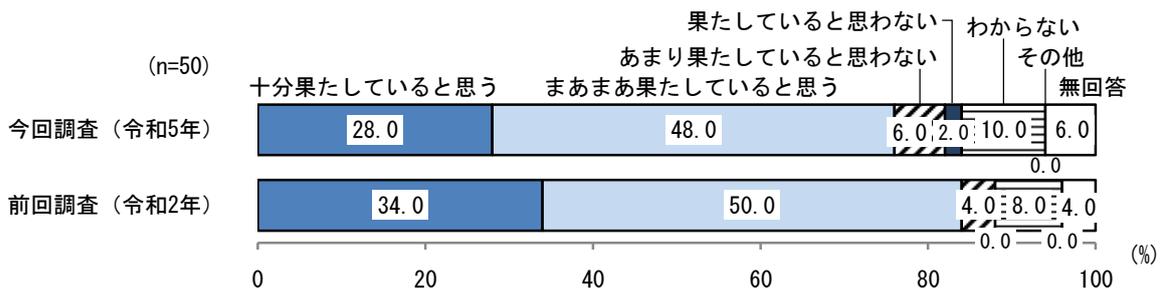


## 5. 地域包括支援センターについて

### 〔1〕地域包括センターの現状と課題

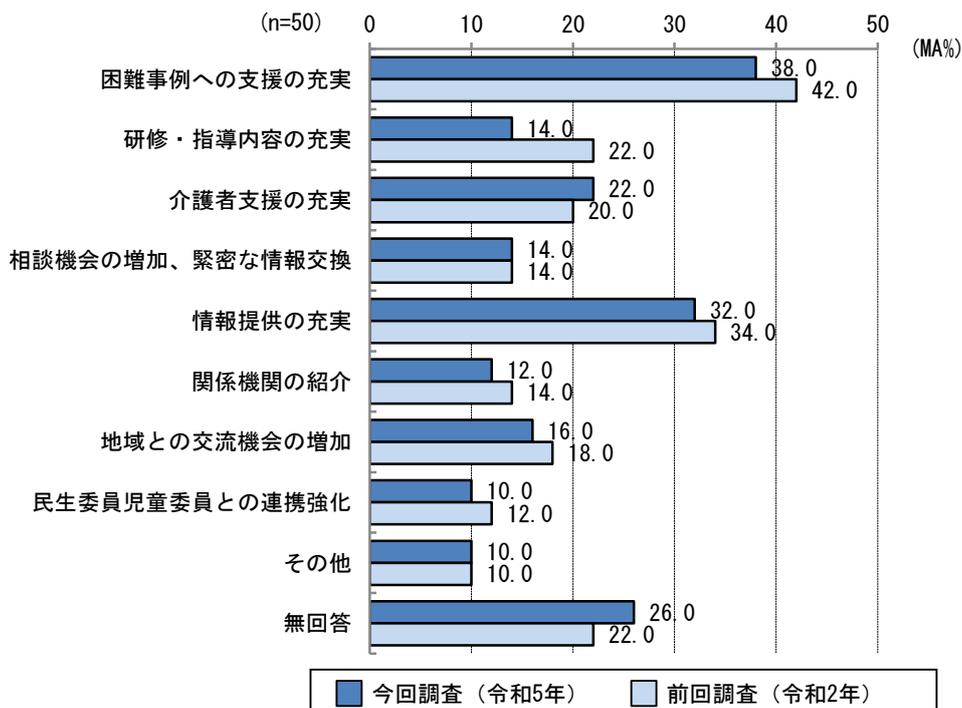
問20 阪南市では、地域包括支援センターが、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう取り組みを行っていますが、その役割を果たしていると思いますか。(1つに○)

地域包括支援センターがその役割を果たしていると思うかについては、「十分果たしていると思う」と「まあまあ果たしていると思う」を合わせた『果たしていると思う』が76.0%となっていますが、前回調査に比べて8ポイント減少しています。



問21 地域包括支援センターに改善してほしいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

地域包括支援センターに改善してほしいことは、「困難事例への支援の充実」が38.0%と最も多く、次いで、「情報提供の充実」が32.0%、「介護者支援の充実」が22.0%となっています。

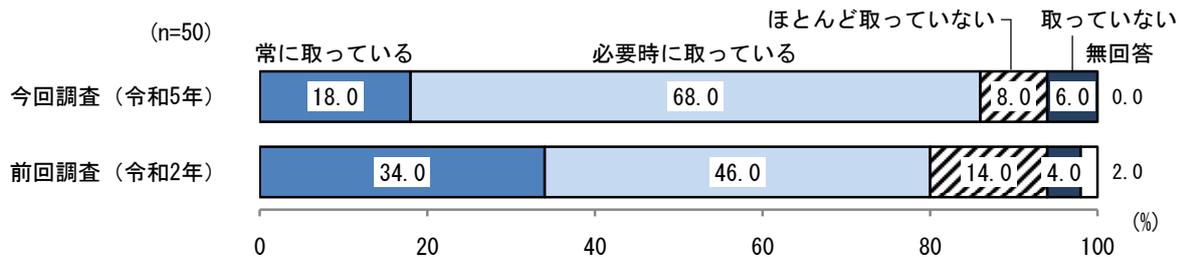


## 6. 関係機関との連携状況について

### 〔1〕医療との連携

問22 医師や歯科医師、医療機関など、医療と連携を取っていますか。(1つに○)

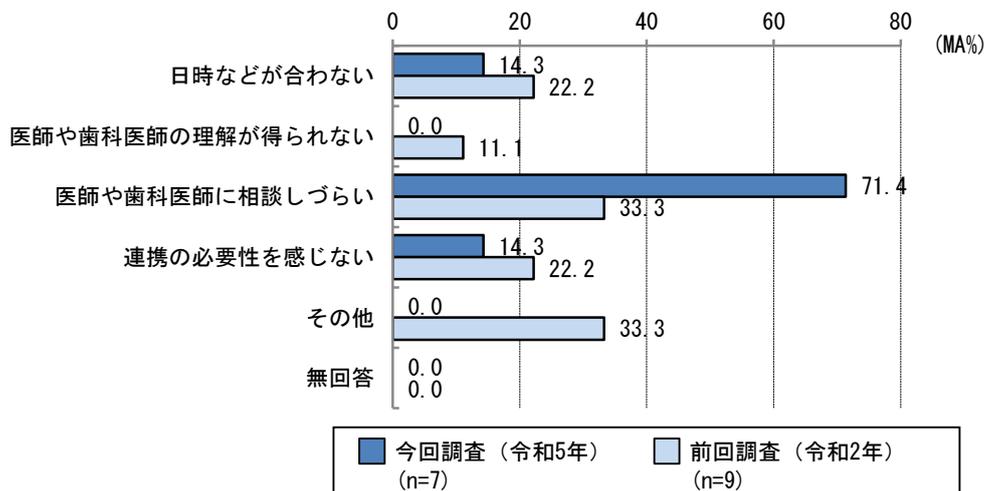
医療との連携状況は、「常に取りっている」と「必要時に取っている」を合わせた『連携を取っている』が86.0%となっています。



【問22で「3.ほとんど取っていない」または「4.取っていない」と答えた事業所のみ】

問23 医療と連携を取っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

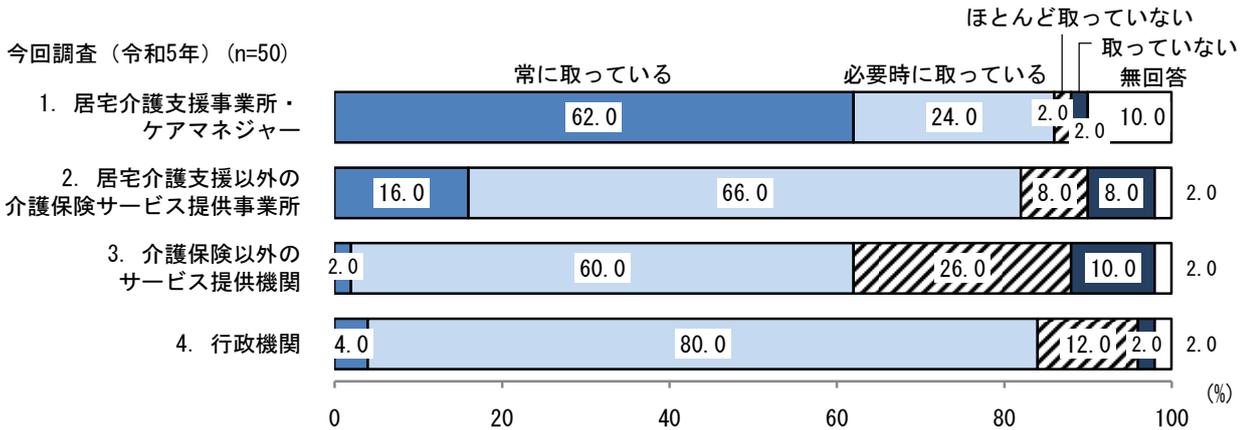
医療と連携を取っていない理由は、「医師や歯科医師に相談しづらい」が71.4%と最も多く、次いで、「日時などが合わない」、「連携の必要性を感じない」がそれぞれ14.3%となっています。



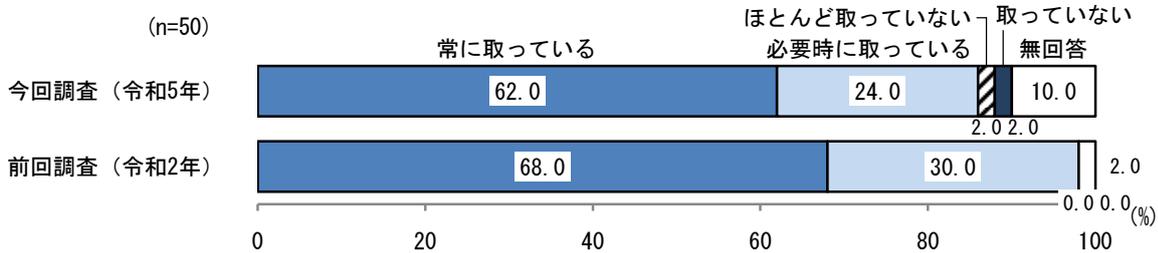
〔2〕その他の関係機関等との連携

問24 以下の関係機関等と連携を取っていますか。(それぞれ1つに○)

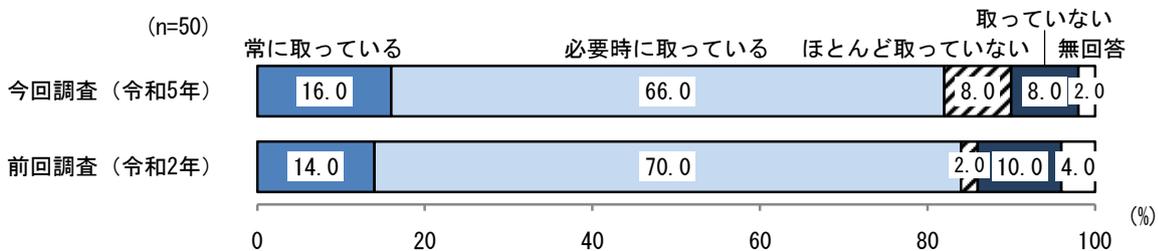
その他の関係機関等との連携状況について、「常に取りっている」と「必要時に取っている」を合わせた『連携を取っている』は「1. 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が86.0%と最も多く、次いで、「4. 行政機関」が84.0%、「2. 居宅介護支援以外の介護保険サービス提供事業所」が82.0%となっています。



1. 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー

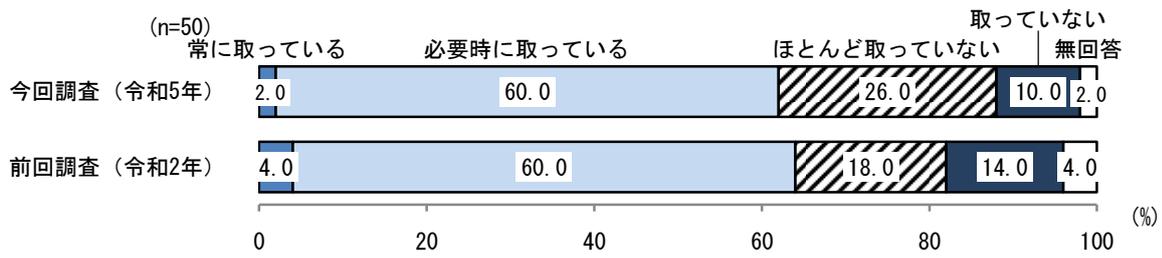


2. 居宅介護支援以外の介護保険サービス提供事業所

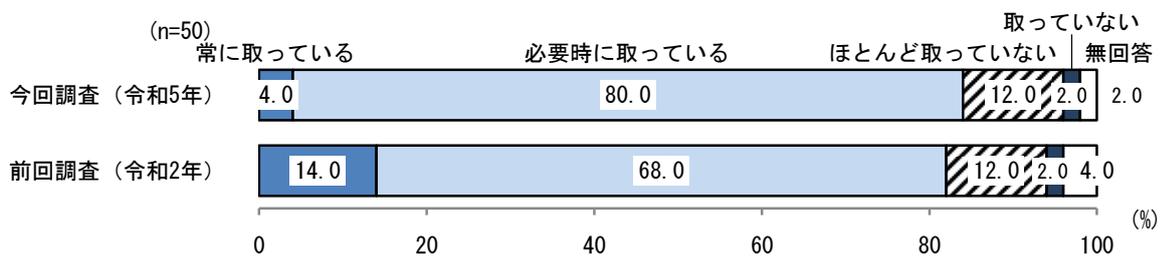


## II 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

### 3. 介護保険以外のサービス提供機関



### 4. 行政機関

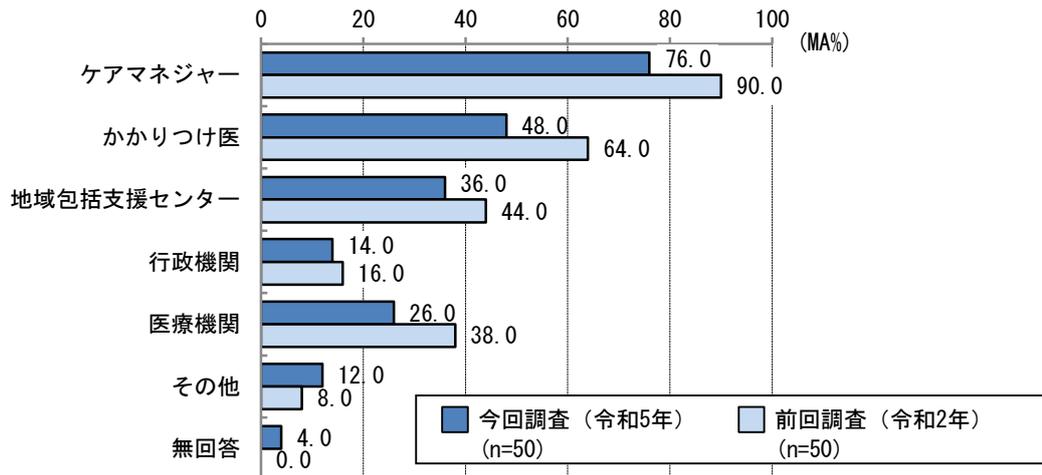


## 7. 認知症の方へのケアについて

### 〔1〕認知症の方についての相談先

問25 事業所では対応している認知症の方についての相談先をお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

事業所では対応している認知症の方の相談先は、「ケアマネジャー」が76.0%と最も多く、次いで、「かかりつけ医」が48.0%、「地域包括支援センター」が36.0%となっています。

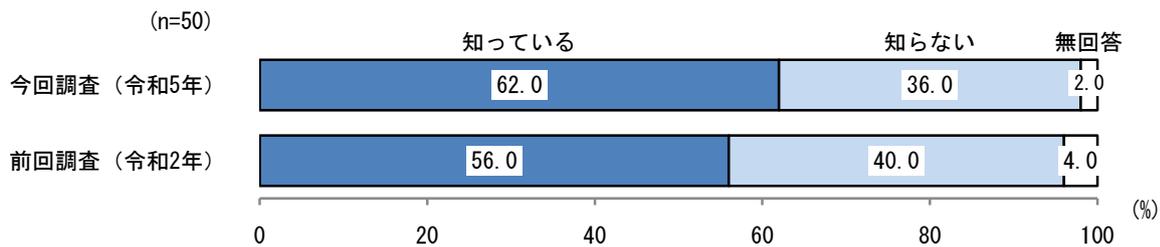


### 〔2〕認知症に対する取り組みの認知

問26 認知症に対する以下の取り組みについて知っていますか。(それぞれ1つに○)

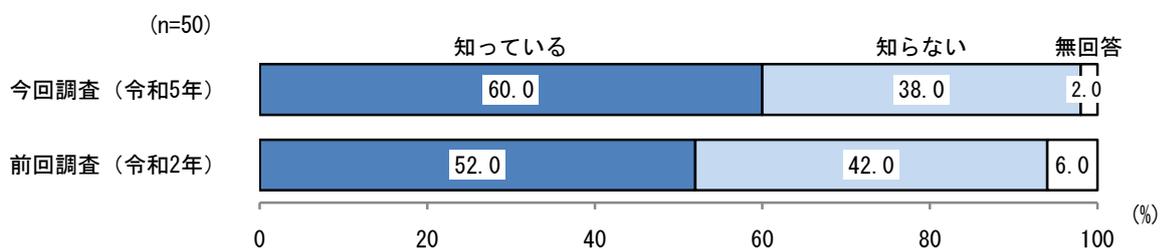
#### ① 認知症初期集中支援チーム

認知症初期集中支援チームの取り組みについては、「知っている」が62.0%、「知らない」が36.0%となっています。



#### ② 認知症地域支援推進員

認知症地域支援推進員の取り組みについては、「知っている」が60.0%、「知らない」が38.0%となっています。

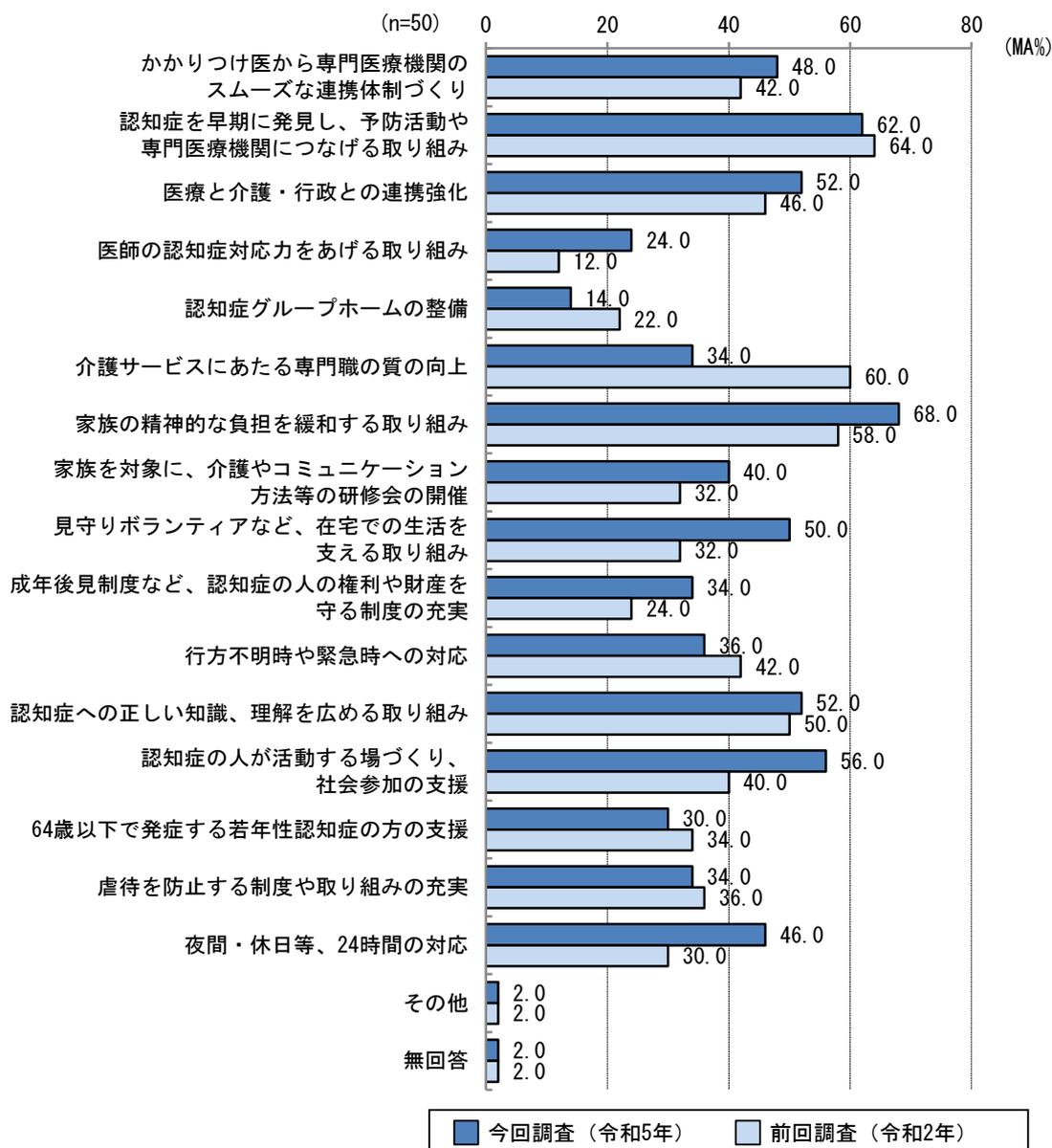


## II 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

### 〔3〕認知症施策を進めていく上で市が重点を置くべきこと

問27 今後認知症施策を進めていく上で、阪南市はどのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

阪南市が今後認知症施策を進めていく上で重点を置くべきことについては、「家族の精神的な負担を緩和する取り組み」が68.0%と最も多く、次いで、「認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取り組み」が62.0%、「認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援」が56.0%となっています。前回調査に比べて、「見守りボランティアなど、在宅での生活を支える取り組み」が18.0ポイント、「認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援」、「夜間・休日等、24時間の対応」がそれぞれ16.0ポイント増加しています。

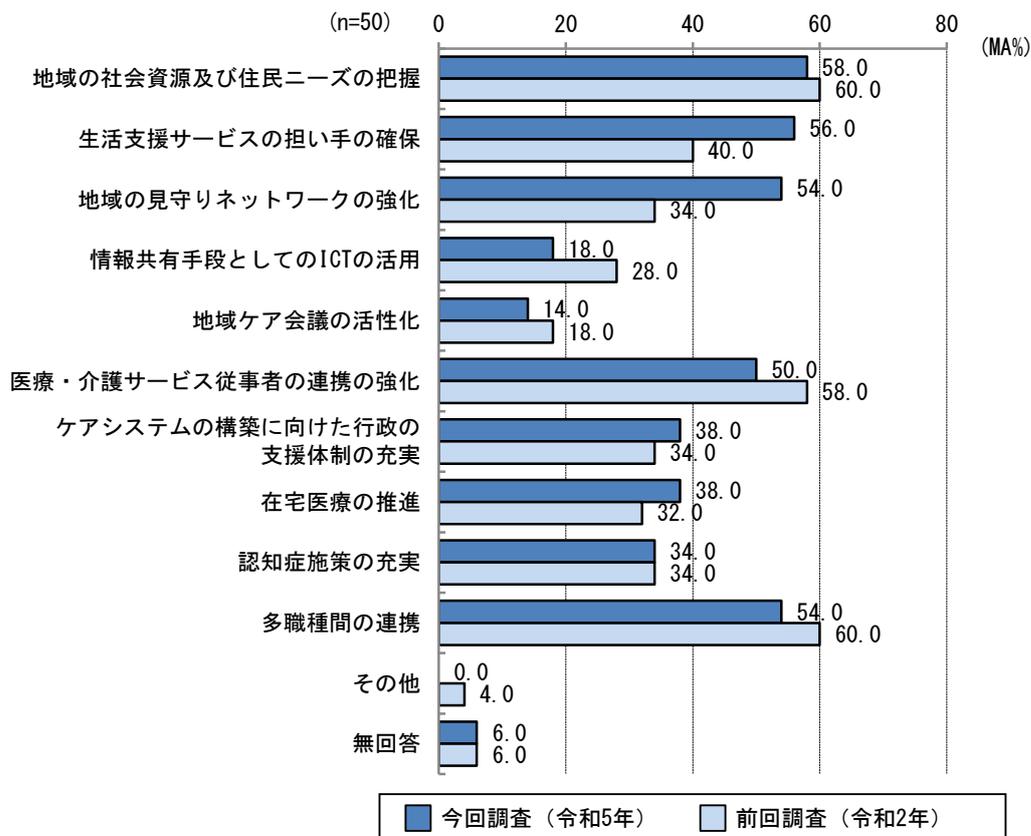


## 8. 地域包括ケア体制について

### 〔1〕地域包括ケアシステムの構築に必要なもの

問28 地域包括ケアシステムを構築するために必要なものは何ですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

地域包括ケアシステムを構築するために必要なものについては、「地域の社会資源及び住民ニーズの把握」が58.0%と最も多く、次いで、「生活支援サービスの担い手の確保」が56.0%、「地域の見守りネットワークの強化」、「多職種間の連携」がそれぞれ54.0%となっています。前回調査に比べて、「地域の見守りネットワークの強化」が20.0ポイント増加しています。

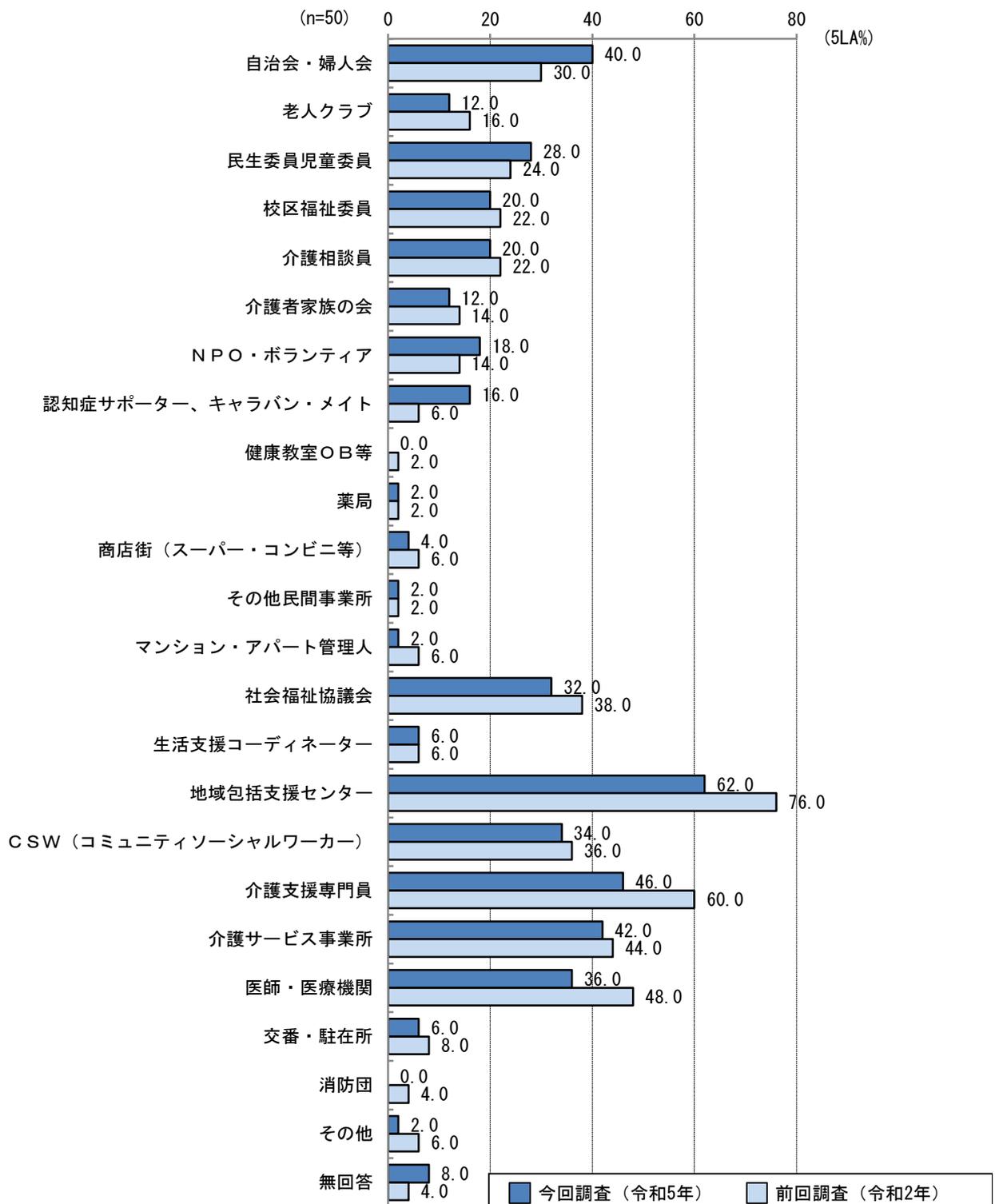


## II 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

### [2] 地域包括ケアシステム構築の促進に重要な組織・団体

問29 地域包括ケアシステム構築を促進するため、重要だと思われる組織・団体等は次のうちどれですか。特に重要だと思われる5団体を選んでください。(5つまで○)

地域包括ケアシステム構築を促進するため、特に重要だと思われる組織・団体等は、「地域包括支援センター」が62.0%と最も多く、次いで、「介護支援専門員」が46.0%、「介護サービス事業所」が42.0%となっています。前回調査に比べて、「自治会・婦人会」、「認知症サポーター、キャラバン・メイト」がそれぞれ10.0ポイント増加しています。

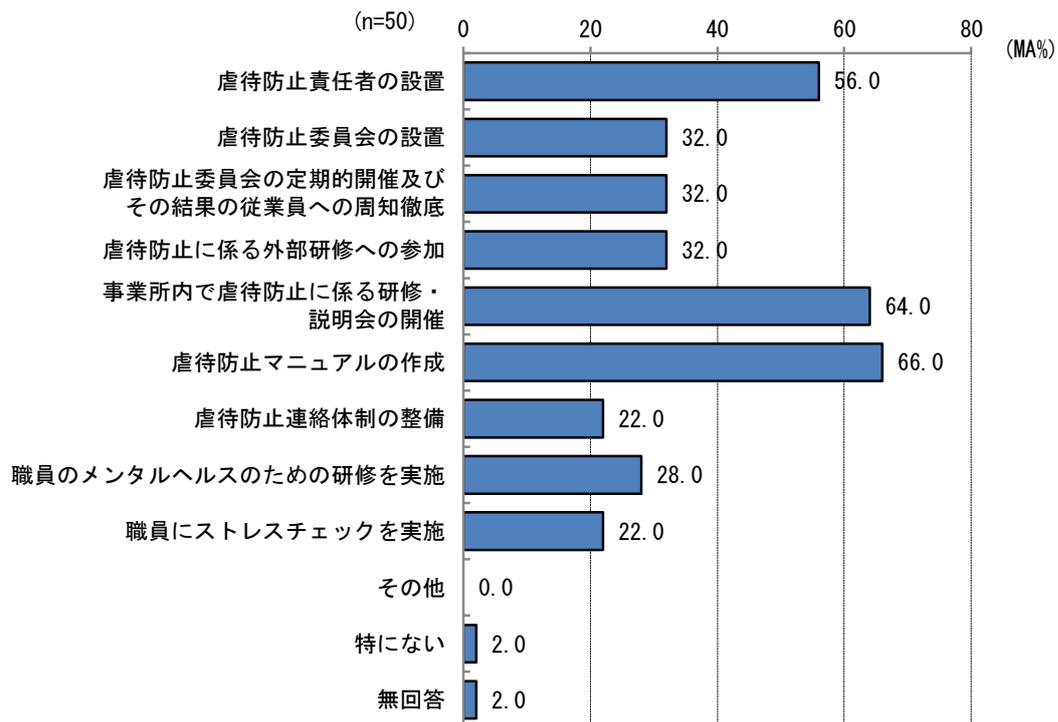


## 9. その他

### 〔1〕虐待防止の取組み

問30 貴事業所では、虐待防止対策についてどのような取組みをしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

事業所で行っている虐待防止対策についての取組みについては、「虐待防止マニュアルの作成」が66.0%と最も多く、次いで、「事業所内で虐待防止に係る研修・説明会の開催」が64.0%、「虐待防止責任者の設置」が56.0%となっています。

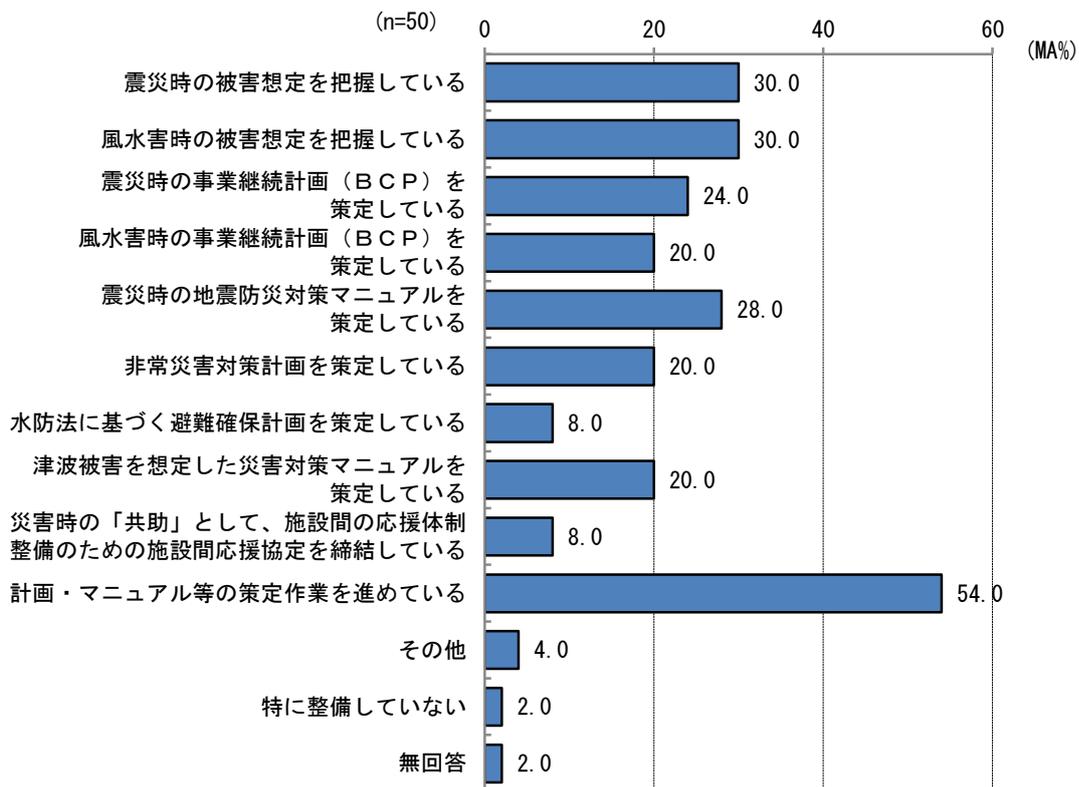


## Ⅱ 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

### 〔2〕災害時の対策

問31 貴事業所では、災害発生時から業務復旧までの計画等、災害時の対策をされていますか。(あてはまるものすべてに○)

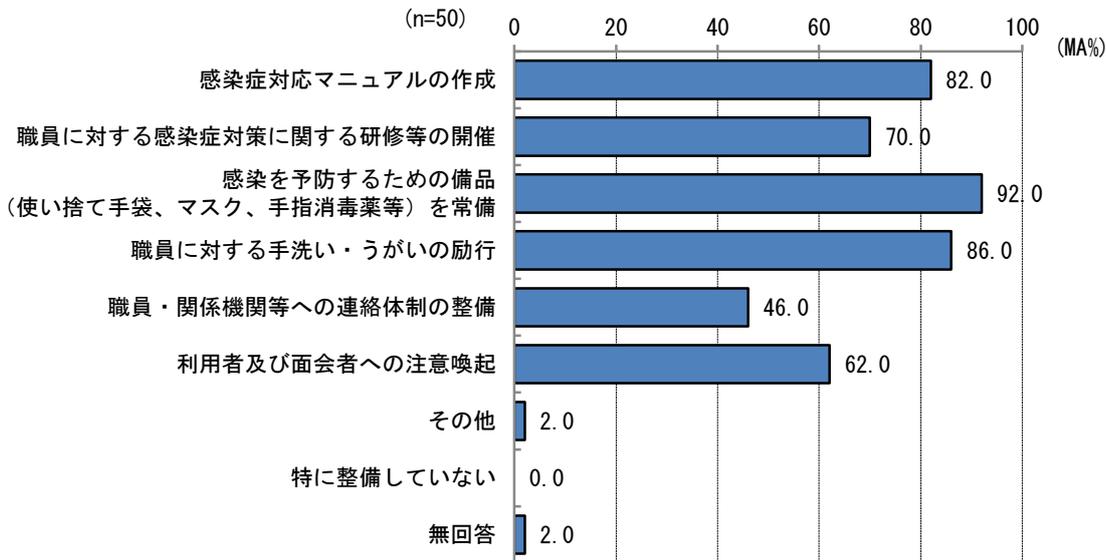
災害発生時から業務復旧までの計画や災害時の対策については、「計画・マニュアル等の策定作業を進めている」が54.0%と最も多く、次いで、「震災時の被害想定を把握している」、「風水害時の被害想定を把握している」がそれぞれ30.0%となっています。



〔3〕感染症対策

問32 貴事業所では、感染症対策についてどのような取り組みをしていますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

事業所で行っている感染症対策についての取り組みについては、「感染を予防するための備品（使い捨て手袋、マスク、手指消毒薬等）を常備」が92.0%と最も多く、次いで、「職員に対する手洗い・うがいの励行」が86.0%、「感染症対応マニュアルの作成」が82.0%となっています。



## Ⅱ 調査結果 3 サービス提供事業者アンケート調査

### 〔4〕新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響について（自由記述）

問33 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響についておうかがいします。コロナ禍において、事業所の運営やサービスの提供に何か変化したことや対策されたこと、ご苦労されたこと等、また、サービス利用者から聞いている困りごと等がありましたら、ご自由にお書きください。

計28件のご意見をいただきました。主な内容は以下のとおりです。

ご意見内容	件数
・消耗品の確保、保健所までの検体提出、保健所の窓口や電話対応について、人材不足	（11件）
・徹底した感染症対策、検温や消毒回数の増加、発熱時の判断と対応、イベントの中止	（9件）
・ウイルスに対して過剰に拒否反応を示す利用者への細心の注意、利用者や利用者家族への説明、理解を求めると難しい	（3件）
・後遺症について	（1件）
・マスク着用により表情が見えづらくコミュニケーションの難しさを感じた	（1件）
・特になし	（3件）

### 〔5〕ご意見・ご要望（自由記述）

問34 最後に、ご意見、ご要望など、介護保険事業に限らず阪南市での取り組みや、地域でのまちづくりに参画されたことや、災害時での要援護者への対応、高齢者の見守りなど、ご自由にご記入ください。

計13件のご意見をいただきました。主な内容は以下のとおりです。

ご意見内容	件数
・市の相談窓口の一本化、避難所の老朽化、災害時の対応について	（4件）
・地域との関わり、イベントの実施、声かけ等で高齢者を孤独にさせないことが大切	（2件）
・市に対するお礼	（2件）
・若者へ向けた阪南市の魅力を発信していくべき、担い手減少、情報発信の強化	（2件）
・ケアマネの質の向上	（1件）
・各課の連携の強化	（1件）
・石田団地、尾崎団地に事業者専用駐車場の建設を希望	（1件）

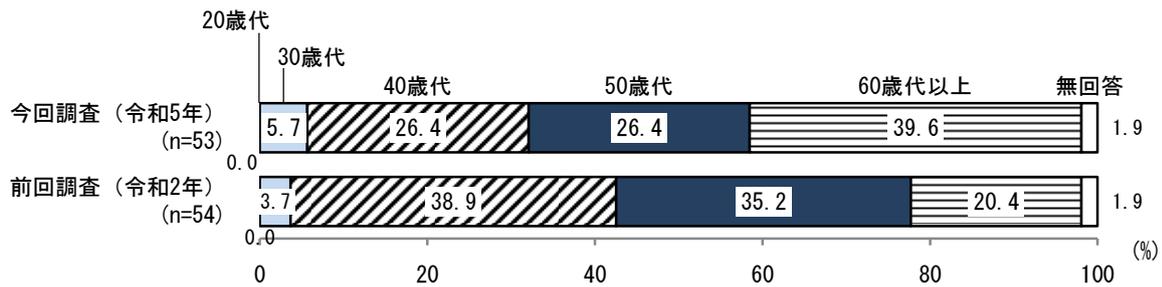
## 4 ケアマネジャーアンケート調査

### 1. ケアマネジャーとしてのあなたについて

#### [1] 年齢

問1 あなたの年齢をご記入ください。(1つに○)

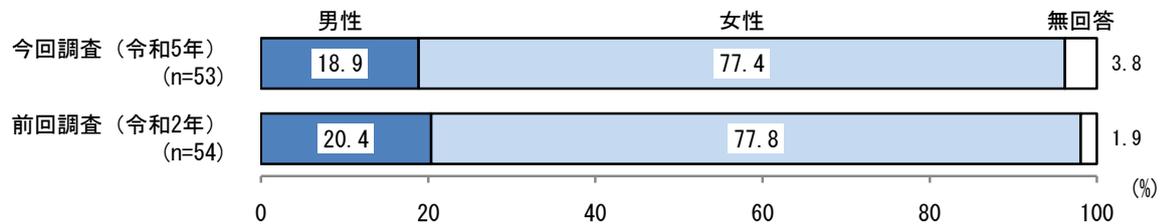
年齢は、「60歳代以上」が39.6%と最も多く、次いで、「40歳代」、「50歳代」がそれぞれ26.4%となっています。



#### [2] 性別

問2 あなたの性別をご記入ください。(1つに○)

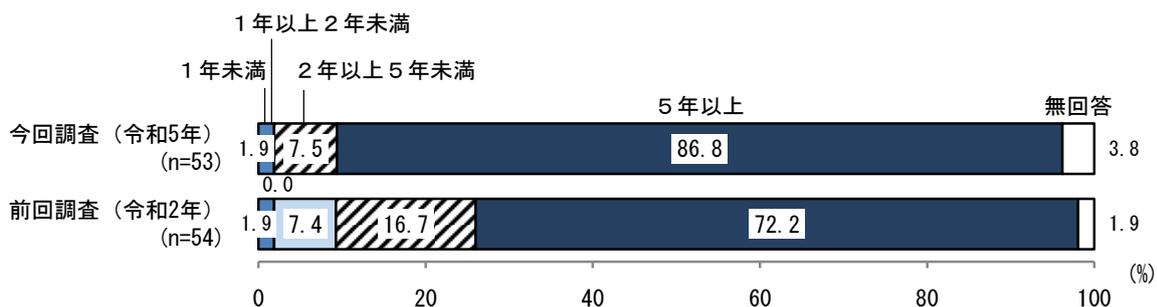
性別についてみると、「男性」が18.9%、「女性」が77.4%となっています。



#### [3] 経験年数

問3 ケアマネジャーとしての経験年数を選択してください。(1つに○)

ケアマネジャーとしての経験年数は、「5年以上」が86.8%と最も多くなっています。

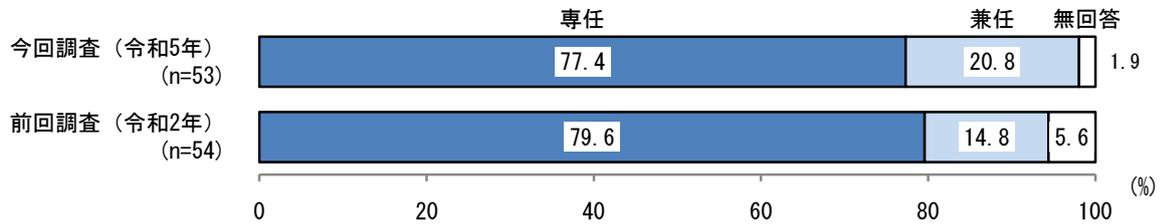


## Ⅱ 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### [4] 兼務状況

問4 ケアマネジャーについては専任ですか兼任ですか。(1つに○)

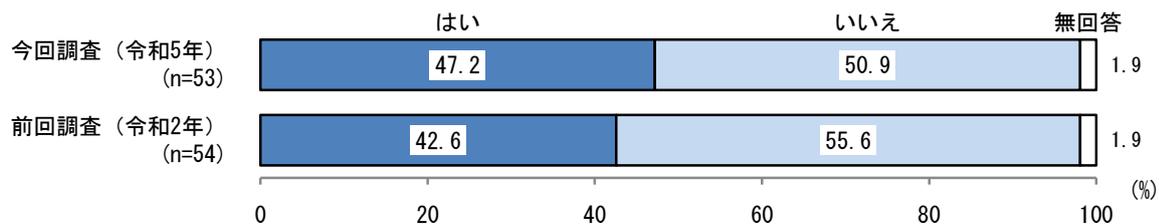
専任・兼任については、「専任」が77.4%、「兼任」が20.8%となっています。



### [5] 主任資格の有無

問5 あなたは主任ケアマネジャーですか。(1つに○)

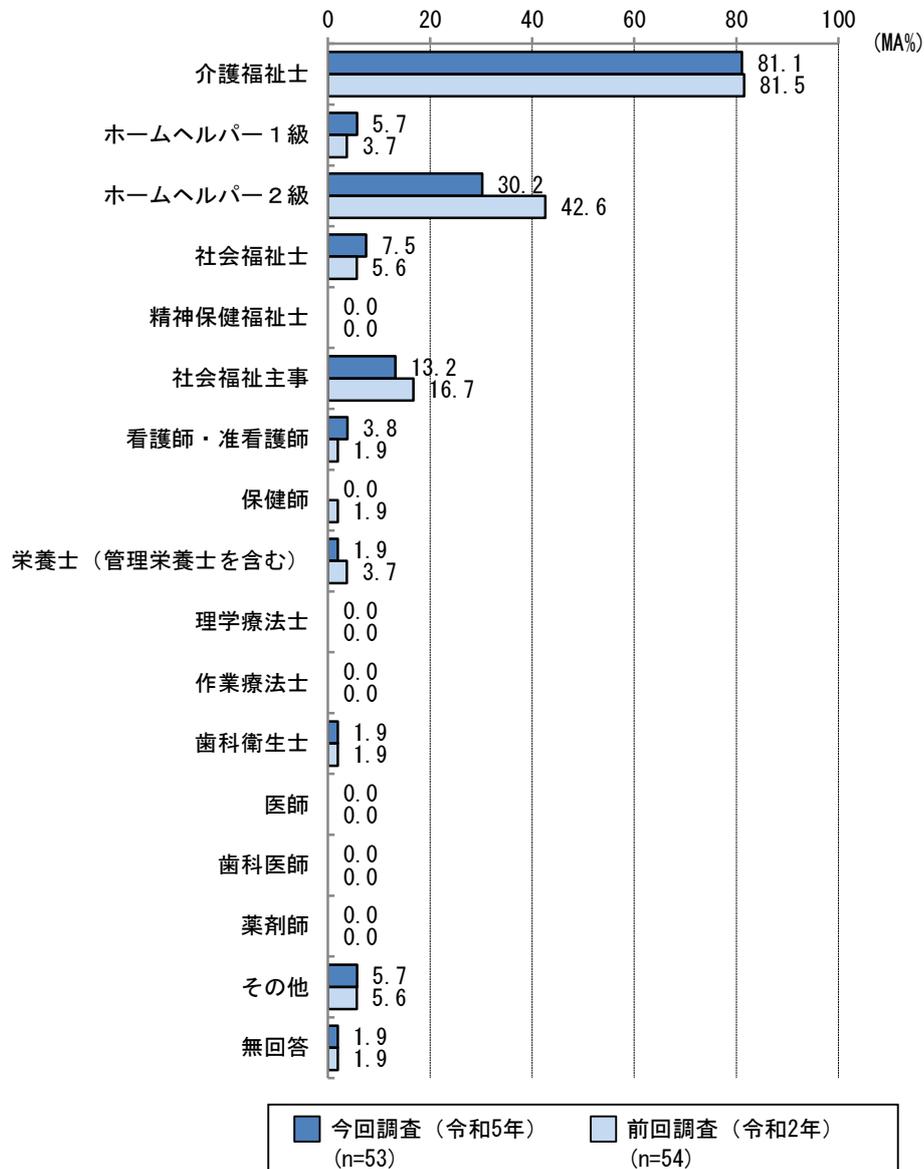
主任ケアマネジャーかについては、「はい (主任ケアマネジャーである)」が47.2%、「いいえ」が50.9%となっています。



〔6〕介護支援専門員以外の保有資格

問6 あなたは、介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

介護支援専門員以外に取得している保健医療福祉関係の資格については、「介護福祉士」が81.1%と最も多く、次いで「ホームヘルパー2級」が30.2%となっています。

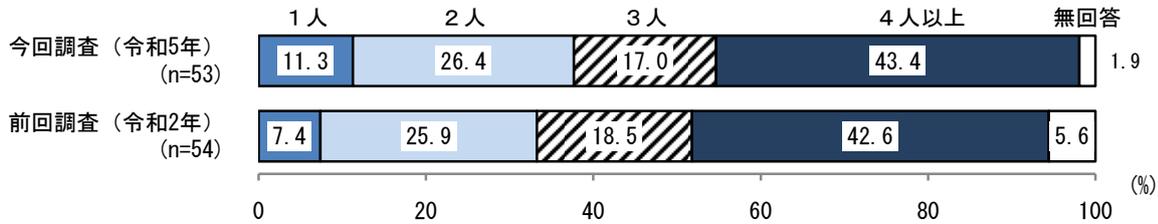


## II 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

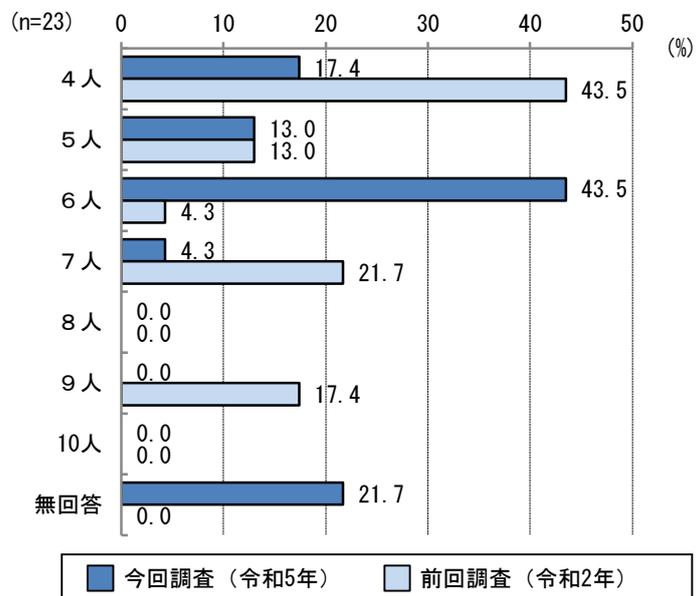
### [7] 所属事業所のケアマネジャー数

問7 あなたが所属している事業所のケアマネジャー(あなたを含めて)は何人ですか。(1つに○)

勤務先のケアマネジャーの人数は、「4人以上」が43.4%と最も多く、次いで、「2人」が26.4%、「3人」が17.0%となっています。4人以上の内訳では、「6人」が43.5%と最も多くなっています。



#### ■ 4人以上の内訳(数量回答)

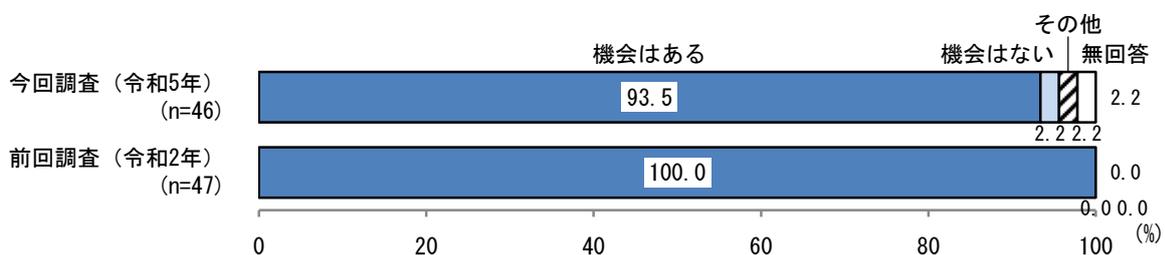


### [8] 事例検討や相談などの機会について

【問7で「2. 2人」「3. 3人」「4. 4人以上」と回答された方のみ】

問7-1 事業所の中で事例検討や相談などの機会は確保されていますか。(1つに○)

相談機会の確保の有無については、「機会はある」が93.5%、「機会はない」が2.2%となっています。

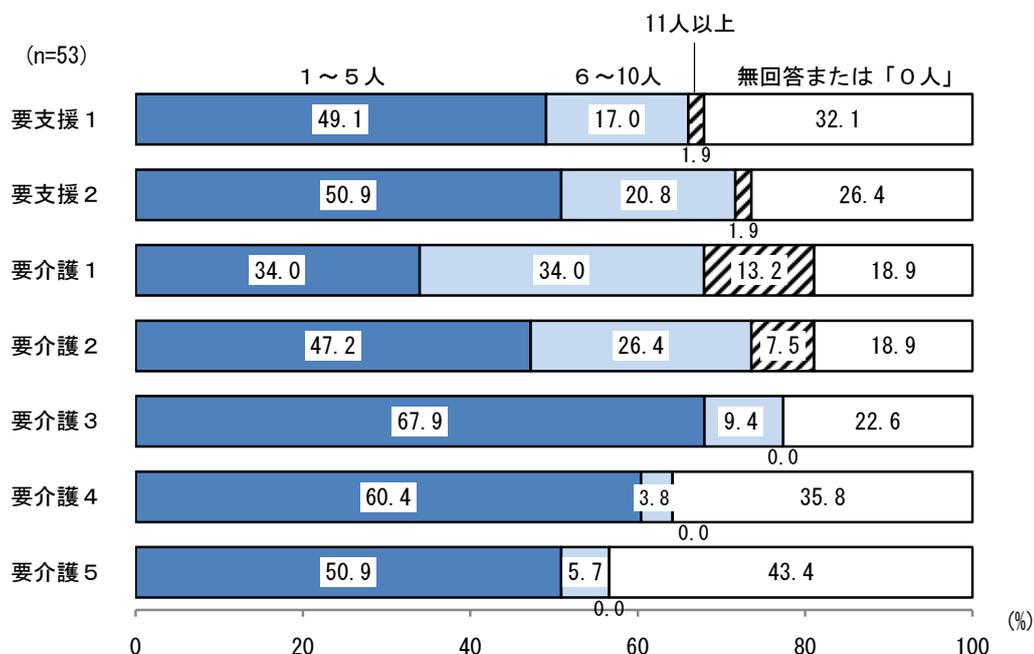


## 2. 担当している利用者について(阪南市で介護認定を受けている利用者について)

### 〔1〕利用者の要介護度

問8 利用者の要介護度はどのような内訳ですか。要介護度ごとにそれぞれ人数をご記入ください。

要介護度別の利用人数の内訳をみると、要介護1、2の人が多くなっています。



#### 今回調査(令和5年)

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数		141人	181人	280人	236人	125人	83人	73人	996人
内訳	高齢単身世帯	64人	70人	102人	78人	30人	21人	25人	317人
	高齢者世帯	44人	61人	65人	57人	36人	20人	8人	241人
	その他	41人	55人	87人	76人	43人	22人	26人	301人

#### 前回調査(令和2年)

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数		245人	230人	354人	254人	121人	92人	59人	1,355人
内訳	高齢単身世帯	113人	85人	119人	71人	27人	22人	10人	47人
	高齢者世帯	64人	66人	94人	81人	40人	13人	14人	372人
	その他	47人	53人	114人	80人	46人	42人	32人	414人

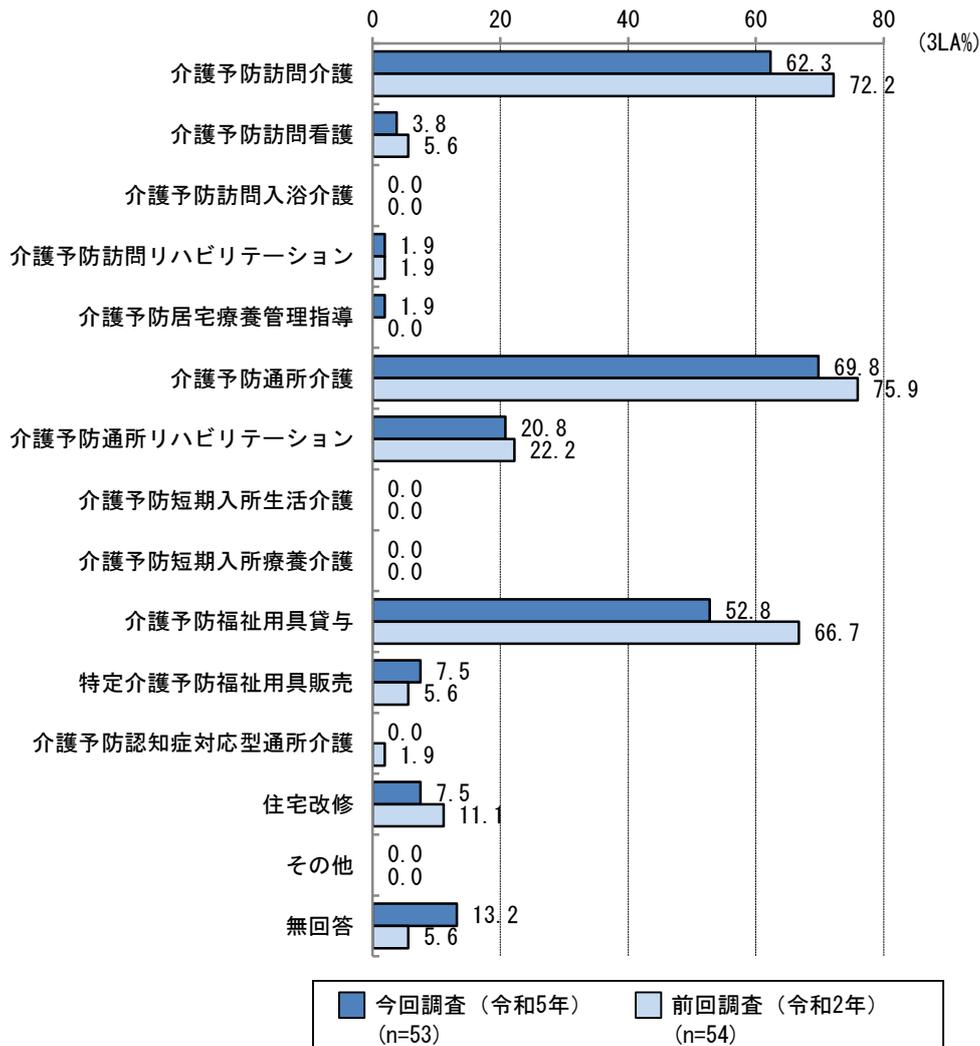
※内訳が無記入の回答もあるため、合計は異なります。

### 3. 要支援の方のサービス利用について

#### 〔1〕要支援の方で希望の多いサービス

問9 要支援の方で、希望の多いサービスは何ですか。(3つまで○)

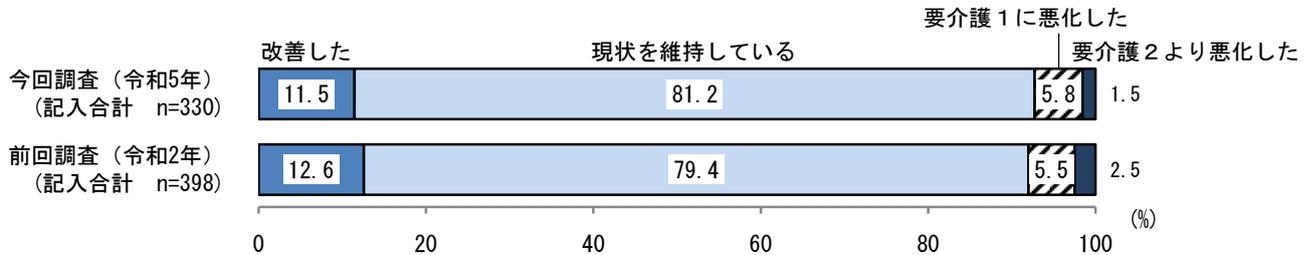
要支援の方で、希望の多いサービスは、「介護予防通所介護」が69.8%と最も多く、次いで、「介護予防訪問介護」が62.3%、「介護予防福祉用具貸与」が52.8%となっています。



〔2〕予防給付を受けている要支援の方の状態

問10 予防給付を受けている要支援の方の状態は、改善または現状を維持していますか。(予防給付を利用しておおむね1年間で)それぞれ人数をご記入ください。

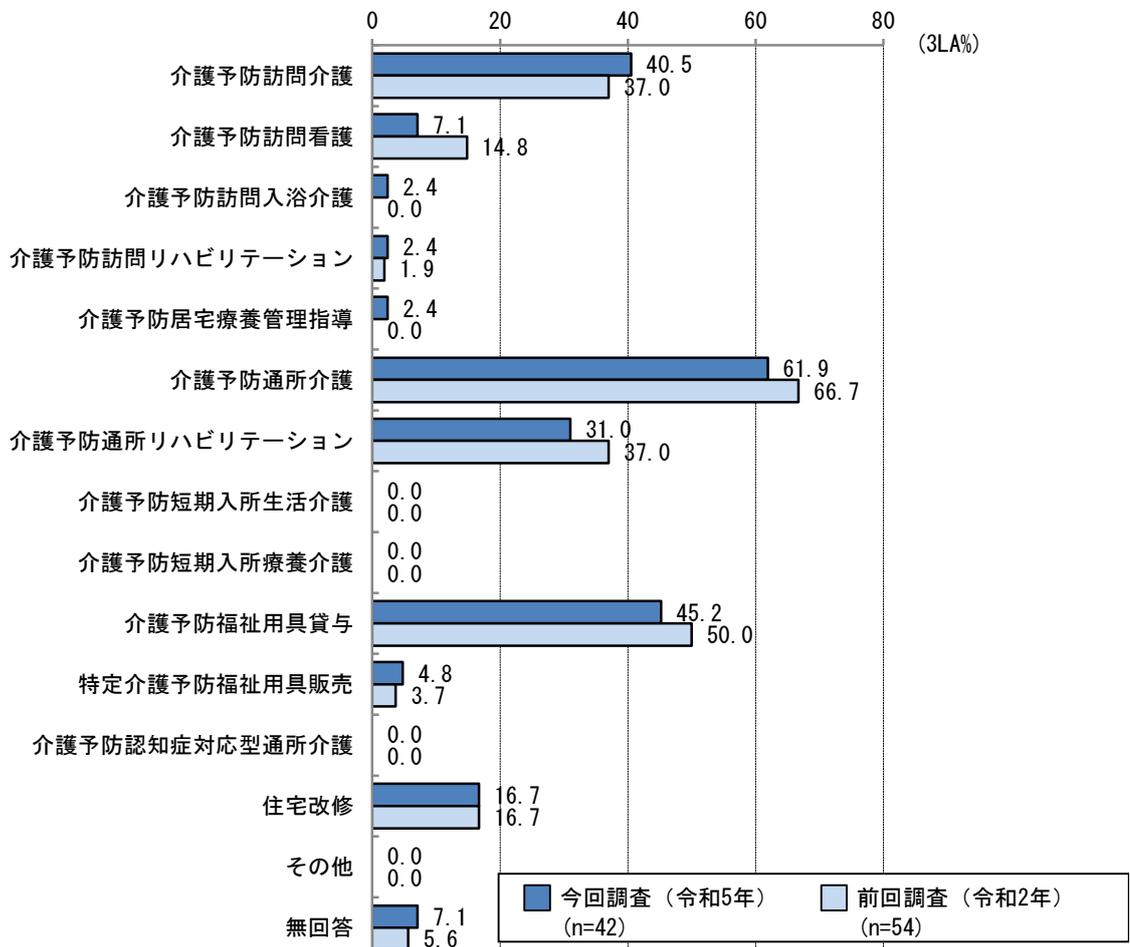
予防給付を受けている要支援の方の状態についてみると、「現状を維持している」が81.2%と最も多くなっています。



〔3〕効果があったと思われるサービス

問11 (問10との関連で)あなたが要支援の方のケアマネジメントをされている中で「改善」あるいは「現状を維持」する上で、特に効果があったと思われるサービスは何ですか。(3つまで○)

「改善」あるいは「現状を維持」する上で、特に効果があったと思われるサービスについてみると、「介護予防通所介護」が61.9%と最も多く、次いで、「介護予防福祉用具貸与」が45.2%、「介護予防訪問介護」が40.5%となっています。



## Ⅱ 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### [4] 要支援の方への予防給付等に関する要望など(自由記述)

問12 要支援の方への予防給付等に関して、要望等があれば、お聞かせください。

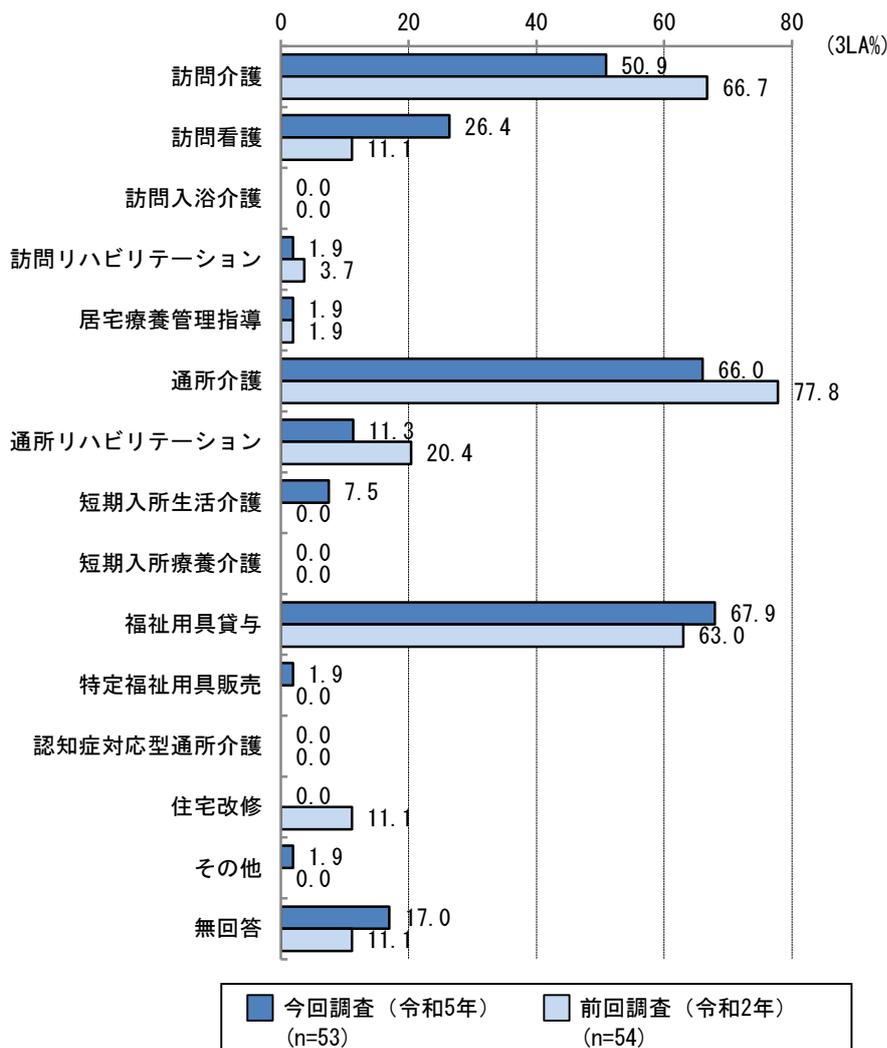
ご意見内容	件数
・地域密着に特化したサービスを希望（主に送迎）	（3件）
・通所リハビリテーションの回数負担について	（2件）
・リハビリや他者との交流がある事で現状維持できている	（1件）
・訪問系医療サービスで医者の指示があっても位置づけしづらい	（1件）
・要支援の人は、介護保険を利用せず地域支援とするべき	（1件）
・要支援の人も入院時、連携加算があってもいいのではないか	（1件）
・その他	（2件）

## 4. 要介護の方のサービス利用について

### 〔1〕要介護の方で希望の多いサービス

問13 要介護の方で、希望の多いサービスは何ですか。(3つまで○)

要介護の方で希望の多いサービスについてみると「福祉用具貸与」が67.9%と最も多く、次いで、「通所介護」が66.0%、「訪問介護」が50.9%となっています。前回調査に比べて、「訪問看護」が15.3ポイント、「短期入所生活介護」が7.5ポイント、増加しています。



## II 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### 〔2〕施設等への入所申請をしている利用者数

問14 利用者のうち、施設等へ入所の申請をしている方は何人いますか。また、どちらの種類の施設へ入所の申請をされていますか。要介護度ごとにそれぞれ人数をご記入ください。

利用者のうち、施設等へ入所の申請をしている方や申請をしている施設の種類については、以下のとおりとなっています。

今回調査(令和5年)

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
申請者数(実人数)		5人	10人	12人	14人	6人	37人
(実人数) 内訳1	高齢単身世帯	5人	7人	6人	6人	5人	24人
	高齢者世帯	0人	3人	4人	4人	0人	7人
	その他	0人	0人	3人	2人	0人	4人
内訳2 (延べ人数)	特別養護老人ホーム	0人	1人	7人	8人	3人	15人
	老人保健施設	0人	2人	1人	1人	0人	2人
	介護療養型医療施設	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	認知症対応型グループホーム	0人	2人	1人	0人	0人	0人
	軽費老人ホーム	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	ケアハウス	2人	2人	0人	0人	0人	4人
	有料老人ホーム	3人	5人	4人	6人	4人	21人
	サービス付き高齢者向け住宅	0人	0人	1人	1人	0人	0人
	その他	2人	2人	1人	1人	1人	7人

前回調査(令和2年)

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
申請者数(実人数)		8人	3人	9人	1人	4人	25人
(実人数) 内訳1	高齢単身世帯	4人	2人	2人	0人	1人	9人
	高齢者世帯	0人	0人	3人	0人	1人	4人
	その他	7人	9人	4人	5人	6人	31人
内訳2 (延べ人数)	特別養護老人ホーム	0人	1人	8人	1人	4人	14人
	老人保健施設	2人	0人	0人	0人	0人	2人
	介護療養型医療施設	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	認知症対応型グループホーム	1人	2人	0人	0人	0人	3人
	軽費老人ホーム	1人	0人	0人	0人	0人	1人
	ケアハウス	2人	0人	0人	0人	0人	2人
	有料老人ホーム	4人	10人	5人	6人	6人	31人
	サービス付き高齢者向け住宅	6人	1人	0人	0人	0人	7人
	その他	0人	0人	0人	0人	1人	1人

※内訳が無記入の回答もあるため、合計は異なります。

[3]十分な在宅ケアがあれば在宅生活の継続が可能と思われる利用者数

問15 問14の申請者のうち、十分な在宅ケアがあれば在宅生活の継続が可能と思われる方は何人いますか。要介護度ごとにそれぞれ人数をご記入ください。

申請者のうち十分な在宅ケアがあれば在宅生活の継続が可能と思う方の人数については、以下のとおりとなっています。

今回調査(令和5年)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
在宅生活の継続が可能な方の人数	16人	8人	8人	6人	4人	42人

前回調査(令和2年)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
在宅生活の継続が可能な方の人数	5人	2人	6人	1人	0人	14人

※内訳が無記入の回答もあるため、合計は異なります。

[4]必要な在宅ケア(自由記述)

問16 (問15との関連で)その場合、どのような在宅ケアが必要だと思われるかお聞かせください。

ご意見内容	件数
・日中や夜間の見守り、訪問介護	(6件)
・家事や通院の介護	(2件)
・世帯内容で変わる	(1件)
・医療連携、介護負担軽減	(1件)
・短期入所介護が絶対に必要	(1件)
・金銭面	(1件)
・24時間見守り	(1件)

## Ⅱ 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### [5] 利用者の自立支援につながる資源・サービス(自由記述)

問17 介護保険の給付以外に、こんな資源・サービスがあれば利用者の日常生活の自立支援につながると思うことがありましたらお聞かせください。

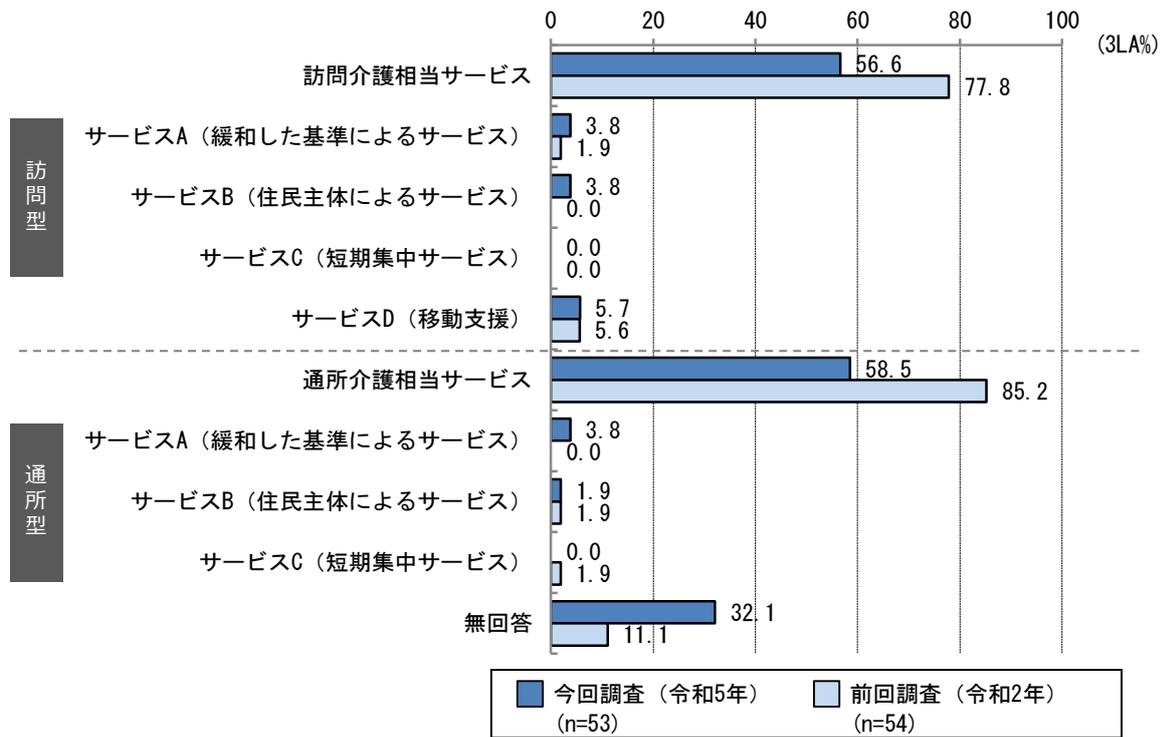
ご意見内容	件数
・付き添いや送迎サービスの強化、移動スーパー、介護保険外の掃除等のサービス	(15件)
・本人のやる気次第	(1件)
・費用面での支援	(1件)
・ゴミ出し支援	(1件)
・地域見守りの強化、相談場所が近くにあること	(1件)
・通院支援、傾聴ボランティア	(1件)

## 5. 総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)のサービス利用について

### [1] 希望の多い総合事業サービス

問18 希望の多い総合事業サービスは何ですか。(3つまで○)

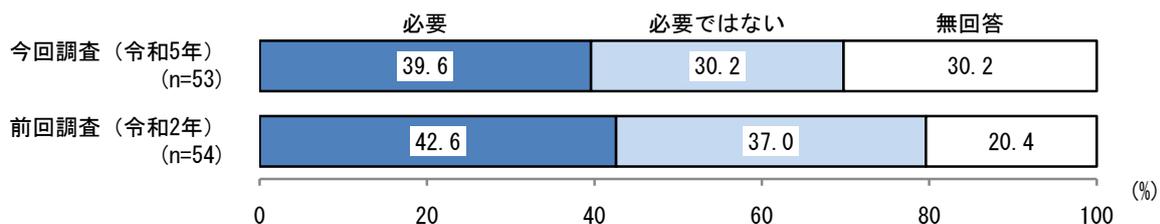
希望の多い総合事業サービスは、「通所介護相当サービス」が58.5%と最も多く、次いで、「訪問介護相当サービス」が56.6%となっています。



### [2] サービスAの必要性

問19 現在、訪問型・通所型ともにサービスAは実施していませんが、サービスAは必要と思われますか。(1つに○)

サービスAは必要と思うかについては、「必要」が39.6%、「必要ではない」が30.2%となっています。

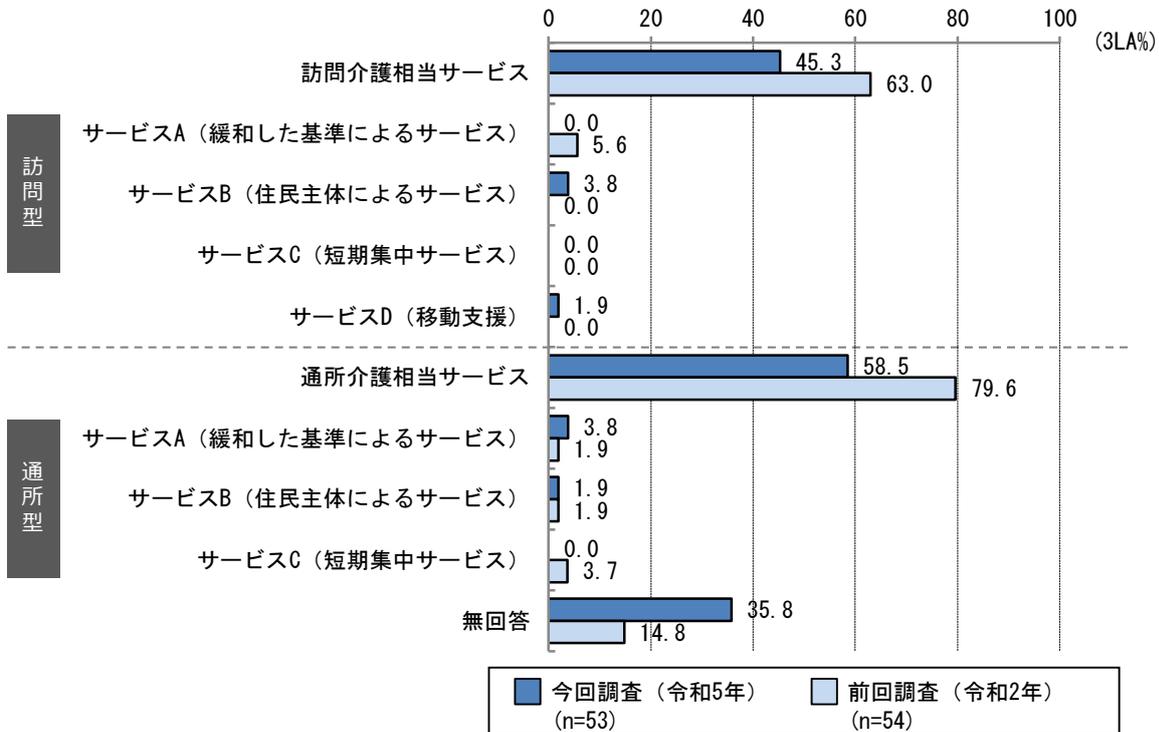


## II 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### 〔3〕効果があったと思われるサービス

問20 ケアマネジメントをされている中で「改善」あるいは「現状を維持」する上で、特に効果があったと思われるサービスは何ですか。(3つまで○)

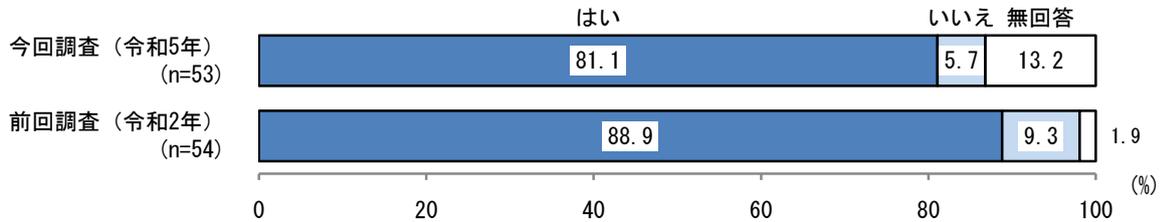
ケアマネジメントをされている中で「改善」あるいは「現状を維持」する上で、特に効果が あったと思うサービスは、「通所介護相当サービス」が58.5%と最も多く、次いで、「訪問介護相当サービス」が45.3%となっています。



[4]インフォーマルサービスをケアプランに位置づけた経験

問21 インフォーマルなサービスをケアプランに位置付けたことがありますか。(1つに○)

インフォーマルなサービスをケアプランに位置付けたことがあるかについては、「はい」が81.1%、「いいえ」が5.7%となっています。

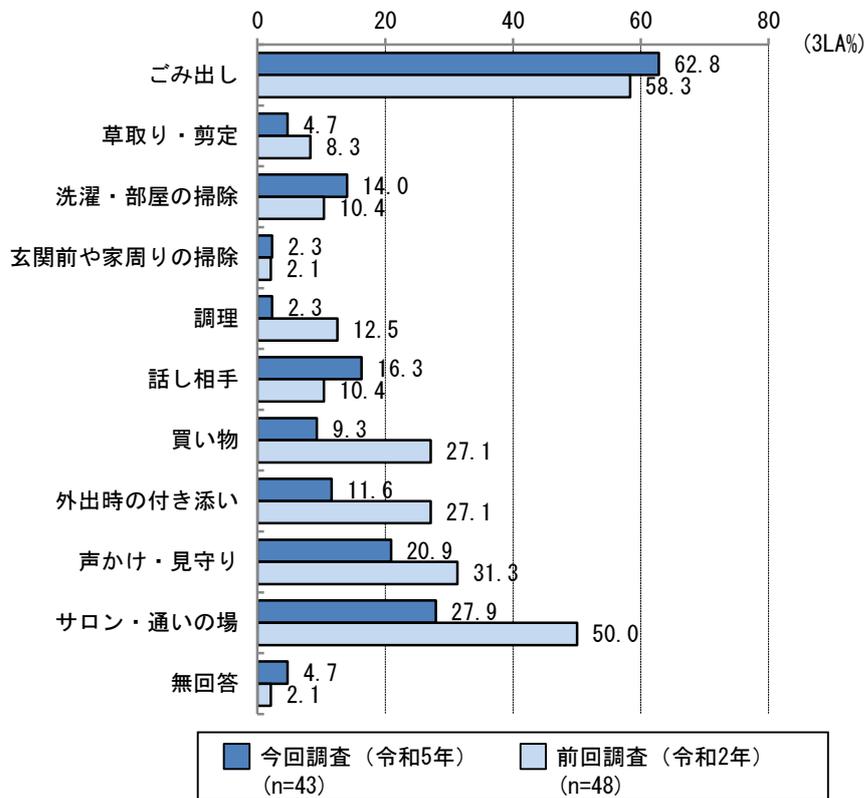


[5]ケアプラン作成・見直し時に利用したことのあるサービス

【問21で「1.はい」と回答した方のみ】

問21-1 あなたがケアプランの作成または見直し時に、利用したことのあるサービスはどれですか。(3つまで○)

ケアプランの作成または見直し時に利用したことのあるサービスは、「ごみ出し」が62.8%と最も多く、次いで、「サロン・通いの場」が27.9%、「声かけ・見守り」が20.9%となっています。前回調査に比べて、「話し相手」が5.9ポイント増加しています。



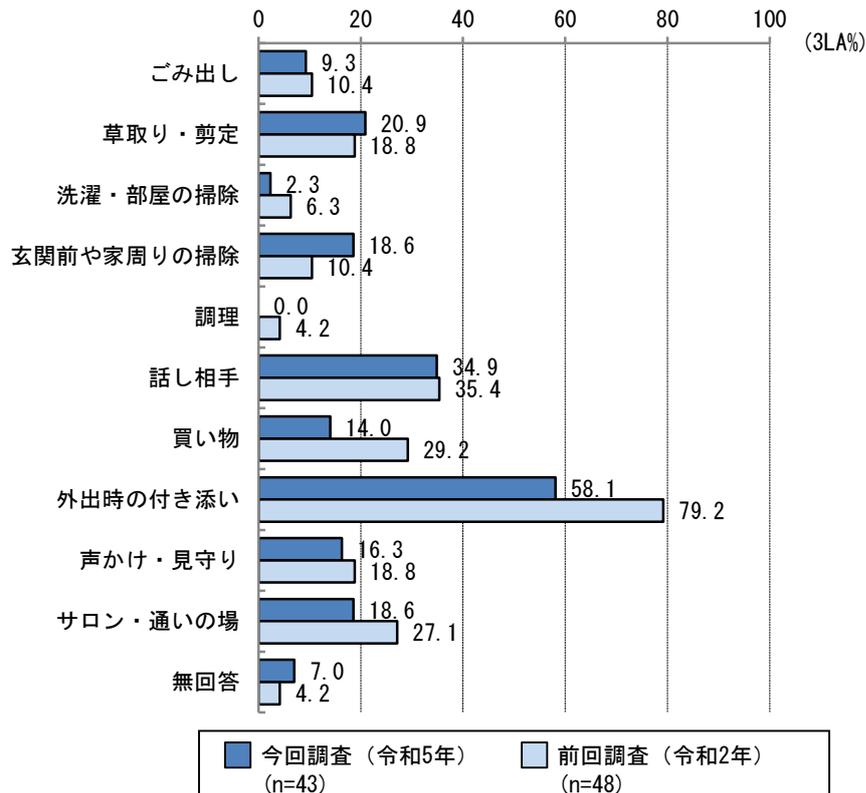
## II 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### [6]ケアプラン作成・見直し時に不足していると感じるサービス

【問21で「1.はい」と回答した方のみ】

問21-2 あなたがケアプランの作成または見直し時に、不足していると感じるサービスはどれですか(3つまで○)。

ケアプランの作成または見直し時に不足していると感じるサービスは、「外出時の付き添い」が58.1%と最も多く、次いで、「話し相手」が34.9%、「草取り・剪定」が20.9%となっています。前回調査に比べて、「玄関前や家周りの掃除」が8.2ポイント増加しています。

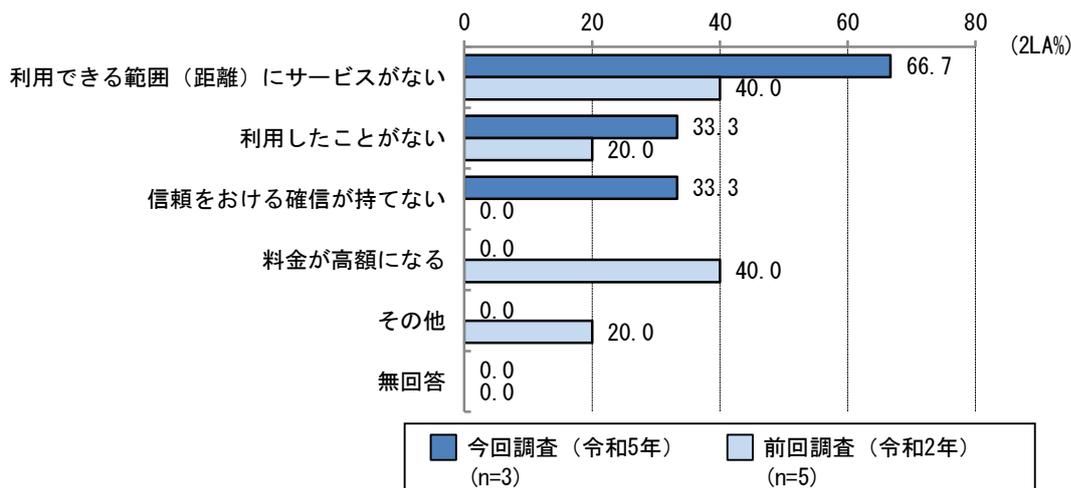


[7]インフォーマルサービスを位置付けたことがない理由

問21で「2.いいえ」と回答した方

問21-3 あなたがインフォーマルサービスを位置付けたことがない理由は何ですか  
(2つまで○)。

インフォーマルサービスをケアプランに位置付けたことがない理由は、「利用できる範囲（距離）にサービスがない」が66.7%と最も多く、次いで、「利用したことがない」、「信頼をおける確信が持てない」がそれぞれ33.3%となっています。



[8]総合事業サービスへの要望(自由記述)

問22 総合事業サービスに関して、要望等があれば、お聞かせください。

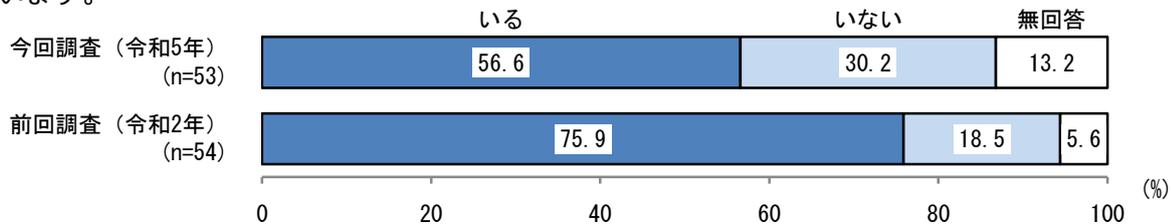
ご意見内容	件数
・総合事業サービスが必要と思わない。予防支援も同じ	(1件)
・どのようなプランへの位置づけがよいのか、イメージがわきにくい。どんなパターンでの利用が可能なのかの情報を入手したい	(1件)
・支援と比較して有利にサービスが使えるのはおかしい。支援申請した時に自立の一次判定が出たことがあり、そのため申請を取り下げた	(1件)
・本来、ヘルパーがやるべき仕事ではない掃除等の家事支援が多い	(1件)

## 6. 利用者の在宅生活の状況について

### 〔1〕現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている利用者について

問23 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者はいますか。  
(1つに○)

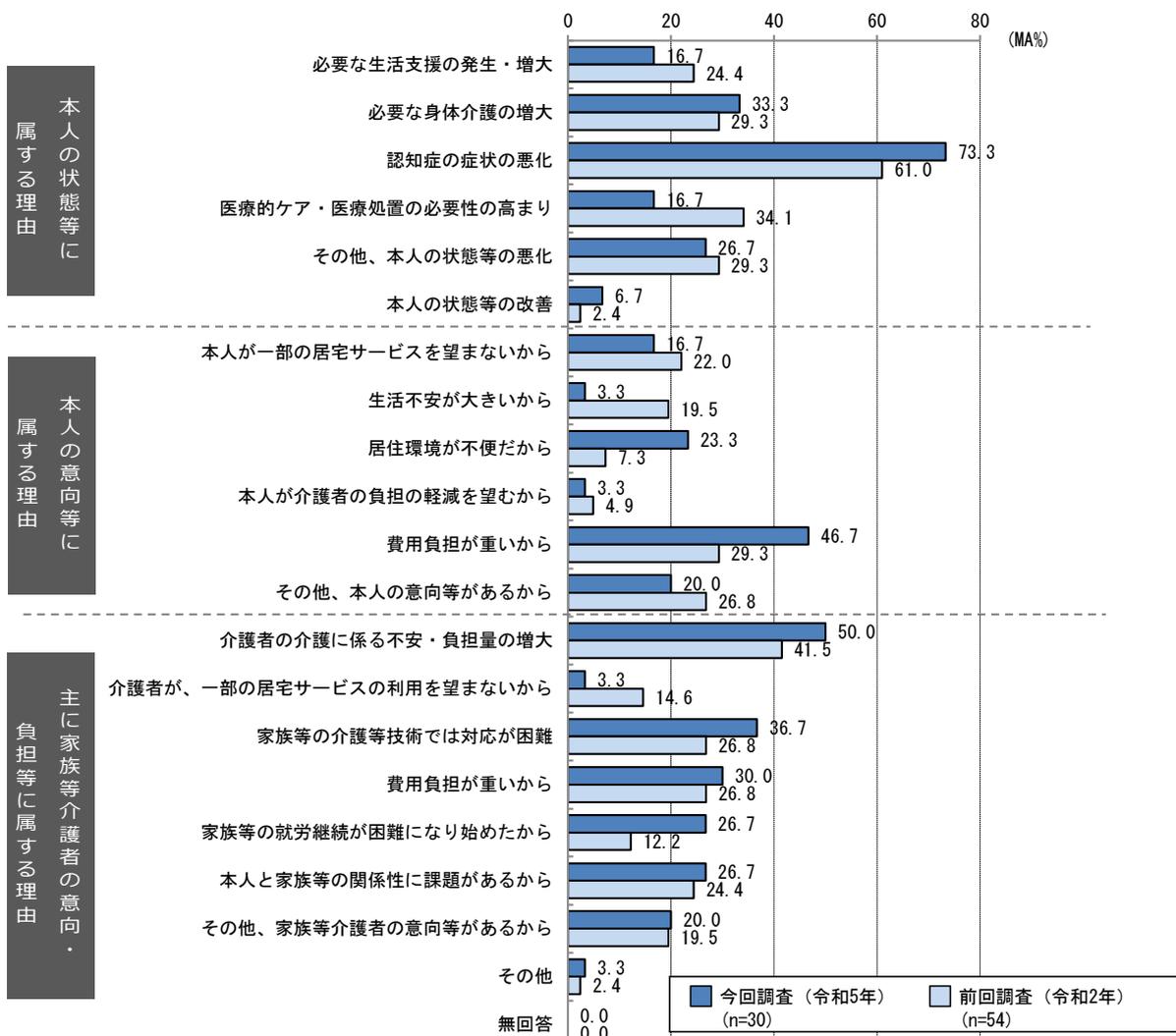
現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者が「いる」は56.6%となっています。



#### 【問23で「1.いる」と回答した方のみ】

問23-1 生活の維持が難しくなっている理由で多いものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

生活の維持が難しくなっている理由で多いものは、「認知症の症状の悪化」が73.3%と最も多く、次いで、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が50.0%となっています。



## 7. 認知症の方へのケアについて

### 〔1〕認知症日常生活自立度がⅡ以上の利用者数

問24 担当している利用者のうち、認知症の日常生活自立度がⅡ以上の方は、何人いますか。要介護度ごとにそれぞれ人数をご記入ください。

※認知症の日常生活自立度Ⅱ：日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。

担当している利用者のうち、認知症の日常生活自立度がⅡ以上の方の人数については、以下のとおりとなっています。

#### 今回調査(令和5年)

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数		6人	12人	138人	91人	72人	38人	42人	319人
内 訳	高齢単身世帯	3人	6人	54人	36人	12人	10人	12人	112人
	高齢者世帯	6人	6人	45人	18人	21人	10人	6人	74人
	その他	1人	6人	38人	34人	27人	13人	18人	119人

#### 前回調査(令和2年)

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数		30人	37人	204人	150人	94人	69人	53人	637人
内 訳	高齢単身世帯	9人	18人	61人	42人	20人	17人	9人	176人
	高齢者世帯	5人	4人	57人	32人	23人	8人	9人	138人
	その他	4人	2人	68人	44人	37人	27人	24人	206人

## II 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### 〔2〕認知症に関する相談や支援で困っていること(自由記述)

問25 認知症に関する相談を受けたときや支援を考えると、次の①から④で困っていることについてお聞かせください。

#### ①認知症に関する理解について

ご意見内容	件数
・家族の理解が乏しい	(20件)
・セクハラや近隣とのトラブル	(2件)
・研修等、勉強する機会が少ない	(1件)

#### ②認知症の医療に関連することについて

ご意見内容	件数
・専門的な医療機関の少なさ、医療機関と本人を繋ぐ難しさ	(11件)
・本人の受診拒否、アプローチの方法	(5件)
・薬と生活の管理、主治医との連携	(3件)
・専門医の必要性を理解してもらえない	(1件)
・有効な薬がない	(1件)

#### ③介護力やサービスの利用について

ご意見内容	件数
・夫婦二人暮らしで介護力が乏しい、子どもが遠方なケース、家族からの協力（関心）がない	(8件)
・介護する側の援助や情報共有を密にとる、家族への理解も深めること	(5件)
・本人が支援を拒んでしまう、本人との意思疎通が困難	(3件)
・認知症専門のデイサービスの強化を希望	(2件)
・身体的な病気がない場合は介護度が出にくいいためサービス量が介護保険制度の利用範囲内でおさまらない	(1件)
・事業所の人員不足	(1件)

#### ④その他

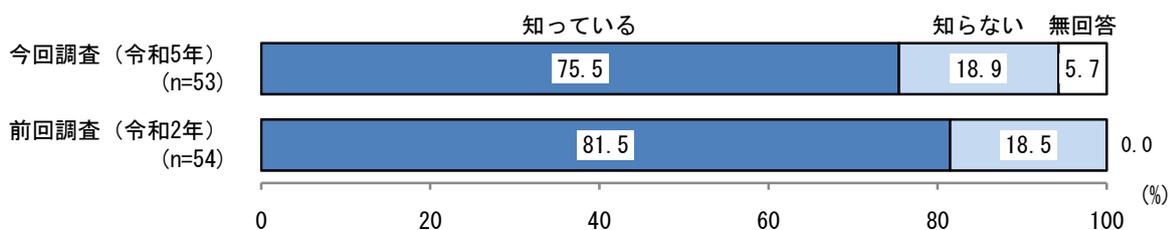
ご意見内容	件数
・家族からの協力（関心）がない、家族の理解が乏しい	(2件)
・介護保険制度だけでは対応困難、対応に時間がかかる	(2件)
・認知症の自覚を持ってない人のサポートが、課題になる	(1件)
・認知症初期集中支援チーム、あくまでも初期集中なため後のフォローは受けられずあまり成果がなかった	(1件)
・さつきネットの機能について、協力員がだれかよくわからない	(1件)

〔3〕認知症に対する取り組みの認知

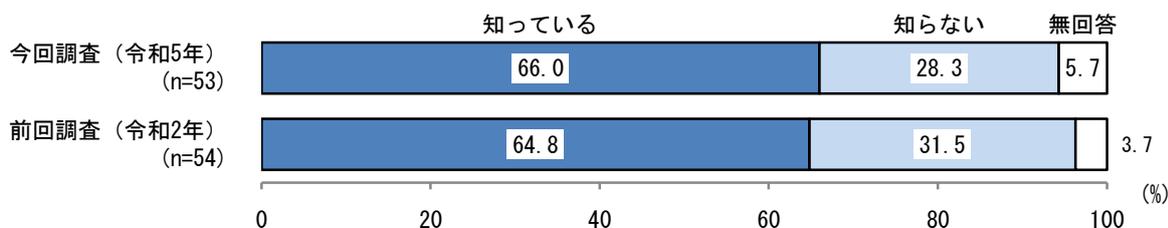
問26 認知症に対する以下の取り組みについて知っていますか。(それぞれ1つに○)

認知症初期集中支援チームを「知っている」は75.5%、認知症地域支援推進員を「知っている」は66.0%となっています。

① 認知症初期集中支援チーム



② 認知症地域支援推進員

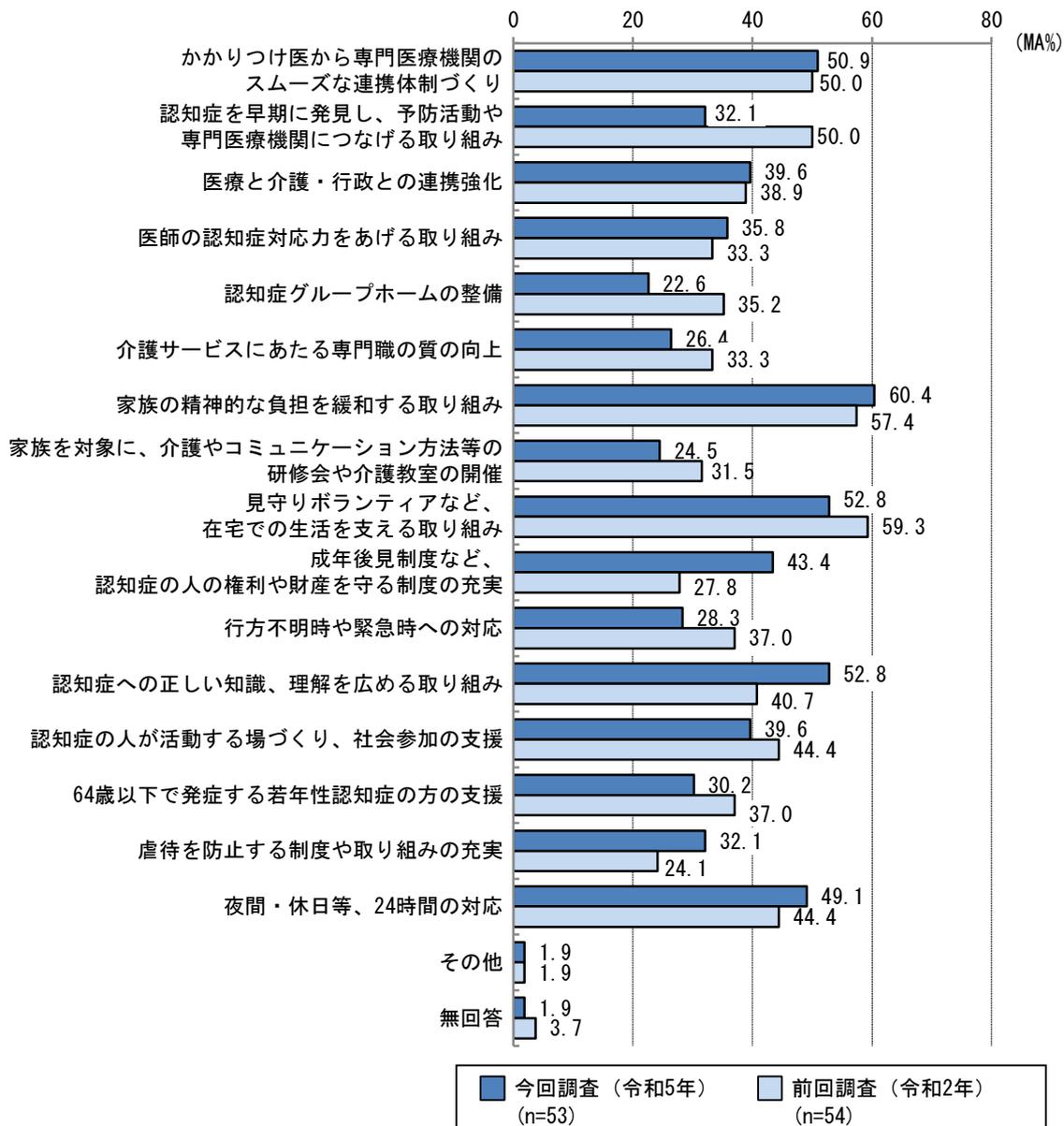


## II 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### [4] 認知症施策を進めていく上で市が重点を置くべきこと

問27 今後認知症施策を進めていく上で、阪南市はどのようなことに重点を置くべきだと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症施策を進めていく上で、阪南市が重点を置くべきことは、「家族の精神的な負担を緩和する取り組み」が60.4%と最も多く、次いで、「見守りボランティアなど、在宅での生活を支える取り組み」、「認知症への正しい知識、理解を広める取り組み」がそれぞれ52.8%となっています。

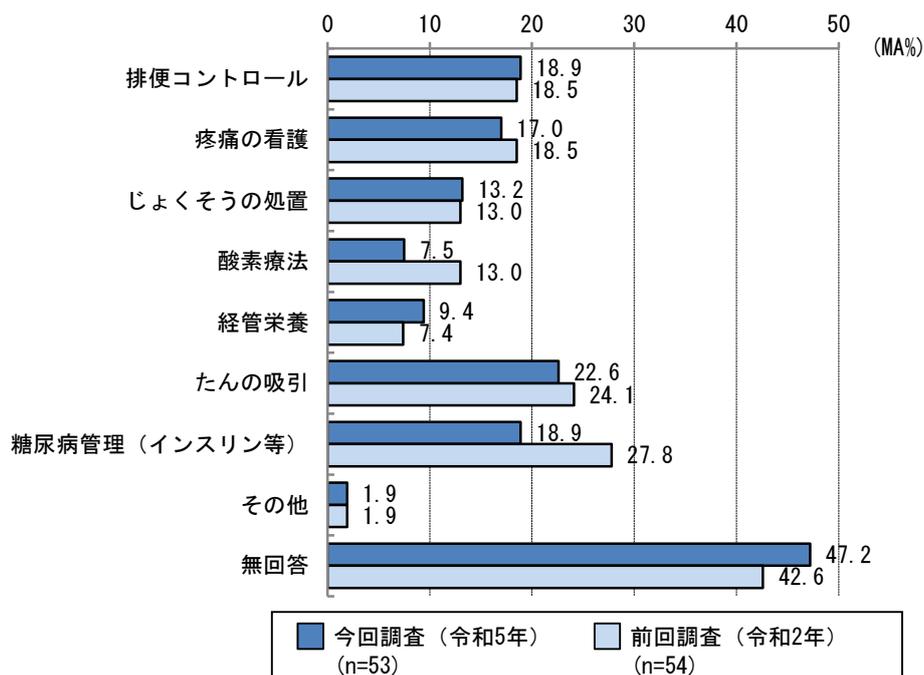


## 8. 医療連携・退院支援について

### 〔1〕ケアプラン作成時に医療的ケアで困った処置

問28 ケアプラン作成時に必要とされた医療的ケアで困った処置はありましたか。  
(あてはまるものすべてに○)

ケアプラン作成時に必要な医療的ケアで困った処置は、「たんの吸引」が22.6%と最も多く、次いで、「排便コントロール」と「糖尿病管理（インスリン等）」がそれぞれ18.9%となっています。前回調査に比べて、「経管栄養」が2.0ポイント増加しています。

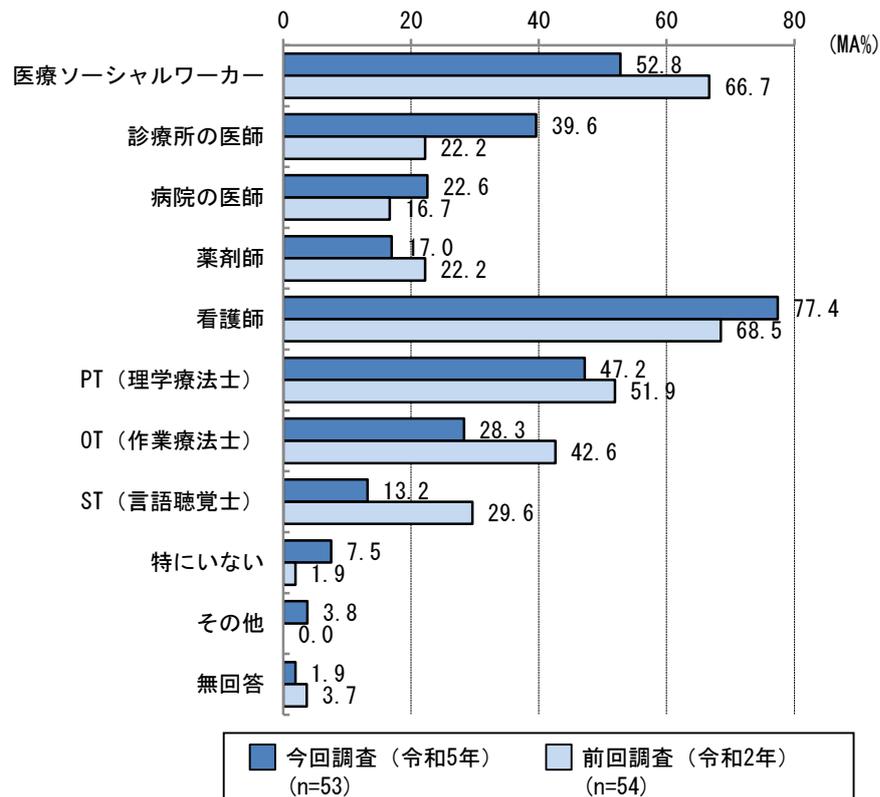


## II 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### 〔2〕医療関係者の中で相談できる相手

問29 ケアプランを作成する際、次の医療関係者の中で相談できる相手はいますか。(あてはまるものすべてに○)

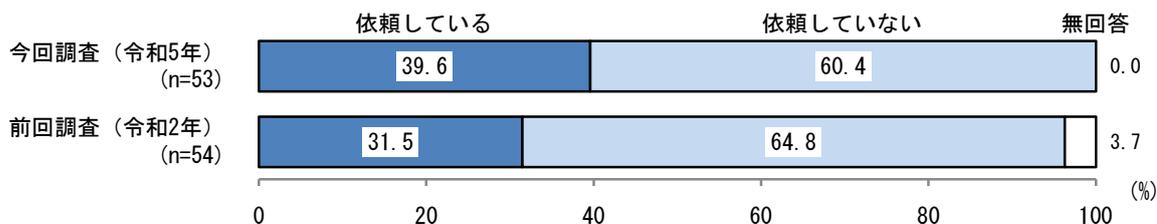
ケアプランを作成する際の相談相手は、「看護師」が77.4%と最も多く、次いで、「医療ソーシャルワーカー」が52.8%、「PT（理学療法士）」が47.2%となっています。前回調査に比べて、「診療所の医師」が17.4ポイント、「看護師」が8.9ポイント、「病院の医師」が5.9ポイント増加しています。



[3] サービス担当者会議へのかかりつけ医への参加依頼

問30 サービス担当者会議を開く際、必要に応じてかかりつけ医に参加を依頼していますか。  
(1つに○)

サービス担当者会議を開く際、必要に応じてかかりつけ医に参加を依頼しているかについてみると、「依頼している」が39.6%、「依頼していない」が60.4%となっています。前回調査に比べて、「依頼している」が8.1ポイント増加しています。

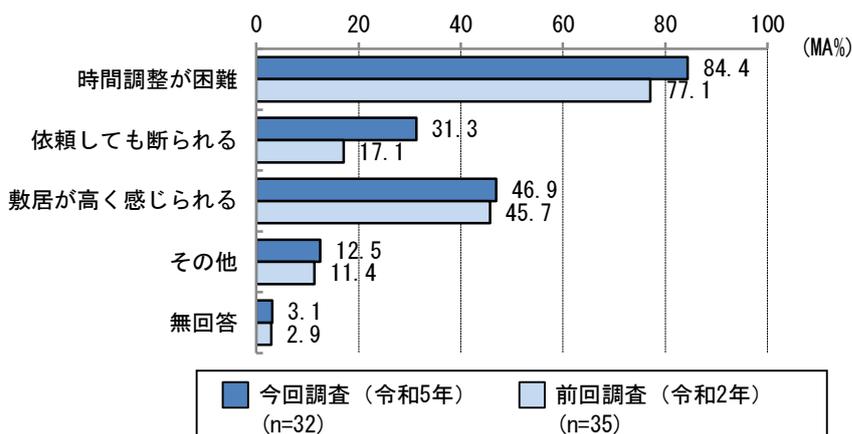


[4] かかりつけ医に依頼しない理由

【問30で「2. 依頼していない」と回答された方のみ】

問30-1 かかりつけ医に依頼しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

依頼しない理由についてみると、「時間調整が困難」が84.4%と最も多く、次いで、「敷居が高く感じられる」が46.9%、「依頼しても断られる」が31.3%となっています。前回調査に比べて、「依頼しても断られる」が14.2ポイント増加しています。

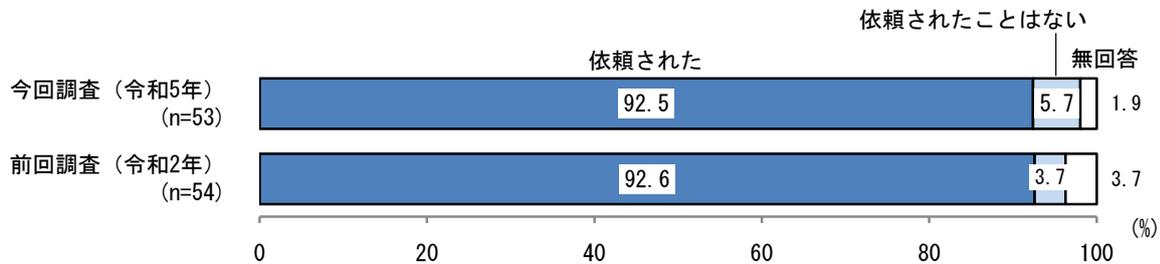


## II 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### [5] 医療機関が行うカンファレンスへの参加依頼を受けた経験

問31 医療機関が行うカンファレンスに、参加するよう依頼されたことはありますか。(1つに○)

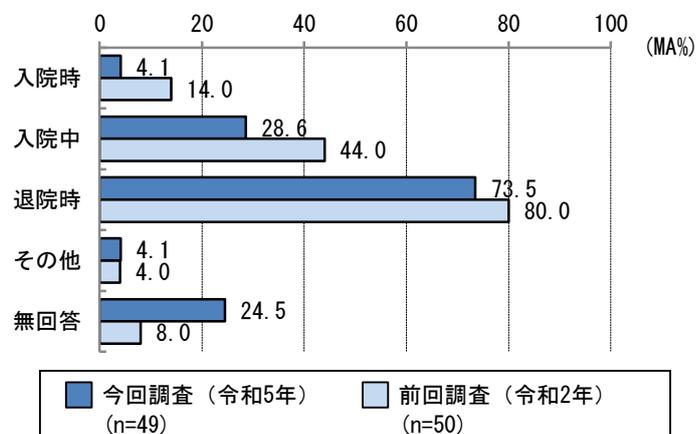
医療機関が行うカンファレンスに参加を依頼されたことがあるかについてみると、「依頼された」が92.5%、「依頼されたことはない」が5.7%となっています。



#### 【問31で「1. 依頼された」と回答された方のみ】

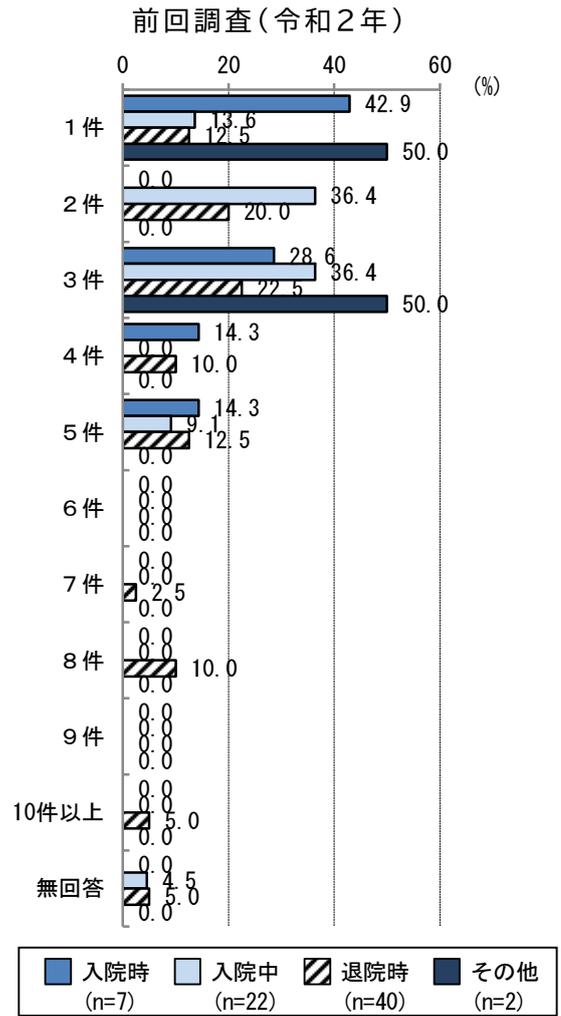
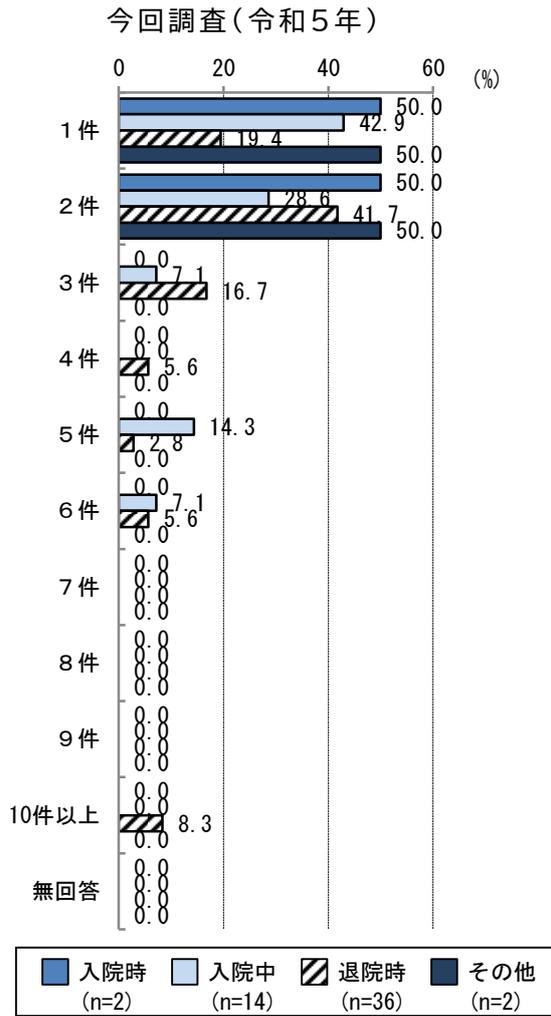
問31-1 参加の依頼をされた時期と、それぞれの時期のカンファレンスに令和4年の1年間(1月1日から12月31日まで)に参加した件数をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

参加の依頼をされた時期についてみると、「退院時」が73.5%と最も多く、次いで、「入院中」が28.6%、「入院時」が4.1%となっています。



## II 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### ■ 参加件数

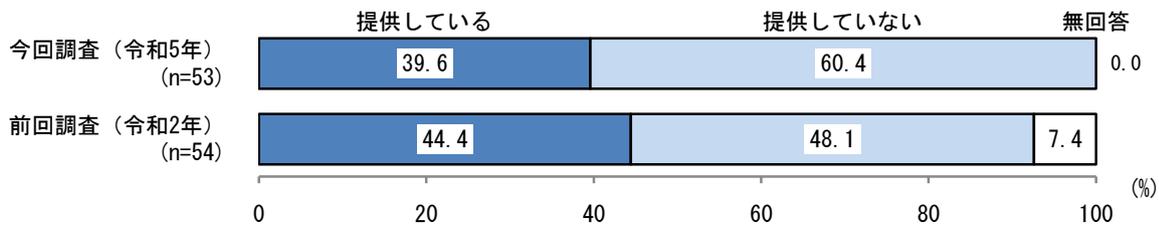


## Ⅱ 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### [6]利用者入院時の医療機関へのケアプランの提供

問32 利用者の方が入院する際、ケアプランを医療機関へ提供していますか。(1つに○)

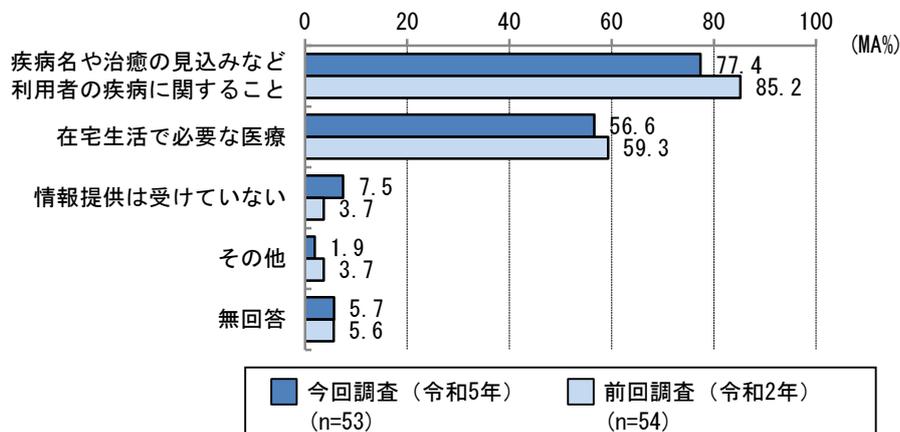
利用者が入院する際、ケアプランを医療機関へ提供しているかについては、「提供している」が39.6%、「提供していない」が60.4%となっています。前回調査に比べて、「提供していない」が12.3ポイント増加しています。



### [7]ケアプラン作成時の医療機関からの情報提供

問33 ケアプランを作成する際、医療機関から必要な情報提供を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

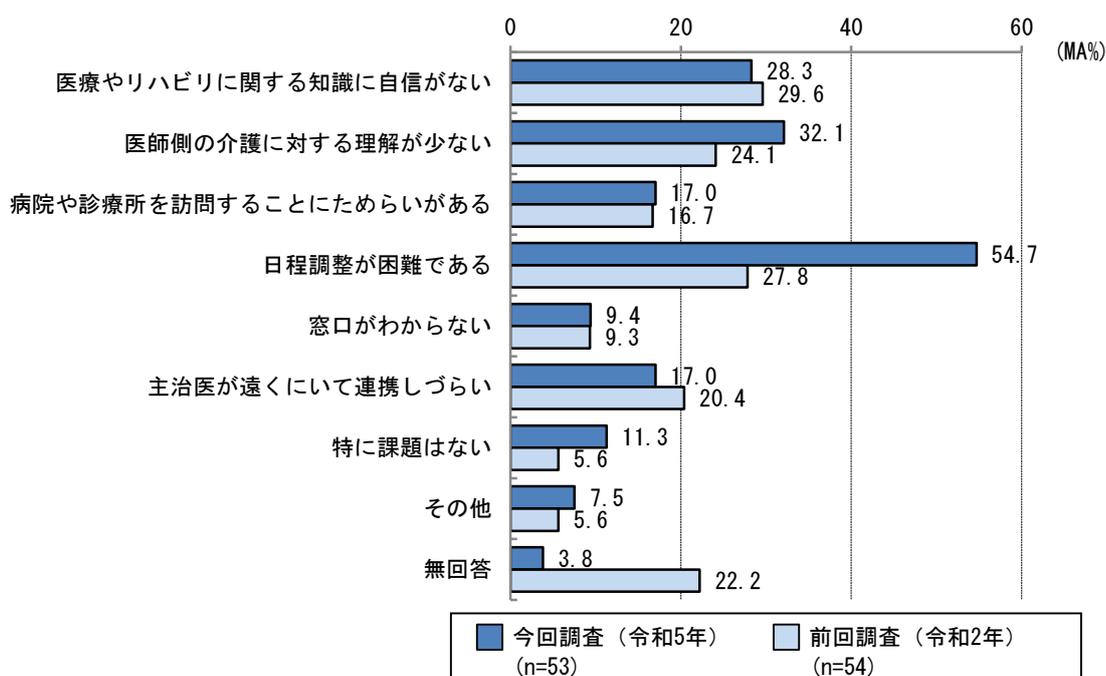
ケアプランを作成する際、医療機関から提供を受けている情報については、「疾病名や治癒の見込みなど利用者の疾病に関すること」が77.4%と最も多く、次いで、「在宅生活に必要な医療」が56.6%となっています。



〔8〕医療と連携する上での課題

問34 医療と連携をする上で、どのような点が課題ですか。(あてはまるものすべてに○)

医療と連携をする上での課題は、「日程調整が困難である」が54.7%と最も多く、次いで、「医師側の介護に対する理解が少ない」が32.1%、「医療やリハビリに関する知識に自信がない」が28.3%となっています。前回調査に比べて、「日程調整が困難である」が26.9ポイント増加しています。



〔9〕医療連携についてあればよい方法・仕組み

問35 問34の課題を解決するために、医療連携について「あれば助かる」と思う方法や、仕組みなどがあればお聞かせください。

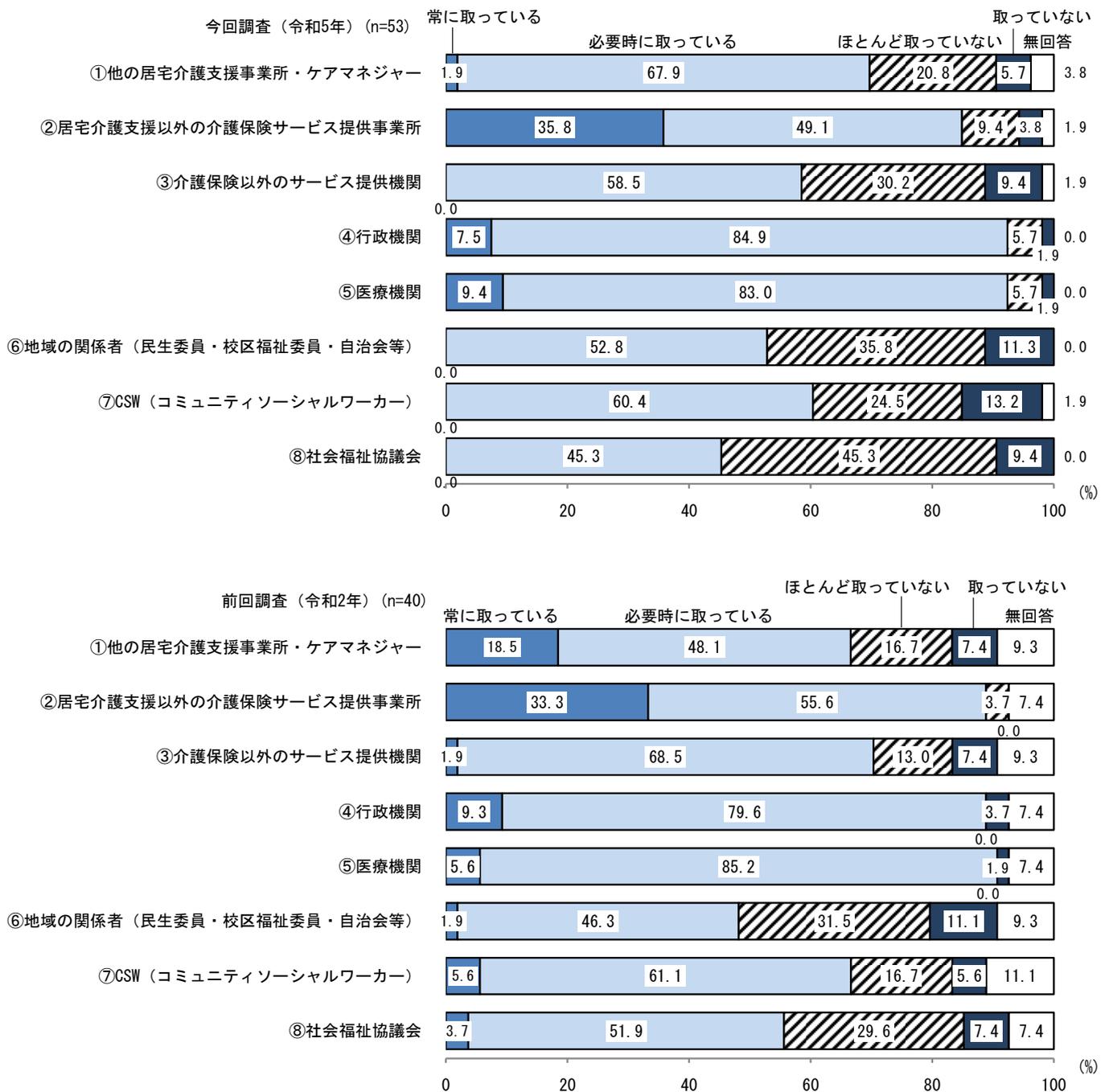
ご意見内容	件数
・医療との連携できる相談窓口、様々な職種が参加する勉強会（交流会）	（8件）
・利用者の状況によっては連携不要、十分な加算がない、強制力がない	（1件）
・連携シートが一方通行なため、医者からの返事が記入できるものにしてほしい	（1件）
・デイケア等に診情を求められても、スムーズに提供頂けないケースがあった	（1件）

## 9. 関係機関等との連携状況について

### 〔1〕関係機関等との連携

問36 以下の関係機関等と連携を取っていますか。(それぞれ1つに○)

関係機関等との連携を『取っている』（「常に」と「必要時」の合計）は、「④行政機関」、「⑤医療機関」がそれぞれ92.4%と最も多く、次いで、「②居宅介護支援以外の介護保険サービス提供事業所」で84.9%となっています。一方、連携を『取っていない』（「ほとんど取っていない」と「取っていない」の合計）は、「⑧社会福祉協議会」が54.7%と最も多く、次いで、「⑥地域の関係者（民生委員・校区福祉委員・自治会等）」が47.1%となっています。

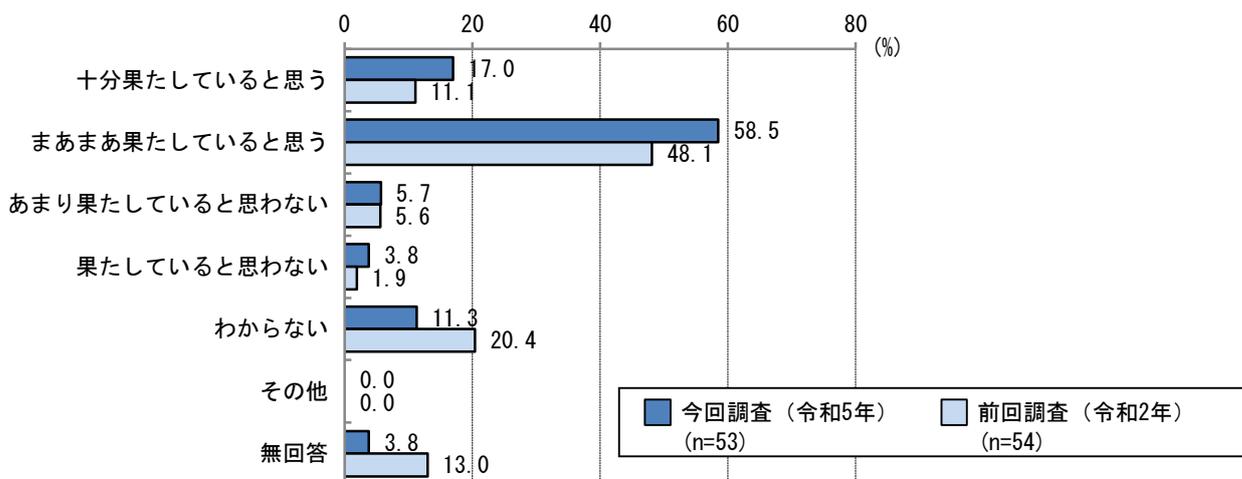


## 10. 地域包括支援センターについて

### 〔1〕地域包括支援センターの現状と課題

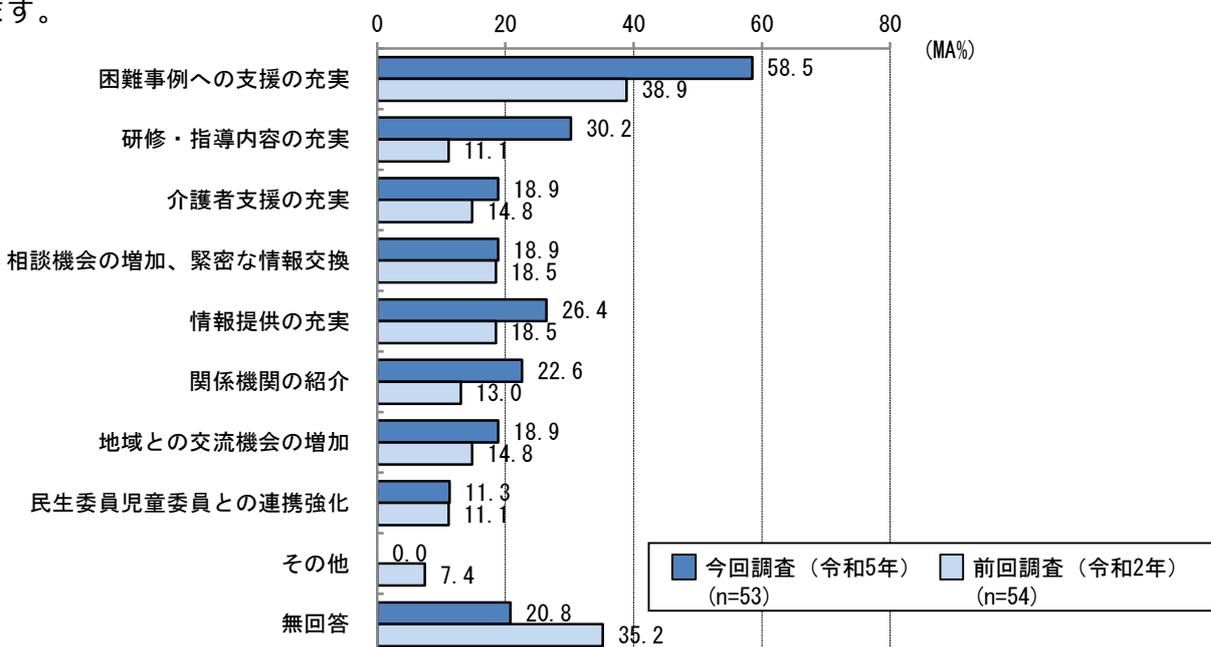
問37 阪南市では、地域包括支援センターが、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう取り組みを行っていますが、その役割を果たしていると思いますか。（1つに○）

地域包括支援センターが役割を果たしているかについてみると、「まあまあ果たしていると思う」が58.5%と最も多く、次いで、「十分果たしていると思う」が17.0%、「あまり果たしていると思わない」が5.7%となっています。



問38 地域包括支援センターに改善してほしいと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

地域包括支援センターに改善してほしいことは、「困難事例への支援の充実」が58.5%と最も多く、次いで、「研修・指導内容の充実」が30.2%、「情報提供の充実」が26.4%となっています。

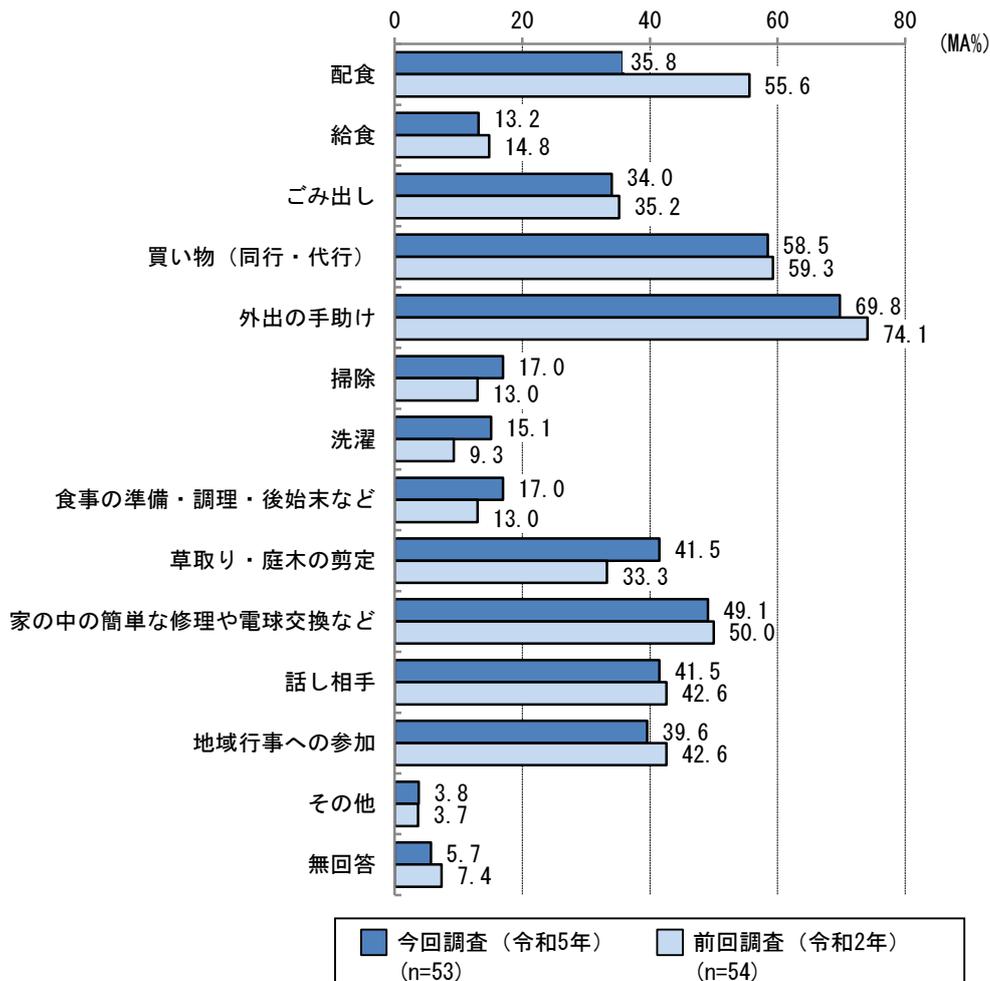


## 11. 地域包括ケア体制の構築について

### 〔1〕高齢者が在宅生活を続ける上で今後必要と感じるサービス

問39 現在、介護保険で利用できないサービス内容のうち、高齢者が在宅生活を続ける上で、今後必要と感じるサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

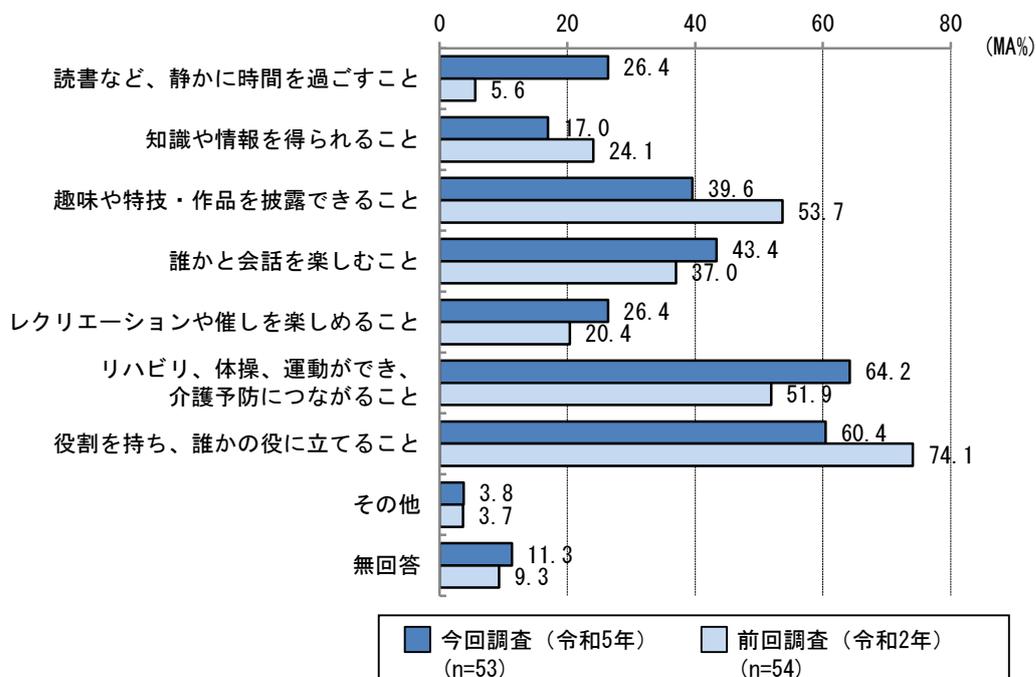
高齢者が在宅生活を続ける上で、今後必要と感じるサービスは、「外出の手助け」が69.8%と最も多く、次いで、「買い物（同行・代行）」が58.5%となっています。



〔2〕今後、新たな通所サービスに期待すること

問40 今後、考えられる新たな通所サービスについて、どのような内容を期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

今後、考えられる新たな通所サービスについて期待する内容についてみると、「リハビリ、体操、運動ができ、介護予防につながること」が64.2%と最も多く、次いで、「役割を持ち、誰かの役に立てること」が60.4%、「誰かと会話を楽しむこと」が43.4%となっています。

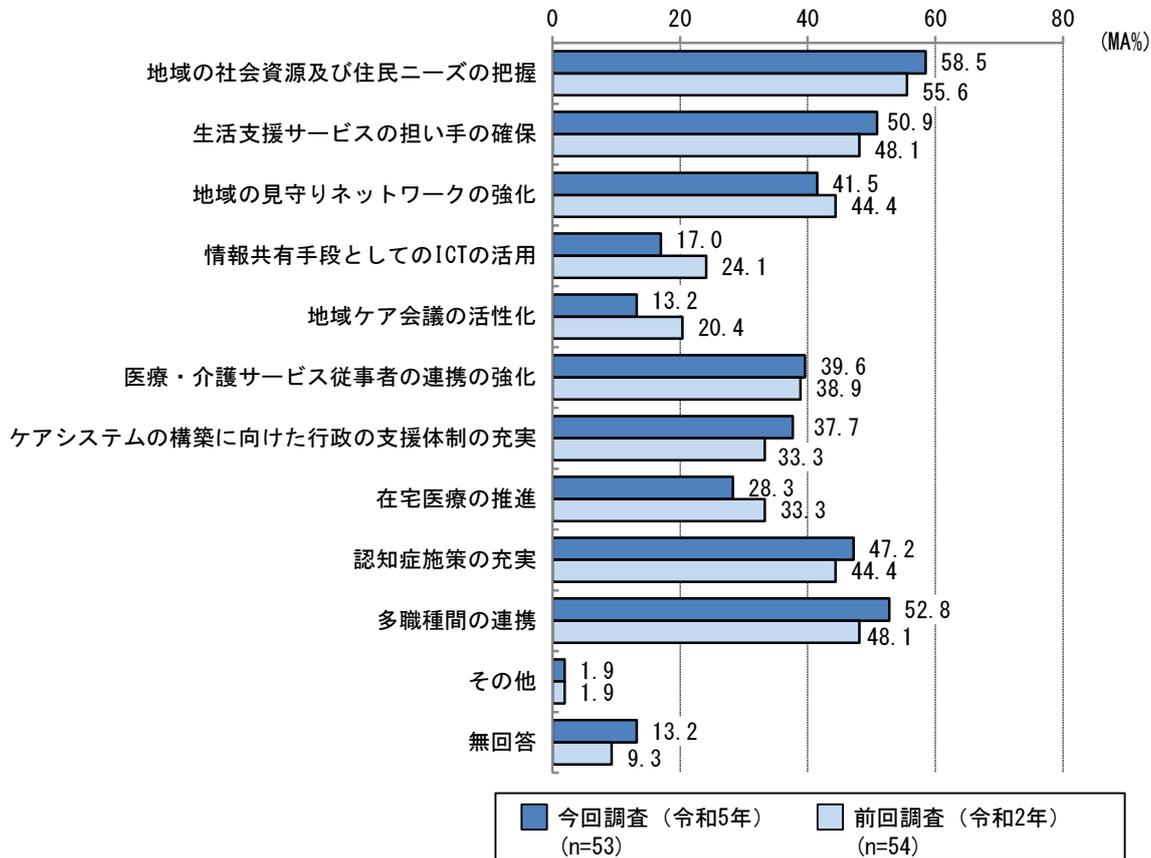


## II 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### [3] 地域包括ケアシステムの構築に必要なもの

問41 地域包括ケアシステムを構築するために必要なものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

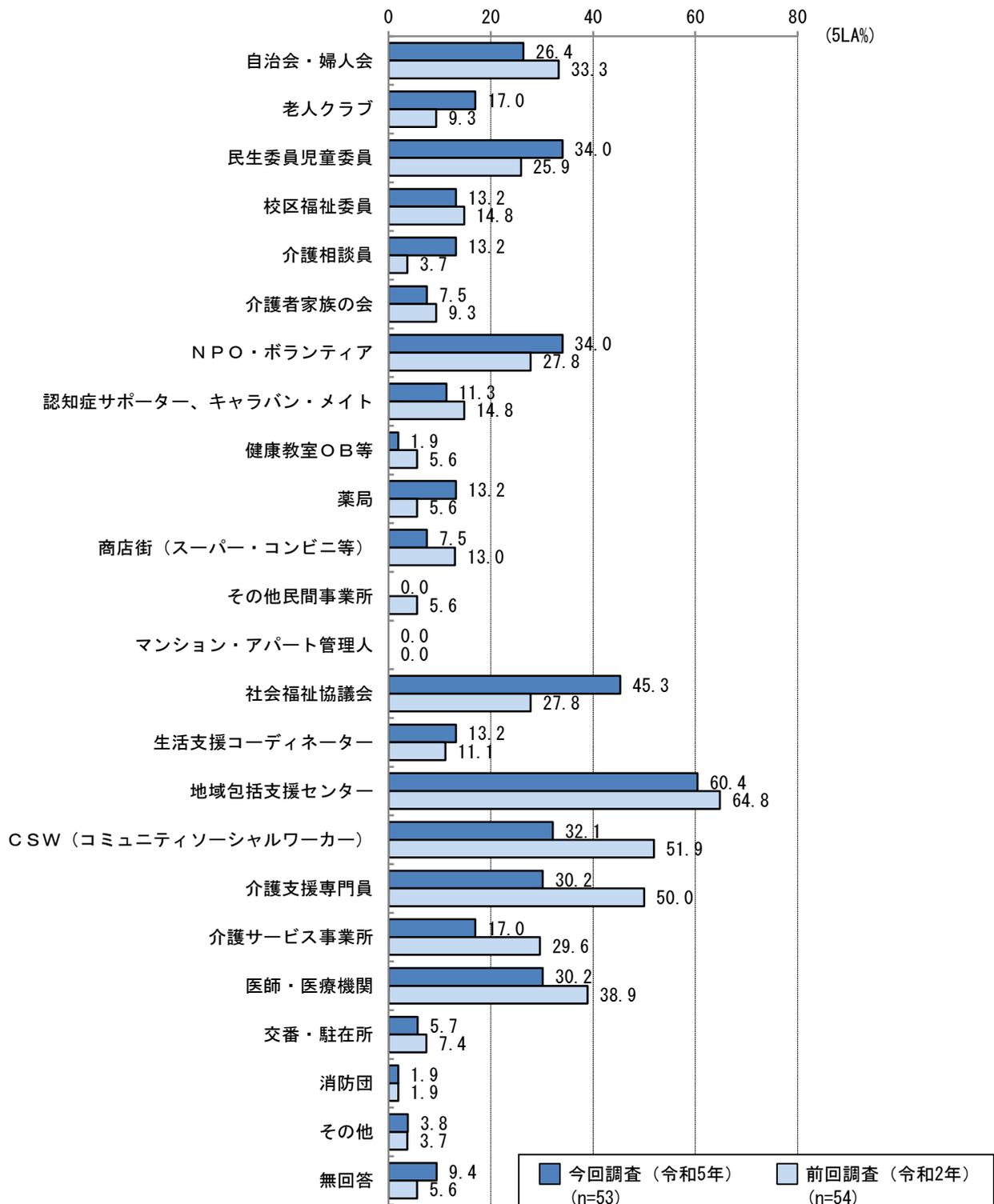
地域包括ケアシステムを構築するために必要なものは、「地域の社会資源および住民ニーズの把握」が58.5%と最も多く、次いで、「多職種間の連携」が52.8%となっています。



[4] 地域包括ケアシステム構築の促進に重要な組織・団体

問42 地域包括ケアシステム構築を促進するため、重要だと思われる組織・団体等は次のうちどれですか。特に重要だと思われる5団体を選んでください。(5つまで○)

地域包括ケアシステム構築を促進するために、特に重要だと思われる組織・団体等についてみると、「地域包括支援センター」が60.4%と最も多く、次いで、「社会福祉協議会」が45.3%、「民生委員児童委員」、「NPO・ボランティア」がそれぞれ34.0%となっています。前回調査に比べて、「CSW（コミュニティソーシャルワーカー）」と「介護支援専門員」がそれぞれ19.8ポイント減少しています。

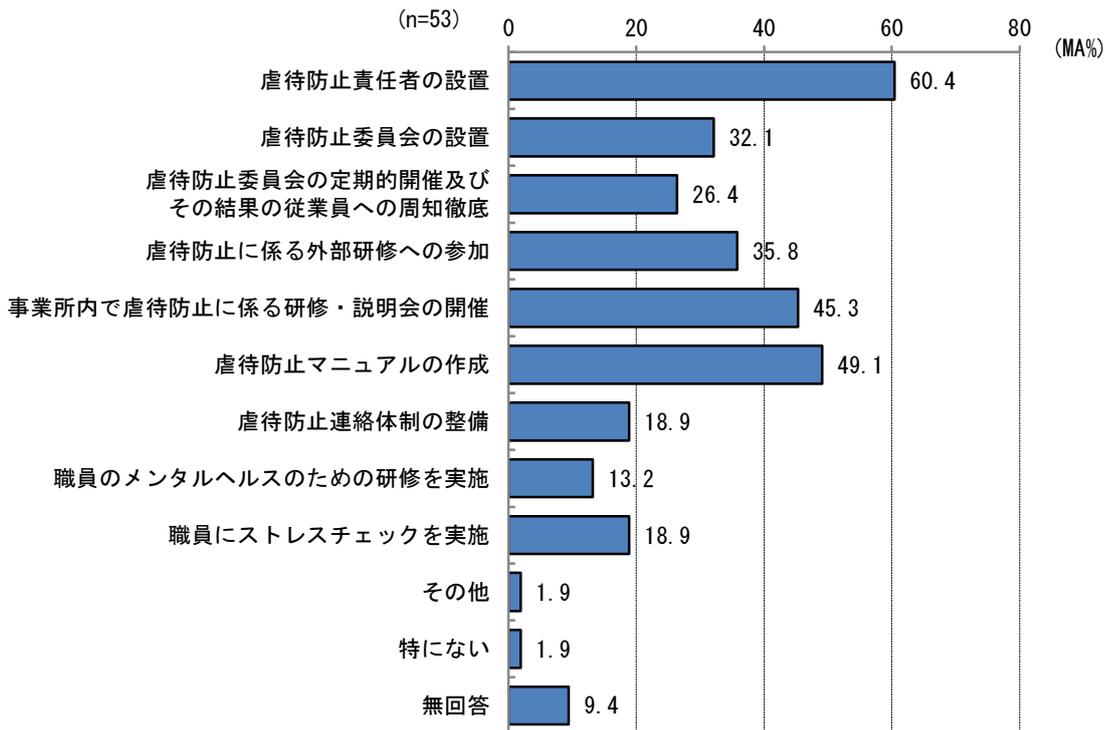


## 12. その他

### 〔1〕虐待防止の取り組み

問43 あなたが所属している事業所では、虐待防止対策についてどのような取り組みをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

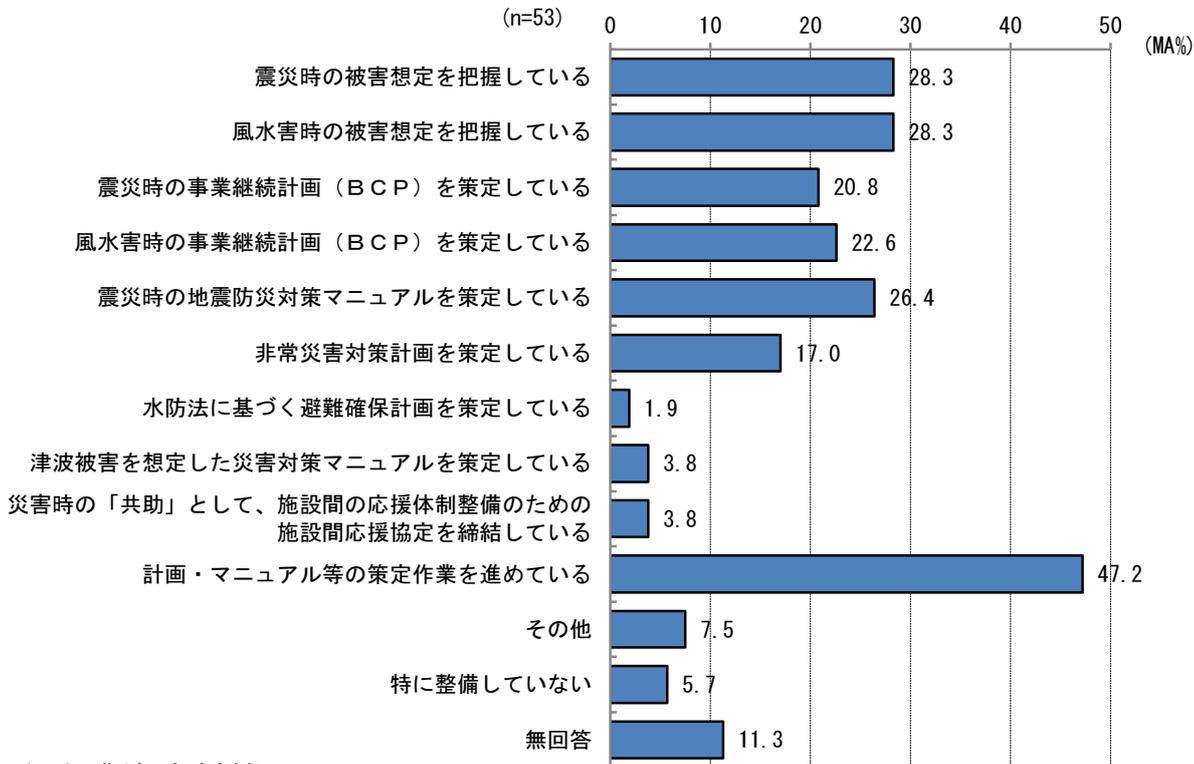
事業所で行っている虐待防止対策についての取り組みは、「虐待防止責任者の設置」が60.4%と最も多く、次いで、「虐待防止マニュアルの作成」が49.1%、「事業所内で虐待防止に係る研修・説明会の開催」が45.3%となっています。



〔2〕災害時の対策

問44 あなたが所属している事業所では、災害発生時から業務復旧までの計画等、災害時の対策をされていますか。(あてはまるものすべてに○)

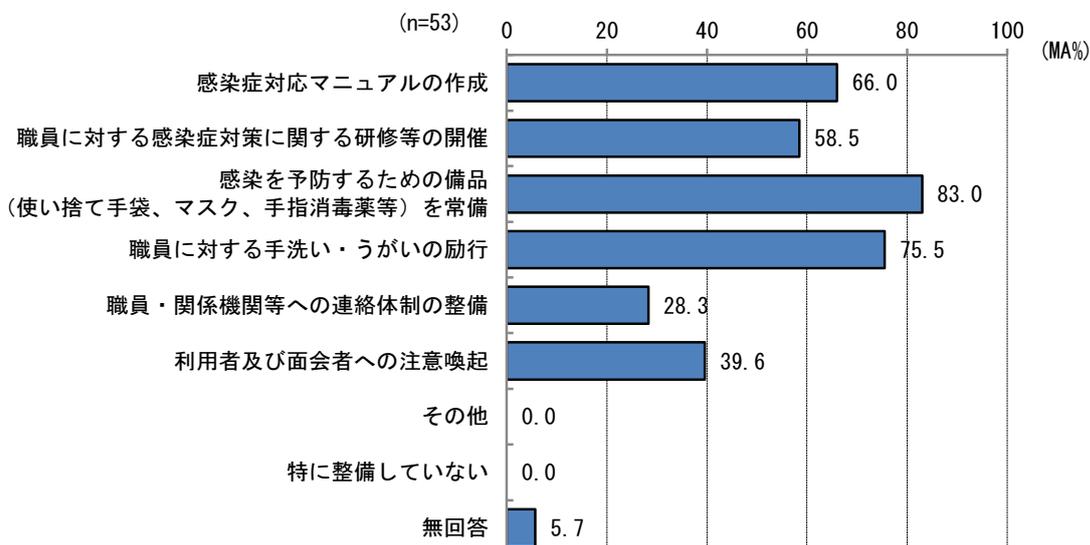
災害発生時から業務復旧までの計画や災害時の対策は、「計画・マニュアル等の策定作業を進めている」が47.2%と最も多く、次いで、「震災時の被害想定を把握している」、「風水害時の被害想定を把握している」がそれぞれ28.3%となっています。



〔3〕感染症対策

問45 あなたが所属している事業所では、感染症対策についてどのような取り組みをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

事業所で行っている感染症対策についての取り組みは、「感染を予防するための備品（使い捨て手袋、マスク、手指消毒薬等を常備）」が83.0%と最も多く、次いで、「職員に対する手洗い・うがいの励行」が75.5%、「感染症対応マニュアルの作成」が66.0%となっています。



## II 調査結果 4 ケアマネジャーアンケート調査

### [4]新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響について

問46 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響についておうかがいします。コロナ禍において、事業所の運営やサービスの提供に何か変化したことや対策されたこと、ご苦労されたこと等、また、サービス利用者から聞いている困りごと等がありましたら、ご自由にお書きください。

計25件のご意見をいただきました。主な内容は以下のとおりです。

ご意見内容	件数
・利用者がコロナ陽性になった場合に対応してもらえる事業所がない、移送タクシーがない	(6件)
・交流の機会が減った、家族との面会ができなかった、話す機会がなくなり認知症が進んだ	(6件)
・ウイルスに対して過剰に拒否反応を示す利用者への細心の注意、人材不足	(4件)
・感染症対策、心理的不安、備品(消耗品含め)の確保が困難だった	(3件)
・訪問拒否や体調確認の電話、医療との連携が大変だった	(2件)
・マスク着用を促すも認知症だと装着が理解できず外してしまう	(1件)
・保健所の対応がとても頼りになった、日ごろからの対策が大切	(1件)
・入居者とご家族の考えが両極端なほど違いがあり対応に困った	(1件)
・リモートワークの導入	(1件)

### [5]介護保険制度・高齢者福祉についてのご意見・ご要望

問47 最後に、阪南市の介護保険制度・高齢者福祉について、ご意見・ご要望があればお聞かせください。

計18件のご意見をいただきました。主な内容は以下のとおりです。

ご意見内容	件数
・認定結果、区分変更申請の迅速化、認定について正確に判断してほしい、介護保険課の窓口が円滑ではない	(6件)
・情報発信と相談窓口の強化、ケアマネジャーの魅力を知ってほしい、人材確保の強化、書類仕事の簡素化、市町村で異なる介護保険制度の統一	(5件)
・市に対するお礼	(2件)
・サービスの一体化、各事業所や市との連携を強化	(1件)
・高齢者の居場所づくりを強化、増加希望	(1件)
・グループホームにて、福祉用具のレンタルを可能にしてほしい	(1件)
・看護小規模多機能型居宅介護の普及	(1件)
・アンケートについて	(1件)

# 調 査 票



# ★介護予防・日常生活圏域ニーズ調査★

## はじめに

平素より、介護保険事業運営に対して、格別のご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

現在、阪南市では、高齢者の方々が住み慣れた地域で、健康で安心して自分らしい暮らしを続けることができるように、「第9期阪南市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」を策定するため、皆様の生活実態や介護ニーズの把握のために、アンケート調査を実施することになりました。

この調査票は、令和5年3月末現在で、阪南市にお住まいの65歳以上の方のうち、要介護1～5の認定を受けていない方から無作為に抽出した1,800人の方に送付しています。

なお、お答えいただいた内容は、統計的に処理し、個人が特定できないようにしたうえで利用し、秘密の保持には万全を期していますので、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年5月 阪南市

## 記入に際してのお願い

1. ご回答は、可能な限り封筒のあて名のご本人がご記入ください。
2. ご記入は、鉛筆または黒のボールペンでお願いします。
3. アンケートの中で、「現在」と書かれているものは、令和5年5月1日現在の状況でご記入ください。
4. 回答に選択肢がある場合には、あてはまる番号を○印で囲んでください。また、選択肢中の「その他」を選んだ方は、その内容を（ ）内に具体的にお書きください。
5. 質問によって、1つのみ回答するもの、複数回答するもの、また条件にあてはまらない場合には回答の必要がないものがあります。説明に従ってお答えください。
6. ご回答後は、調査票を3つ折りにして同封の返信用封筒に入れて、**令和5年6月8日(木)**までに、無記名で切手を貼らずにポストに投函してください。

### <問い合わせ先>

■阪南市役所 健康福祉部 介護保険課■  
〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35番地の1  
電話：072-489-4526

記入日	令和5年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入(あて名のご本人からみた続柄 _____)	
3. その他( _____ )	



【(6)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

- |             |          |                |          |
|-------------|----------|----------------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子    | 3. 娘           | 4. 子の配偶者 |
| 5. 孫        | 6. 兄弟・姉妹 | 7. 介護サービスのヘルパー |          |
| 8. その他( )   |          |                |          |

(7) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

- |             |             |       |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変苦しい    | 2. やや苦しい    | 3. ふう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある |       |

(8) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)

- |                 |                 |           |
|-----------------|-----------------|-----------|
| 1. 持家(一戸建て)     | 2. 持家(集合住宅)     | 3. 公営賃貸住宅 |
| 4. 民間賃貸住宅(一戸建て) | 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 6. 借家     |
| 7. その他( )       |                 |           |

**問2 からだを動かすことについて**

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(〇は1つ)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(〇は1つ)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分位続けて歩いていますか。(〇は1つ)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(〇は1つ)

- |          |         |       |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(〇は1つ)

- |             |            |             |          |
|-------------|------------|-------------|----------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である | 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |
|-------------|------------|-------------|----------|

(6) 週に1回以上は外出していますか(〇は1つ)

- |              |        |          |          |
|--------------|--------|----------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 | 3. 週2~4回 | 4. 週5回以上 |
|--------------|--------|----------|----------|

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(〇は1つ)

- |             |          |              |           |
|-------------|----------|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている | 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |
|-------------|----------|--------------|-----------|

(8) 外出を控えていますか。(〇は1つ)

- |       |             |        |         |
|-------|-------------|--------|---------|
| 1. はい | ⇒①を回答後、(9)へ | 2. いいえ | ⇒(9)へ移動 |
|-------|-------------|--------|---------|

**【(8)において「1. はい(外出を控えている)」の方のみ】**

① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

1. 病気	2. 障がい(脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障がい(聞こえの問題など)	6. 目の障がい
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. その他 ( )

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす(カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. その他( )		

(10) (9)でお答えいただいたような移動手段が利用できない場合、どのようなことに困りますか。(〇はいくつでも)

1. 通院	2. 買い物
3. 銀行や郵便局等に出かけること	4. 美容院や理髪店に行くこと
5. 駅や停留所に行くこと	6. 市役所に行くこと
7. 家族や友人・知人宅を訪問すること	8. 趣味の活動等に出かけること
9. その他	10. あまり困らない

**問3 食べることについて**

(1) 身長・体重(数字を記入)

身長  cm      体重  kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(〇は1つ)

1. はい      2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(〇は1つ)

1. はい      2. いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか。(〇は1つ)

1. はい      2. いいえ

(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(〇は1つ)

1. はい      2. いいえ

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○は1つ)

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 | ⇒①②を回答後、(7)へ |
| 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし | ⇒①を回答後、(7)へ  |
| 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 | ⇒①②を回答後、(7)へ |
| 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし | ⇒①を回答後、(7)へ  |

① 噛み合わせは良いですか (○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【(6)において「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

② 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある    | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない  |            |

#### 問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つ)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(6) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

(10) 新聞を読んでいますか。（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか。（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか。（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

(14) 家族や友人の相談にのっていますか。（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

(15) 病人を見舞うことができますか。（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

(17) 趣味はありますか。（○は1つ）

1. 趣味あり（内容： ） 2. 思いつかない

(18) 生きがいがありますか。（○は1つ）

1. 生きがいあり（内容： ） 2. 思いつかない

## 問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑩それぞれに回答してください。(○は1つずつ)

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤(介護予防拠点(いきいき交流センター・えびろんの会・おざきエーライン・はこつくりエーライン)、のびのび体操、いきいき百歳体操など)介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
⑨婦人会	1	2	3	4	5	6
⑩校区福祉委員会・その他の会	1	2	3	4	5	6

☆(2)は(1)において、①～⑩のいずれかで「6」(参加していない)と回答された方にお伺いします。

(2) (1)のような活動に参加しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 興味・関心がないから      | 2. 友達や知り合いが参加していないから  |
| 3. 近くに参加できる場所がないから | 4. 参加したいが参加できる時間がないから |
| 5. 人づきあいが苦手だから     | 6. 参加する方法が分からないから     |
| 7. 参加する必要を感じないから   | 8. その他( )             |

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

- |            |            |            |             |
|------------|------------|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |
|------------|------------|------------|-------------|

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

- |            |            |            |             |
|------------|------------|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |
|------------|------------|------------|-------------|

**問6****たすけあいについて**

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（〇はいくつでも）

- |                |           |               |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども     |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣     | 6. 友人         |
| 7. その他（        | ）         | 8. そのような人はいない |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいくつでも）

- |                |           |               |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども     |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣     | 6. 友人         |
| 7. その他（        | ）         | 8. そのような人はいない |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人（〇はいくつでも）

- |                |           |               |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども     |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣     | 6. 友人         |
| 7. その他（        | ）         | 8. そのような人はいない |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（〇はいくつでも）

- |                |           |               |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども     |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣     | 6. 友人         |
| 7. その他（        | ）         | 8. そのような人はいない |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください。（〇はいくつでも）

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 自治会・老人クラブ      | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー        | 4. 医師・歯科医師・看護師  |
| 5. 地域包括支援センター・市役所 |                 |
| 6. その他（           | ）               |
| 7. そのような人はいない     |                 |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（〇は1つ）

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある    | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない  |            |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。（〇は1つ）

- |            |          |         |
|------------|----------|---------|
| 1. 0人（いない） | 2. 1～2人  | 3. 3～5人 |
| 4. 6～9人    | 5. 10人以上 |         |

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（〇はいくつでも）

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人  | 2. 幼なじみ           |
| 3. 学生時代の友人    | 4. 仕事での同僚・元同僚     |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他（       | ）                 |
| 8. いない        |                   |

## 問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

1. とてもよい      2. まあよい      3. あまりよくない      4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(〇は1つ)

※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください

とても不幸 ←————— とても幸せ

0点   1点   2点   3点   4点   5点   6点   7点   8点   9点   10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇は1つ)

1. はい      2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)

1. はい      2. いいえ

(5) お酒は飲みますか。(〇は1つ)

1. ほぼ毎日飲む      2. 時々飲む      3. ほとんど飲まない      4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか。(〇は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている      2. 時々吸っている  
3. 吸っていたがやめた      4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

- |   |   |   |
|---|---|---|
| 1. ない   | 2. <small>こうけつあつ</small> 高血圧  | 3. <small>のうそつちゆう</small> 脳卒中 ( <small>のうしゅつてつ</small> 脳出血・ <small>のうこうそく</small> 脳梗塞等)                     |
| 4. <small>しんそうびょう</small> 心臓病   | 5. <small>とうりょうびょう</small> 糖尿病  | 6. <small>こうしけっしやう</small> 高脂血症 ( <small>しじついじやう</small> 脂質異常)  |
| 7. <small>こきゅうき</small> 呼吸器の病気 ( <small>はいえん</small> 肺炎や <small>きかんしえん</small> 気管支炎等) | 8. <small>いちやう</small> 胃腸・ <small>かんぞう</small> 肝臓・ <small>たん</small> 胆のうの病気 | 9. <small>じんぞう</small> 腎臓・ <small>ぜんりつせん</small> 前立腺の病気   |
| 11. <small>がいしやう</small> 外傷 ( <small>てんとう</small> 転倒・ <small>こっせつ</small> 骨折等)        | 12. <small>がん</small> がん ( <small>あくせいしんせいぶつ</small> 悪性新生物)                 | 10. <small>きんこっかく</small> 筋骨格の病気 ( <small>びやうき</small> 骨粗しょう症、 <small>こつそ</small> 関節症 <small>しやう</small> 等) |
| 13. <small>けつえき</small> 血液・ <small>めんえき</small> 免疫の病気                                 | 14. <small>びやう</small> うつ病  | 16. <small>ぱーきんそん</small> パーキンソン病   |
| 15. <small>にんちしやう</small> 認知症 ( <small>アルツハイマー</small> 病等)                            | 17. <small>め</small> 目の病気   | 18. <small>みみ</small> 耳の病気  |
|   | 19. その他 ( )   |   |



## 問9 地域や暮らしについて

(1) あなたが住んでいる身近な地域について、「感じること」「必要なこと」は何ですか。それぞれの回答欄にあてはまるものをお答えください。

※①-⑭それぞれに対して「感じること」と「必要なこと」を回答してください。(〇は1つずつ)

	感じること					必要なこと				
	まったく思わない	そう思わない	どちらともいえない	どちらかというと思う	そう思う	重要ではない	さほど重要ではない	どちらともいえない	重要	非常に重要
①近所づきあいが活発である	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
②高齢者への見守り活動が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③まちなかサロン・カフェなどの交流場所が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④認知症についての理解がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤社会参加などの生きがい対策が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥技術や経験をまちづくりの活動に活かすための環境が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦介護予防に対する意識が高い	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧市の介護予防に対する取り組みが伝わっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨かかりつけ医の重要性や必要性に対する認識が高い	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩医療機関が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪介護保険サービス（居宅・施設）が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫介護や福祉に関する相談窓口が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬安全・安心に暮らせる住環境が整っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑭今後も暮らし続けていく上での生活の利便性が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(2) あなたは現在お住まいの地域に住み続けたいですか。(○は1つ)

- |       |             |        |         |
|-------|-------------|--------|---------|
| 1. はい | ⇒①を回答後、(3)へ | 2. いいえ | ⇒(3)へ移動 |
|-------|-------------|--------|---------|

【(2)において「1. はい」の方のみ】

① この地域に住み続けるためにはどういった取り組みが必要とお考えですか。  
(○はいくつでも)

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 健康づくりに関する取り組み        | 2. 生涯学習に関する取り組み      |
| 3. 住民の知識や経験を活かした就労・企業支援 | 4. 配食や家事援助などの日常生活の支援 |
| 5. 困った時に気軽に相談できる窓口の設置   | 6. 定期的な高齢者に対する見守り    |
| 7. 趣味や生きがい活動などの生きがい対策   | 8. 地域活動を支援する拠点の設置    |
| 9. その他<br>( )           | 10. 特にない             |

(3) あなたは、ご自宅での生活を続けるために、どういったサービスが必要とお考えですか。(○はいくつでも)

- |                  |                             |
|------------------|-----------------------------|
| 1. 買い物の支援        | 2. 電気小物の取扱い(電球・電池の購入、取り換え等) |
| 3. 家電製品の簡単な修理・点検 | 4. 病院に入院した時の衣類洗濯            |
| 5. 粗大ごみの片づけ      | 6. 芝生など庭の手入れ                |
| 7. 大きな家具の移動      | 8. 移動支援(通院等)                |
| 9. 病気の時のお世話      | 10. その他<br>( )              |

(4) あなたご自身がご近所で手助けや協力できることがありますか。(○はいくつでも)

- |                  |                             |
|------------------|-----------------------------|
| 1. 買い物の支援        | 2. 電気小物の取扱い(電球・電池の購入、取り換え等) |
| 3. 家電製品の簡単な修理・点検 | 4. 病院に入院した時の衣類洗濯            |
| 5. 粗大ごみの片づけ      | 6. 芝生など庭の手入れ                |
| 7. 大きな家具の移動      | 8. 移動支援(通院等)                |
| 9. 病気の時のお世話      | 10. その他<br>( )              |
| 11. 特にない         |                             |

## 問10 介護予防について

(1) あなたは、寝たきりや認知症など、介護を必要とする状態にならないよう、現在、介護予防に取り組んでいますか。(○は1つ)

- |            |             |             |             |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 取り組んでいる | ⇒①を回答後、(2)へ | 2. 取り組んでいない | ⇒②を回答後、(2)へ |
|------------|-------------|-------------|-------------|

【(1)において「1. 取り組んでいる」の方のみ】

① あなたは、いつまでも元気で暮らすための「介護予防教室」に参加したことがありますか。(○は1つ)

- |                  |       |
|------------------|-------|
| 1. ある( )<br>回程度) | 2. ない |
|------------------|-------|

【(1)において「2. 取り組んでいない」の方のみ】

② 介護予防に取り組んでいない理由は何ですか。(○は2つまで)

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 健康状態や体力に自信があるから   | 2. 忙しくて時間がないから  |
| 3. 具体的な取り組み方がわからないから | 4. きっかけがないから    |
| 5. 一人では取り組みづらいから     | 6. 取り組む場所がないから  |
| 7. 経済的に余裕がないから       | 8. 介護予防に関心がないから |

(2) 身近な地域で気軽に取り組める「いきいき百歳体操」を知っていますか。(○は1つ)

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

(3) あなたは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して、できる範囲で手助けする「認知症サポーター」を知っていますか。(○は1つ)

- |          |             |         |       |
|----------|-------------|---------|-------|
| 1. 知っている | ⇒①を回答後、(4)へ | 2. 知らない | ⇒(4)へ |
|----------|-------------|---------|-------|

【(3)において「1. 知っている」の方のみ】

① あなたは「認知症サポーター養成講座」を受講したことがありますか。(○は1つ)

- |          |       |
|----------|-------|
| 1. ある( ) | 2. ない |
|----------|-------|

(4) あなたは、認知症の方が住み慣れた地域で生活をするためには、どのような支援が必要だと思いますか。(○は2つまで)

- |   |
|---|
| 1. 認知症への正しい理解や普及啓発が必要                                       |
| 2. 地域での見守り体制や安否確認体制   |
| 3. 認知症などで判断が十分にできなくなった人が財産管理などを代行してもらう<br>成年後見制度の充実         |
| 4. 認知症の方を自宅で介護する家族のための相談体制                                  |
| 5. 認知症の方が一時的に入所して介護を受けられる施設(ショートステイ)                        |
| 6. 介護者の一時休養等の支援   |
| 7. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護<br>(24時間必要に応じて、ホームヘルパーや看護師が自宅を訪問するサービス) |
| 8. 認知症対応型通所介護(認知症高齢者を対象に行うデイサービス)                           |
| 9. 認知症の方が活動できる場   |
| 10. その他 ( )   |
| 11. わからない   |

(5) あなたは認知症カフェをご存じですか。(○は1つ)

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

## 問11 在宅生活の継続について

(1) あなたは、今後、自分で身の回りのことができなくなった場合や、人生の最期を迎える時にどのような暮らしをおくりたいですか。(○は1つ)

1. 自宅で、介護保険サービスを受けずに、家族などの介護を受けて暮らしたい
2. 自宅で、介護保険サービスを受けて暮らしたい
3. 「認知症高齢者グループホーム」※<sup>1</sup>などの地域に密着したサービスを受けて暮らしたい
4. 「有料老人ホーム」※<sup>2</sup>や「サービス付き高齢者向け住宅」※<sup>3</sup>などの高齢者向け住宅に入居して暮らしたい
5. 「特別養護老人ホーム」※<sup>4</sup>などの介護保険施設に入所して暮らしたい
6. 医療機関に入院したい
7. わからない

※1 認知症高齢者グループホームとは、認知症のために介護を必要とする方が、介護や機能訓練を受けながら、少人数で共同生活をすることです。

※2 有料老人ホームとは、利用権や賃貸などの形態で入居し、施設が提供する介護や、介護保険の訪問介護などを利用しながら当該施設の居室で生活することです。

※3 サービス付き高齢者向け住宅とは、居室の広さやバリアフリー等が一定の条件を満たし、安否確認、生活相談などのサービス提供が義務付けられている登録住宅です。

※4 特別養護老人ホームとは、寝たきりや認知症などにより、常に介護が必要で自宅での介護が困難となった方(要介護3以上)のための施設です。

(2) (1)で回答したこと(人生の最期を迎える時におくりたい暮らし)について誰かと話し合いをしていますか。(○は1つ)

1. 全くしていない
2. 話し合ったことがある
3. 話し合い、その結果を紙などに記載した

(3) あなたは、自宅で療養しながら、最期まで過ごすことができますか。(○は1つ)

1. できると思う ⇒(4)へ移動
2. 難しいと思う ⇒①を回答後、(4)へ
3. わからない ⇒(4)へ移動

### 【(3)において「2. 難しいと思う」の方のみ】

① 難しいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 介護してくれる家族に負担がかかる
2. 家族の理解が得られない
3. 住まいの環境が整っていない
4. 症状が急に悪くなったときに不安がある
5. 経済的に負担が大きい
6. 訪問診療をする医師が見つからない
7. 訪問看護をする看護師が見つからない
8. 居宅介護サービスが十分でない
9. その他 ( )

(4) 今までに入院されたことがあり、退院後、在宅での医療や介護が必要となったことがありますか。(○は1つ)

1. ある	⇒①を回答後、(5)へ	2. ない	⇒(5)へ移動
-------	-------------	-------	---------

【(4)において「1. ある(退院後、在宅での医療や介護が必要になったことがある)」の方のみ】

① 退院時や退院後、困ったことはありますか。(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 病院の退院時の医療や介護の説明が不十分だった                   |
| 2. どこに、誰に相談して良いかわからなかった                     |
| 3. 通院に困った                                   |
| 4. かかりつけ医 <sup>※5</sup> が訪問診療してくれなかった       |
| 5. 医療機関の情報がわからなかった(専門医、診療料、診療内のバリアフリー、診察日等) |
| 6. 施設入所を希望したが入所できなかった                       |
| 7. 在宅で介護保険サービスをどのように利用したら良いかわからなかった         |
| 8. 家族の負担が大きかった                              |
| 9. その他<br>( )                               |
| 10. 困ったことはない                                |

※5 かかりつけ医とは、健康について診察や相談をする医師のことで、医師の診療科(専門)は問いません。

## 問12 成年後見制度について

(1) あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1. よく知っている         | } ⇒①を回答後、(2)へ |
| 2. 少し知っている         |               |
| 3. よく知らないが聞いたことがある | } ⇒(2)へ移動     |
| 4. 全く知らない          |               |

【(1)において「1. よく知っている」「2. 少し知っている」の方のみ】

① どこで「成年後見制度」を知りましたか。(○はいくつでも)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 新聞記事、雑誌、テレビのニュースで知った         |
| 2. 市役所や福祉・介護関係の窓口で知った           |
| 3. パンフレットやホームページ等で知った           |
| 4. 講演会や説明会等で知った                 |
| 5. 友人、知人、親戚等から聞いた               |
| 6. 実際に身近に「成年後見制度」を利用している人を知っている |
| 7. その他 ( )                      |

(2) あなたは、金銭や財産の管理ができなくなったり、契約が結べなくなった場合、どのようにしたいとお考えですか。(○は2つまで)

- |                           |
|---------------------------|
| 1. 家族が代わりに管理や契約を行う        |
| 2. 友人・知人に管理や契約をお願いする      |
| 3. 弁護士や司法書士に管理や契約をお願いする   |
| 4. 市役所に相談する               |
| 5. 民生委員に相談する              |
| 6. 地域包括支援センターなどの相談機関に相談する |
| 7. 弁護士や司法書士に相談する          |
| 8. 成年後見制度を利用する            |
| 9. そのときにならないとわからない        |
| 10. その他 ( )               |

### 問13 介護保険制度・サービスについて

(1) あなたは、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」について知っていますか。(○は1つ)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 相談などで利用したことがある | 2. 何をやっているのか知っている |
| 3. 場所や名前を知っている    | 4. 名前は聞いたことがある    |
| 5. 知らない           |                   |

(2) あなたご自身に介護が必要になった場合、どのようにしたいと思いますか。(○は1つ)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 自宅で家族からの介護を受けたい                  |
| 2. 自宅で、介護サービスを受けながら介護を受けたい          |
| 3. サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームに住んで介護を受けたい |
| 4. 認知症高齢者グループホームに住んで介護を受けたい         |
| 5. 特別養護老人ホームなどの施設に入所して介護を受けたい       |
| 6. 医療的な支援が受けられる施設に入所して介護を受けたい       |
| 7. その他 ( )                          |

(3) あなたの介護保険料について経済的な負担感はどうですか。(○は1つ)

- |             |                |                  |
|-------------|----------------|------------------|
| 1. 負担は感じない  | 2. それほど負担を感じない | 3. 今の程度なら、やむを得ない |
| 4. やや負担が大きい | 5. 負担が大きい      | 6. わからない         |

(4) 介護保険の保険料は市全体で使われた介護サービスの量で決まります。あなたは、保険料の負担と介護サービスについてどう思いますか。(○は1つ)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 介護サービスが充実するなら、保険料が高いのは仕方がない |
| 2. 介護サービスが充実するより、保険料が安い方がよい    |
| 3. わからない                       |
| 4. その他 ( )                     |

## 問14 その他

(1) 地震や風水害などの災害時に対し、不安に思うことはありますか。(〇はいくつでも)

1. 災害に関する情報が入手できるかわからない
2. どこ(だれ)に助けをもとめてよいかわからない(身近に頼れる人がいない)
3. 安全な場所まで自力で避難できるかわからない
4. 地域の避難場所がどこなのか知らない
5. 地域の危険な箇所がわからない
6. 防災グッズや非常食を常備していない
7. 健康面に不安がある(治療の必要な持病がある、服薬など)
8. その他( )
9. 不安は特にない

(2) 災害等で避難が必要な際、頼れる人はいますか。(〇はいくつでも)

- |           |         |             |
|-----------|---------|-------------|
| 1. 家族・親族  | 2. 近所の人 | 3. 友人・知人    |
| 4. 自治会の人  | 5. 民生委員 | 6. わからない    |
| 7. その他( ) |         | 8. 頼れる人はいない |

(3) 市では、災害時の支援体制づくりとして、支援が必要な方(災害時要援護者)を対象に市への登録申請を受け付けています(災害時要援護者登録制度(くらしの安心ダイヤル事業)※)。将来的に、ご自身が支援が必要な状態になった場合、要支援者として登録したいと思いますか。(〇は1つ)

※ 災害時に支援が必要な方(災害時要援護者)が、自身の情報を事前に市に登録し、市がその情報を地域の関係者(自治会長・民生委員・避難支援者)に提供することで、災害時の支援体制づくりに備えています。

- |                 |              |                |
|-----------------|--------------|----------------|
| 1. 登録したい(検討したい) | 2. すでに登録している | 3. 登録したいとは思わない |
|-----------------|--------------|----------------|

(4) あなたが高齢者への虐待だと思う行為はどれですか。(〇はいくつでも)

1. つねる、たたく、ける、なぐるなど身体に暴力を加えられる
2. 閉じ込められたり、戸外に締め出されたりする
3. どなられる、悪口を言われる、話しかけても無視をされる
4. 食事や入浴、排せつの世話などを十分にしてくれない
5. 治療が必要な場合でも治療を受けさせてもらえない
6. 本人に無断で本人の年金を使ってしまう、自由になるお金を持たせてくれない
7. 性的な行為を強要される

(5) 高齢者の虐待についての相談先としてどんなところを知っていますか。(〇は1つ)

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1. 地域包括支援センター       | 2. 市役所         |
| 3. ケアマネジャー          | 4. 民生委員        |
| 5. 医療関係者(医師、看護師など)  | 6. 社会福祉協議会     |
| 7. 警察               | 8. その他(具体的に: ) |
| 9. どこに相談したらよいのか知らない |                |



被保険者番号[ \_\_\_\_\_ ]

## 【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人       | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー    |
| 5. その他           |                     |

## A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

## 問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- |         |           |        |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

## 問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- |                           |   |         |         |
|---------------------------|---|---------|---------|
| 1. ない                     | } | 問8(裏面)へ |         |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない |   |         |         |
| 3. 週に1～2日ある               |   | }       | 問3～問13へ |
| 4. 週に3～4日ある               |   |         |         |
| 5. ほぼ毎日ある                 |   |         |         |

## ★ 問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

- |        |          |          |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子     | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫   | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他   |

## ★ 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

## 問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代   | 3. 30代   |
| 4. 40代   | 5. 50代   | 6. 60代   |
| 7. 70代   | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

★ 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                 | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べる時)           | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動              | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                    | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) |                |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |         |           |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- |                          |                               |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)    | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した            | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した         |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない                      |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

★ 問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- |                       |             |                   |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食                 | 2. 調理       | 3. 掃除・洗濯          |
| 4. 買い物(宅配は含まない)       | 5. ゴミ出し     | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ  | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他               | 11. 利用していない |                   |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

★ 問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- |                       |            |                   |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食                 | 2. 調理      | 3. 掃除・洗濯          |
| 4. 買い物(宅配は含まない)       | 5. ゴミ出し    | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他               | 11. 特になし   |                   |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない     | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている |                 |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

★ 問11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- |                            |                           |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中)              | 2. 心疾患(心臓病)               |
| 3. 悪性新生物(がん)               | 4. 呼吸器疾患                  |
| 5. 腎疾患(透析)                 | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む)           | 8. 変形性関節疾患                |
| 9. 認知症                     | 10. パーキンソン病               |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く)         | 12. 糖尿病                   |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他                   |
| 15. なし                     | 16. わからない                 |

★ 問12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

★ 問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

● 問13で「2.」を回答した場合は、問14も調査してください。

★ 問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

- |                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない  | 2. 本人にサービス利用の希望がない        |
| 3. 家族が介護をするため必要ない           | 4. 以前、利用していたサービスに不満があった   |
| 5. 利用料を支払うのが難しい             | 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため  |                           |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない | 9. その他                    |

● 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- |                       |   |         |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている        | } | 問2～問5へ  |
| 2. パートタイムで働いている       |   |         |
| 3. 働いていない             | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない |   |         |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

★ 問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- |                           |                            |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない  | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実        |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり         | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供       |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者設置     | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援      |
| 9. その他                    | 10. 特にない                   |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない    |                            |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける        | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい      | 4. 続けていくのは、かなり難しい   |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |                     |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください  
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                 | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べる時)           | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動              | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                    | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) |                |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他                | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない |                      |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 在宅介護実態調査 追加調査項目

### 1. 生活感や介護への考え

(1) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。1つの点数に○）

とても											とても
不幸											幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

(2) あなたが希望する今後の介護について、考えに近いものは何ですか。（1つに○）

1. 自宅で家族からの介護を受けたい
2. 自宅で介護サービスを受けながら介護を受けたい
3. ケア付き高齢者マンションや有料老人ホームに住んで介護を受けた
4. グループホームに住んで介護を受けたい
5. 特別養護老人ホームなどの施設に入所して介護を受けたい
6. 医療的な支援が受けられる施設に入所して介護を受けたい
7. その他

### 2. 認知症対策

(1) 認知症専門の医療機関を知っていますか。（1つに○）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

(2) あなたは、認知症になってもできる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症の人を支えていく仕組みを整理した『阪南市認知症あんしんガイド』について知っていますか。（1つに○）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

(3) 認知症介護に対して、地域からの支援で期待する内容はどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 認知症状への理解	2. 認知症介護への理解
3. 徘徊の見守り・声かけ	4. 介護負担への理解
5. 要介護者等の話し相手	6. 高齢者サロン等への受け入れ・勧奨
7. その他	

### 3. 情報・相談

(1) あなたは、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」について知っていますか。  
(○は1つ) ※日常生活圏域と同じ設問

1. 相談などで利用したことがある	2. 何をやっているのか知っている
3. 場所や名前を知っている	4. 名前は聞いたことがある
5. その他	

(2) あなたは、以下の高齢者福祉等の相談に関する関係機関を知っていますか。(①～④それぞれの認知度と満足度1つに○)

	認知度		
	知っている すでに相談した ことがある	知っている はいるが 相談した ことはない	まったく 知らない
①介護保険課	1	2	3
②民生委員児童委員	1	2	3
③社会福祉協議会	1	2	3
④府の相談窓口	1	2	3

(3) 現在、介護保険や高齢者福祉サービス、健康に関する情報をどのような方法で入手していますか。(3つまでに○)

1. 家族・親族	2. 市役所の職員
3. 市の広報やパンフレット	4. 民生委員児童委員
5. 地域包括支援センターの職員	6. 社会福祉協議会の職員
7. 福祉施設の職員	8. 病院などの職員
9. 健康推進員	10. 自治会などの役員
11. 知人・友人・隣近所	12. 新聞・テレビ等
13. インターネット	14. その他

# サービス提供事業者アンケート調査

## 【アンケート調査へのご協力のお願い】

皆様には、日頃より介護保険事業について、ご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、阪南市ではこのたび、介護保険サービス提供事業者アンケート調査を実施することに致しました。

この調査は、現在の第8期阪南市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を見直し、令和6年度からの新たな3年間の第9期計画の策定に向けた基礎資料を得るために実施するもので、介護保険サービスを提供している事業者の皆様が日頃感じている課題や問題点、今後の予定などについてお聞きするものです。

調査の実施に際しましては、プライバシーの保護には万全を期しており、お答えいただいた内容についてはすべて統計的に処理いたします。調査の経過や公表にあたり、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありませんので、思いのままをお答えいただきますようお願い申し上げます。

また、最後のご意見欄では介護保険事業に限らず、本市で取り組んでおります事業や計画、また、地域でのまちづくりなどのご意見や参画していただいたことなども含めご自由にお答えください。

お忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和5年5月

阪 南 市

### ●ご記入の前に

- ・本調査は宛名の事業所についてお答えください。
- ・回答は、あてはまる項目の**番号を○で囲んでいただくもの、数値、ご意見を記入していただくもの**の2種類があります。それぞれの設問の説明に従ってお答えください。

### ●調査票の回収について

- ・ご記入いただきました調査票は、**令和5年6月19日（月）**までに、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにご投函くださるか、直接下記までご持参くださるようお願いいたします。

### 【お問い合わせ先】

- ・調査内容や記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

〒599-0292 阪南市尾崎町35番地の1

阪南市役所 健康福祉部 介護保険課

電 話：072-489-4526

E-mail：kaigo@city.hannan.lg.jp



サービスの種類	実施サービス	利用人数 (月間延べ)	定員(又は見込み)と比較したときの現在の利用者数	阪南市民の利用人数 (実数)
福祉用具貸与	11	人	1. 多い 2. 適切 3. 少ない	人
特定福祉用具販売	12	人	1. 多い 2. 適切 3. 少ない	人
住宅改修	13	人	1. 多い 2. 適切 3. 少ない	人
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	14	人	1. 多い 2. 適切 3. 少ない	人
介護老人保健施設 (老人保健施設)	15	人	1. 多い 2. 適切 3. 少ない	人
介護医療院	16	人	1. 多い 2. 適切 3. 少ない	人
認知症対応型共同生活介護	17	人	1. 多い 2. 適切 3. 少ない	人
認知症対応型通所介護	18	人	1. 多い 2. 適切 3. 少ない	人
小規模多機能型居宅介護	19	人	1. 多い 2. 適切 3. 少ない	人
地域密着型 介護老人福祉施設	20	人	1. 多い 2. 適切 3. 少ない	人
居宅介護支援 (ケアプランの作成)	21	人	1. 多い 2. 適切 3. 少ない	人
その他 ( )	22	人	1. 多い 2. 適切 3. 少ない	人

※総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)については、問17を参照ください。

問3 令和5年5月現在、サービスの種類別の利用者数は、1年前に比べてどのような状況ですか。(1つに○)

- |            |             |            |
|------------|-------------|------------|
| 1. 2割以上増えた | 2. 1割前後で横ばい | 3. 2割以上減った |
|------------|-------------|------------|

**介護予防サービスを提供している事業所の方におうかがいします。**

問4 介護予防サービスを提供し始めてから利用者に改善・予防の効果が出ていると思いますか。(1つに○)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 大変効果が出ている   | 4. まったく効果が出ていない |
| 2. やや効果が出ている   | 5. どちらともいえない    |
| 3. あまり効果が出ていない |                 |

問5 問4でお答えいただいた理由は何ですか

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
---

## 貴事業所の人材の現状についておたずねします。

問6 介護職員の総数をご記入ください。（令和5年5月時点の人数を記入）

<b>正規職員</b>	（      ）人	<b>非正規職員</b>	（      ）人
-------------	-----------	--------------	-----------

問7 令和5年1月時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。（数値を記入）

<b>採用者数</b>	（      ）人	<b>離職者数</b>	（      ）人
-------------	-----------	-------------	-----------

問7-1 問7の採用者数・離職者数について、正規・非正規の別、年齢別にご記入ください。（採用、離職当時の数値を記入）

年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	（      ）人	（      ）人	（      ）人	（      ）人
20代	（      ）人	（      ）人	（      ）人	（      ）人
30代	（      ）人	（      ）人	（      ）人	（      ）人
40代	（      ）人	（      ）人	（      ）人	（      ）人
50代	（      ）人	（      ）人	（      ）人	（      ）人
60代	（      ）人	（      ）人	（      ）人	（      ）人
70代以上	（      ）人	（      ）人	（      ）人	（      ）人
年齢不明	（      ）人	（      ）人	（      ）人	（      ）人

問8 この1年間、貴事業所における介護人材の確保について、おおむねどのように感じてもらえますか。（1つに○）

1. とても不足している	2. やや不足している	3. 充足している
--------------	-------------	-----------

問9 貴事業所で不足している専門職種は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 介護福祉士	5. 作業療法士	9. 歯科衛生士
2. 看護師	6. 社会福祉士	10. 介護支援専門員
3. 准看護師	7. 栄養士	11. その他（      ）
4. 理学療法士	8. 管理栄養士	12. 特にない





問16 貴事業所では、介護予防・日常生活支援総合事業サービスへの参入意向はありますか。(1つに○)

- |                         |              |
|-------------------------|--------------|
| 1. すでに参入している            | 5. あまりよく知らない |
| 2. 具体的に参入を考えている         | 6. わからない     |
| 3. 関心はあるが、現在は様子を見ているところ | 7. その他 ( )   |
| 4.今のところまったく参入意向はない      |              |

**問16で「1」と答えた事業所の方におうかがいします。**

問17 どのような分野に参入していますか(あてはまるものすべてに○)

- |             |                |              |
|-------------|----------------|--------------|
| 1. 身体介護サービス | 5. ひとり暮らし高齢者等の | 8. コミュニティサロン |
| 2. 生活援助サービス | 見守りサービス        | 9. 移動販売・食材配達 |
| 3. 外出支援サービス | 6. 住民同士の支えあい活動 | 10. 家族介護支援   |
| 4. 配食サービス   | 7. ミニデイサービス    | 11. その他 ( )  |

**問16で「2」と答えた事業所の方におうかがいします。**

問18 具体的にどのような分野に参入したいと思いませんか。(あてはまるものすべてに○)

- |             |                |              |
|-------------|----------------|--------------|
| 1. 身体介護サービス | 5. ひとり暮らし高齢者等の | 8. コミュニティサロン |
| 2. 生活援助サービス | 見守りサービス        | 9. 移動販売・食材配達 |
| 3. 外出支援サービス | 6. 住民同士の支えあい活動 | 10. 家族介護支援   |
| 4. 配食サービス   | 7. ミニデイサービス    | 11. その他 ( )  |

**問16で「3」または「4」と答えた事業所の方におうかがいします。**

問19 参入する場合、どのようなことが不安・課題になると思いませんか。(あてはまるものすべてに○)

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 事業運営の採算性に不安を感じる | 4. 利用者ニーズの把握が難しい |
| 2. 従事者の確保が難しい      | 5. 施設・設備の確保が難しい  |
| 3. 従事者の負担が大きくなる    | 6. その他 ( )       |

## 地域包括支援センターについておたずねします。

問20 阪南市では、地域包括支援センターが、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう取り組みを行っていますが、その役割を果たしていると思いますか。

(1つに○)

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 十分果たしていると思う    | 4. 果たしていると思わない |
| 2. まあまあ果たしていると思う  | 5. わからない       |
| 3. あまり果たしていると思わない | 6. その他 ( )     |

問21 地域包括支援センターに改善してほしいと思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 困難事例への支援の充実     | 6. 関係機関の紹介        |
| 2. 研修・指導内容の充実      | 7. 地域との交流機会の増加    |
| 3. 介護者支援の充実        | 8. 民生委員児童委員との連携強化 |
| 4. 相談機会の増加、緊密な情報交換 | 9. その他 ( )        |
| 5. 情報提供の充実         |                   |

## 関係機関との連携状況についておたずねします。

問22 医師や歯科医師、医療機関など、医療と連携を取っていますか。(1つに○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 常に取っている   | 3. ほとんど取っていない |
| 2. 必要時に取っている | 4. 取っていない     |

**問22で「3」または「4」と答えた事業所の方におうかがいします。**

問23 医療と連携を取っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1. 日時などが合わない        | 4. 連携の必要性を感じない |
| 2. 医師や歯科医師の理解が得られない | 5. その他 ( )     |
| 3. 医師や歯科医師に相談しづらい   |                |

問24 以下の関係機関等と連携を取っていますか。(それぞれ1つに○)

	常に取っている	必要時に取っている	ほとんど取っていない	取っていない
1. 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー	1	2	3	4
2. 居宅介護支援以外の介護保険サービス提供事業所	1	2	3	4
3. 介護保険以外のサービス提供機関	1	2	3	4
4. 行政機関	1	2	3	4



## 地域包括ケア体制についておたずねします。

問28 地域包括ケアシステムを構築するために必要なものは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                       |                            |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 地域の社会資源及び住民ニーズの把握  | 7. ケアシステムの構築に向けた行政の支援体制の充実 |
| 2. 生活支援サービスの担い手の確保    | 8. 在宅医療の推進                 |
| 3. 地域の見守りネットワークの強化    | 9. 認知症施策の充実                |
| 4. 情報共有手段としてのICTの活用   | 10. 多職種間の連携                |
| 5. 地域ケア会議の活性化         | 11. その他 ( )                |
| 6. 医療・介護サービス従事者の連携の強化 |                            |

問29 地域包括ケアシステム構築を促進するため、重要だと思われる組織・団体等は次のうちどれですか。特に重要だと思われる5団体を選んでください。(5つまで○)

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 自治会・婦人会            | 13. マンション・アパート管理人         |
| 2. 老人クラブ              | 14. 社会福祉協議会               |
| 3. 民生委員児童委員           | 15. 生活支援コーディネーター          |
| 4. 校区福祉委員             | 16. 地域包括支援センター            |
| 5. 介護相談員              | 17. CSW (コミュニティソーシャルワーカー) |
| 6. 介護者家族の会            | 18. 介護支援専門員               |
| 7. NPO・ボランティア         | 19. 介護サービス事業所             |
| 8. 認知症サポーター、キャラバン・メイト | 20. 医師・医療機関               |
| 9. 健康教室OB等            | 21. 交番・駐在所                |
| 10. 薬局                | 22. 消防団                   |
| 11. 商店街 (スーパー・コンビニ等)  | 23. その他 ( )               |
| 12. その他民間事業所          |                           |

## その他

問30 貴事業所では、虐待防止対策についてどのような取り組みをしていますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

- |                                      |                        |
|--------------------------------------|------------------------|
| 1. 虐待防止責任者の設置                        | 7. 虐待防止連絡体制の整備         |
| 2. 虐待防止委員会の設置                        | 8. 職員のメンタルヘルスのための研修を実施 |
| 3. 虐待防止委員会の定期的開催及び<br>その結果の従業員への周知徹底 | 9. 職員にストレスチェックを実施      |
| 4. 虐待防止に係る外部研修への参加                   | 10. その他                |
| 5. 事業所内で虐待防止に係る研修・説明会の開催             | )                      |
| 6. 虐待防止マニュアルの作成                      | 11. 特にない               |

問31 貴事業所では、災害発生時から業務復旧までの計画等、災害時の対策をされていますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

- |   |   |
|---|---|
| 1. 震災時の被害想定を把握している                          |   |
| 2. 風水害時の被害想定を把握している                         |   |
| 3. 震災時の事業継続計画（BCP）を策定している                   |   |
| 4. 風水害時の事業継続計画（BCP）を策定している                  |   |
| 5. 震災時の地震防災対策マニュアルを策定している                   |   |
| 6. 非常災害対策計画を策定している                          |   |
| 7. 水防法に基づく避難確保計画を策定している                     |   |
| 8. 津波被害を想定した災害対策マニュアルを策定している                |   |
| 9. 災害時の「共助」として、施設間の応援体制整備のための施設間応援協定を締結している |   |
| 10. 計画・マニュアル等の策定作業を進めている                    |   |
| 11. その他（                                    | ) |
| 12. 特に整備していない<br>その理由（                      | ) |

問32 貴事業所では、感染症対策についてどのような取り組みをしていますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| 1. 感染症対応マニュアルの作成                      |   |
| 2. 職員に対する感染症対策に関する研修等の開催              |   |
| 3. 感染を予防するための備品（使い捨て手袋、マスク、手指消毒薬等）を常備 |   |
| 4. 職員に対する手洗い・うがいの励行                   |   |
| 5. 職員・関係機関等への連絡体制の整備                  |   |
| 6. 利用者及び面会者への注意喚起                     |   |
| 7. その他（                               | ) |
| 8. 特に整備していない                          |   |

問33 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響についておうかがいします。  
コロナ禍において、事業所の運営やサービスの提供に何か変化したことや対策されたこと、ご苦労されたこと等、また、サービス利用者から聞いている困りごと等がありましたら、ご自由にお書きください。

問34 最後に、ご意見、ご要望など、介護保険事業に限らず阪南市での取り組みや、地域でのまちづくりに参画されたことや、災害時での要援護者への対応、高齢者の見守りなど、ご自由にご記入ください。

---

---

---

---

---

---

調査にご協力いただき、ありがとうございました。ご記入いただきました本調査票は、6月19日（月）までにお送りくださいますようお願いいたします。

# ケアマネジャー アンケート調査

## 【アンケート調査へのご協力のお願い】

皆様には、日頃より介護保険事業について、ご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、阪南市では、現在の第8期阪南市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を見直し、令和6年度からの新たな3年間の第9期計画の策定を進めています。本調査は、阪南市の介護保険被保険者のケアマネジメントを担当いただいているケアマネジャーの方々を対象に、介護保険に対するご意見などについてお聞きし、計画策定のための基礎資料を得るために実施するものです。

調査の実施に際しましては、プライバシーの保護には万全を期しており、お答えいただいた内容についてはすべて統計的に処理いたします。調査の経過や公表にあたり、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありませんので、思いのままをお答えいただきますようお願い申し上げます。

お忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和5年5月

阪 南 市

### ●ご記入の前に

- この調査については、貴事業所において阪南市介護保険被保険者のケアマネジメントを担当いただいているケアマネジャーの方がご記入くださるようお願い申し上げます。
- 回答は、あてはまる項目の番号を○で囲んでいただくもの、数値、ご意見を記入していただくものの2種類があります。それぞれの設問の説明に従ってお答えください。

### ●調査票の回収について

- ご記入いただきました調査票は、**令和5年6月19日（月）**までに、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにご投函くださるか、直接下記までご持参くださるようお願いいたします。

### 【お問い合わせ先】

- 調査内容や記入方法などについて、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

〒599-0292 阪南市尾崎町35番地の1

阪南市役所 健康福祉部 介護保険課

電 話：072-489-4526

E-mail：kaigo@city.hannan.lg.jp

**ケアマネジャーとしてのあなたについておたずねします。**

問1 あなたの年齢をご記入ください。(1つに○)

1. 20歳代      2. 30歳代      3. 40歳代      4. 50歳代      5. 60歳代以上

問2 あなたの性別をご記入ください。(1つに○)

1. 男性      2. 女性

問3 ケアマネジャーとしての経験年数を選択してください。(1つに○)

1. 1年未満      2. 1年以上2年未満      3. 2年以上5年未満      4. 5年以上

問4 ケアマネジャーについては専任ですか兼任ですか。(1つに○)

1. 専任      2. 兼任(兼任業務: \_\_\_\_\_) ※記入例: 併設通所介護介護職員

問5 あなたは主任ケアマネジャーですか。(1つに○)

1. はい      2. いいえ

問6 あなたは、介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |              |                  |           |
|--------------|------------------|-----------|
| 1. 介護福祉士     | 7. 看護師・准看護師      | 13. 医師    |
| 2. ホームヘルパー1級 | 8. 保健師           | 14. 歯科医師  |
| 3. ホームヘルパー2級 | 9. 栄養士(管理栄養士を含む) | 15. 薬剤師   |
| 4. 社会福祉士     | 10. 理学療法士        | 16. その他   |
| 5. 精神保健福祉士   | 11. 作業療法士        | ( _____ ) |
| 6. 社会福祉主事    | 12. 歯科衛生士        |           |

問7 あなたが所属している事業所のケアマネジャー(あなたを含めて)は何人ですか。  
(1つに○)

1. 1人【問8へ】      3. 3人【問7-1へ】  
2. 2人【問7-1へ】      4. 4人以上( \_\_\_\_\_ 人)【問7-1へ】

問7-1 **【問7で「2. 2人」「3. 3人」「4. 4人以上」と回答された方】**

事業所の中で事例検討や相談などの機会は確保されていますか。(1つに○)

1. 機会はある      2. 機会はない      3. その他( \_\_\_\_\_ )

●この調査は、阪南市で介護認定を受けている利用者についてお答えください。

あなたが担当している利用者についておたずねします。

問8 利用者の要介護度はどのような内訳ですか。要介護度ごとにそれぞれ人数をご記入ください。

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数		人	人	人	人	人	人	人	人
内 訳	高齢単身世帯	人	人	人	人	人	人	人	人
	高齢者世帯	人	人	人	人	人	人	人	人
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人

※高齢単身世帯【65歳以上の単身世帯】 高齢者世帯【65歳以上の者のみ、またはこれに18歳未満の未婚の者が加わった世帯】

要支援の方のサービス利用についておたずねします。

問9 要支援の方で、希望の多いサービスは何ですか。（3つまで○）

1. 介護予防訪問介護	6. 介護予防通所介護	11. 特定介護予防福祉用具販売
2. 介護予防訪問看護	7. 介護予防通所リハビリテーション	12. 介護予防認知症対応型通所介護
3. 介護予防訪問入浴介護	8. 介護予防短期入所生活介護	13. 住宅改修
4. 介護予防訪問リハビリテーション	9. 介護予防短期入所療養介護	14. その他（ ）
5. 介護予防居宅療養管理指導	10. 介護予防福祉用具貸与	

問10 予防給付を受けている要支援の方の状態は、改善または現状を維持していますか。（予防給付を利用しておおむね1年間で）それぞれ人数をご記入ください。

改善した	現状を維持している	要介護1に悪化した	要介護2より悪化した
人	人	人	人

問11 （問10との関連で）あなたが要支援の方のケアマネジメントをされている中で「改善」あるいは「現状を維持」する上で、特に効果があったと思われるサービスは何ですか。（3つまで○）

1. 介護予防訪問介護	6. 介護予防通所介護	11. 特定介護予防福祉用具販売
2. 介護予防訪問看護	7. 介護予防通所リハビリテーション	12. 介護予防認知症対応型通所介護
3. 介護予防訪問入浴介護	8. 介護予防短期入所生活介護	13. 住宅改修
4. 介護予防訪問リハビリテーション	9. 介護予防短期入所療養介護	14. その他（ ）
5. 介護予防居宅療養管理指導	10. 介護予防福祉用具貸与	

問12 要支援の方への予防給付等に関して、要望等があれば、お聞かせください。

**要介護の方のサービス利用についておたずねします。**

問 13 要介護の方で、希望の多いサービスは何ですか。（3つまで○）

1. 訪問介護	6. 通所介護	11. 特定福祉用具販売
2. 訪問看護	7. 通所リハビリテーション	12. 認知症対応型通所介護
3. 訪問入浴介護	8. 短期入所生活介護	13. 住宅改修
4. 訪問リハビリテーション	9. 短期入所療養介護	14. その他
5. 居宅療養管理指導	10. 福祉用具貸与	( )

問 14 利用者のうち、施設等へ入所の申請をしている方は何人いますか。また、どちらの種類の施設へ入所の申請をされていますか。要介護度ごとにそれぞれ人数をご記入ください。

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
申請者数（実人数）		人	人	人	人	人	人
内訳(1) (実人数)	高齢単身世帯	人	人	人	人	人	人
	高齢者世帯	人	人	人	人	人	人
	その他	人	人	人	人	人	人

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
内訳(2) (延べ人数)	特別養護老人ホーム	人	人	人	人	人	人
	老人保健施設	人	人	人	人	人	人
	介護療養型医療施設	人	人	人	人	人	人
	認知症対応型グループホーム	人	人	人	人	人	人
	軽費老人ホーム	人	人	人	人	人	人
	ケアハウス	人	人	人	人	人	人
	有料老人ホーム	人	人	人	人	人	人
	サービス付き高齢者向け住宅	人	人	人	人	人	人
	その他	人	人	人	人	人	人

問 15 問 14 の申請者のうち、十分な在宅ケアがあれば在宅生活の継続が可能と思われる方は何人いますか。要介護度ごとにそれぞれ人数をご記入ください。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人	人	人	人	人	人

問 16 （問 15 との関連で）その場合、どのような在宅ケアが必要だと思われるかお聞かせください。

問 17 介護保険の給付以外に、こんな資源・サービスがあれば利用者の日常生活の自立支援につながると思うことがありましたらお聞かせください。

**総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）のサービス利用についておたずねします。**

問 18 希望の多い総合事業サービスは何ですか。（3つまで○）

【訪問型】	【通所型】
1. 訪問介護相当サービス	6. 通所介護相当サービス
2. サービスA（緩和した基準によるサービス）	7. サービスA（緩和した基準によるサービス）
3. サービスB（住民主体によるサービス）	8. サービスB（住民主体によるサービス）
4. サービスC（短期集中サービス）	9. サービスC（短期集中サービス）
5. サービスD（移動支援）	

問 19 現在、訪問型・通所型ともにサービス A は実施していませんが、サービス A は必要と思われますか。（1つに○）

1. 必要	2. 必要でない
-------	----------

問 20 ケアマネジメントをされている中で「改善」あるいは「現状を維持」する上で、特に効果があったと思われるサービスは何ですか。（3つまで○）

【訪問型】	【通所型】
1. 訪問介護相当サービス	6. 通所介護相当サービス
2. サービスA（緩和した基準によるサービス）	7. サービスA（緩和した基準によるサービス）
3. サービスB（住民主体によるサービス）	8. サービスB（住民主体によるサービス）
4. サービスC（短期集中サービス）	9. サービスC（短期集中サービス）
5. サービスD（移動支援）	

問 21 インフォーマルなサービスをケアプランに位置付けたことがありますか。（1つに○）

1. はい【問21-1・問21-2へ】	2. いいえ【問21-3へ】
---------------------	----------------

問 21-1 あなたがケアプランの作成または見直し時に、利用したことのあるサービスはどれですか（3つまで○）。

1. ごみ出し	5. 調理	8. 外出時の付き添い
2. 草取り・剪定	6. 話し相手	9. 声かけ・見守り
3. 洗濯・部屋の掃除	7. 買い物	10. サロン・通いの場
4. 玄関前や家周りの掃除		

問 21-2 あなたがケアプランの作成または見直し時に、不足していると感じるサービスはどれですか（3つまで○）。

1. ごみ出し	5. 調理	8. 外出時の付き添い
2. 草取り・剪定	6. 話し相手	9. 声かけ・見守り
3. 洗濯・部屋の掃除	7. 買い物	10. サロン・通いの場
4. 玄関前や家周りの掃除		



**認知症の方へのケアについておたずねします。**

問 24 担当している利用者のうち、認知症の日常生活自立度がⅡ以上の方は、何人いますか。  
要介護度ごとにそれぞれ人数をご記入ください。

※認知症の日常生活自立度Ⅱ：日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数		人	人	人	人	人	人	人	人
内 訳	高齢単身世帯	人	人	人	人	人	人	人	人
	高齢者世帯	人	人	人	人	人	人	人	人
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人

問 25 認知症に関する相談を受けたときや支援を考えると、次の①から④で困っていることについてお聞かせください。

①認知症に関する理解について

②認知症の医療に関連することについて

③介護力やサービスの利用について

④その他

問 26 認知症に対する以下の取り組みについて知っていますか。（それぞれ1つに○）

①認知症初期集中支援チーム	1. 知っている	2. 知らない
②認知症地域支援推進員	1. 知っている	2. 知らない

問 27 今後認知症施策を進めていく上で、阪南市はどのようなことに重点を置くべきだと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

1. かかりつけ医から専門医療機関のスムーズな連携体制づくり
2. 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取り組み
3. 医療と介護・行政との連携強化
4. 医師の認知症対応力をあげる取り組み
5. 認知症グループホームの整備
6. 介護サービスにあたる専門職の質の向上
7. 家族の精神的な負担を緩和する取り組み
8. 家族を対象に、介護やコミュニケーション方法等の研修会や介護教室の開催
9. 見守りボランティアなど、在宅での生活を支える取り組み
10. 成年後見制度など、認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
11. 行方不明時や緊急時への対応
12. 認知症への正しい知識、理解を広める取り組み
13. 認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援
14. 64歳以下で発症する若年性認知症の方の支援
15. 虐待を防止する制度や取り組みの充実
16. 夜間・休日等、24時間の対応
17. その他（）

**医療連携・退院支援についておたずねします。**

問 28 ケアプラン作成時に必要とされた医療的ケアで困った処置はありましたか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |             |             |          |                  |
|-------------|-------------|----------|------------------|
| 1. 排便コントロール | 3. じょくそうの処置 | 5. 経管栄養  | 7. 糖尿病管理(インスリン等) |
| 2. 疼痛の看護    | 4. 酸素療法     | 6. たんの吸引 | 8. その他( )        |

問 29 ケアプランを作成する際、次の医療関係者の中で相談できる相手はいますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                |              |          |
|----------------|--------------|----------|
| 1. 医療ソーシャルワーカー | 5. 看護師       | 9. 特にいない |
| 2. 診療所の医師      | 6. PT(理学療法士) | 10. その他  |
| 3. 病院の医師       | 7. OT(作業療法士) | ( )      |
| 4. 薬剤師         | 8. ST(言語聴覚士) |          |

問 30 サービス担当者会議を開く際、必要に応じてかかりつけ医に参加を依頼していますか。  
(1つに○)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 依頼している【問31へ】 | 2. 依頼していない【問30-1へ】 |
|-----------------|--------------------|

問 30-1 【問 30 で「2. 依頼していない」と回答された方】

かかりつけ医に依頼しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 時間調整が困難   | 3. 敷居が高く感じられる |
| 2. 依頼しても断られる | 4. その他( )     |

問 31 医療機関が行うカンファレンスに、参加するよう依頼されたことはありますか。(1つに○)

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 依頼された【問31-1へ】 | 2. 依頼されたことはない【問32へ】 |
|------------------|---------------------|

問 31-1 【問 31 で「1. 依頼された」と回答された方】

参加の依頼をされた時期と、それぞれの時期のカンファレンスに令和4年の1年間(1月1日から12月31日まで)に参加した件数をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 入院時( )件 | 2. 入院中( )件 | 3. 退院時( )件 | 4. その他( )件 |
|------------|------------|------------|------------|

問 32 利用者の方が入院する際、ケアプランを医療機関へ提供していますか。(1つに○)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 提供している | 2. 提供していない |
|-----------|------------|

問 33 ケアプランを作成する際、医療機関から必要な情報提供を受けていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                             |                |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 疾病名や治癒の見込みなど利用者の疾病に関すること | 3. 情報提供は受けていない |
| 2. 在宅生活に必要な医療               | 4. その他( )      |

問 34 医療と連携をする上で、どのような点が課題ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 医療やリハビリに関する知識に自信がない   | 5. 窓口がわからない        |
| 2. 医師側の介護に対する理解が少ない      | 6. 主治医が遠くにいて連携しづらい |
| 3. 病院や診療所を訪問することにためらいがある | 7. 特に課題はない         |
| 4. 日程調整が困難である            | 8. その他 ( )         |

問 35 問 34 の課題を解決するために、医療連携について「あれば助かる」と思う方法や、仕組みなどがあればお聞かせください。

**関係機関との連携状況についておたずねします。**

問 36 以下の関係機関等と連携を取っていますか。(それぞれ1つに○)

	常に 取っている	必要時に 取っている	ほとんど 取っていない	取って いない
1. 他の居宅介護支援事業所・ケアマネジャー	1	2	3	4
2. 居宅介護支援以外の介護保険サービス提供事業所	1	2	3	4
3. 介護保険以外のサービス提供機関	1	2	3	4
4. 行政機関	1	2	3	4
5. 医療機関	1	2	3	4
6. 地域の関係者(民生委員・校区福祉委員・自治会等)	1	2	3	4
7. CSW(コミュニティソーシャルワーカー)	1	2	3	4
8. 社会福祉協議会	1	2	3	4

**地域包括支援センターについておたずねします。**

問 37 阪南市では、地域包括支援センターが、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう取り組みを行っていますが、その役割を果たしていると思いますか。（1つに○）

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 十分果たしていると思う    | 4. 果たしていると思わない |
| 2. まあまあ果たしていると思う  | 5. わからない       |
| 3. あまり果たしていると思わない | 6. その他（ ）      |

問 38 地域包括支援センターに改善してほしいと思うことは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- |                |                    |                   |
|----------------|--------------------|-------------------|
| 1. 困難事例への支援の充実 | 4. 相談機会の増加、緊密な情報交換 | 7. 地域との交流機会の増加    |
| 2. 研修・指導内容の充実  | 5. 情報提供の充実         | 8. 民生委員児童委員との連携強化 |
| 3. 介護者支援の充実    | 6. 関係機関の紹介         | 9. その他（ ）         |

**地域包括ケア体制の構築についておたずねします。**

問 39 現在、介護保険で利用できないサービス内容のうち、高齢者が在宅生活を続ける上で、今後必要と感じるサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |               |                   |                      |
|---------------|-------------------|----------------------|
| 1. 配食         | 6. 掃除             | 10. 家の中の簡単な修理や電球交換など |
| 2. 給食         | 7. 洗濯             |                      |
| 3. ごみ出し       | 8. 食事の準備・調理・後始末など | 11. 話し相手             |
| 4. 買い物（同行・代行） |                   | 12. 地域行事への参加         |
| 5. 外出の手助け     | 9. 草取り・庭木の剪定      | 13. その他（ ）           |

問 40 今後、考えられる新たな通所サービスについて、どのような内容を期待しますか。

（あてはまるものすべてに○）

- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| 1. 読書など、静かに時間を過ごすこと | 5. レクリエーションや催しを楽しめること        |
| 2. 知識や情報を得られること     | 6. リハビリ、体操、運動ができ、介護予防につながること |
| 3. 趣味や特技・作品を披露できること | 7. 役割を持ち、誰かの役に立てること          |
| 4. 誰かと会話を楽しむこと      | 8. その他（ ）                    |

問 41 地域包括ケアシステムを構築するために必要なものは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- |                       |                            |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 地域の社会資源及び住民ニーズの把握  | 7. ケアシステムの構築に向けた行政の支援体制の充実 |
| 2. 生活支援サービスの担い手の確保    | 8. 在宅医療の推進                 |
| 3. 地域の見守りネットワークの強化    | 9. 認知症施策の充実                |
| 4. 情報共有手段としてのICTの活用   | 10. 多職種間の連携                |
| 5. 地域ケア会議の活性化         | 11. その他（ ）                 |
| 6. 医療・介護サービス従事者の連携の強化 |                            |

問 42 地域包括ケアシステム構築を促進するため、重要だと思われる組織・団体等は次のうちどれですか。特に重要だと思われる5団体を選んでください。（5つまで○）

- |                           |                     |                          |
|---------------------------|---------------------|--------------------------|
| 1. 自治会・婦人会                | 9. 健康教室OB等          | 17. CSW(コミュニティソーシャルワーカー) |
| 2. 老人クラブ                  | 10. 薬局              | 18. 介護支援専門員              |
| 3. 民生委員児童委員               | 11. 商店街(スーパー・コンビニ等) | 19. 介護サービス事業所            |
| 4. 校区福祉委員                 | 12. その他民間事業所        | 20. 医師・医療機関              |
| 5. 介護相談員                  | 13. マンション・アパート管理人   | 21. 交番・駐在所               |
| 6. 介護者家族の会                | 14. 社会福祉協議会         | 22. 消防団                  |
| 7. NPO・ボランティア             | 15. 生活支援コーディネーター    | 23. その他( )               |
| 8. 認知症サポーター、<br>キャラバン・メイト | 16. 地域包括支援センター      |                          |

## その他

問 43 あなたが所属している事業所では、虐待防止対策についてどのような取り組みをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 虐待防止責任者の設置	7. 虐待防止連絡体制の整備
2. 虐待防止委員会の設置	8. 職員のメンタルヘルスのための研修を実施
3. 虐待防止委員会の定期的開催及び その結果の従業員への周知徹底	9. 職員にストレスチェックを実施
4. 虐待防止に係る外部研修への参加	10. その他
5. 事業所内で虐待防止に係る研修・説明会の開催	〔
6. 虐待防止マニュアルの作成	

問 44 あなたが所属している事業所では、災害発生時から業務復旧までの計画等、災害時の対策をされていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 震災時の被害想定を把握している	
2. 風水害時の被害想定を把握している	
3. 震災時の事業継続計画（BCP）を策定している	
4. 風水害時の事業継続計画（BCP）を策定している	
5. 震災時の地震防災対策マニュアルを策定している	
6. 非常災害対策計画を策定している	
7. 水防法に基づく避難確保計画を策定している	
8. 津波被害を想定した災害対策マニュアルを策定している	
9. 災害時の「共助」として、施設間の応援体制整備のための施設間応援協定を締結している	
10. 計画・マニュアル等の策定作業を進めている	
11. その他（	）
12. 特に整備していない	〔
その理由	

